

令和3年度

富谷市行政実績報告書

「住みたくなるまち 日本一を目指して」



はじめに

「市総合計画・後期基本計画(2021年～2025年)」の初年度となる令和3年度は、新型コロナウイルスの感染防止と本市独自の経済的支援を実施するとともに、「第5次実施計画(令和3年度～6年度)」に掲げる主要事業の推進や、財源確保を見据えた行政改革にも取り組んだところです。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、黒川3町村及び医師会をはじめとする関係機関との連携を図り、迅速な接種を実施いたしました。

長期化するコロナ禍への対応策とした市独自の経済的支援では、全市民を対象とした「地域振興商品券交付事業」の実施や、「子育て世帯への臨時特別給付金給付事業」の支給対象を独自に拡大したほか、米価下落の影響を受けた生産者を支援するための「農業継続支援事業」に県内で最も早く取り組むなど、全22事業を実施いたしました。

コロナ関連以外の施策では、令和3年5月15日にオープンした「富谷宿観光交流ステーション(とみやど)」の来場者が、初年度の年間目標10万人をオープン後、僅か5か月で達成し、本年3月までには15万人を超えるなど、しんまち地区に新たな賑わいを創出いたしました。

また、不登校児童生徒の学び支援として、令和3年4月の「富谷市教育支援センター」開設に加え、西成田コミュニティセンター内に東北初となる不登校特例校・「富谷中学校西成田教室」を整備(令和4年4月開校)いたしました。

さらに、内閣府による全国市区町村を対象とした女性参画状況の調査では、本市の審議会等委員に占める女性の割合53.1%(令和3年4月1日現在)が全国1,741市区町村で第1位を獲得しております。

一方、財政面ではここ数年来、予算編成過程の見直しや新たな財源確保策を主軸とした改革を進め、着実に成果を上げております。一例を申し上げますと、いわゆる赤字地方債である「臨時財政対策債」の発行を3年連続で抑制(新規借入ゼロ)したことや、歳入構造における市債依存度を抑えたため、「一般会計市債残高」についても4年連続で減少しております。

また、5年連続で「プライマリーバランス」の黒字を達成するとともに「基金残高(対前年度比較)」についても増加(4年連続最高水準更新)しております。

本報告書は、決算に係る各種財政分析に加え、地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第5項の規定に基づく主要な施策の成果を取りまとめたものです。引き続き、「住みたくなるまち日本一」を実現するため、各種施策の推進と健全な財政運営に取り組むとともに、市民の皆さまの声が直接届く市政運営に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年9月1日 富谷市長 若生 裕俊

目 次

はじめに

1. 決算の概要	1
2. 令和3年度主要事業成果	17
3. 予算執行実績資料集	63
令和3年度新型コロナウイルス感染症対策独自支援策一覧	65
市長公室	67
1. 一般管理	68 /
2. 文書広報	69 /
3. 情報化推進	71 /
4. 諸費	72 /
企画部	
企画政策課	73
5. 企画①～⑮	74 /
6. 指定統計①～③	87 /
7. 商工振興	89 /
財政課	91
8. 財産管理①～②	92 /
9. 企画	95 /
総務部	
総務課	97
10. 一般管理①～⑤	98 /
11. 文書広報①～③	105 /
12. 情報化推進①～⑩	107 /
13. 選挙①～③	112 /
防災安全課	115
14. 一般管理	116 /
15. 交通安全対策①～④	117 /
16. 防犯対策①～③	120 /
17. 諸費	122 /
18. 消防・防災対策①～⑭	123 /
市民協働課	129
19. 一般管理①～②	130 /
20. 自治振興①～④	132 /
21. 諸費①～③	134 /
市民生活部	
市民課	137
22. 出張所	138 /
23. 戸籍住民基本台帳①～②	142 /
24. 住居表示	145 /
税務課	147
25. 税務総務	148 /
26. 賦課徴収①～②	149 /
生活環境課	157
27. 社会福祉総務	158 /
28. 環境衛生①～⑨	158 /
29. 狂犬病予防	162 /
30. 清掃総務①～⑤	163 /
31. ごみ処理①～⑧	165 /
32. 市営墓地(市営墓地特別会計)	168 /

保健福祉部

長寿福祉課

33. 社会福祉総務①～⑤	169
34. 保健福祉総合支援センター①～②	170 /
35. 老人福祉①～⑦	174 /
36. 福祉健康センター	178 /
37. 介護保険(介護保険特別会計)①～⑨	183 /
	184 /

地域福祉課

38. 障害者福祉①～⑩	195
39. 医療助成	196 /
40. 地域活動支援センター	206 /
41. 子ども医療助成	207 /
42. 児童福祉総務	208 /
43. 障害児福祉	208 /
44. 生活保護総務①～④	209 /
45. 扶助	210 /
46. 社会福祉①～②	213 /
	215 /

健康推進課

47. 国民年金	217
48. 保健衛生総務①～⑤	218 /
49. 予防①～⑤	219 /
50. 新型コロナウイルスワクチン接種①～②	222 /
51. 国民健康保険(国民健康保険特別会計)	227 /
52. 後期高齢(後期高齢者医療特別会計)	230 /
	236 /

子育て支援課

53. 子ども医療助成①～③	239
54. 児童福祉総務①～⑩	240 /
55. 児童措置	242 /
56. 児童福祉施設①～②	250 /
57. 保育所①～②	251 /
58. 母子福祉	252 /
59. 母子保健①～⑥	254 /
60. 公民館	255 /
61. その他公共施設・公用施設災害復旧費①～②	260 /
	261 /

福祉事務所(再掲)

262

経済産業部

産業観光課

62. 労働①～②	263
63. 商工総務・商工振興①～⑧	264 /
64. その他公共施設・公用施設災害復旧費	267 /
	272 /

農林振興課

65. 企画	273
66. 農業委員会	274 /
67. 農業振興①～⑫	275 /
68. 畜産振興	276 /
69. 農地①～②	281 /
70. 生産調整推進①～②	282 /
71. 林業振興①～④	284 /
72. 農業用施設災害復旧費	285 /
	287 /

建設部

都市整備課

73. 防犯対策①～②	289
74. 土木総務	290
75. 道路橋梁総務	291
76. 道路維持	291
77. 交通安全施設	292
78. 道路改良①～②	293
79. 橋梁維持	294
80. 河川	295
81. 道路橋梁・河川災害復旧	296

都市計画課

82. 都市計画総務	297
83. 公園整備①～②	299
84. 市営住宅管理	300
85. 住宅宅地震災対策	301
86. 都市計画施設災害復旧、その他公共施設・公用施設災害復旧	303

教育部

教育総務課

87. 教育委員会	304
88. 事務局	305
89. 小学校管理	306
90. 中学校管理	307
91. 幼稚園管理①～②	308
92. コミュニティセンター管理	310
93. その他公共施設・公用施設災害復旧費①～②	312

学校教育課・学校給食センター

94. 事務局①～⑦	315
95. 教育振興	316
96. 小学校教育振興	317
97. 小学校管理①～④	318
98. 中学校教育振興①～②	324
99. 中学校管理①～⑥	325
100. 給食センター管理	326
101. その他公共施設・公用施設災害復旧費	329

生涯学習課

102. 公園	330
103. 社会教育総務①～⑪	337
104. コミュニティセンター管理①～②	338
105. 大黒澤苑	339
106. 文化財保護①～②	344
107. 公民館	345
108. その他公共施設・公用施設災害復旧費	346
109. 保健体育総務①～⑤	347
110. 総合運動公園①～②	351
111. その他公共施設・公用施設災害復旧費	352

議会事務局・監査委員事務局

112. 議会	357
113. 監査委員	358

表紙写真

①

②

③

- ① 不登校特例校
「富谷中学校西成田教室」開設式
- ② 明石会館
- ③ 富谷宿観光交流ステーション
「とみやど」開所のテープカット

1. 決算の概要

富谷市令和3年度決算の概要

歳入	192億6,854万3千円
歳出	179億1,412万9千円
形式収支	13億5,441万4千円
実質収支	10億5,503万5千円

令和3年度の一般会計の決算は歳入が192億6,854万3千円(対前年度12, 2%減)、歳出が179億1,412万9千円(対前年度13, 6%減)と減少したものの過去2番目の決算規模となりました。

減少の主な要因としては、令和2年度に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施された国庫補助事業「特別定額給付金給付事業(給付対象者1人当たり10万円支給、事業規模約52億円)」が終了したことによるものです。

実質収支(形式収支から、翌年度への繰越金2億9,937万9千円を控除した決算額)は、10億5,503万5千円の黒字決算となっています。

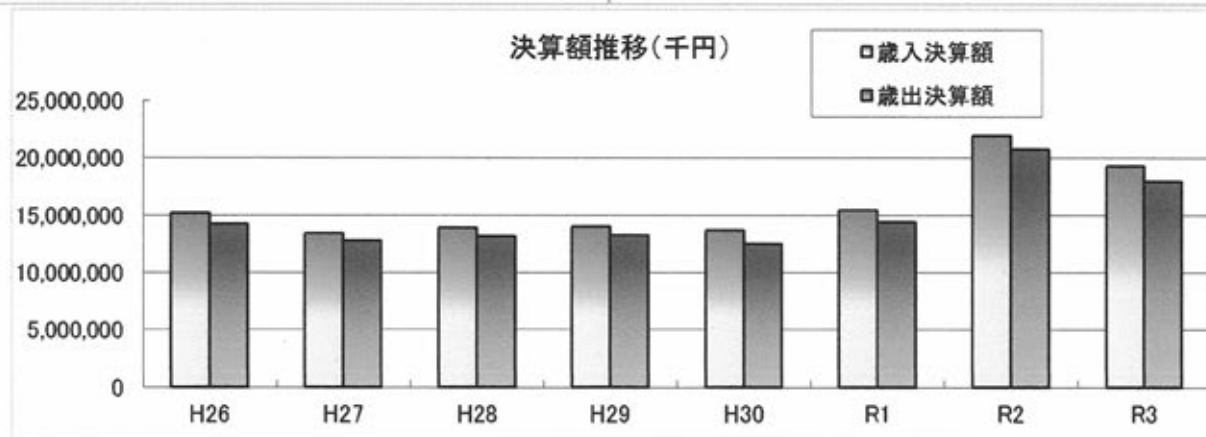
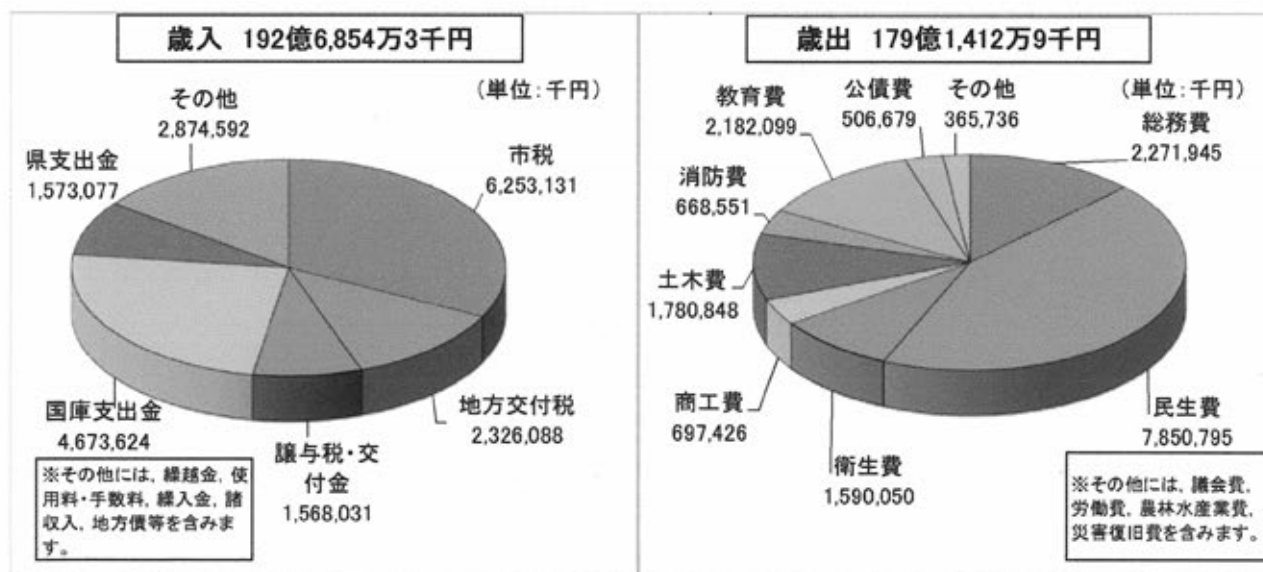
この黒字分は、令和4年度予算に全額繰り越すとともに、その2分の1以上の金額を令和4年度補正予算を通して基金に積み立てます。

歳入は、市独自の財源である自主財源と、国・県からの補助金などによる依存財源に分けられます。

令和3年度の自主財源は87億6,212万3千円で歳入の約45%を占めていますが、この自主財源のうち市税は約71%で、市の予算を支える重要な柱となっています。

歳出では、全体の約44%を占める民生費においては、子ども医療費助成、認可保育所・放課後児童クラブ等への運営補助、障害者福祉事業や、生活保護費の支給などを行いました。

その他教育費においては、不登校生徒の教育機会を確保するため、不登校特例校の整備を行いました。また、長期化する新型コロナウイルスの感染症対応事業として衛生費では、感染症拡大防止や重症化の予防等を図るため、ワクチン接種事業を実施し、併せて商工費においては、全市民を対象とした地域振興商品券交付事業の実施や農林水産業費では、米価下落の影響を受けた生産者を支援するための農業継続支援事業を実施したほか多数の支援事業を行いました。



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
歳入決算額	15,168,471	13,406,123	13,881,881	13,999,161	13,646,191	15,393,301	21,945,833	19,268,543
歳出決算額	14,203,007	12,732,426	13,112,268	13,234,555	12,452,907	14,391,845	20,728,809	17,914,129

1. 一般会計歳入の推移

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	決算額	構成比	対前年度伸び率	決算額	構成比	対前年度伸び率	決算額	構成比	対前年度伸び率
1 地 方 税	6,253,131	32.5	△ 1.0	6,319,045	28.8	0.4	6,294,433	40.9	3.0
2 地 方 譲 与 税	148,815	0.8	1.7	146,291	0.7	0.7	145,253	1.0	1.4
3 利 子 割 交 付 金	3,129	0.0	△ 23.6	4,095	0.0	△ 0.9	4,133	0.0	△ 48.9
4 配 当 割 交 付 金	28,448	0.1	52.2	18,686	0.1	△ 6.0	19,875	0.1	17.2
5 株 式 譲 渡 所 得 割 金	32,663	0.2	55.1	21,055	0.1	72.9	12,181	0.1	△ 16.2
6 地 方 消 費 税 金	1,125,696	5.8	9.7	1,025,716	4.7	25.2	819,108	5.3	△ 5.4
7 ゴルフ場利用税金	36,372	0.2	10.2	32,994	0.1	△ 10.6	36,904	0.2	3.1
8 自 動 車 取 得 税 金	0	0.0	—	0	0.0	△ 100.0	23,051	0.1	△ 45.2
9 自 動 車 税 環 境 性 能 割 交 付 金	14,042	0.1	9.2	12,855	0.0	115.0	5,979	0.0	—
10 法 人 事 業 税 交 付 金	63,879	0.3	98.7	32,154	0.1	—	—	—	—
11 地 方 特 例 交 付 金	108,647	0.6	31.2	82,786	0.4	△ 52.4	174,072	1.1	147.6
12 地 方 交 付 税	2,326,088	12.1	36.1	1,708,498	7.8	0.7	1,696,979	11.0	8.4
13 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,340	0.0	△ 14.7	7,436	0.0	4.8	7,095	0.0	△ 1.3
14 分 担 金 担 及 び 金	58,626	0.3	△ 30.6	84,441	0.4	△ 24.4	111,739	0.7	△ 45.2
15 使 用 料 及 び 手 数 料	141,273	0.7	△ 0.1	141,470	0.6	△ 14.7	165,878	1.1	△ 8.3
16 国 庫 支 出 金	4,673,624	24.3	△ 46.7	8,771,816	40.0	294.7	2,222,183	14.5	17.7
17 都 道 府 県 支 出 金	1,573,077	8.2	31.0	1,201,095	5.5	14.7	1,047,092	6.8	18.0
18 財 産 収 入	30,579	0.2	△ 17.3	36,972	0.2	△ 34.7	56,621	0.4	△ 84.1
19 寄 附 金	161,795	0.8	169.8	59,959	0.3	3.0	58,201	0.4	240.5
20 繰 入 金	390,362	2.0	8.6	359,287	1.6	24.3	289,041	1.9	2,247.3
21 繰 越 金	1,217,024	6.3	21.5	1,001,456	4.6	△ 16.1	1,193,284	7.8	159.6
22 諸 収 入	509,333	2.6	2.3	497,726	2.3	△ 3.3	514,599	3.4	9.3
23 地 方 債	365,600	1.9	△ 3.8	380,000	1.7	△ 23.3	495,600	3.2	70.9
計	19,268,543	100.0	△ 12.2	21,945,833	100.0	42.6	15,393,301	100.0	12.8

注 地方財政状況調査をベースとして作成していますが、同調査では差し引かれる宮城県後期高齢者医療広域連合職員派遣負担金を含め、市の一般会計の決算額に合わせて作成しています。

2. 一般会計目的別歳出の推移

(単位：千円、%)

区 分	令 和 3 年 度			令 和 2 年 度			令 和 元 年 度		
	決 算 額	構 成 比	対前年度 伸び率	決 算 額	構 成 比	対前年度 伸び率	決 算 額	構 成 比	対前年度 伸び率
1 膳 会 費	158,865	0.9	9.0	145,774	0.7	△ 4.6	152,779	1.1	△ 4.2
2 総 務 費	2,271,945	12.7	△ 69.6	7,473,964	36.1	220.7	2,330,832	16.2	54.4
3 民 生 費	7,850,795	43.8	37.7	5,702,626	27.5	5.3	5,417,491	37.7	4.3
4 衛 生 費	1,590,050	8.9	21.7	1,306,652	6.3	22.4	1,067,686	7.4	△ 2.8
5 労 働 費	48,792	0.3	4.3	46,791	0.2	△ 8.2	50,979	0.4	△ 16.5
6 農 林 水 産 業 費	147,723	0.8	36.1	108,507	0.5	2.9	105,452	0.7	14.5
7 商 工 費	697,426	3.9	32.3	527,262	2.5	194.9	178,805	1.2	△ 14.0
8 土 木 費	1,780,848	9.9	61.0	1,105,860	5.3	11.9	987,820	6.9	△ 10.3
9 消 防 費	668,551	3.7	△ 1.0	675,109	3.3	4.3	647,337	4.5	3.8
10 教 育 費	2,182,099	12.2	△ 18.4	2,673,222	12.9	8.5	2,464,033	17.1	30.9
11 災 害 復 旧 費	10,356	0.1	△ 97.9	494,413	2.4	110.7	234,639	1.6	5,843.2
12 公 債 費	506,679	2.8	8.1	468,629	2.3	△ 37.8	753,992	5.2	45.3
計	17,914,129	100.0	△ 13.6	20,728,809	100.0	44.0	14,391,845	100.0	15.6

注 地方財政状況調査をベースとして作成していますが、同調査では差し引かれる宮城県後期高齢者医療広域連合職員派遣職員分の人件費等を含め、市の一般会計の決算額に合わせて作成しています。

3. 令和3年度一般会計所屬別歳出決算一覧表

(単位：千円、%)

組 織 名	令 和 3 年 度 決 算 額	令 和 2 年 度 決 算 額	対 前 年 度 伸 び 率	所 属 課 等	令 和 3 年 度 決 算 額	令 和 2 年 度 決 算 額	対 前 年 度 伸 び 率
企 画 部	1,479,576	1,421,513	4.1	企 画 政 策 課	172,779	359,548	△ 51.9
				財 政 課	1,306,797	1,061,965	23.1
総 務 部	1,491,516	1,508,376	△ 1.1	総 務 課	734,643	728,199	0.9
				防 災 安 全 課	676,585	682,317	△ 0.8
				市 民 協 働 課	80,288	97,860	△ 18.0
市民生活部	1,100,549	6,380,836	△ 82.8	市 民 課	186,023	5,459,147	△ 96.6
				税 務 課	222,728	204,790	8.8
				生 活 環 境 課	691,798	716,899	△ 3.5
保健福祉部	8,753,732	6,247,146	40.1	長 寿 福 祉 課	799,619	784,300	2.0
				地 域 福 祉 課	1,354,884	1,001,857	35.2
				健 康 推 進 課	1,336,798	977,952	36.7
				子 育 て 支 援 課	5,262,431	3,483,037	51.1
経済産業部	897,303	1,074,103	△ 16.5	産 業 観 光 課	743,361	566,246	31.3
				農 林 振 興 課	153,942	507,857	△ 69.7
建 設 部	1,747,422	1,240,935	40.8	都 市 整 備 課	1,473,681	923,579	59.6
				都 市 計 画 課	214,475	205,482	4.4
				上 下 水 道 課	59,266	111,874	△ 47.0
教 育 部	2,254,177	2,674,750	△ 15.7	教 育 総 務 課	686,845	950,760	△ 27.8
				学 校 教 育 課	1,081,906	1,318,586	△ 17.9
				生 涯 学 習 課	485,426	405,404	19.7
市長公室 会計課 議会事務局	189,854	181,150	4.8	市 長 公 室	19,593	25,063	△ 21.8
				会 計 課	2,826	1,891	49.4
				議 会 事 務 局	167,435	154,196	8.6
計	17,914,129	20,728,809	△ 13.6		17,914,129	20,728,809	△ 13.6

4. 令和3年度一般会計目的別・性質別歳出決算一覧表

(1) 目的別一覧表

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額			特 定 財 源		一 般 財 源		
	金額	構成比	対前年度 伸び率	金額	構成比	金額	構成比	対前年度 伸び率
1 雑 会 費	158,865	0.9	9.0	0	0.0	158,865	1.5	9.0
2 総 務 費	2,271,945	12.7	△ 69.6	223,222	3.1	2,048,723	19.0	12.5
3 民 生 費	7,850,795	43.8	37.7	4,477,074	62.5	3,373,721	31.4	16.3
4 衛 生 費	1,590,050	8.9	21.7	514,971	7.2	1,075,079	10.0	△ 7.7
5 労 働 費	48,792	0.3	4.3	8,566	0.1	40,226	0.4	44.5
6 農 林 水 産 業 費	147,723	0.8	36.1	32,195	0.4	115,528	1.1	29.1
7 商 工 費	697,426	3.9	32.3	405,830	5.7	291,596	2.7	18.2
8 土 木 費	1,780,848	9.9	61.0	825,241	11.5	955,607	8.9	24.3
9 消 防 費	668,551	3.7	△ 1.0	10,914	0.2	657,637	6.1	2.9
10 教 育 費	2,182,099	12.2	△ 18.4	652,217	9.1	1,529,882	14.2	△ 10.7
11 災 害 復 旧 費	10,356	0.1	△ 97.9	0	0.0	10,356	0.1	△ 93.6
12 公 債 費	506,679	2.8	8.1	12,049	0.2	494,630	4.6	8.0
歳 出 合 計	17,914,129	100.0	△ 13.6	7,162,279	100.0	10,751,850	100.0	6.1

(2) 性質別一覧表

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額			特 定 財 源		一 般 財 源		
	金額	構成比	対前年度 伸び率	金額	構成比	金額	構成比	対前年度 伸び率
1 人 件 費	2,658,606	14.8	4.7	133,990	1.9	2,524,616	23.5	5.7
うち 職 員 給	1,691,187	9.4	3.8	133,943	1.9	1,557,244	14.5	4.2
2 物 件 費	3,159,561	17.6	5.2	1,143,558	16.0	2,016,003	18.8	△ 2.7
3 維 持 補 修 費	974,040	5.4	7.9	92,616	1.3	881,424	8.2	0.6
4 扶 助 費	5,096,866	28.5	35.8	3,694,797	51.6	1,402,069	13.0	23.9
5 補 助 費 等	1,853,627	10.4	△ 73.5	483,428	6.7	1,370,199	12.7	△ 2.7
6 公 債 費	506,679	2.8	8.1	12,049	0.2	494,630	4.6	8.0
7 積 立 金	644,713	3.6	56.4	11,631	0.2	633,082	5.9	57.4
8 投 資 及 び 出 資 ・ 貸 付 金	91,718	0.5	△ 0.9	54,988	0.8	36,730	0.3	0.3
9 繰 出 金	1,056,978	5.9	△ 0.5	212,011	3.0	844,967	7.9	△ 1.1
小計 (1~9の計)	16,042,788	89.5	△ 16.6	5,839,068	81.5	10,203,720	94.9	6.0
10 投 資 的 経 費 ((1)+(2))	1,871,341	10.5	25.5	1,323,113	18.5	548,228	5.1	7.4
(1) 普 通 建 設 事 業 費	1,860,985	10.4	86.7	1,323,113	18.5	537,872	5.0	54.7
うち 補 助 事 業 費	1,237,979	6.9	126.6	1,069,455	14.9	168,524	1.6	636.9
うち 単 独 事 業 費	585,950	3.3	38.5	253,658	3.5	332,292	3.1	11.7
うち 国 直 轄 事 業 負 担 金	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
うち 県 営 事 業 負 担 金	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0.0
うち 同 級 他 団 体 施 行 事 業 負 担 金	37,056	0.2	35.8	0	0.0	37,056	0.3	35.8
(2) 災 害 復 旧 費	10,356	0.1	△ 97.9	0	0.0	10,356	0.1	△ 93.6
歳 出 合 計	17,914,129	100.0	△ 13.6	7,162,181	100.0	10,751,948	100.0	6.1

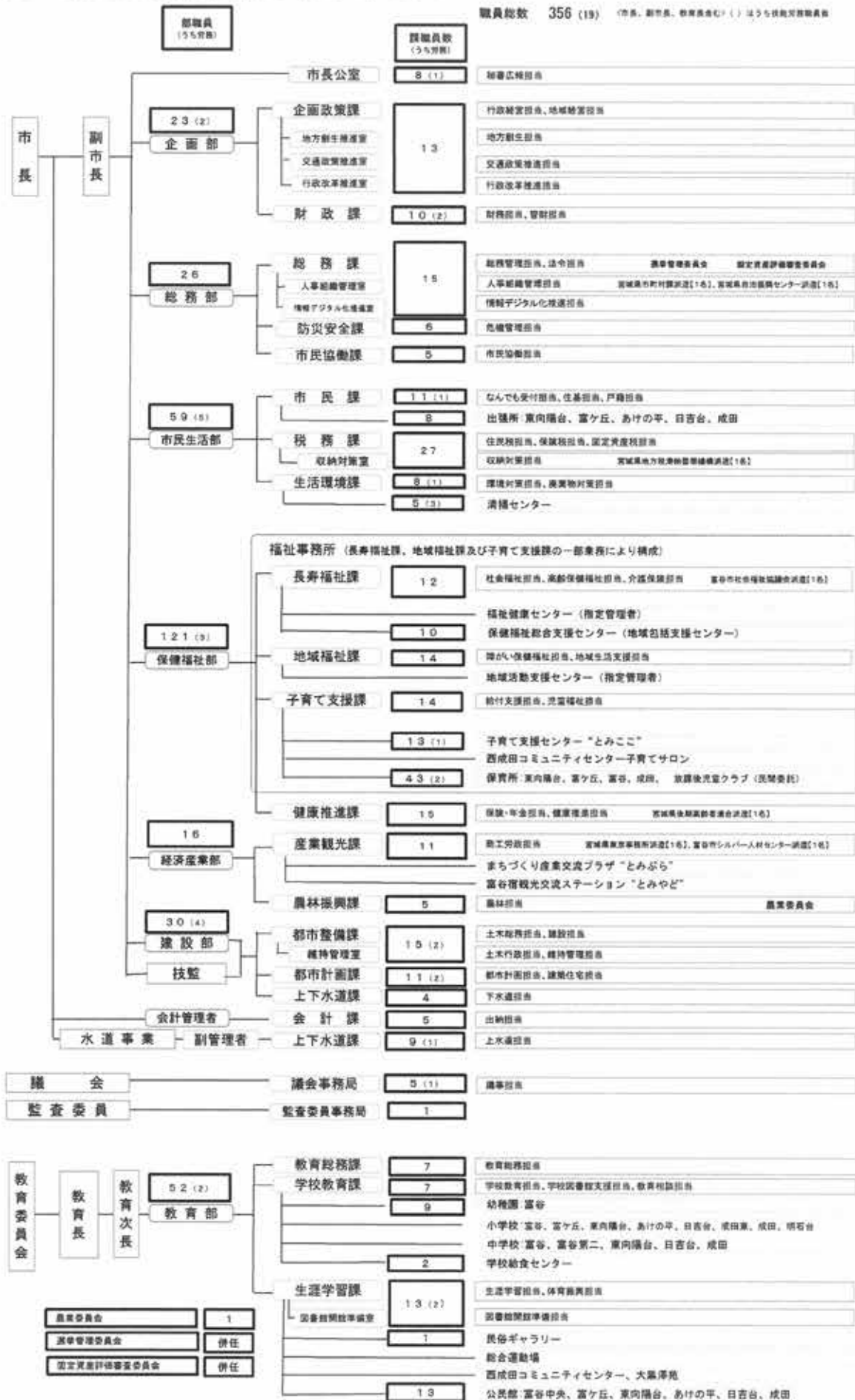
注 地方財政状況調査をベースとして作成していますが、同調査では差し引かれる宮城県後期高齢者医療広域連合職員派遣職員分の人件費等を含め、市の一般会計の決算額に合わせて作成しています。

〈再掲〉職員給の内訳

※職員給については、令和3年度地方財政状況調査によるもので、普通会計を対象にしています。

目的別				決算額	構成比	対象課（局）	備考	
1	議会費	1	議会費	27,502	1.6	議会事務局		
2	総務費	1	総務管理費	380,562	22.5	市長公室、企画政策課、財政課、総務課、防災安全課、市民協働課、会計課、出張所		
		2	徴税費	124,875	7.4	税務課		
		3	戸籍・住民基本台帳費	58,090	3.4	市民課		
		4	選挙費	8,231	0.5	総務課		
		5	統計調査費	26	0.0	企画政策課	時間外勤務手当	
		6	監査委員費	4,950	0.3	監査委員事務局		
3	民生費	1	社会福祉費	111,308	6.6	長寿福祉課、地域福祉課、健康推進課		
		2	老人福祉費	31,200	1.9	長寿福祉課		
		3	児童福祉費	297,870	17.6	子育て支援課、保育所		
		4	生活保護費	26,624	1.6	地域福祉課		
4	衛生費	1	保健衛生費	69,356	4.1	健康推進課		
		2	清掃費	72,603	4.3	生活環境課、清掃センター		
5	農林水産業費	1	農業費	35,011	2.1	農林振興課		
6	商工費			61,070	3.6	産業観光課		
7	土木費	1	土木管理費	23,717	1.4	都市整備課		
		2	道路橋りょう費	36,286	2.2	都市整備課		
		3	都市計画費	公園費	10,836	0.6	都市計画課	
			区画整理費等	33,365	2.0	都市計画課		
		4	住宅費	3,386	0.2	都市計画課		
8	消防費			3,747	0.2		時間外勤務手当	
9	教育費	1	教育総務費	78,321	4.6	学校教育課、教育総務課		
		2	幼稚園費	42,026	2.5	学校教育課（幼稚園）		
		3	社会教育費	117,401	6.9	生涯学習課、公民館		
		4	保健体育費	体育施設費等	19,307	1.1	生涯学習課	
			学校給食費	13,517	0.8	学校教育課（給食センター）		
合 計				1,691,187	100.0			

令和3年度富谷市行政組織機構図(7部2局21課9室) (R3.4.1現在)



5. 財政分析

(1) 財政健全化判断比率

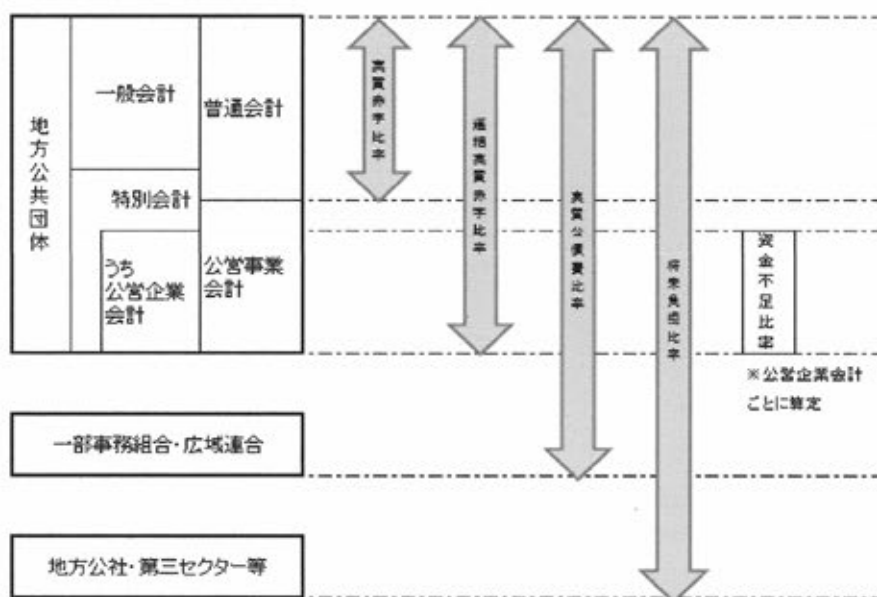
平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（以下「法律」といいます。）が公布され、この「法律」により地方公共団体の財政健全化に関する下記に掲げる五つの指標を公表することが義務付けられました。そのうち下記①～④の指標には「早期健全化基準」、「財政再生基準」という二つの基準が設けられ、①～④の指標のうち一つでも「早期健全化基準」以上となった場合、財政健全化計画を定め、毎年度、健全化の進捗状況等を議会に報告し、公表しなければなりません。また、①～③の指標のうち一つでも「財政再生基準」以上となった場合、財政再生計画を定め、毎年度、財政の再生に向けての進捗状況等を議会に報告し、公表することに加えて、基本的には地方債（事業の財源として充てる借入金）を借入れることができません。

いずれにしてもこれらの指標を公表することで、地方公共団体の財政状況の透明性を図り、実質的に国の管理下に置かれて財政再生を行う、いわば企業における倒産と同等の「財政再生団体」への転落を未然に防ぐことを目的としています。

〈五つの指標〉

- ①実質赤字比率：地方公共団体の一般会計等における赤字の程度を指標化したもの。
- ②連結実質赤字比率：公営企業会計を含む全ての会計の実質赤字額の合計を指標化したもの。
- ③実質公債費比率：一部事務組合・広域連合及び公営企業会計を含む全ての会計における借入金の返済額を指標化したもの。
- ④将来負担比率：地方公社や第三セクターを含めた、地方公共団体全体が将来支払っていかなければならない負担残高を指標化したもの。
- ⑤資金不足比率：公営企業会計の資金不足額を指標化したもの。

健全化判断イメージ



(2) 健全化判断比率

項目	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 令和2年度
実質赤字比率	-	13.28	20.00	-
連結実質赤字比率	-	18.28	30.00	-
実質公債費比率	△ 2.3	25.0	35.0	△ 2.2
将来負担比率	-	350.0		-

※赤字比率や将来負担比率は算定されないため、「-」表示。

(3) 資金不足比率

特別会計の名称	令和3年度	令和2年度
水道事業	-	-
下水道事業	-	-

※資金不足比率は算定されないため、「-」表示。

富谷市では、平成22年度から令和3年度決算のいずれにおいても基準以上となる指標はありませんでした。今後も将来にわたって安定的な行政運営が行われるよう、健全な財政運営に努めていきます。

(4) 主な財政分析指標等

(単位：千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
歳入決算額 ^{注1}	19,268,543	21,945,833	15,393,301
歳出決算額 ^{注1}	17,914,129	20,728,809	14,391,845
歳入歳出差引額	1,354,414	1,217,024	1,001,456
翌年度に繰り越すべき財源 ^{注2}	299,379	244,251	279,236
実質収支 ^{注2}	1,055,035	972,773	722,220
単年度収支 ^{注2}	82,262	250,553	△160,749
実質単年度収支 ^{注2}	412,042	300,088	666,258
基準財政収入額	5,959,568	6,192,068	5,866,646
基準財政需要額	7,824,903	7,448,178	7,087,465
標準財政規模	10,334,534	9,656,809	9,275,805
実質収支比率	10.2	10.0	7.7
経常収支比率 ^{注3}	(89.0) 89.0	(91.7) 91.7	(90.8) 90.8
実質公債費比率 ^{注3}	△2.3	△2.2	△2.0
財政力指数	0.81	0.83	0.83
住民一人当たりの歳出額	342	396	275

注1 地方財政状況調査をベースとして作成していますが、同調査では差し引かれる宮城県後期高齢者医療広域連合職員派遣負担金及び同後期高齢者広域連合派遣職員分の人件費等を含め、市の決算額に合わせて作成しています。

注2 地方財政状況調査をベースとして作成していますが、同調査では翌年度に繰り越すべき財源に含まれる当該年度10月以降に償還された災害援護資金を含めず、市の決算額に合わせて作成しています。

注3 総務省による確定の数値ではないため、見込みの数値です。
また、経常収支比率の上段括弧書きの数値は、臨時財政対策債を除いた場合の比率になります。

・用語解説

基準財政収入額

各地方公共団体の財政力を合理的に算定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定した額

基準財政需要額

各地方公共団体が合理的、かつ、妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法によって合理的に算定した額

標準財政規模

地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもの

実質収支比率

標準財政規模に対する実質収支額の割合

経常収支比率

地方公共団体における財政構造の弾力性を判断する上で重要な財政指標。人件費、扶助費、公債費のように容易に縮減することのできない経常経費に税、交付税等の経常的な一般財源収入がどの程度充当されているかを表したものの

実質公債費比率

起債制限比率では算入されていなかった「公営企業に対する一般会計繰出金」や「一部事務組合に対する負担金・補助金」などのうち公債費に充当されたもの等を含めた「実質的な公債費」に費やした一般財源の額が標準財政規模に占める割合

財政力指数

過去3年間の（基準財政収入額÷基準財政需要額）の平均値で表され、この数値が大きい程財政力が強いことを意味する。1.0以上になると普通交付税の不交付団体になる

(5) 財政分析指標・類似団体等との比較一覧

指標	決算年度	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
		富谷市			富谷市			富谷市		
1. 経常収支比率 (%)		89.0	91.7	93.5	98.1	90.8	93.9	97.9		
臨時財政対策債を満額発行した場合		81.2	86.3	—	—	85.2	—	—		
2. 財政力指数		0.81	0.83	0.72	0.72	0.83	0.74	0.72		
3. 実質収支比率 (%)		10.2	10.0	5.2	4.8	7.7	4.4	4.8		
4. 公債費負担比率 (%)		4.1	4.0	12.7	12.0	7.0	13.2	12.5		
5. 実質公債費比率 (%)		△ 2.3	△ 2.2	6.2	6.3	△ 2.0	6.3	6.4		
6. 人口一人当たり積立金残高 (円)		144,715	139,574	92,938	164,714	138,073	89,851	233,175		
① うち財政調整基金		94,373	88,197	34,675	47,374	87,027	34,611	52,508		
② うち減価基金		11	93	7,960	11,581	92	7,851	11,181		
③ うちその他特定目的基金		50,331	51,285	50,303	105,759	50,954	47,389	169,487		
7. 人口一人当たり市債現在高 (円)		118,059	118,980	361,297	618,715	119,417	352,037	612,789		

※地方財政状況調査、財政状況類似団体比較カード、市町村決算概要をベースとして作成。

(6) プライマリーバランスの推移

(単位：千円)

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
普通会計歳入総額：A	19,317,037	21,940,168	15,388,101	13,640,871	13,994,155	13,877,409	13,406,123	15,168,471	13,198,256	14,195,680
うち市債発行額：B	420,000	380,000	495,600	290,000	422,600	653,200	926,400	1,842,200	658,800	887,891
差引基礎的財政収支 C=A-B	18,897,037	21,560,168	14,892,501	13,350,871	13,571,555	13,224,209	12,479,723	13,326,271	12,539,456	13,307,789
普通会計歳出総額：D	17,962,623	20,723,144	14,386,645	12,447,587	13,229,549	13,107,796	12,732,426	14,203,007	12,334,396	13,058,352
うち公債費：E	506,679	468,629	753,992	518,829	473,316	473,074	472,209	447,684	429,418	494,473
差引基礎的財政支出 F=D-E	17,455,944	20,254,515	13,632,653	11,928,758	12,756,233	12,634,722	12,260,217	13,755,323	11,904,978	12,563,879
プライマリーバランス G=C-F	1,441,093	1,305,653	1,259,848	1,422,113	815,322	589,487	219,506	△ 429,052	634,478	743,910

(7) 市債発行額及び公債費に係る収支（※正味プライマリーバランス）の推移

(単位：千円)

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
市債発行額：A	420,000	380,000	495,600	290,000	422,600	653,200	926,400	1,842,200	658,800	887,891
公債費：B	506,679	468,629	753,992	518,828	473,316	473,074	472,209	447,684	429,418	494,473
内 元金	470,512	429,814	710,831	470,672	420,230	415,298	410,232	390,712	368,717	429,051
訳 利子	36,167	38,815	43,161	48,156	53,086	57,776	61,977	56,972	60,701	65,422
正味プライマリーバランス C=B-A	86,679	88,629	258,392	228,828	50,716	△ 180,126	△ 454,191	△ 1,394,516	△ 229,382	△ 393,418

※正味プライマリーバランス（本市独自財政分析用語）

(8) 基金（特定目的基金）残高の推移

(単位：千円)

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
1. 財政調整基金	4,954,040	4,624,260	4,574,725	3,997,718	3,620,700	3,596,906	3,935,323	3,613,468	4,088,656	4,187,147
2. 減債基金	565	4,854	4,850	204,819	204,814	33,859	33,847	33,838	33,829	33,820
3. その他特定目的基金	2,642,074	2,688,904	2,678,495	2,692,090	2,669,282	2,737,529	2,742,503	2,492,240	2,289,490	1,942,598
合 計	7,596,679	7,318,018	7,258,070	6,894,627	6,494,796	6,368,294	6,711,673	6,139,546	6,411,975	6,163,565
対前年度比増減額	278,661	59,948	363,443	399,831	126,502	△ 343,379	572,127	△ 272,429	248,410	771,136

※（6）～（8）は地方財政状況調査ベースとして作成。

富谷市の財政(決算)が「100万円」だったら？

令和3年度の富谷市一般会計決算額は、歳入192億6,854万3千円、歳出179億1,412万9千円になりました。億単位での金額は、なかなか馴染みが薄いことから、決算額を「100万円」と見立てて、その構成をわかりやすく分析してみました。



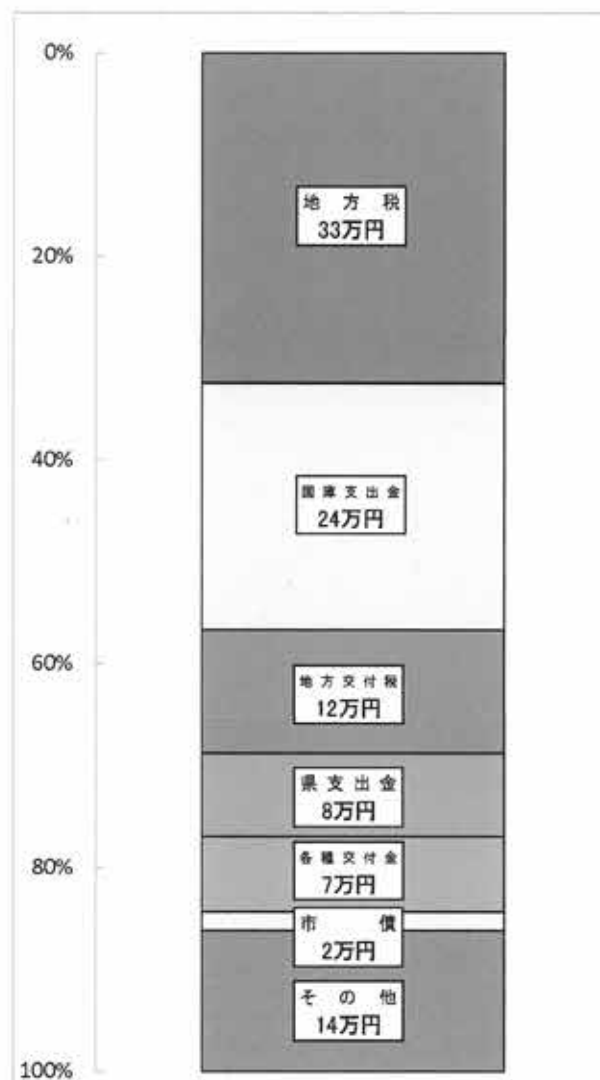
歳入(収入)

最も多かった収入は、「地方税」の33万円でした。これは、市民の皆さまや市内に立地している企業から納められた市民税や法人市民税、固定資産税などで、自主的な財源とも呼ばれています。

次に多かった収入は、「国庫支出金」の24万円です。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける地域経済や住民生活を支援するための事業などに充てるため、国から交付される資金です。

その他の収入としては、全国の各自治体が標準的な行政サービスを提供できるよう国から交付される「地方交付税」、市が行うサービスの財源として交付される「県支出金」があります。

「市債」は、「借金」のことをいい、道路整備など市民の方々に広く負担をお願いする場合に借入れしています。しかし、「市債」に依存しすぎると財政悪化をもたらすこととなるため、将来的な財政負担を考慮し、バランスよく借入れを行うこととしています。



自主財源



45万円

依存財源



55万円

市が、自らの意思で収入できるお金のことです。地方税（市税等）、繰入金、使用料・手数料、繰越金、諸収入などです。この財源が多いほど自主自立した行政サービスが提供できるといえます。

自主財源とは反対の財源であり、国からの地方交付税、国・県支出金、市債などです。



歳出（支出）

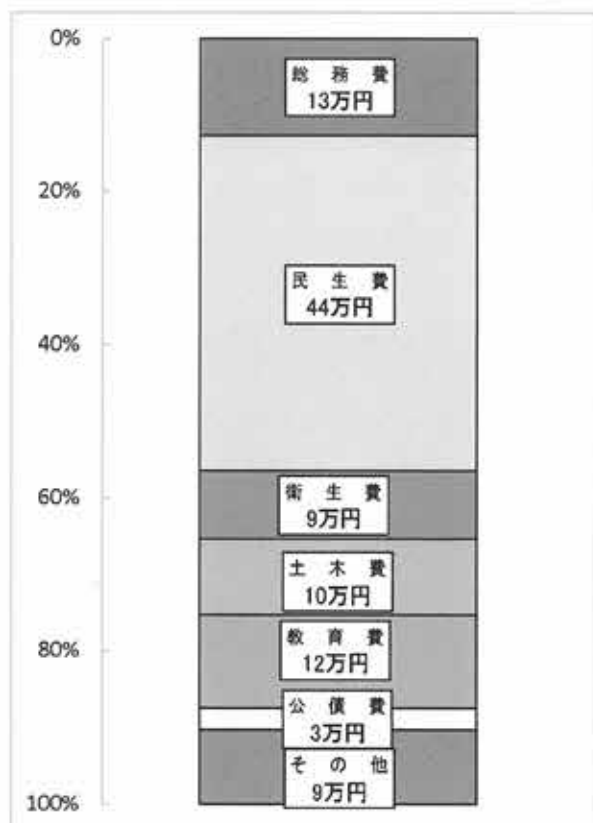
最も多くお金を使ったのは、「民生費」の44万円です。「民生費」は子どもや高齢者、障がい者などの社会福祉などにかかる経費です。

次に多いのは、「総務費」の13万円です。「総務費」は庁舎管理、徴税、情報システムなど市の運営全般にかかる経費です。

以下、「教育費」の12万円、「土木費」が10万円、「衛生費」が9万円となっています。

富谷市の歳出決算において特徴的なのは、借金に関する経費が少ないことです。「公債費」の3万円は、いわば借金の返済金であり、この金額が歳出全体に占める割合が少ないため、弾力的で持続的な行政サービスが可能となっています。しかしながら、全国の自治体を取り巻く財政環境は厳しさを増しております。

限られた歳入の中で、効率よく住民ニーズに沿ったまちづくりを進めていくために、健全財政を維持する努力をまいります。



義務的経費



46万円

人件費や公債費（借金の返済金）など行政サービスにおいて、その支出が義務付けされているものです。

投資的経費



11万円

資本形成（道路・施設等）のため、将来に残すものとして使ったお金です。義務的経費が少なければ、この経費に使える余裕が生まれます。

その他経費



43万円

施設管理等の「物件費」や各種団体への補助金・負担金、特別会計運営に必要な繰出金などが該当します。

2. 令和3年度主要事業成果

第1編 暮らしを自慢できるまち！

第1章 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

【商工業・雇用】

・多様な企業の誘致を推進し、雇用機会の拡大、就業環境の整備を図ります。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	企業誘致事業	4,350,766	継続	企業誘致の実績としては、本社工場の立地表明が成田地区で1件行われた。また、企業立地奨励金により1社に対して4,190千円の支援を行い、さらに条例改正により企業立地促進奨励金と用地取得奨励金の補助拡充を行った。例年開催している宮城県企業立地セミナーは、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、市内企業を中心に企業訪問を展開し、情報交換・収集に努めた。 また、市内企業や関係企業に対し、市の情報発信や市内企業の紹介及び参加企業からの情報提供を行う「富谷市企業向けメールマガジン」の配信を開始した。 今後の取組 市から派遣している宮城県東京事務所の職員と連携をしながら、補助を拡充した企業立地奨励金など、インセンティブとなる優遇制度を積極的にPRし、造成が開始された高屋敷西地区を中心に、企業誘致を展開していく。 また、定期的な企業訪問の実施及び「富谷市企業向けメールマガジン」の活用やビジネス交流会の実施など、更なる企業間のネットワーク構築と新たなビジネスの創出を目指す。	経済産業部 産業観光課
2	労働雇用対策事業	14,450,000	継続	シルバー人材センターと連携して富谷茶による地域活性化と会員就業創出事業に取り組むなど、高齢者の就労機会の拡充を図った。 また、週1回のペースで市ホームページにハローワークの最新求人情報を掲載したほか、富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）を定期的に利用するみやぎ人財活躍応援センター（みやぎシゴトサポーター）との情報共有を行い、地元雇用の拡大を図った。 今後の取組 今後も継続して富谷市シルバー人材センターの運営や活動の支援に努め、高齢者の生きがいづくりを図る。 また、地元雇用の創出にあたっては、ハローワーク等の関係機関をはじめ、地元企業との連携を強化しながら、更なる拡大を図っていく。 さらに、富谷市シルバー人材センターが運営する「ギャラリーなごみ」をしんまち地区の氣仙屋（旧脇本陣）へ移転し、女性会員活躍の場の拡大を図る。	経済産業部 産業観光課

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	移住支援事業	27,869,483	拡充	令和2年度に引き続き、令和3年度も富谷宿観光交流ステーション（とみやど）の運営に向けて、新たに3人を地域おこし協力隊に委嘱した。また、農業クリエイターとして2人を委嘱し、本市の協力隊は8人体制となった。令和4年4月には、令和3年度における隊員の活動報告会を実施し、隊員の活動を広く周知した。 また、都市圏からの移住・定住に向けて、宮城県主催の「宮城まるごとオンラインフェア」に参加し、本市のPRとともに、移住促進を図った。	企画部 企画政策課 経済産業部 農林振興課
				今後の取組 地域おこし協力隊の育成を図るとともに、必要に応じて、地域課題の解決に資する人材の募集・採用業務を行っていく。 また、宮城県の移住支援金については、県と連携を図りながら、周知に努め、利用促進に努める。	

【起業支援】

・起業・創業にチャレンジできるサポート体制を整備します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業	29,062,356	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）の利用が制限されることがあったものの、感染拡大防止対策を徹底した上で、事業を行った。 まず、令和3年度の第4期富谷塾では、215人の塾生が在籍し、定例富谷塾や各種セミナーの開催に加えて、塾生のニーズと伴走支援メニューを体系化し、新たなビジネス創出を目的とした5か月間の専門支援プログラム「富谷塾ベンチャー創出プログラム」や3日間でビジネス創造までの一連の流れを体験的に学ぶ「Startup Weekend富谷」を初開催し、IT関連や飲食業など17人（法人4、個人事業主13）が起業した。 IT企業等のサテライトオフィス誘致を目的とした、行政課題・地域課題を官民協働で解決に導く実証事業「おためしイノベーションTOMIYA（OIT）」においては、IT企業含め、4社と担当課との計4件の実証に取り組んだ（新型コロナウイルス感染症の影響により令和4年度へ継続）。 なお、TOMI+への入居企業は、フリー席に3社（法人2、個人1）が新たに入居した。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組 第5期富谷塾では出会いと学び合いの機会を充実させ、よりチャレンジできる環境整備に努め、新しいビジネス創出の支援を行う。 また、OITにて、民間のサービス・テクノロジーを活用し、地域課題や行政課題の解決策やサービス検証等の実証事業を行い、サテライトオフィス誘致や地域経済の活性化を目指す。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	中小企業制度融資事業	54,201,204	継続	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、中小企業等の経営の安定化と発展を図るため、中小企業振興資金の融資斡旋制度により、融資に係る保証料の補給を28件、支払利子への利子補給を118件（R3新規23件）行った。また、創業支援資金融資利子補給制度により、11人（R3新規3人）の事業者へ利子補給を行った。 日本政策金融公庫が融資を行う小規模事業者融資制度「マル経融資（経営改善貸付）」については、2人の事業者に対し、支払利子の1/2（以内）の補給を行った。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			起業創業支援を強化するため、創業支援資金融資等利子補給金の継続した運用を図るとともに、今後も本市の中小企業への効果的な融資により、地域内での就業機会の創出をはじめ、地域経済の活性化の促進に努める。 また、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者等への効果的な支援を実施する。		
3	店舗取得・改修促進事業	1,800,000	継続	地域商業の振興及び新たな雇用の創出と商店の活性化を図るため、市内の空き店舗等を利用した出店を促進し、集客力と市内の回遊性を高めることを目的とした補助事業であり、令和3年度は3件の実績となった。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			富谷塾生などの起業家へ積極的な情報提供とニーズを的確に把握しながら、効率的かつ円滑な誘導に努める。		
4	サテライトオフィス定着促進事業	5,280,000	新規	富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）専用ホームページのリニューアルを行い、サテライトオフィス誘致のための情報発信の強化を図るとともに、サテライトオフィス進出企業が、移住定住や地元雇用までつながるよう、チャレンジしやすい環境整備等の調査及びITスキル向上コースの開発等のセミナーを実施した。 また、地域資源の活用により地域を活性化させるとともに、各種交付金等の活用を検討するため、地域再生計画作成プロジェクトチームを設置した。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			宮城県産業デジタル推進課等の関係機関と情報共有しながら、サテライトオフィス等進出支援補助金の利用促進と併せて、サテライトオフィス企業の誘致を図る。 また、各種交付金や企業版ふるさと納税を積極的に活用するため、地域再生計画の申請に向けて準備を進める。		

第2章 “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

【農業】

- ・ブルーベリーの生産拡大とともに、新たな特産品の開発を推進します。
- ・農業生産者に対するきめ細かい支援策の強化を推進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	ブルーベリー産地 拡大事業	618,153	継続	市の特産品であるブルーベリーの栽培面積及び販路の拡大を図るため、新規植栽・補植用苗木等の購入助成を行い、栽培面積は約56,600㎡から約57,300㎡へと拡大した。 また、6年目となる一般市民のボランティアの方々による「ブルーベリーサポーターズ」を結成し、収穫作業の支援を行った。春先の凍霜害被害や収穫時期の日照不足と長雨による天候不良のため、収穫量は、約1,600kgで前年度比で500kgの減となった。 ブルーベリースイーツフェアでのスイーツや学校給食の食材としての活用や、ゆうパックによる県内に向けたブルーベリー商品の販売を行い、消費拡大とPRを行った。 日本郵便株式会社との地域包括連携協定のもと、宮城学院女子大学の協力により、新商品「ブルーベリーパスタ」を開発し、販売を開始した。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組	
				新商品「ブルーベリーパスタ」は、各種商品とともに、ゆうパックによる宅配を中心として、県内はもとより全国各地への販路拡大を図っていく。また、ブルーベリースイーツフェア等各種イベントによる消費拡大に努める。苗木や資材等購入助成やブルーベリーサポーター事業を継続し、生産者の増加や栽培面積の拡大、収穫量の増加を図る。また、栽培環境の充実を図るため、有害鳥獣に対する被害防止について、対策を講じていく。	
2	特産品定着推進 事業	3,171,121	拡充	「スイーツのまちとみや」を目指し、ぶどう、いちじく、くり、ラズベリー、いちごの苗木や資材の購入助成を行い、生産者の増加と栽培面積の拡大を図った。また、とみやスイーツの食材としての活用など販路拡大とPRを行った。 富谷茶については、富谷茶復活プロジェクト事業による在来種の栽培面積の拡大を目指すため、栽培技術協力を締結した日本紙通商株式会社に挿し木苗づくりを委託し、市内の農家2軒で苗木2,000本の定植を行った。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組	
				収穫された果樹を市内スイーツ店等に原材料として出荷し、とみやスイーツとしての利活用を継続していく。また、新たな特産品の食材となる対象作物の拡大や推進作物の栽培面積拡大に向けて、苗木等の助成を継続しながら、消費及び販路拡大を図る。 富谷茶復活プロジェクト事業では、在来種の挿し木苗3,000本の苗作りの委託を継続するとともに、生産者への栽培等に係る指導や支援を行いながら、生産者の増加及び栽培面積の拡大を目指すとともに、商品開発を推進していく。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	とみやはちみつプロジェクト事業	739,500	継続	とみやはちみつプロジェクト推進協議会が取り組む「とみやはちみつプロジェクト事業」では、寒冷地域での蜜蜂の越冬は管理等が難しいとされているが、経験を重ね11群のうち、9群の約8割が越冬した。養蜂では、市民サポーター29人の協力をいただき実施した。収穫量は令和2年度を上回り、260kgとなった。採取した蜂蜜は、市内スイーツ店のスイーツの食材やふるさと納税の返礼品としての活用や一般店舗での販売を開始した。 市内の小学校や高校を対象に、食育及び環境教育の一環として、養蜂や環境についての出前講座の実施や「みつ源」対策として、「花いっぱい運動」等を行った。 また、養蜂事業等を展開する法人において、地域おこし協力隊・農業クリエイターを活用することで、事業拡大が図れた。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組 とみやはちみつプロジェクト推進協議会と連携し、事業を推進するとともに、同事業及び養蜂家育成事業補助金等について周知啓発に努め、養蜂家の育成と供給量の拡大に努めていくとともに、法人による地域おこし協力隊・農業クリエイターを活用した養蜂事業等を支援していく。 また、食育や環境教育等に係る出前講座等を行いながら、養蜂事業の推進に努めていく。スイーツの食材としての安定供給や農商工連携による新商品の開発、市場出荷も見えるよう収量の拡大を目指す。また、蜂蜜の安定した収量の確保を図るための「みつ源対策」として市内全域での花の植栽を推進する。	
4	とみや地産地消推進事業	635,752	継続	都市近郊による農業の立地環境を生かした、生産者と消費者の顔が見える販売体制の確立のために支援を行った。直売活動や学校給食への食材の出荷など、地産地消の取組に参加いただいた25人に対して、有機肥料を提供し、環境にも優しい安全安心な農作物の栽培支援を行った。また、産直・直売活動組織である「おんないん会」による3店舗での「インショップ」の直売では、コロナ禍の中でも売り上げは好調である。学校給食への地場農作物の出荷を支援し、地産地消の推進を図った。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組 本市の地の利を生かした都市近郊型農業を生かし、「安全安心で新鮮な野菜の直売」により、地産地消を推進し、おんないん会によるインショップでの直売活動を支援するとともに、インショップによる直売活動の拡大やイベント等での直売活動を行いながら、地場産農作物等のPRや周知等も図り、地元農作物等の販売促進に向けた取組を推進していく。また、おんないん会の新たな会員数増加に努め、農作物等生産量の増加に繋がる取組を推進する。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
5	農作物有害鳥獣等駆除事業	15,366,695	継続	有害鳥の予察捕獲による農作物の被害の軽減及び突発的な有害獣の出没による被害防止を図った。特にイノシシについては、実施隊等による捕獲数が令和2年度より8頭減少し71頭となり、うちICT機器を活用した捕獲は、令和2年度より10頭増加し23頭となった。鳥獣被害対策実施隊員は、新たに2人が加入している。 また、農作物被害防止対策として、10地区で27人の農家に対して電気柵等の設置助成を行ったほか、宮城県鳥獣被害防止対策支援事業を活用して行政区ごとに取り組む物理柵の設置は、新たに6地区で19.8kmの設置支援を行い、令和2年度以前に設置した6地区に対しても、物理柵43.0kmの維持管理における支援を行った。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組	
				ICT機器を活用した捕獲罠等の導入による捕獲頭数の増加を目指しながら、農家への電気柵等設置助成及び宮城県鳥獣被害防止対策支援事業を活用し、物理柵等の設置による被害防止対策を進めていく。 また、設置及び維持管理の支援についても継続しながら、被害防止や捕獲等への取組を強化するため、鳥獣被害対策実施隊の増員等による充実を図り、被害の拡大防止に努めていく。	
6	認定農業者育成事業	2,619,679	継続	後継者不足の解消に向けて、担い手となる認定農業者や各地域の農業者を対象とした研修会等が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、認定農業者に関する事業の図書を配布し事業啓発を行った。 生産調整による認定農業者への集積支援や新規就農者の確保・育成のため、関係機関と連携しながら農業経営の支援や指導等を行った。また、人と農地の課題解決のための「人・農地プラン」計画等の実質化を行った。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組	
				担い手の経営の安定化のために関係機関と連携し、経営の支援をしていく。また、農地集積の促進を図るため農業委員会と連携して支援し、担い手による農作業と経営の効率化を図るよう指導・支援を行う。 また、「人・農地プラン」による地域農業の中心となる認定農業者や農業法人等との連携を図りながら、中心経営体となる組織づくりを推進する。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
7	レクリエーション農園支援事業	5,500	継続	都市近郊にある休耕田等の農地の有効利用策として実施されているレクリエーション農園では、小面積の農地を活用し、市民のレクリエーションや憩いの場として、野菜や花などの栽培が行われている。市内にはレクリエーション農園が25か所あり、183人に利用されている。利用者と農園主との利用手続き等に対する支援を行い、市民のレクリエーションの場及び農地の有効利用を図った。 新たな市民農園の設置に向けた先進的な市民農園等の情報収集を行った。	経済産業部 農林振興課
				今後の取組	
				市民がレクリエーションの場として、都市近郊で気軽に野菜や花などが栽培できる、新たなレクリエーション農園の増加を目指しながら、農地の有効利用の推進を図るとともに、新たな市民農園の設置に向け調査等を行い、先進的な市民農園等の視察や民間のノウハウ等を生かした市民農園の取組も視野に積極的に推進していく。	

【商業・観光】

- ・商店街の活性化や観光振興に向け、しんまち地区の活性化を推進します。
- ・富谷の歴史・文化資源や物産・イベントなどを活かした、地域の魅力づくりを推進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	街道まつり運営事業	0	継続	地方創生推進交付金を活用し、開宿400年記念富谷宿街道まつり（本まつり）の開催に向け準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、実行委員会での協議の結果、やむを得ず中止した。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組	
				新たな観光拠点 富谷宿観光交流ステーション(とみやど)をメイン会場とした「富谷宿 街道まつり」開催に向け、感染拡大防止対策を講じながら、準備を進める。 なお、今後は、多様な視点から新たな発想を取り入れ、効果的かつ効率的なまつりの企画運営を行うため、民間事業者が持つノウハウを最大限活用して実施する。	
2	観光物産振興対策事業	1,079,847	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントが中止となったが、宮城黒川地域地場産業振興協議会主催「Native of MIYAKURO～Nine marché～」への参加など、可能な限りのPR活動を実施し、地場製品の販売促進と交流人口の拡大に資する取組を行った。 また、公式キャラクター「ブルベリッ娘&ブルビヨ」のPRグッズの製作及び販売を行い、本市の観光物産振興を図った。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組	
				今後も継続して地場製品のPR活動を行い、地域経済の活性化を図るとともに、新たな観光資源の獲得に努める。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	富谷宿観光交流 ステーション運営 事業	27,088,469	継続	新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、オープンを延期していた富谷宿観光交流ステーション(とみやど)を5月15日にオープンした。 地域おこし協力隊と連携をしながら、感染拡大防止対策を徹底し、とみやどの運営管理及びイベントの企画・立案による集客を行い、オープンから約5か月の10月16日に年間目標来場者数10万人を達成した。 また、とみやどを拠点にした地域商社である株式会社1038の設立や、市の新たな特産品となり得る商品開発に向けたテストマーケティングなどを行うなど、将来的なとみやど運営の自立化に向けて取り組んだ。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			公募により令和4年度から2年間、地域商社である株式会社1038をとみやどの指定管理者として指定し、民間事業者のノウハウを活用した効果的な運営管理を行っていく。 また、株式会社1038と連携しながら、集客イベント等の企画運営や新たな商品開発を通して、更なる集客に努めるとともに、地域産業の振興を図る。 さらに、とみやど内における感染拡大防止対策として、飲食時の三密回避を図るとともに、天候への対応範囲を広げるため、マルシェ広場に屋根を設置し、併せて近隣住民への防音対策として防音パネルを設置する。		
4	しんまち活性化 事業	7,707,700	継続	地方創生推進交付金を活用した取組として最終年度となった令和3年度は、令和元年度に策定したビジョン「新たな交流のまち開きへ」の具体化に向けた取組を行った。 「富谷しんまち活性化協議会」では、しんまちマップやARスポットの設置、内ヶ崎作三郎氏を題材とした紙芝居、富谷かるたの作成などに加え、令和4年度からの「富谷しんまち活性化協議会」の在り方について、協議を行った。	企画部 企画政策課
			今後の取組		
			各分科会での取組や、富谷宿観光交流ステーション（とみやど）とのイベント連携、新たな地域資源の発掘など、しんまち活性化の取組を進めるとともに、市民参加から、より市民が主体的となる協議会の在り方について、引き続き協議を行っていく。 また、協議会で作成したマップ、ARスポットや小学校に配布した紙芝居、かるたなどを活用し、しんまち地区の歴史について周知を図る。		

※No.4の「しんまち活性化事業」は、R3一般会計当初予算書において、「企画調整事務」の一部として計上しています。

【観光・地域振興】

- ・「スイーツのまち」をシティブランドとして確立し、富谷の魅力を発信していきます。
- ・「とみやシティブランド」を確立し、発信していきます。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	とみやスイーツ活性化事業	109,807	継続	とみやスイーツ基金を活用して講師を招き、富谷小学校において、養蜂（はちみつプロジェクト）を通した環境教育に資する授業を実施した。 また、とみや子育て支援センター（とみここ）で開催しているウェルカムパーティーや東向陽台公民館で行った講座にて、とみやスイーツの配布とPRを行った。 さらに、市内スイーツ店の協力を得て、小学生を対象として、スイーツを使ったメニューの考案や製造体験の機会を設けた。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組	
				学校や子育て支援施設等において、子ども又は親子を対象として、「とみやスイーツ」や特産品をテーマに、市内スイーツ店や生産者等の協力を得る活動に対して、とみやスイーツ基金を活用した支援を行うことで、「とみやスイーツ」のブランド力強化を目指す。	
2	スイーツフェア事業	1,257,862	継続	特産品であるブルーベリーの生産量と販路拡大を図るため、12回目となるブルーベリースーツフェアを7月に開催した。秋のスイーツフェアにおいては、令和2年度に引き続き、新たな特産品としての知名度や価値を高めるため、いちじく・シャインマスカット・ハチミツを対象食材に加え、10月に開催した。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組	
				6次化の推進と関係人口の拡大という2つの軸を達成するため、ブルーベリー・いちじく・シャインマスカット・ハチミツの特産品としての定着と、そのブランディングツールとなる「とみやスイーツ」の高付加価値化を目指す。さらに、とみやスイーツのブランド形成を目指し、民間事業者が持つノウハウを活用して、「スイーツのまち=とみや」魅力発信プロジェクトに取り組む。	
3	スイーツのまち推進事業	0	継続	「とみやスイーツ」を核とした6次化推進・関係人口の拡大を目的としたまちづくりを行う上で、2日間のイベント「とみや国際スイーツ博覧会」に代わる継続的な情報発信と更なるブランド強化に向け、「とみやスイーツLAB」及び「とみやスイーツコンテスト」といった新たな事業を計画した。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、令和4年度への延期を決定した。	経済産業部 産業観光課
				今後の取組	
				「スイーツのまち=とみや」のブランディング強化に努めるとともに、今後整備予定のスイーツステーションの効果的な運営も見据えながら、とみやスイーツに対して愛着を持つ「とみやスイーツファン」を増やす機会を創出することを目的とした多角的な事業を展開する。さらに、とみやスイーツのブランド形成を目指し、民間事業者が持つノウハウを活用して、「スイーツのまち=とみや」魅力発信プロジェクトに取り組む。	

第3章 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります

【公共交通】

- ・生活圏域の実態を踏まえた公共交通のあり方について検討していきます。
- ・市民ニーズに対応した、利便性の高い市民バスや交通空白地域でのデマンド型運行を進めます。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	新公共交通システム推進事業	9,010,800	継続	「都市・地域総合交通戦略(基本計画)」の柱として位置付けている、「新たな軸となる基幹公共交通の整備」について、「富谷市官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査業務」を実施し、仙台市泉中央駅から富谷市明石台地区までの約3.4km区間において、地下鉄整備を想定した場合のルート案や採算性、PFI方式による整備手法の検討を行った。	企画部 企画政策課 交通政策推進室
				今後の取組	
				「都市・地域総合交通戦略(基本計画)」に基づき、各種施策の展開を図るとともに、「新たな都市交通システムの事業化検討調査業務」を実施し、地下鉄整備に向けた事業の実行性・成立性や、官民連携による地下鉄整備の可能性の検討を行う。 また、「富谷市総合交通検討委員会」において、達成状況の評価検証を実施し、適宜必要な見直しを進める。	
2	市民バス乗り継ぎ運行事業	840,160	継続	「イオン富谷店」を拠点とした市民バスと民間路線バスの低額乗り継ぎ運行を継続して実施し、仙台市泉中央駅への交通利便性の向上を図った。(イオン富谷店～泉中央駅:大人片道100円) また、事業周知のためのチラシを市役所及び各出張所の窓口や公共的な施設などで配布し、乗り継ぎ運行の利用促進に努めた。	企画部 企画政策課 交通政策推進室
				今後の取組	
				「イオン富谷店」を拠点とした乗り継ぎ運行を継続実施し、更なる泉中央駅への交通利便性向上のため、民間事業者と連携して運行ダイヤの調整を図るとともに、事業周知チラシの配布場所を拡大し、更なる利用促進に向けた取組を推進していく。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	市民バス運営事業	57,632,032	継続	主要な公共交通機関である民間路線バスを補完し、市内の交通空白地域の解消や、主要施設間の連結を図り、継続して利便性の高い地域交通の環境形成を行った。 また、令和3年4月からバス停「とみやど前」を新たに設置し、施設来所者の利便性向上と公共交通の利用促進策を推進した。	企画部 企画政策課 交通政策推進室
			今後の取組		
			公共施設の開所に向けた市民バスの再編について、関係部署との協議検討を進めるとともに、有料広告を活用した周知啓発や、バス乗り換え案内サービスの充実により利便性の向上を図るなど、引き続き、市民ニーズに対応した市民バスの運行に努める。 また、富谷・黒川圏域の広域的なバスの連携について、総務省の「多様な広域連携促進事業」を活用し、圏域における課題の整理や広域的なバス路線再編の検討を進めていく。		
4	デマンド型交通運行事業	11,385,268	継続	交通戦略に基づき、市民バスの再編と併せて、市民バスの代替手段となる新たな交通網の形成を目指し、市内の東部及び北部区域を対象に、デマンド（予約乗合）型交通（ワゴン車タイプ3台）を導入し、令和2年10月から継続して実証運行を行った。（北部区域8便/日、東部区域16便/日）	企画部 企画政策課 交通政策推進室
			今後の取組		
			令和4年4月から本格運行となるため、引き続き、対象地域への事業周知や啓発に努めるとともに、関係機関と連携し、デマンド型交通における課題や評価を検証しながら、運行地域の拡充など、利便性の向上と利用促進に向けた見直しを図っていく。		

【道路】

- ・誰もが利用しやすい道路ネットワークの充実・強化を推進します。
- ・歩行者や自転車利用者の安全が確保された身近な道路の整備を推進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	市道穀田三ノ関線道路改良事業	194,656,131	継続	富谷小学校及び富谷中学校周辺の朝夕の通勤通学時間帯に発生する慢性的な渋滞を解消し、児童・生徒の安全と車両の円滑な通行を確保するため、平成29年度に用地買収と物件補償に着手し、平成30年度から工事に着工した。 令和3年度においては、令和2年度繰越工事の延長590m区間の工事及び当該年度の延長651m区間の工事を実施した。	建設部 都市整備課
			今後の取組		
			国の交付金を最大限に活用しながら、令和4年度も継続して工事を実施し、未買収の用地契約を成立させ、早期の完成を目指す。		

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	側溝整備事業	176,790,900	拡充	太子堂、富ヶ丘、鷹乃杜、とちの木4地区とその他の市道において、側溝の有蓋化による排水機能の改善と歩行者の安全を確保するため、大幅に予算を拡充し、有蓋化工事を実施した。 令和3年度においては、太子堂地区及び市道太子堂線の有蓋化工事が完成した。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				令和4年度においては、「公共施設等適正管理推進事業債」から「緊急自然災害防止対策事業債」の活用に変更し、継続して計画的な有蓋化工事を推進する。	
3	市道維持管理事業	360,932,588	継続	市道において、歩行者や通行車両の安全と快適性を確保するため、側溝の破損や劣化した舗装の補修、市道敷の除草、街路樹の剪定等を実施した。 また、令和3年度から維持管理室を設置し、道路施設の小規模修繕を業務委託方式に切り替えたことで、補修・修繕の迅速化を図った。 冬期間に実施した除融雪業務については、強い寒気の影響で低温が続く、例年以上に降雪量も増えたことから、令和2年度同様大幅に経費を要した。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				適切な市道の維持管理のため、定期的に道路パトロールを実施し、道路の破損箇所等の早期発見に努める。 また、郵便局等と連携を図り、情報提供をいただきながら安全な道路の維持に努める。	
4	橋梁維持管理事業	147,896,900	継続	国の補助事業を活用し、橋梁の定期点検の実施と点検結果を踏まえた修繕工事を実施した。 定期点検については、42橋を実施し、長寿命化修繕工事については、富谷橋ほか2橋の工事を実施した。 また、工事においては、「子どもにやさしいまちづくり」の一環として、市内の小学生の意見を取り入れ、橋桁の塗装色を決定した。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				令和4年度においては、令和3年度から繰越した大型カルバートの点検・計画策定及び橋梁修繕設計業務の完了のほか、鎌田橋ほか1橋の長寿命化修繕工事及び橋梁修繕設計業務を実施し、良好な維持管理と延命化に努める。	
5	市道三ノ関大崎線道路改良事業	171,975,311	継続	道路幅が狭小な区間において、仙台北部中核工業団地へのアクセス道路として、朝夕の通行車両の増による渋滞の解消と冠水対策を行い、安全で円滑な交通環境を確保するため、令和元年度に用地測量等に着手し、用地買収及び物件補償については、令和2年度から令和3年度で完了した。 また、工事においては、令和元年度及び令和2年度の繰越工事として、延長500m区間の工事を実施した。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				令和4年度も継続して工事を実施し、早期の完成を目指す。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
6	市道幹線道路舗装修繕事業	200,791,800	新規	市内の幹線道路においては、大型車交通の増加や老朽化の影響により、ひび割れやわだちが激しく発生しており、安全な通行を確保するため、国の「防災・安全交付金」を活用し、舗装修繕工事を実施した。 令和3年度においては、市道宮沢根白石線について、令和2年度の繰越工事として、延長1,656m区間の工事を実施した。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				国の交付金を最大限に活用しながら、令和4年度も継続して舗装の劣化が激しい幹線道路の舗装修繕工事を実施していく。	

第4章 住み心地の良さを実感できる豊かなまちを創ります

【土地利用】

- ・安全で安心な土地利用を推進します。
- ・緑豊かな自然と市街地とのバランスが取れた土地利用計画を推進します。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	都市計画事業	7,204,557	拡充	仙塩広域都市計画第7回定期見直しにおいて、一般保留地区となっていた、高屋敷西地区を新たに市街化区域に編入し、土地区画整理事業の施行認可を取得後、造成工事に着手した。 また、過年度より事業施行中の明石台東地区、成田南地区、成田二期東地区については、継続的な協議・指導により宅地整備を進めた。 新たに策定を進める都市計画マスタープラン及び立地適正化計画については、策定業務を発注し、委託業者を決定した。 開発行為については、安全で安心な土地利用を推進するとともに、良好な景観形成に配慮した。 地区計画設定地区については、届出書による建築等の内容確認と指導により、良好な環境の維持・形成を図った。	建設部 都市計画課
				今後の取組	
				本市が人口ビジョンに掲げる将来人口(2060年:6万人)を目指し、都市の持続的な発展を推進するため、自然環境や優良農地を保全しながら計画的な土地利用を進める。 仙塩広域都市計画第8回定期見直しについては、令和5年5月の申出に向けて、住居系、工業系候補地の選定を図っていく。 また、新たな市街地整備にあたっては、土地区画整理事業を施行中の4地区の整備進捗を確認しながら、適切な指導・助言に努める。 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定については、庁内策定会議及び、外部有識者等による検討委員会を開催して、策定を進めていく。	

【住宅・公園・上下水道】

- ・潤いと安らぎを誇れる、緑豊かな居住環境の創出を図ります。
- ・市民や企業等との協働による、快適で魅力的な居住環境の創出を図ります。
- ・安全安心な水の安定供給と衛生的な水環境を守ります。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	市営住宅維持管理事業	11,171,621	継続	市営住宅100戸については、低廉な家賃で快適な住環境を提供するため、適切な維持管理を図った。 公営住宅等長寿命化計画に基づく住宅の改善事業に着手し、西沢4工区4棟8戸の屋根及び外壁塗装工事等を行った。	建設部 都市計画課
				今後の取組	
				適切な維持管理により、快適な居住環境を確保する。 公営住宅等長寿命化計画に基づく改善事業を計画的に進め、市営住宅の更新コストの縮減に努める。	
2	一般公園維持管理事業	99,866,704	継続	環境保全、景観向上、防災対策等の観点から公園機能の充実を図るとともに、市民の憩いの場や交流の場、健康づくりの場として安全で快適な活用を図るため、都市公園90か所の維持管理を行った。 遊具や施設については、定期的な巡回や点検等による問題箇所の早期発見と対応により、事故を未然に防止し、安全に利用してもらうことができた。 良好な環境の維持を図るための除草や、樹木剪定等を実施した。	建設部 都市計画課
				今後の取組	
				公園遊具等施設の補修や更新、樹木の剪定等を計画的に進め、誰もが安全で快適に利用できるよう維持管理に努める。また、遊具や施設の計画的な管理により、ライフサイクルコストの軽減を図るため、長寿命化計画を策定する。	
3	上水道施設維持管理業務	349,099,990	継続	配水池・ポンプ場などの機器や配水管等を適正に維持・管理するほか、水道水の安定供給を図るため、富ヶ丘・鷹乃杜・太子堂地区の配水管の耐震化工事を実施した。 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震による広域水道受水停止に伴う断水については、市民への影響が最小限となるよう早期回復に努めた。	水道事業 上下水道課
				今後の取組	
				受水池兼送水ポンプ場の耐震化工事、富ヶ丘・鷹乃杜・太子堂地区の配水管の耐震化工事を引き続き実施する予定としており、今後とも安全・安心な水道水を安定的に供給するため、水質管理の徹底と水道施設の適切な維持管理や計画的な施設・管路等の更新に努める。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
4	下水道施設維持管理業務	103,926,163	継続	管渠やポンプ場といった下水道施設を適切に維持・管理するほか、事故防止と施設の延命化を図るため、マンホールポンプ場4か所のポンプ更新工事や、老朽化した施設の改築設計業務等を行った。 今後の取組 成田第1汚水中継ポンプ場の電気設備改築工事や、老朽化した管渠施設の状況を適正に把握するための調査を実施する予定としており、今後とも下水道サービスを将来にわたり安定的に提供するため、下水道施設の適切な維持管理や計画的な更新に努める。	建設部 上下水道課
5	合併処理浄化槽設置事業	9,838,921	継続	公共下水道処理区域外において、合併処理浄化槽の普及促進と適正な維持管理による公衆衛生の向上を図るため、浄化槽設置6件、維持管理360件について費用の一部を補助した。 今後の取組 各種補助事業の普及啓発を図り、合併処理浄化槽の整備と適正な維持管理を促し、水洗化率の向上と公共用水域の水質保全に努める。	市民生活部 生活環境課
6	（仮称）やすらぎパークとみや整備事業	124,395,620	継続	令和2年度から引き続き行っていた実施設計業務が完了した。 また、民有地の買収手続きが完了したことから、令和4年1月に整備工事に着手した。 今後の取組 市営墓地については令和5年度中、パークゴルフ場については令和6年度の供用開始を目指し、整備工事を予定通り進めるとともに、条例及び規則の整備や料金設定を含めた管理運営方法について、詳細に決定していく。	市民生活部 生活環境課 教育委員会 教育部 生涯学習課

【自然環境・公園】

・緑豊かな自然環境を保全しながら、積極的に活用します。

・自然環境を次世代に継承していくため、市民との協働による適切な維持管理に努めます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	大亀山森林公園維持管理事業	23,566,859	継続	大亀山森林公園の魅力である豊かな緑と良好な環境の維持を図るため、除草や支障木伐採等を実施した。 利用者の安全を確保するため、施設や遊具の巡回点検による問題箇所の早期発見と対応により、事故を未然に防止し、安全で快適に利用してもらうことができた。 今後の取組 レクリエーション拠点施設である大亀山森林公園は、引き続き、豊かな自然との調和を図りながら、誰もが安全で快適に利用できるよう、園内の環境整備と施設等の適正な維持管理に努める。また、「おためしイノベーションTOMIYA（OIT）」を活用して、民間活力導入を視野に入れた実証事業に取り組み、指定管理者制度について検討する。	建設部 都市計画課

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	河川維持管理事業	23,375,100	継続	河川の災害防止と環境保持のため、堆積土砂の撤去や、調整池及び付属施設の除草などを実施し、適正な維持管理を行った。 また、河川清掃等に協力をいただいている河川愛護会に対し、活動の弁償を行うことで参加者の負担軽減を図った。	建設部 都市整備課
				今後の取組	
				大規模な浸水被害等を防止するため、準用河川の堆積土砂の撤去や、防災調整池の除草及び施設の修繕を継続して実施し、適切な維持管理に努める。	

第2編 教育と子育て環境を誇るまち！

第1章 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

【教育・青少年健全育成】

- ・心身ともに健やかで豊かな人間性を育む教育を推進します。
- ・学校、家庭、地域が連携し、子どもを守り育てる体制を構築します。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	いじめ問題対策推進事業	53,000	継続	いじめの防止や早期発見、対処の在り方等について、総合的かつ効果的に推進するため、いじめ問題対策連絡協議会・いじめ問題対策調査委員会を合同で開催した。合同会議では、各学校におけるいじめの状況やアンケートの実態をもとに、初期対応の重要性などについて指導助言をいただいた。また、各学校間での現状等についての情報交換を行った。 また、各学校の生徒指導担当者は年3回、いじめ・不登校担当者は、年1回開催し、全ての教職員のいじめへの意識を高め、組織的に対応することの重要性を改めて確認した。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組	
				児童生徒が安心して学校生活を送れるように、人権、法律、福祉等各専門分野の委員の意見を聞き、具体的改善策を講じて、いじめの防止といじめ事案の解決を目指す。また、専門的知見を有する上記協議会等の各委員の指導助言を踏まえて改訂した「いじめ対策Q&A集」を効果的に活用しながら、いじめの未然防止と早期解決に努める。	
2	スクールカウンセラー事業	424,364	継続	専門的な知識・経験を持ったスクールカウンセラーを全小中学校に配置し、児童生徒のみならず、保護者や教員などからの相談に幅広く対応し、それぞれの悩みや問題行動等の改善に向けて、きめ細やかな支援に取り組んだ。 なお、小学校では1,191件、中学校では827件の相談があった。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組	
				学校における生徒指導体制との効果的な連携を図りながら、悩みを抱えている児童生徒や保護者に対して、寄り添い支援や助言を丁寧に行いながら、その改善に取り組む。 また、スクールソーシャルワーカーや令和3年度より開設した教育支援センター等との連携を強化しながら、個に応じた迅速かつ適切な支援を行う。	
3	スクールソーシャルワーカー事業	2,237,503	継続	令和2年度に引き続き、専門的スキルを有する2人のスクールソーシャルワーカーを配置し、小中学校を定期的に巡回しながら、児童生徒が抱える家庭環境などの様々な問題や学校が抱える生徒指導上の多様な課題について、関係機関と連携しながら多面的な支援と個別支援を重視した働きかけを行った。また、令和3年度に開設した教育支援センターのスーパーバイザーや支援員等とも連携を強化しながら、不登校等児童生徒及び保護者等の支援にも努めた。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組	
				児童生徒の抱える様々な問題への対応や心のケアのため、教育支援センターに加え、保健福祉部等の関係機関との連携を更に充実させながら、諸課題等の解決に向けた巡回相談や家庭訪問等による支援に努める。また、コロナ禍で様々な状況や環境の変化に伴う児童生徒の心の健康にも目を向け、各学校と連携したより効果的な支援を進める。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
4	教育支援センター運営事業	15,627,421	新規	様々な要因により心のケアを必要とする児童生徒や保護者及び心の問題により不登校傾向などの学校生活に何らかの困難を抱える児童生徒の学校復帰や自立支援を目的として、令和3年4月にスタートした。 黒川けやき教室（令和2年度廃止）と心のケアハウスが統合し、2人のスーパーバイザー、教育指導員及び教育相談員各1人のほか、7人の支援員を含む計11人体制とした。当センターでは、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と日常的な連携を図りながら、中学校での学習支援や家庭訪問、保護者等への教育相談など多面的な支援の強化・充実を図った。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組 多様な学びの機会の新たな受け皿として、個々の児童生徒に寄り添った支援を充実・発展させていく。また、令和4年度に東北初の不登校特例校として開設される富谷中学校西成田教室との連携も視野に入れ、各小中学校や各保護者等との情報共有にも重点を置いて、誰一人取り残さない教育の実現に向けた支援の拡充を図る。	

【教育・国際交流】

- ・グローバル社会に順応できる感性と国際理解を深める教育を推進します。
- ・主体的に学ぶ意欲を高め、確かな学力と創造性を育み、将来社会人として自立するために必要な能力や態度を育成します。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	外国語指導助手(ALT)活用事業	24,539,695	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、密なコミュニケーション活動はできなかったが、感染防止に努めながら、外国語指導助手(ALT)5人を活用して、外国語指導の補助、外国文化の理解促進、外国語によるコミュニケーション等を行った。小中学校のほか、公民館、児童クラブ、幼稚園、保育園等にも派遣し、外国文化への興味関心を高め、多文化交流を図ることでグローバルな資質の向上に努めた。 また、小中学校の外国語授業で活用できる教材作りの準備や令和2年度より全小学校に配置した英語等支援員との合同情報交換会を実施し、指導等に関わる研究や意見交換を行いながら、きめ細やかな指導の向上につなげた。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組 令和2年度から実施された小学校の外国語及び外国語活動の充実のため、より効果的な学習指導について、担当教職員を中心とした研修の充実を図るとともに、英語等支援員との情報交換会等の機会を増やししながら、ALTの資質向上に努める。 今後も引き続き、小中学校への公平な派遣に努めながら、指導の均質化を図るほか、幼稚園、保育園、児童クラブ等への派遣活動も推進していく。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	中学生海外研修派遣事業	114,000	継続	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が不可能となったことで海外研修は中止せざるを得ない状況となってしまったが、その代替として、オンラインによる交流事業を行った。直接、顔を合わせることができなかったものの、相互に異文化を学ぶ貴重な機会となった。	教育委員会 教育部 学校教育課
				今後の取組	
				令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航を見送ることになったが、今後の感染状況を踏まえながら、ウィズコロナでの新たな対策を講じた安全な海外研修の実施に向けた具体的な協議を進める。	
3	不登校特例校整備事業	13,663,561	新規	多様な学びを支援するため、東北初の不登校特例校となる富谷中学校西成田教室を令和4年4月に開設するにあたり、西成田コミュニティセンターの施設改修や敷地整備、教材備品等の購入など、開設に必要な教育環境を整備した。	教育委員会 教育部 学校教育課 教育総務課 生涯学習課
				今後の取組	
				生徒一人ひとりの多様性を認め、少人数授業により学ぶ楽しさや成長する喜びを味わわせることで、子どもの社会的な自立を支援する新たな場として、令和3年度に開設した教育支援センター等と連携しながら、誰一人取り残さない教育の実現を目指す。	
4	市立幼稚園運営・維持管理事業	11,398,311	継続	幼児教育・保育の無償化について、滞ることなく適正な事務の推進に努めた。 ユネスコスクールとしての活動に取り組み、園児の豊かな心の育成と健康の推進に努めた。 富谷幼稚園の運営について、幼稚園運営審議会の答申を基に民営化に向けた検討を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を行った。	教育委員会 教育部 教育総務課
				今後の取組	
				園児の主体的な体験を促す教育課程に工夫を講じながら、引き続きユネスコスクール等の実践と推進を図っていく。 富谷幼稚園の民営化に向けて、社会環境の変化や人口動態の変遷等を踏まえ、事業計画の具体的な検討を進める。	

第2章 あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

【生涯学習】

- ・市民の創造性や心豊かな人間性を育むための生涯教育環境の整備に努めていきます。
- ・あらゆる世代の多様なニーズに的確に応じた学習機会を充実していきます。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	生涯学習推進事業	11,645,333	継続	各公民館に社会教育指導員を配置し、地域学校協働活動(地域・学校・家庭をつなぐ取組)のコーディネートをはじめ、各地域の特色を生かした効果的な取組を進めた。 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・縮小とした内容もあったが、新しい生活様式を踏まえた事業構築に努めた。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組	
				引き続き、社会教育委員の助言や最新の社会教育・生涯学習の動向等を踏まえながら、新しい生活様式や多様なニーズに対応した事業推進体制の整備に努める。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	図書館整備事業	6,955,300	継続	令和2年度の検討内容を基に、より詳細な検討を行い、図書館等複合施設整備基本方針を策定した。 また、この基本方針を基に委託した事業手法選定に係る調査報告を受け検討を行い、公的外部資金への対応可能性や設計の柔軟性等から、従来手法を最も効率的・効果的な事業手法に決定した。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組	
				公募型プロポーザルにより決定する設計業者に委託し、基本設計の策定を行う。 また、企業版ふるさと納税をはじめとした外部資金についても継続的な調達に努める。	

【スポーツ・レクリエーション】

- ・だれでも、どこでも気軽に親しむことのできる生涯スポーツ・競技スポーツの振興に努めます。
- ・気軽に親しみやすいスポーツ施設・環境の整備充実を図ります。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	総合運動公園運営・維持管理事業	64,668,979	継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてサーマルカメラの設置、消毒の徹底など、感染拡大防止に努めた。スポーツセンター軽量シャッター修繕工事、各種機器の定期的な安全点検、修繕を行い、市民ニーズに応じた施設環境の充実を図るとともに、市民の体力づくり推進に努めた。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組	
				施設の長寿命化に向けた計画策定を進めるとともに、定期的な安全点検、修繕を行い、利便性と安全性の向上に努める。	
2	東京オリンピック・パラリンピック開催記念事業	315,000	新規	富谷市・大和町の共催による七ツ森ハーフマラソン大会は、住民の健康推進、交流人口拡大による地域活性化などを目的として実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないため、令和4年度に延期した。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組	
				東京オリンピック・パラリンピック開催記念から県制150周年記念と名称を変え、令和4年6月10日にエントリー受付を開始し、本格的に開催に向けて、共催の大和町と連携し準備を進めている。 会場設営等の準備を進め、令和4年10月23日の開催に向け周知活動、協賛金募集活動を今後進めていく。	

第3章 伝統と文化を誇れるまちを創ります

【芸術・文化】

- ・宿場町の歴史と伝統を次世代に継承していく取組を進めます。
- ・未来へとつないでいく新たな文化力の育成を促進していきます。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	街道まつり運営事業（再掲）		継続	地方創生推進交付金を活用し、開宿400年記念 富谷宿街道まつり（本まつり）の開催に向け準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見込めないことから、実行委員会での協議の結果、やむを得ず中止した。	経済産業部 産業観光課
			0	今後の取組 新たな観光拠点 富谷宿観光交流ステーション(とみやど)をメイン会場とした「富谷宿 街道まつり」開催に向け、感染拡大防止対策を講じながら、準備を進める。 なお、今後は、多様な視点から新たな発想を取り入れ、効果的かつ効率的なまつりの企画運営を行うため、民間事業者が持つノウハウを最大限活用して実施する。	
2	民俗ギャラリー運営・維持管理事業	3,346,346	継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めるとともに、特別企画展として「富谷とオリンピック」「明治富谷の村絵図」を開催するなど、年間1,082人が来場した。そのほかにも、アウトリーチ活動として実施した市内公民館での講座に602人の参加があった。また、内ヶ崎作三郎記念館の展示資料の整理、展示作業を行い開館させることができた。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組 富谷宿観光交流ステーション（とみやど）内の内ヶ崎作三郎記念館が指定管理者による管理となったことから、関係団体と協議を行いながら民俗ギャラリーと連携する。また、しんまち地区を軸に市内の多様な歴史・文化の研究を進め、積極的な情報発信を図る。	
3	マーチングフェスティバル運営事業	320,000	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、マーチングフェスティバルは中止した。 なお、市内の小学校金管バンドへの助成は継続し、活動・育成支援を行った。	教育委員会 教育部 生涯学習課
				今後の取組 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた開催の準備を進めるとともに「音楽のまち」としての魅力を高めていけるよう、とみやマーチングエコーズ、小学校金管バンドの活動・育成支援に努める。また、マーチングエコーズと連携しながら、小学校金管バンドの技術的支援を実施する。	

第4章 地域で子育てを支えるまちを創ります

【子育て支援】

- ・子育て世代から好まれる環境を創出するため、安心感に包まれる子育て支援サービスを提供します。
- ・子どもたち自身が安心して過ごせる環境づくりや、子どもの育成を支援する制度の充実を図ります。

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	認可保育所運営事業	1,123,255,347	継続	運営事業者の理解と協力の下で、会議開催等情報交換を密にし、安全・安心な保育所運営を行うとともに、令和3年度についても待機児童ゼロとなり、3年連続待機児童ゼロ達成に大きく寄与した。 また、保育士の処遇改善を図るための臨時特例補助金を活用し、更なる保育士の就労環境の充実に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を図るとともに、消耗品等の購入費用の補助を行った。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組	
				引き続き、各運営事業者と連携し、保育ニーズに対応した保育環境の充実に努めるとともに、待機児童ゼロの継続と児童福祉の更なる増進に努める。 新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き感染拡大防止の方策を講じていく。 また、東向陽台幼稚園跡地に建設された認定こども園については、令和5年度当初からの開園に向け、関係機関と調整等を行う。	
2	認可外保育所保育料補助事業	4,346,400	継続	認可外保育施設に通う3歳未満児について、保育施設間における保育料の保護者負担の格差是正を図るため、保護者に対し、保育料の一部助成を行った。 また、認可外保育施設に通う3歳以上児については、幼児保育無償化により保育料の償還払いを行った。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組	
				引き続き、保育無償化に伴う国からの補助金をもとに、保育料の一部支援を継続し、保護者の経済的負担の軽減に努める。	
3	保育所運営・維持管理事業	153,119,009	継続	市立保育所の安定的な運営及び施設の維持管理を行い、適切な保育環境の確保とともに、職員研修等を通じた保育の質の向上が図られた。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を行った。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組	
				引き続き、適切な保育環境の確保、保育の質の向上に努めるとともに、待機児童ゼロ及び事業の充実に努めるため、必要な人材の確保を図る。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等必要な対策を講じ保育に努める。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
4	病児・病後児保育室運営事業	30,877,200	拡充	就労している保護者の児童が病気、又は病気回復期にあり集団保育が困難な場合において、委託する診療所等で、一時預かり保育を実施し、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行うことにより、児童の健全育成に寄与した。 また、令和3年度より恵尚会で実施している「さくら保育室」において、対象児童を小学校2年生から6年生に引き上げるとともに、新たに社会福祉法人三矢会の3園において、自園での体調不良児対応型保育を実施することで、より多くのニーズに対応できる環境の充実に図った。 さらに、公立黒川病院敷地内の病後児保育室について、本市及び黒川郡内2町1村の住民の利用が可能となるよう協議を行い、令和4年度からの実施に向けて準備を進めるなど、更なる環境の充実に努めた。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			引き続き、病児保育ができる環境を確保し、保護者の子育てと就労等の両立の支援を行い、児童の健全育成に努める。 また、今後の事業の在り方について、関係機関と協議を進めていく。		
5	子育て支援事業	13,447,370	継続	とみや子育て支援センター（とみここ）において、離乳食教室やすくすく相談等の事業を展開し、各年・月齢を問わず相談できる場を提供し、子育ての不安解消を図った。 また、遊びを通じた親子の集いや、転入して間もない親子が集うウェルカムパーティーなどの交流の場、祖父母や地域のサポーター向けの育児講座などの学びの機会を提供し、家族や地域で子育てに前向きに取り組めるための支援を行った。 各事業は、新型コロナウイルス感染症感染予防のための環境を整備し、消毒を徹底して実施した。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			今後も育児に対する保護者のニーズを的確に捉え、教室や育児相談等のほか、とみや子育て支援センター（とみここ）を生かした交流機会の拡充、気軽に相談できる環境整備に努める。 新たに、新生児聴覚検査費用助成の実施や、父親が主体的に参加する講座を開催し、子育て家庭への支援に努めていく。		
6	特定不妊治療助成事業	3,307,397	継続	県の交付金を活用して、不妊治療の治療費の一部を助成する事業を実施し、不妊治療を受ける夫婦の経済的負担及び精神的負担の軽減に寄与した。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
				令和4年度より特定不妊治療が保険適用となることから、助成事業は終了となる。令和4年度については、令和3年度に治療が終了した方や経過措置（年度をまたいでの治療）となる方への治療費の一部助成を実施する。制度の変わり目であるため、広報やホームページ等で周知を図る。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
7	妊産婦支援事業	36,424,029	継続	健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えるとともに、産後の母子が健やかに過ごせるよう、とみや子育て支援センター（とみここ）にて、母子健康手帳の交付と妊産婦健診の助成などの経済的支援を行った。 また、妊娠期の栄養や健康について、父親も育児に関心が持てるようプレママ・プレパパ学級を実施した。 妊娠後期には、妊婦全員に対し電話や訪問による体調確認のほか、支援が必要な妊産婦については、個々の問題に応じた訪問や相談を細やかに実施した。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組 妊娠期から、出産、産後までを健やかに過ごせるよう、支援の継続のほか、特に若年、多胎、経済困窮、未入籍、疾患等様々な課題を抱える妊婦や周囲からの育児サポートが難しい妊産婦等に対し、妊娠中から関わりを持ち、切れ目のない産後の包括的支援につなげるように努める。 産後ケア事業に宿泊型を追加し支援拡充に努める。	
8	経観児ケア事業	4,074,491	継続	発達に課題がある子どもと保護者を対象に、発達の特徴を共有し、子どもに合わせた関わりができるよう発達相談や遊びの教室、勉強会等を開催した。 県より移管された乳幼児精神発達精密健康診査については、市においても臨床心理士による検査及び相談ができる体制づくりに努めた。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組 保護者や支援者が子どもへの理解を深め、適切な療育や支援を受けられるよう、学びの機会や相談の場を充実させていく。 発達相談事業においては、子どもの特性理解と支援が適切に行われるよう、保護者との面接相談、発達検査、所属集団への支援に関する助言を行い、より一層身近で相談や検査ができる環境を整えるとともに、関係機関との連携を図っていく。	
9	放課後児童クラブ運営事業	238,988,480	継続	委託業者の協力の下で、会議開催等情報交換を密にし、施設の保全等も含め、安全・安心な児童クラブ運営に努めた。 富谷、成田小学校児童クラブについては、学校の余裕教室等を利用してサテライトの実施を行った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を行った。 さらに、新型コロナウイルス感染症対策支援事業、ICT化推進事業の補助金を活用し、感染対策に加え職員の事務の軽減と効率化を図るために、児童クラブ8施設に入退室管理システムを導入した。	保健福祉部 子育て支援課
				今後の取組 入所申込み増加により、待機児童が発生している児童クラブが複数あるため、学校の余裕教室等を利用したサテライトの実施を行い、待機児童解消に努める。 新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き感染拡大防止の方策を講じていく。	

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
10	子ども医療費助成事業	273,228,890	継続	18歳年度末までの子を持つ保護者に対し、医療費の一部を助成することにより、子どもの疾病の早期治療につなげるとともに、令和2年度より対象となる全ての年齢の所得制限を撤廃し、更なる子育て世代の保護者の経済的負担の軽減に努めた。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			引き続き、児童福祉の増進に寄与するため、子どもの適切な医療機会の確保と子育て世代の保護者の経済的負担の軽減を図る。 また、子ども医療費については、全国一律の保障制度とすることや、国県補助金の適用や適用範囲の拡大について、引き続き国に要望していく。		

第3編 元気と温かい心で支えるまち！

第1章 あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

【高齢者支援】

- ・高齢者が住みなれた地域で生涯安心して暮らせる環境づくりを推進します。
- ・高齢者の心と身体の健康と生きがいのある生活を支援します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	福祉健康センター 管理事業	22,610,524	継続	富谷市社会福祉協議会を指定管理者として業務を委託し、高齢者の介護予防拠点として参加しやすい工夫及び効果・効率的な事業を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、約1か月の施設利用の休止や、約8か月の入浴及び飲食の休止となったことで利用者数は減少したが、感染症拡大防止対策を講じながら事業を継続できるよう、再開後は人数の調整や時間短縮での実施など、安心・安全に配慮したセンター運営を図った。 また、令和4年度から令和8年度までの指定管理者について公募を実施し、富谷市社会福祉協議会を指定管理者として選定した。	保健福祉部 長寿福祉課
			今後の取組		
			指定管理者と連携を密に図り、感染症拡大防止対策を講じながら介護予防拠点施設として、高齢者の元気を応援する取組を推進するとともに健康づくりの機会の創出に努め、事業展開を図る。 また、施設の老朽化が進んでいることから、随時点検を行い、優先順位を決め、引き続き、施設の適切な維持管理に努める。		
2	高齢者交流事業	698,494	継続	高齢者の生きがい・仲間づくりの推進、心身の健康維持を目指し、それぞれの地区特性に応じて自立した活動に取り組む「ゆとりすとクラブ・サロン」の運営を支援した。コロナ禍においても健康相談・体力測定を継続し、フレイル予防及び早期発見に寄与した。また、介護予防強化のため各ゆとりすとへ講師を派遣し、介護予防の啓発に努めた。 元気・元気高齢者応援事業「とうみやの杜園芸クラブ」は、新規参加者が増加した。花や野菜などを市内施設や、富谷宿観光交流ステーション（とみやど）など公共機関に提供し、コロナ禍での地域交流と、高齢者の活躍の場を確保した。	保健福祉部 長寿福祉課
			今後の取組		
			「ゆとりすとクラブ・サロン」については、感染症流行状況に応じた感染対策の見直しを行いながら、各地域の主体的な運営を後方支援する。また、代表者・富谷市社会福祉協議会・地域包括支援センター等と連携を図りながら、自粛による閉じこもりが予測される高齢者の把握に努め、各地域における介護予防や支え合いの地域づくりを推進していく。 元気・元気高齢者応援事業「とうみやの杜園芸クラブ」では、引き続き、市内の市民団体と協働し、高齢者の地域交流や活躍の場を拡大していく。		

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	地域包括支援センター運営事業 （特別会計）	77,874,090	継続	保健福祉総合支援センターは、基幹型・機能強化型地域包括支援センターとして市内3つの生活圏域の地域包括支援センター（委託）を統括し、各圏域が抱えている介護負担による高齢者虐待や8050問題など複雑・多様化した相談に対し、地域包括支援センターと共に対応した。 また、各圏域地域包括支援センターは相談・支援体制を強化し、総合相談支援業務・権利擁護業務・認知症総合支援事業等に取り組んだ。 保健福祉総合支援センター運営協議会では、各地域包括支援センターの適切な事業運営について評価・点検を行った。また、事業の早期発見のための体制について協議した。	保健福祉部長寿福祉課
				今後の取組	
				高齢者の生活において複雑・多様化している課題に対し、早期発見と早期介入に努め、引き続き各関係機関と連携を図り、適切な支援を行う。 重層的支援体制整備事業と高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向け、地域支援の窓口として関係機関と連携し、体制整備に努める。	
4	地域と施設の支え合いモデル事業 （とみサボころね）	714,622	継続	施設入居者の生活の充実及び寄り添いボランティア活動を実践する施設サポーター自身の生きがいや役割創出の支援などを目的に、市内6つの高齢者施設及び富谷市社会福祉協議会と協定を締結し、「とみサボころね」の愛称で、令和元年9月から令和3年度までのモデル事業として実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による取組が制限される中、各施設においてWithコロナの観点から製作物のお届けや訪問時のオンライン面会、リモート会議など各種工夫しながら取り組んできた。しかし、当初想定していた取組とは異なり、モデル事業としての効果検証が困難であったため、令和5年度まで2年間の延長を行うこととした。	保健福祉部長寿福祉課
				今後の取組	
				新型コロナウイルス感染症の影響から当初の事業計画と異なる活動となったため、各施設及び施設コーディネーター・サポーターと共にコロナ禍における支え合い事業の実施方法について、検討を重ねながら実践する。 また、効果検証の在り方を富谷市社会福祉協議会と共に検討する。	

※No.2の「高齢者交流事業」は、R3一般会計当初予算書において、「一般介護予防事業」として、No.4の「地域と施設の支え合いモデル事業」は「保健福祉総合支援センター運営事業」の一部として計上しています。

【健康・保健】

- ・生涯を通して、健康で心豊かな生活を送れるよう、健康維持・増進に取り組む環境づくりを進めます。
- ・子どもから高齢者まで、あらゆる世代の健康意識を高め、市民主体の健康づくりを促進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	住民検診事業	158,648,938	継続	受診率の向上を図るため、休日・夜間検診、胃がん検診未検者検診、年齢該当者への子宮がん・乳がん無料検診を実施するとともに、関係機関等の協力のもと、周知啓発を強化した。また、乳がん検診時の乳幼児見守りサービスや胃がん・乳がん検診におけるがん検診センターでの受診機会の確保に加え、令和3年度より、胃がん検診における再勧奨（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う受診控え対策）、歯と歯肉の健診における対象者全員への受診券の送付を実施した結果、受診率は概ね増加した。 また、精密検査対象者への受診勧奨及び受診状況の把握に努め、早期治療及び重症化予防を図った。	保健福祉部 健康推進課
			今後の取組		
			「新しい生活様式」のもと、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、安心して受診できる環境を維持する。 休日・夜間検診、胃がん検診における未検者検診及び再勧奨の実施、年齢該当者への子宮がん・乳がん無料検診の実施により受診機会の確保に努めるとともに、検診団体と連携を図りながら早期発見、早期治療、重症化予防を促進する。 なお、令和5年度から始まる乳がん検診におけるマンモグラフィ検査の隔年実施導入に伴い、令和5年度の検査対象外となる方に対して令和4年度中の受診勧奨を実施する。		
2	健康づくり事業	653,593	継続	健康推進計画の中間評価結果に基づき、市の健康課題及び今後の取組について、広報紙・市ホームページを通じて周知啓発を図った。併せて、市の健康課題をテーマとした市民向けまんがを制作した。また、中間評価から見てきた健康課題を踏まえ、市民の運動習慣の獲得やコロナ禍における健康の保持増進を図るため、運動をテーマとした市民公開講座を開催し、運動動画を制作した。 事業の企画運営では、「新しい生活様式」の実践を踏まえた内容・方法の見直し、SNS等の利活用に努めた。	保健福祉部 健康推進課
			今後の取組		
			引き続き、「新しい生活様式」の実践を踏まえ、SNS等の活用を強化した事業の企画運営を展開し、多世代にわたり、広く市民が健康づくりに参画できる体制整備に努める。 また、令和3年度に制作した市民向けまんがの小・中学校への配布や運動動画の配信等を通して、市民の健康づくりへの取組を推進する。		

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	国民健康保険 健康づくり事業 （特別会計）	8,787,831	継続	第2期国保データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画に基づき、受診勧奨、疾病予防・重症化予防事業にてハイリスク者に対するアプローチを実施した。令和3年度より、重症化予防事業にてかかりつけ医と連携した保健指導を図るため、「黒川圏域糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を始動した。また、各種検診料助成、重複受診・服薬指導を行うなど、国保被保険者の健康増進とともに、後発医薬品の使用促進や医療費通知により、医療費抑制の認識向上を図り、医療費の適正化を推進した。 今後の取組 医師会及びかかりつけ医と連携のもと、「黒川圏域糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき重症化予防に努めるとともに、引き続き後発医薬品の使用促進、重複受診・服薬指導により健康管理や医療費の適正化を図る。 また、マイナンバーカードの健康保険証利用及びマイナポータルを活用しての健康管理について周知を図るとともに、引き続き職員による窓口での健康保険証利用登録の紐づけ支援などを実施する。	保健福祉部 健康推進課

【医療】

- ・地域医療・救急医療体制の充実を図ります。
- ・国民健康保険制度の適切な運営を図ります。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	地域医療推進事業	439,437,813	継続	公立黒川病院の安定的な運営及び維持管理に要する費用の一部を負担するとともに、医師会及び地域の医療機関と連携して休日当番医事業を行い、市民の医療環境整備を行った。 また、世代に応じた救急電話相談窓口を周知し、傷病等発症時の市民の不安解消と救急医療機関の適正な利用を促進した。 新型コロナウイルスのワクチン接種の円滑な実施に向けて黒川医師会及び黒川3町村と連携のもと、共同で接種体制を整備・推進した。また、国や県の指針に基づき、ワクチンの管理・配分・調整、速やかな接種券の送付、予防接種台帳・専用コールセンターによる相談体制を整備した。 なお、大規模集団接種を設置・運営し、接種の加速化も図った。 今後の取組 新型コロナウイルス感染症対策も含め、市民が安心して地域医療サービスを受けられるよう、医師会・保健所・黒川町村との連携強化を図るとともに、引き続き迅速なワクチン接種に努める。 なお、宮城県が推進する新たな拠点病院の整備にあたっては、県や設置者等の協議の進展を見守りつつ、本市への誘致実現に向けて取り組んでいく。	保健福祉部 健康推進課

※No.1の「地域医療推進事業」は、R3一般会計当初予算書において、「黒川地域行政事務組合（病院運営）負担金事務」、「黒川地区休日当番医事業」及び「新型コロナウイルスワクチン接種事業」を統合したものです。

第2章 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

【障がい者支援】

- ・障がい者が自分らしい生活を営める環境づくりを進めます。
- ・障がい者を地域で支援する体制を確立し、障がい者を抱える家族への支援に取り組みます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・経	事業内容及び成果	担当課
1	地域生活支援事業	34,867,657	継続	障がい者（児）がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた福祉サービスの給付を行った。 「基幹相談支援事業」を富谷市・黒川地域で委託し、主任相談支援専門員及び医療的ケア児等コーディネーターを配置したことで、総合的・専門的な相談や相談支援事業所への専門的な指導助言・人材育成等に寄与した。 また、庁舎内に配置している障がい者相談支援専門員による「富谷市障がい者等相談支援事業」は、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うコーディネーターの機能を生かし、関係機関と横断的連携を行い支援を行ってきた。 富谷市・黒川地域にて委託している「障害者等緊急時支援体制整備事業」については、緊急事案への予防活動を目的に、障害福祉サービス等につながない方に対して円滑な支援を実施することができるよう、自立支援協議会にて相談支援事業者に対し、報酬面での加算実例等の提供を行い、利用促進を図った。 今後の取組 障がい者等基本相談は、基幹相談支援センターと連携・協働を行っていくとともに、相談件数が増加し、今後も迅速に必要な支援に結び付くよう人員増について検討する。 「地域生活支援拠点等整備事業」として、障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、地域における居住支援に求められる付加する機能について検討を重ねる。	保健福祉部 地域福祉課
2	障がい者就労支援事業	15,745,047	継続	地域活動支援センターについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業計画のとおり進めることが困難な状況であった。そのような状況下であったが、利用自需要請期間を最低限とし感染症対策を徹底しながら、活動内容を慎重に判断して事業展開を行い、通所者の生活リズムや習得した能力等が途切れないよう努めた。 また、社会生活能力が向上し、1人の方が就労継続支援B型事業所へ移行した。 全庁的な取組としては、障害者優先調達推進法に基づき、令和3年度の調達方針を定めて積極的に取り組んだ結果、目標額80万円を上回る約120万円となり、障害者就労施設等の受注に寄与した。 今後の取組 就労継続支援事業所を設立していただけるよう、開所予定法人に対して積極的に情報提供を行う。 今後も富谷市・黒川地域自立支援協議会就労支援ネットワーク会等と協議を図りながら取り組む。 障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労施設等の受注増大につなげるため、今後も全庁を挙げて啓発に取り組む。	保健福祉部 地域福祉課

※No.2の「障がい者就労支援事業」は、R3一般会計当初予算書において、「地域活動支援センター運営事業」として計上しています。

【障がい者・高齢者支援】

・高齢者や障がい者の外出を支援し、交通面から生活を支えています。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	高齢者・障がい者 交通対策事業 (高齢者・障がい者 外出支援乗車証 「とみばす」(高齢 者))	17,399,986	継続	高齢者の外出支援・社会参加を図るため、70歳以上で交通機関の利用が可能な方に加え、高齢者の交通事故防止の観点から、60歳以上の運転免許証返納者を対象として、申請により、身分証明付きIC乗車証「とみばす」を交付するとともに、円滑な運営に努めた。 コロナ禍における外出機会の減少等に伴い、令和3年度の入金件数は1,592件にとどまり、令和2年度と比較し46件の減となった。 令和3年度末の交付者総数は2,825人、交付率は40.5%となった。	保健福祉部 長寿福祉課
				今後の取組	
				新規対象者に対して個別案内を送付し円滑な交付申請に努めるとともに、広報やホームページを通じて制度の周知を行い、交付率の向上を図る。 また、各出張所での入金受付に向けて検討を進める。	
2	高齢者・障がい者 交通対策事業 (高齢者・障がい者 外出支援乗車証 「とみばす」(障がい 者))	2,001,270	継続	障がい者の外出支援・社会参加を図るため、18歳以上の障がい者手帳所持の方を対象として、申請により、身分証明付きIC乗車証「とみばす」を交付するとともに、円滑な運営に努めた。 コロナ禍における外出機会の減少等に伴い、令和3年度の入金件数は192件にとどまり、令和2年度と比較し10件の減となった。 令和3年度末の交付者総数は363人、交付率は24.2%となった。	保健福祉部 地域福祉課
				今後の取組	
				新規対象者に対して個別案内を送付し円滑な交付申請に努めるとともに、広報やホームページを通じて制度の周知を行い、交付率の向上を図る。 また、各出張所での入金受付に向けて検討を進める。	
3	高齢者・障がい者 交通対策事業 (重度障がい者等 福祉タクシー利用 券助成事業)	2,392,150	拡充	日常生活の利便と社会活動の範囲の拡大を図るため、令和3年度から、対象者の要件を精神障害者保健福祉手帳1級・療育手帳A等に拡大し、タクシー利用料金の一部を助成するとともに、円滑な運営を行った。 令和3年度末の交付者総数は208人、交付率は27.2%となった。	保健福祉部 地域福祉課
				今後の取組	
				令和3年度から、対象者の要件を精神障害者保健福祉手帳1級・療育手帳A等に拡大したことにより、引き続き周知徹底を図り、利用促進を図る。	

第3章 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

【家族コミュニティ】

・三世代が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	認可保育所運営事業（再掲）	1,123,255,347	継続	運営事業者の理解と協力の下で、会議開催等情報交換を密にし、安全・安心な保育所運営を行うとともに、令和3年度についても待機児童ゼロとなり、3年連続待機児童ゼロ達成に大きく寄与した。 また、保育士の処遇改善を図るための臨時特例補助金を活用し、更なる保育士の就労環境の充実に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を図るとともに、消耗品等の購入費用の補助を行った。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			引き続き、各運営事業者と連携し、保育ニーズに対応した保育環境の充実に努めるとともに、待機児童ゼロの継続と児童福祉の更なる増進に努める。 新型コロナウイルス感染症対策についても、引き続き感染拡大防止の方策を講じていく。 また、東向陽台幼稚園跡地に建設された認定こども園については、令和5年度当初からの開園に向け、関係機関と調整等を行う。		
2	認可外保育所保育料補助事業（再掲）	4,346,400	継続	認可外保育施設に通う3歳未満児について、保育施設間における保育料の保護者負担の格差是正を図るため、保護者に対し、保育料の一部助成を行った。 また、認可外保育施設に通う3歳以上児については、幼児保育無償化により保育料の償還払いを行った。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			引き続き、保育無償化に伴う国からの補助金をもとに、保育料の一部支援を継続し、保護者の経済的負担の軽減に努める。		
3	保育所運営・維持管理事業（再掲）	153,119,009	継続	市立保育所の安定的な運営及び施設の維持管理を行い、適切な保育環境の確保とともに、職員研修等を通じた保育の質の向上が図られた。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等の徹底を行った。	保健福祉部 子育て支援課
			今後の取組		
			引き続き、適切な保育環境の確保、保育の質の向上に努めるとともに、待機児童ゼロ及び事業の充実に努めるため、必要な人材の確保を図る。 また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の消毒等必要な対策を講じ保育に努める。		

No.	事業名	R3決算額(円)	新・継	事業内容及び成果	担当課
4	高齢者・障がい者 交通対策事業 (高齢者・障がい者 外出支援乗車証 「とみばす」(高齢 者)) (再掲)	17,399,986	継続	高齢者の外出支援・社会参加を図るため、70歳以上で交通機関の利用が可能な方に加え、高齢者の交通事故防止の観点から、60歳以上の運転免許証返納者を対象として、申請により、身分証明付きIC乗車証「とみばす」を交付するとともに、円滑な運営に努めた。 コロナ禍における外出機会の減少等に伴い、令和3年度の入金件数は1,592件にとどまり、令和2年度と比較し46件の減となった。 令和3年度末の交付者総数は2,825人、交付率は40.5%となった。	保健福祉部 長寿福祉課
				今後の取組 新規対象者に対して個別案内を送付し円滑な交付申請に努めるとともに、広報やホームページを通じて制度の周知を行い、交付率の向上を図る。 また、各出張所での入金受付に向けて検討を進める。	
5	高齢者・障がい者 交通対策事業 (高齢者・障がい者 外出支援乗車証 「とみばす」(障がい 者)) (再掲)	2,001,270	継続	障がい者の外出支援・社会参加を図るため、18歳以上の障がい者手帳所持の方を対象として、申請により、身分証明付きIC乗車証「とみばす」を交付するとともに、円滑な運営に努めた。 コロナ禍における外出機会の減少等に伴い、令和3年度の入金件数は192件にとどまり、令和2年度と比較し10件の減となった。 令和3年度末の交付者総数は363人、交付率は24.2%となった。	保健福祉部 地域福祉課
				今後の取組 新規対象者に対して個別案内を送付し円滑な交付申請に努めるとともに、広報やホームページを通じて制度の周知を行い、交付率の向上を図る。 また、各出張所での入金受付に向けて検討を進める。	
6	高齢者・障がい者 交通対策事業 (重度障がい者等 福祉タクシー利用 券助成事業) (再掲)	2,392,150	拡充	日常生活の利便と社会活動の範囲の拡大を図るため、令和3年度から、対象者の要件を精神障害者保健福祉手帳1級・療育手帳A等に拡大し、タクシー利用料金の一部を助成するとともに、円滑な運営を行った。 令和3年度末の交付者総数は208人、交付率は27.2%となった。	保健福祉部 地域福祉課
				今後の取組 令和3年度から、対象者の要件を精神障害者保健福祉手帳1級・療育手帳A等に拡大したことにより、引き続き周知徹底を図り、利用促進を図る。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
7	企業誘致事業 （再掲）	4,350,766	継続	企業誘致の実績としては、本社工場の立地表明が成田地区で1件行われた。また、企業立地奨励金により1社に対して4,190千円の支援を行い、さらに条例改正により企業立地促進奨励金と用地取得奨励金の補助拡充を行った。例年開催している宮城県企業立地セミナーは、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、市内企業を中心に企業訪問を展開し、情報交換・収集に努めた。 また、市内企業や関係企業に対し、市の情報発信や市内企業の紹介及び参加企業からの情報提供を行う「富谷市企業向けメールマガジン」の配信を開始した。	経済産業部 産業観光課
			今後の取組		
			市から派遣している宮城県東京事務所の職員と連携をしながら、補助を拡充した企業立地奨励金など、インセンティブとなる優遇制度を積極的にPRし、造成が開始された高屋敷西地区を中心に、企業誘致を展開していく。 また、定期的な企業訪問の実施及び「富谷市企業向けメールマガジン」の活用や「ビジネス交流会」の実施など、更なる企業間のネットワーク構築と新たなビジネスの創出を目指す。		

【地域コミュニティ】

・地域の方を地域の方が支える仕組みづくりを進めます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	高齢者交流事業 （再掲）	698,494	継続	高齢者の生きがい・仲間づくりの推進、心身の健康維持を目指し、それぞれの地区特性に応じて自立した活動に取り組む「ゆとりすとクラブ・サロン」の運営を支援した。コロナ禍においても健康相談・体力測定を継続し、フレイル予防及び早期発見に寄与した。また、介護予防強化のため各ゆとりすとへ講師を派遣し、介護予防の啓発に努めた。 元気・元気高齢者応援事業「とうみやの杜園芸クラブ」は、新規参加者が増加した。花や野菜などを市内施設や、富谷宿観光交流ステーション（とみやど）など公共機関に提供し、コロナ禍での地域交流と、高齢者の活躍の場を確保した。	保健福祉部 長寿福祉課
			今後の取組		
			「ゆとりすとクラブ・サロン」については、感染症流行状況に応じた感染対策の見直しを行いながら、各地域の主体的な運営を後方支援する。また、代表者・富谷市社会福祉協議会・地域包括支援センター等と連携を図りながら、自粛による閉じこもりが予測される高齢者の把握に努め、各地域における介護予防や支え合いの地域づくりを推進していく。 元気・元気高齢者応援事業「とうみやの杜園芸クラブ」では、引き続き、市内の市民団体と協働し、高齢者の地域交流や活躍の場を拡大していく。		

※No.1の「高齢者交流事業」は、R3一般会計当初予算書において、「一般介護予防事業」として計上しています。

【地域活動】

- ・地域福祉を支え、担う人材の育成を推進していきます。
- ・地域で支援を必要としている方々が相談できる体制や事業推進体制を整備していきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	自治振興事業 （再掲）	16,828,600	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の様々な活動が制約された中で、継続して町内会の運営に対して補助金を交付し、地域活動の充実・強化を図った。	総務部 市民協働課
			今後の取組		
			町内会活動に対する支援を通じ、地域住民相互の親睦や地域の人材育成を促進し、町内会の活性化を図る。また、「おためしイノベーションTOMIYA（OIT）」の活用等により、町内会運営における課題の把握と共有に努め、各町内会の特色や自主性を尊重した支援に努めていく。		

第4編 市民の思いを協働でつくるまち！

第1章 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

【防災・救急・消防】

- ・自助・共助・公助の連携体制を強化し、防災・減災体制を確立します。
- ・救急・消防体制の連携強化を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	自主防災組織育成推進業務	0	継続	大規模な災害が発生したときは、地域住民が協力し合っ て防災体制を整えておくことが必要であり、地域における自 主防災組織が重要な役割を担うことになる。そこで、自主 防災組織に対する支援については、一般財団法人自治総 合センター及び宮城県の防災実践向上支援事業の紹介推 進を行った。	総務部 防災安全課
				今後の取組	
				令和3年度末現在、全47町内会のうち、9町内会が自主防災 組織を設置していないが、引き続き、未設置の町内会に対して設 立の働きかけを行う。 また、一般財団法人自治総合センター及び宮城県の防災実践 向上支援事業の活用を促し、全ての町内会での自主防災組織の 設置を支援する。	
2	黒川地域行政事務組合（消防） 負担金事務	619,574,000	継続	過去に起こった災害で黒川消防本部が被災しており、迅 速な対応に苦慮し、また、建物の老朽化もあり、新庁舎 建設の協議を進めていた。令和3年度においては、建設に 向けた基本設計を行った。	総務部 防災安全課
				今後の取組	
				黒川地域行政事務組合及び関係町村と慎重に協議を進め、令 和4年度の実施設計に向けた整備を行い、今後も有事の際に、 迅速にして適切な対応に努める。	
3	住宅宅地震災対策事業	3,829,800	継続	住宅・建築物安全ストック形成事業として、国や県の補 助金を活用し、大規模地震による家屋倒壊等の被害を最 小限に抑えるため、昭和56年以前に建築された木造住宅 の耐震診断及び耐震改修計画作成に対して7件の助成を 行った。 通学路や避難路の沿道を中心に、倒壊の危険性のある ブロック塀の除却を促進するため、補助事業の周知を行っ た。 所有者からの依頼により、15件のブロック塀を調査して現 況を把握し、調査結果を通知した。また、危険ブロック塀 等除却事業に補助申請のあった12件に対し補助交付手 続を行った。	建設部 都市計画課
				今後の取組	
				引き続き、昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震診断と 耐震改修工事を促進する。 通学路や避難路の沿道を中心に、倒壊の危険性のあるブロック 塀等の除却を促進するため、補助事業の周知を図る。	

※No.1の「自主防災組織育成推進事業」は、R3一般会計当初予算書において、「災害対策総務事務」として計上しています。

【防犯・交通安全・消費者生活】

- ・安全で住みよい地域づくりに向けて、防犯体制と交通安全対策を充実・強化していきます。
- ・消費生活者の安全・安心の確保を促進していきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	防犯設備整備事業	2,399,102	継続	犯罪のない安全安心なまちづくりの実現に向け、犯罪の未然防止に有効な防犯カメラを平成30年度から毎年度各中学校区に1台ずつ計5台の防犯カメラ設置を行ってきた。 令和3年度も、大和警察署の意見・指導をいただきながら、各中学校区毎に1台ずつの防犯カメラを設置し、既存分と合わせて24台を設置し、犯罪抑止・検挙に成果を上げている。	総務部 防災安全課
				今後の取組 令和4年度も、引き続き市町村振興総合補助金を活用し、各中学校区毎に1台ずつ計5台の防犯カメラの増設に取り組む。	
2	特殊詐欺防止機能付き電話購入補助	55,000	新規	近年、電話で親族や公共機関の職員等を名乗り、現金やキャッシュカードをだまし取るなどの特殊詐欺が増えてきている。そこで、宮城県内で初めて70歳以上の方を対象に、特殊詐欺対策電話装置等の購入費用の一部補助事業化に取り組み、犯罪被害の防止に努めている。	総務部 防災安全課
				今後の取組 令和3年度は11件の交付対象であったが、令和4年度も引き続き当事業の周知を図り、犯罪被害を未然に防ぐ対策を推進する。	
3	空き家対策事業	293,620	継続	「空き家等対策計画」に基づき、市内の空き家の適正管理について指導・助言等を行った。 また、空き家所有者や市民を対象に初の「空き家セミナー」を開催し、空き家の抱える問題点や、相続税、片付け等について講義を行うとともに、専門家による相談会を実施した。	市民生活部 生活環境課
				今後の取組 「空き家等対策計画」の計画期間が終了となるため、空き家等対策協議会を開催し、計画の改訂作業を進める。 空き家現地調査及び所有者へのアンケート調査を行い、計画に反映させるとともに、空き家セミナーを開催し、空き家に関する知識や管理方法等について啓発に努める。	
4	道路交通安全施設整備事業 （LED照明関係除く）	32,461,696	継続	区画線や防護柵等の交通安全施設については、適切に補修や設置を行い、道路利用者の安全を確保した。 生活道路安全対策については、令和2年度に引き続き、国の補助事業を活用し、あけの平・大清水地区において実施した。 また、成田地区の通学路においては、可搬型ハンブを活用し、スムーズ横断歩道の試験を実施した。	建設部 都市整備課
				今後の取組 道路利用者の声や学校関係者の意見を反映させながら、生活道路や通学路の安全対策を継続して推進する。 令和4年度においては、国の補助事業を活用し、通学路交通安全対策を実施する。また、明石台地区において、可搬型ハンブを活用した試験を実施していく。	

※No.2の「特殊詐欺防止機能付き電話購入補助」は、R3一般会計当初予算書において、「防犯対策総務費」として計上しています。

【人権尊重・男女共同】

- ・人権尊重の意識の啓発に努め、多様な絆で結ばれた地域の実現を目指します。
- ・活き活きとした社会の実現に向けて、男女共同参画を進めていきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	人権教育・相談等事業	586,664	継続	相談窓口の開設をはじめ、啓発品の配布やイオン富谷店での啓発活動を通して、人権教育の推進と人権尊重の意識の拡大を図り、人権擁護委員制度の周知に努めた。 また、宮城県において実施された「ストップ！コロナ差別」啓発活動を普及するため、啓発品及びチラシを市内小中学校の児童生徒等に配布し、コロナ禍における差別防止及び相談窓口について広く周知を図った。	総務部 市民協働課
				今後の取組 人権擁護委員と連携しながら、各種啓発活動を通して人権尊重の意識の啓発に努めるとともに、富谷市社会福祉協議会、宮城県行政書士会、宮城県司法書士会などの関係機関と連携し、相談体制の充実強化に努める。相談窓口の開設においては、対面相談に加え、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として電話相談を継続して行い、相談機会の確保に努める。 子ども人権教室については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、希望する小学校等を対象に、人権擁護委員と連携して実施していく。	

第2章 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

【環境衛生】

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進が、豊かな自然環境や良好な居住環境として享受される（リターン）資源循環型の環境にやさしい4Rのまちづくりを推進します。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	一般廃棄物収集運搬処理事業	258,555,360	継続	可燃物、資源物、粗大ごみ等16種類の収集体系による効率的な収集・運搬のため、収集ネットの購入、集積所へ出されたルール違反ごみの早期回収など、適正な収集・運搬・処理を行った。	市民生活部 生活環境課
				今後の取組 引き続き、適正な収集・運搬・処理を行いながら、集積所へのルール違反ごみ排出抑制に向けた効果的な啓発を実施するとともに、排出されるごみの減量化を図るための周知・啓発に努める。	
2	松森工場共同整備事業	37,056,410	継続	仙台市と共同建設した「仙台市松森工場」について、仙台市との協定に基づき、建設・維持管理等に係る起債償還経費と、蒸気タービン発電機更新及び投入ホッパ水冷ジャケット等修繕工事等に要する経費を負担した。	市民生活部 生活環境課
				今後の取組 令和3年度から施設延命化のための基幹改良工事が始まっており、今後も施設の維持管理と適正処理に向けて、仙台市と連携し、協議・調整を図る。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
3	リサイクル推進事業	8,323,887	継続	分別収集されるごみのほか、直接搬入されるごみについても使用済小型家電等の分別を実施し、積極的に資源化を図った。 また、10月に小型家電の一斉回収を行い、1.3tの小型家電を回収した。	市民生活部 生活環境課
				今後の取組 新型コロナウイルスの影響によりごみ排出量が増加していた令和2年度に比べ、排出量は減少したが、資源化率については横ばい傾向となっており、引き続き分別の徹底・3Rの啓発などを行うとともに、プラスチックのリサイクル拡大等についても他市町村の事例等を参考に検討を進め、再資源化の向上に努める。	
4	空き家対策事業（再掲）	293,620	継続	「空家等対策計画」に基づき、市内の空き家の適正管理について指導・助言等を行った。 また、空き家所有者や市民を対象に初の「空き家セミナー」を開催し、空き家の抱える問題点や、相続税、片付け等について講義を行うとともに、専門家による相談会を実施した。	市民生活部 生活環境課
				今後の取組 「空家等対策計画」の計画期間が終了となるため、空家等対策協議会を開催し、計画の改訂作業を進める。 空き家現地調査及び所有者へのアンケート調査を行い、計画に反映させるとともに、空き家セミナーを開催し、空き家に関する知識や管理方法等について啓発に努める。	

【省エネルギー・自然エネルギー】

- ・環境にやさしいシティブランド化に向けて、環境負荷軽減への取組を推進します。
- ・エネルギーを地域で生み出し、地域で活用するエネルギー地産地消について検討していきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	道路交通安全施設整備事業（LED照明関係）	14,535,400	継続	二酸化炭素排出量の削減と各種コストの縮減のため、みやぎ環境交付金を活用して平成28年度から道路照明灯のLED化に着手し、令和3年度には525基を実施し、平成28年度から合計1,520基のLED化を推進した。 また、道路照明灯の適切な管理を行うため、「おためしイノベーションTOMIYA（OIT）」を活用し、新たなシステムの導入に向け実証実験を行った。	建設部 都市整備課
				今後の取組 引き続き、令和4年度において道路照明灯336基のLED化を実施する。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	ゼロカーボンシティ推進事業	16,689,903	新規	有識者等の参加する協議会を開催し、今後本市が2050年までに、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を実質ゼロとしていくためのロードマップとなる、「富谷市2050年ゼロカーボン戦略」を策定した。 「サイエンスキャスル2021東北大会in富谷」については、コロナ禍及び令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震の影響により、オンライン開催となったが、次世代を担う子どもたちの育成・交流を図ることができた。 また、宮城交通株式会社及び宮城県との協定に基づく燃料電池バスの運行事業を通して、市民に水素エネルギーの有用性等について、普及啓発を行った。	企画部 企画政策課
				今後の取組	市民生活部 生活環境課
				令和3年度に策定したゼロカーボン戦略を具体化するための実現方策調査を実施し、再エネ導入に関するゾーニング調査や市民啓発事業を実施するとともに、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け準備を進める。 また、燃料電池バスの運行事業及び市民への環境教育に関する取組を引き続き実施し、市民意識の高揚を図っていくとともに、公用車に電気自動車を導入するなど、ゼロカーボンに向けた新たなライフスタイルの発信を率先して行っていく。	
3	環境省公募 地域連携・低炭素水素技術実証事業	0	継続	令和3年度は、委託事業の最終年度となり、本サプライチェーンの社会実装に向けた各種データの収集・分析を行い、環境省に対して5年間の実証事業の実績を報告した。 また、令和2年度から導入したBCP対策としての水素混焼発電機の連続運転など、実際に水素製造システムが停電時においても使用可能となるための試験運用を行った。 また、本実証事業を含めたゼロカーボンを目指す取組を加速させるため、環境省が公募する脱炭素先行地域（第1回）に計画を申請した。 なお、本水素実証事業は国内外を問わず、高い関心があり、実証事業期間中においては、70件、475人の視察を受け入れている。	企画部 企画政策課
				今後の取組	
				環境省委託事業としては令和3年度をもって終了となるが、新たに本市が主体となり、環境省の補助事業を活用して、社会実装に向けた一般家庭向けの水素利活用のサプライチェーン構築モデルの実証を継続して実施し、共同事業者とともに課題解決に向けて、取組を進めていく。	

第3章 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

【市民参加・協働】

- ・市民参加と市民協働を進めるため、市民と行政をつなぐ情報共有を徹底していきます。
- ・市民と行政のパートナーシップを構築するとともに、住民主体の多様な活動を支援していきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	広報・広聴事業	13,750,163	継続	情報発信の更なる強化と今後の情報発信の方向性を検討するため、新たに広報戦略プロジェクトを令和4年度に始動する準備に取り組んだ。 また、各部署に情報発信担当者を設置し、LINE・インスタグラム・フェイスブック・ツイッターのSNS等の情報発信に努めた。 広報とみやは、表紙デザインと特集の掲載スタイルの変更や広報とみやクイズなど、市民参加のコーナーを充実させて、より読みやすく分かりやすい紙面となるよう取り組んだ。市公式ホームページは、リニューアルとバナー広告事業を実施した。 マスコミに向けては、毎月富谷市定例記者会見を開催して、市の施策・イベントについて報道機関へ情報を提供し、テレビや新聞等により積極的に富谷市をPRした。 広聴事業では、「ちょっと聞いて私の声」を実施し、市民の声を広く聴き、市民参加・市民協働のまちづくりを推進した。	市長公室
				今後の取組 SNSを中心に情報発信の更なる強化と今後の情報発信の方向性を検討するため、庁内横断で選抜職員による広報戦略プロジェクトチームを設置する。 広報とみやは、より読みやすく楽しい広報紙とするとともに、広報Fan(広報とみや愛読者)の増加に努める。LINE・インスタグラム・フェイスブック等のSNSは、フォロワー数の増加に努めるとともに、他のツールと連携しながら、市政情報や市の魅力等を市内外へ発信する。 また、市公式ホームページは令和3年4月1日にリニューアルを行ったが、更に見やすく利用しやすい「富谷らしさ」が伝わるWEBサイトとするため、継続して改善するとともに年間を通して広告事業を展開し収入確保に努める。 記者会見は継続して毎月開催し、市の施策等の情報を報道機関へ提供して富谷市を積極的にPRする。 広聴事業の「ちょっと聞いて私の声」を継続し、市政に関する市民の声を広く聴き、市民参加・市民協働のまちづくりを推進する。	

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
2	市民協働推進事業	191,371	継続	とみやわくわくミーティングは、小学生を対象とした「とみやわくわく子どもミーティング」を含め、幅広い世代の参加により4回開催し、まちづくりに関わるテーマについて、話し合いを通じて情報共有及び交流を図り、市民の声が届くまちづくりの推進に寄与した。また、参加者から出された意見やアイデアを庁内共有し施策等への反映に努めたとともに、施策等への反映状況をホームページに掲載することにより、市民との情報共有を図った。 市民の公益的な活動への支援について、今後、方針を策定するため、富谷市協働のまちづくり推進審議会に諮問を行い、審議会を2回開催した。 市民協働セミナーについては、開催に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点により開催を延期した。	総務部 市民協働課
				今後の取組 とみやわくわくミーティングは、引き続き、まちづくりに関わる様々なテーマを設定し、新たに行政区長への周知を行うなど周知方法の拡充に努め、これまで参加したことのない市民の参加につながるよう取り組んでいく。また、本事業は事業開始から8年目となることから、今後より多くの市民が参加できる事業とするため、リニューアルを視野に入れた検討を行っていく。 市民の公益的な活動への支援については、富谷市協働のまちづくり推進審議会の答申を踏まえ、具体的な方針の策定に向け取り組んでいく。	
3	自治振興事業	16,828,600	継続	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の様々な活動が制約された中で、継続して町内会の運営に対して補助金を交付し、地域活動の充実・強化を図った。	総務部 市民協働課
				今後の取組 町内会活動に対する支援を通じ、地域住民相互の親睦や地域の人材育成を促進し、町内会の活性化を図る。また、「おためしノバージョンTOMIYA（OIT）」の活用等により、町内会運営における課題の把握と共有に努め、各町内会の特色や自主性を尊重した支援に努めていく。	
4	町内会館整備事業	32,514,029	継続	明石会館の建設、とちの木会館の改修工事に伴う地質調査及び工事設計業務を行った。長年課題となっていた老朽化に伴う町内会所有の会館の建替えについては、明石会館の完成により、全て完了した。 また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う独自支援策として、町内会活動時の感染予防のため、手指用消毒液を町内会館に整備し、衛生環境の確保を図るとともに地域における感染予防対策の推進を図った。	総務部 市民協働課
				今後の取組 狭隘化が課題となっていたとちの木会館の増築等改修工事を行うとともに、老朽化等で改修が必要な町内会館について計画的に整備を行っていく。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、除菌ガンスプレー及び除菌用アルコールを各町内会館に整備し、引き続き感染予防対策の推進を図る。	

【行財政経営】

- ・持続可能な行財政運営に向けて、健全で透明性のある行財政経営を推進していきます。
- ・効率的で効果的な行政運営に向けて、市職員の意識改革と組織改革を進めていきます。

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
1	債権一元管理事業	25,477,255	新規	納期内納付を基本とし、あらゆる機会を通じて納税意識の高揚を図り、収入未済額の縮減を図った。 前年度との比較で、収入未済額は16,049千円減少し、収納率は98.58%と0.24ポイント上昇した。 また、令和3年度から収納対策室を設置し、公債権や私債権管理業務の計画的、統一的な運用、自主財源確保に向けた取組を進めた。	市民生活部 税務課 収納対策室
				今後の取組 今後も安定した財源を確保するため、納期内納付や口座振替の勧奨、滞納者に対しては担税力を見極めた滞納整理を行う。 また、公債権や私債権についても、更なる債権管理業務を進めるとともに、債権回収に向けた取組を段階的に実施し、収入未済額の縮減を図っていく。	
2	ふるさと納税推進事業	67,321,536	継続	ふるさと納税による財源確保と地場産品のPRによる地域経済の活性化を図るため、寄附申込専用ポータルサイトの追加やバナー広告をはじめとする各種広告を展開するとともに、新たな返礼品の追加にも取り組んだ。 寄附額は対前年度比91,348千円増の147,474千円となった。	企画部 財政課
				今後の取組 引き続き、更なる寄附額の増加につなげるため、寄附申込専用ポータルサイトの追加や返礼品の充実を図るとともに、効果的な広告を展開していく。	
3	基幹系システム運用事業	101,820,982	継続	システム全般（ハード・ソフト・ネットワーク）の維持管理を行い、適切な運用及びセキュリティ対策を実施した。 また、村田町と共同で行っていた基幹系システム（自治体クラウド）運用に、令和3年度から加美町が加わり、法改正による改修などの情報共有を行い、安定した稼働・運用を図った。	総務部 総務課
				今後の取組 引き続き、基幹系システム（自治体クラウド）の安定稼働を図りつつ、宮城県・村田町・加美町と共に、令和5年度の契約期間満了後の対応を協議していく。 また、自治体DX推進計画にて提示されているシステムの標準化への対応も併せて進めていく。	情報デジタル化 推進室

No.	事業名	R3決算額（円）	新・継	事業内容及び成果	担当課
4	職員スキルアップ事業	2,212,312	継続	新規採用職員に対し、市職員として必要な実務の基礎知識や接遇の習得を目的とした研修を実施したほか、契約事務や予算編成に関する研修を実施し、一年を通してスキルアップを図った。 また、コロナ禍の中、一部研修を延期するなど計画通りに研修を実施することが困難であったが、最優先事項として一般職員と課長補佐職等を対象として事務実務研修を実施し、組織全体で適正な事務執行の徹底と事務処理能力の向上に取り組んだ。	総務部 総務課
				今後の取組	人事組織管理室
				今後も新規採用職員に対し、内容に合わせて適切な時期に研修を実施するとともに、一般職員と課長補佐職等を対象とした事務実務研修を継続的に実施することで、市役所全体で更なる事務処理能力の向上を図る。 また、職員一人ひとりがより質の高い接遇を習得できるよう、全職員を対象とした接遇研修を実施し、全庁的な接遇力の向上に取り組む。	
5	組織マネジメント事業	6,523,185	継続	効果的・効率的な人事配置により市民サービスの向上を図るとともに、組織体制の更なる強化を進めるため、次年度へ向けた部課長ヒアリングや職員の業務・配置に関する意向確認に加え、課長補佐候補者との面談を実施した。 また、ワーク・ライフ・バランスの推進として、定時退庁日の実施やゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始休暇に合わせた連続休暇取得を促進することで、職員のモチベーション向上や仕事と家庭の両立の実現に努めた。	総務部 総務課
				今後の取組	人事組織管理室
				組織体制の整備や事務分掌の整理のほか、定年延長や男性の産休制度など、組織を取り巻く環境が今後大きく変化していく中、令和4年度からの「富谷市特定事業主行動計画」をもとに、仕事と生活の調和のとれた職場環境を実現していくため、業務の効率化を図る観点から、継続的に業務手順書を見直し、業務の簡素化・効率化・平準化・業務量の削減を図る。 また、男性職員に限らず将来の管理職候補となるべき女性職員を育成していくため、主事～主幹の間に幅広い業務を経験できるような計画的な人材育成に取り組む。	
6	マイナンバー普及促進事業	37,149,149	継続	マイナンバーカード交付に関しては、出張所や申告会場にて申請時来庁方式による受付を実施するなど、交付率向上の取組を継続して行い、対前年度の約1.1倍の8,784人に交付し、令和3年度末人口に対する交付率は46.79%となった。また、マイナンバーカードを利用した各種証明のコンビニ交付数は対前年度約2倍の6,348件の交付となった。	市民生活部 市民課
				今後の取組	
				マイナンバーカードの適正な運用に努め、カード交付の推進と諸証明のコンビニ交付制度の周知を図り、住民利便性向上と自治体事務処理の効率化に取り組む。	

※No.1の「債権一元管理事業」は、R3一般会計当初予算書において、「徴収事業」として、No.4の「職員スキルアップ事業」は、「職員研修事業」として、No.5の「組織マネジメント事業」は、「人事（給与）管理事業」として、No.6の「マイナンバー普及促進事業」は、「J-NET運用事業」として計上しています。

3. 予算執行実績

令和3年度新型コロナウイルス感染症対策独自支援策一覧

(単位：円)

No.	事業名	事業費
1	地域振興商品券交付事業（全市民対象） ※No.2、No.3の商品券印刷代以外の経費含む。	170,645,050
2	ひとり親世帯地域振興商品券交付事業（商品券印刷代）	34,749
3	生活困窮者支援地域振興商品券交付事業（商品券印刷代）	24,651
4	市内医療機関等従事者感謝・応援事業	4,599,117
5	事業継続支援事業	83,800,000
6	テイクアウト等利用促進事業	8,466,500
7	とみやブルーベリーふるさと便事業	803,200
8	市税等口座振替申込ペーパーレス対応システム構築事業	6,987,640
9	町内会館整備事業 （感染対策用消耗品購入）	816,129
10	子育て支援センター運営・維持管理事業 （サーマルカメラ及び空気清浄機設置）	526,570
11	富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業 （サーマルカメラ及び飛沫防止パネル設置 他）	735,583
12	富谷宿観光交流ステーション運営事業 （サーマルカメラ及び飛沫防止パネル設置 他）	2,444,022
13	人権教育・相談等事業	376,530
14	新規店舗開業支援事業	2,800,000
15	宮城県認証店舗支援事業	1,400,000
16	時短要請等関連事業者支援事業	3,600,000
17	農業継続支援事業	26,745,000
18	原油価格高騰緊急対策事業	6,813,126

(単位：円)

No.	事業名	事業費
19	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業（独自支援分）	114,571,997
20	不登校特例校整備事業	398,200
21	感染症予防事業 （新型コロナウイルスに係る食料品等生活物資緊急支援事業）	1,941,198
22	感染症予防事業 （新型コロナウイルスに係る店舗等消毒事業補助金）	289,000
	全22事業 計 ①	438,818,262

財 源 内 訳	地方創生臨時交付金（単独事業充当分） ②	279,664,571
	県費 新型コロナウイルス感染症対応事業者支援補助金 ③ 【No.5の事業に充当】	31,200,000
	県費 新型コロナウイルス感染症対応事業者支援補助金 ④ 【No.14の事業に充当】	2,800,000
	県費 新型コロナウイルス感染症対応事業者支援補助金 ⑤ 【No.17の事業に充当】	12,000,000
	県費 低所得者世帯向け灯油購入助成事業費補助金 ⑥ 【No.18の事業に充当】	2,000,000
	差引 一般財源 ⑦＝①－（②＋③＋④＋⑤＋⑥）	111,153,691

地方創生臨時交付金（国庫補助事業補助裏充当分） ⑧	19,283,429

臨時交付金総額（②＋⑧）	298,948,000

市長公室

項 目	1. 一般管理 (2款1項1目)		担 当	秘書広報担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予算額	決算額	左の財源内訳				
	円	円	国庫支出金 円	県支出金 円	地方債 円	その他 円	一般財源 円
	3,875,000	2,823,889					2,823,889
事業名	秘書事務						

I 事業の趣旨（目的）

関係各課との連絡体制のもと、市長・副市長のスケジュール・交際費の管理を適正に行い、市政にかかる行事等の確実かつ円滑な業務遂行を図ります。

II 実施内容及び実績

1 交際費

市長交際費支出基準に従い、適切に交際費を執行した。
交際費主な内訳 (単位：件)

項 目	R3	R2
祝 儀	6	2
香 典	17	20
供花・花環	2	8
賛助金・協賛金	1	0
会 費	8	5
見舞い	1	2
その他	36	25
合 計	71	62

2 旅費

市長等の主な出張

- ・11月16日～17日
東北市長会要望活動
- ・12月12日～13日
仙台北部道路建設促進期成同盟会要望活動

3 宮城県市長会議

春、秋に会議を開催し、各市の要望事項を取りまとめ、国・県へ要望活動を実施。

○春の市長会議

期 日 書面表決
 要望等案件 決議2件、その他各市からの要望44件
 富谷市要望案件 ・社会保障・税番号制度の運用等に係る財政措置について
 ・子ども医療費制度の充実強化について
 ・県央地域の交通網の整備について

○秋の市長会議

期 日 書面表決
 要望等案件 決議2件、各市からの要望43件
 富谷市要望案件 ・社会保障・税番号制度の運用等に係る財政措置について
 ・子ども医療費制度の充実強化について
 ・県央地域の交通網の整備について

項 目	2. 文書広報 (2款1項2目)		担 当	秘書広報担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-1 住民参加・協働						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	14,511,000	13,750,163		209,627			13,540,536

事業名	広報・広聴事業

I 事業の趣旨・(目的)

広報とみや、LINE・フェイスブック・インスタグラム等のSNSを活用して、市政情報等を発信するとともに富谷市を積極的にPRします。また、市民に市政への理解と積極的な市政参加を促します。

II 実施内容及び実績

1 広報とみや発行事業

広報とみやは毎月1回発行。行政区長を通じて全戸へ配布。

(1) 発行内容

○令和3年度 ページ単価@1.73円(税込)

○令和2年度 ページ単価@1.62円(税込)

No.	発行日	発行部数	ページ数
652	5月1日	20,700	24
653	6月1日	20,650	28
654	7月1日	20,650	28
655	8月1日	20,650	28
656	9月1日	20,650	28
657	10月1日	20,650	36
658	11月1日	20,650	34
659	12月1日	20,650	32
660	1月1日	20,650	28
661	2月1日	20,650	28
662	3月1日	20,700	28
663	4月1日	20,750	44
印刷経費		13,147,790円	

No.	発行日	発行部数	ページ数
640	5月1日	20,300	20
641	6月1日	20,350	28
642	7月1日	20,350	28
643	8月1日	20,350	24
644	9月1日	20,400	28
645	10月1日	20,400	52
646	11月1日	20,450	30
647	12月1日	20,450	32
648	1月1日	20,450	28
649	2月1日	20,450	24
650	3月1日	20,500	28
651	4月1日	20,600	44
印刷経費		12,173,692円	

○令和3年度発行別冊

- ・10月(令和2年度富谷市決算・事業報告)
- ・11月(市長への手紙「ちょっと聞いて私の声」、富谷市健康推進計画概要版)
- ・12月(除雪・融雪する道路)
- ・4月(令和4年度市の予算と事業、第3期富谷市食育推進計画概要版)

(2) 各月特集記事(主なテーマ)

R3	特集記事「タイトル」
5月	新型コロナウイルスの1日も早い収束へ お互いに支え合い、思いやりのある地域に
6月	「ハザードマップ」ってどんなもの？
7月	“SDGs”って知ってる？ 未来につながるとても大事なことです！
8月	夏休みに挑戦！ 知る喜び、学ぶ楽しさが広がる「調べる学習」
9月	始めよう！手話でコミュニケーション
10月	富谷市誕生5周年 市民と共に未来へ
11月	妊娠期から子育て期まで 切れ目のない支援で子どもにやさしいまちづくり
12月	食品ロスの問題をみんなで考えよう！
1月	新春対談 みんなで地域を守り育み 交え合うまちを目指して
2月	高齢者保健福祉を支える大きな力 市民によるサポーター活動を知ってる？
3月	暮らしを守る ゼロカーボンの取組を始めよう！
4月	全ての子どもたちに優しい学びの場を ～富谷市の教育サポート～

(3) 広報Fan(広報とみや愛読者)

計 61人(令和3年度：9人)

2 SNSによる情報発信

市公式SNSにより、市政に関する情報を即時に情報発信。

(単位：件)

項 目	R3	R2	比較 R3-R2
LINE(友だち登録数)	8,065	3,439	4,626
インスタグラム(フォロワー数)	2,120	1,749	371
フェイスブック(いいねの数)	2,568	2,529	39

・LINEスタンプ第1弾 平成31年4月24日販売開始

計 505件 (令和3年度：106件) 販売

3 広報掲示板整備事業

令和 3年 5月 大亀会館掲示板(経年劣化に伴う補修)

令和 3年10月 富ヶ丘三丁目第2公園掲示板 (経年劣化に伴う補修)

4 広聴事業 (市長への手紙)

広聴事業の一環として、直接市民の方々の声を行政運営に反映する制度として実施

(1)方法 手紙形式の専用意見用紙を広報へ折込。(広報とみや11月号に折込)

市役所総合窓口、武道館、各公民館に専用用紙と投函ボックスを設置

※電子メール(みやぎ電子申請サービス)でも随時、受付

(2)対応 手紙・メールは全て市長が確認し、市としての考えや対応内容等を直接回答

件数 (単位：件)

区分	R3	R2	比較 R3-R2
手紙	125	113	12
メール	73	98	△ 25
計	198	211	△ 13

5 記者会見

定例記者会見(月1回)、議会前に記者発表(年4回・内2回は定例記者会見内)を実施

(1) 定例記者会見・議会に関する記者発表

(単位：件)

R3	主な案件	件数
4月28日	とみやはちみつプロジェクト探蜜式の開催	7
5月26日	とみや感謝・応援便の配送 ～市内医療機関等従者へ感謝を込めて～	5
6月4日	富谷茶復活プロジェクト「富谷宿開宿400年記念植樹式」の開催 令和3年度5月専決補正予算・6月補正予算・予算外議案の概要	5
6月30日	富谷市地域振興商品券事業「とみや応援商品券」の交付	13
7月28日	「街の住みこころランキング2021」3年連続県内1位・2年連続東北1位	5
8月25日	不登校特例校「富谷市立富谷中学校西成田教室」の開設 令和3年度9月補正予算・予算外議案・令和2年度決算の概要	6
9月29日	富谷市と仙台大学との連携協力に関する協定締結式の開催	9
10月27日	11月20日は世界子どもの日「とみやわくわく子どもミーティング」の開催、令和3年度10月補正予算の概要	8
11月22日	フードドライブ開始式の開催 令和3年度11月補正予算・予算外議案の概要	8
12月22日	国内初承認「ユニセフ日本型子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)実践自治体」	10
1月26日	県制150周年記念「明治時代の富谷に関する企画展」の開催	4
2月10日	令和3年度2月補正予算・令和4年度当初予算・予算外議案の概要	3
2月24日	第10回富谷市図書館を使った調べる学習コンクール優秀作品展示会の開催	6
3月30日	富谷市広報戦略プロジェクトチームの設置	9

(2) 報道機関投げ込み件数

令和3年度 64件 (新型コロナウイルス感染症対策本部会議、富谷宿観光交流ステーション「とみやど」オープン、高屋敷西土地区画整理事業開始式ほか)

項 目	3. 情報化推進 (2款1項7目)		担 当	秘書広報担当		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-1 住民参加・協働					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
	円 2,163,000	円 2,126,410	国庫支出金 円	県支出金 円	地方債 円	その他 円 2,126,410

事業名	地域情報化推進事業

I 事業の趣旨（目的）

市公式ホームページを適正に管理・運用し、積極的に市政情報等を発信することによって、全国へ富谷市をPRします。

II 実施内容及び実績

1 市公式ホームページ運営事業

(単位：PV)

項目	R3	R2	比較 R3-R2
1日当たりの訪問者数(ページビュー数)	14,913	10,736	4,177

※PV(ページビュー)：訪問者がサイト内でページにアクセスした数

2 SNSによる情報発信 ※再掲

市公式SNSにより、市政に関する情報を即時に情報発信。

(単位：件)

項目	R3	R2	比較 R3-R2
LINE(友だち登録数)	8,065	3,439	4,626
インスタグラム(フォロワー数)	2,120	1,749	371
フェイスブック(いいねの数)	2,568	2,529	39

・LINEスタンプ第1弾 平成31年4月24日販売開始
計 505件 (令和3年度：106件) 販売

3 市公式ホームページのリニューアル

広報紙とともに情報発信の核である市公式ホームページは、LINEやフェイスブックなどのSNSと連携しながら富谷市の魅力を市内外へPRする重要なツールと位置付けている。

令和3年4月1日にリニューアルを行い、世代問わずさらに見やすく利用しやすい「富谷市らしさ」が伝わるWebサイトとするため、トップページや各コンテンツのデザイン・配置を一新した。

また、自主財源確保と地域経済活性化のため、バナー広告事業を実施した。今後もバナー広告事業において、継続した収入確保に努める。

項 目	4. 諸費 (2款1項12目)		担 当	秘書広報担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	1,044,000	892,753					892,753
事業名	市政功労者表彰事業						

I 事業の趣旨（目的）

自治、保健衛生、産業、統計、教育文化、民生、消防防災、その他各分野において、多年にわたり市の発展に寄与した個人・団体の功績をたたえ、表彰規則・市政功労表彰要領に基づき、表彰状等を贈呈します。

II 実施内容及び実績

栄典・表彰関係

1 叙勲(富谷市上申者)

春秋叙勲（地方自治功労） 1人

2 宮城県文化の日表彰(富谷市推薦者)

地方自治功労 1人

民生安定功労 1人

教育文化功労 1人

調査統計功労 1人

3 富谷市功労者表彰

(1) 特別功労表彰・市政功労表彰（富谷市表彰規則に基づく表彰）

表彰式 令和3年富谷市功労者表彰式（令和3年11月3日、富谷市役所）

表彰区分 功労区分	R3	R2
自治功労	9人	4人
統計功労	2人	1人
消防防災功労	4人	1人
民生功労	5人・5団体	12人・5団体
産業功労	1人	4人
教育文化功労	5人	2人
保健衛生功労	0人	3人
善行功労	7人	4人
特別功労	4人	2人・1団体
合 計	37人・5団体	33人・6団体

(2) 富谷市職員表彰

宮城県市長会永年勤続職員表彰（勤続30年表彰）

職員 8人表彰

富谷市功労表彰（自治功労・勤続20年表彰）

職員 3人表彰

企 画 部

企画政策課

項 目	5. 企画	担 当		行政経営担当 地域経営担当 地方創生担当 交通政策推進担当 行政改革推進担当			
	(2款1項6目)						
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 3-1 公共交通 第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	173,766,000 (内R2繰越分 8,899,000円)	168,813,473 (内R2繰越分 6,486,444円)	3,853,850			2,325,347	162,634,276

事業名	①企画調整事務（市政運営関係）

I 事業の趣旨（目的）

各部課の施策、その他重要な事務事業について、全庁的な周知と協力の確保などの総合的な連絡調整を行い、市政運営の円滑化を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 庁議

(1) 政策企画会議（1回実施）

①構成 市長、副市長、教育長、教育次長、技監、部長、次長

②開催 令和4年3月25日

③周知徹底 政策推進会議において結果報告。

(2) 政策推進会議（50回実施）

①構成 市長、副市長、教育長、教育次長、技監、部長、次長、会計管理者、局長、市長公室長、課長

②開催 原則毎週月曜日

※議会対応（一般質問）政策推進会議は別途開催。

③周知徹底 全職員へ会議議事録を周知し、情報共有と意思統一を図る。

事業名	②企画調整事務（市政懇談会）

I 事業の趣旨（目的）

市の総合計画・後期基本計画の策定状況を市民に報告するとともに、市民の意向の的確な把握を行い、より良い市政運営を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 とみや市政懇談会

市政運営の報告とともに、市民の意向を把握するため、下記2会場で開催した。（単位：人）

会場	開催日	時間	参加人数		
			男性	女性	合計
東向陽台公民館	10月17日（日）	14：00～15：10	15	6	21
富谷市役所	10月23日（土）	14：00～15：00	7	1	8
合 計			22	7	29

2 町内会要望

実績なし

事業名	③企画調整事務（水素実証事業関係）

I 事業の趣旨（目的）

環境省事業「地域連携・低炭素水素技術実証事業」の採択を受け、本事業を通して富谷市総合計画に掲げる「地球環境への貢献につなぐエネルギー地産地消のまちづくり」を推進するもの。

II 実施内容及び実績

1 環境省事業 地域連携・低炭素水素技術実証事業

㈱日立製作所、丸紅㈱、みやぎ生活協同組合及び富谷市が共同申請した、環境省事業地域連携・低炭素水素技術実証事業「富谷市における既存物流網と純水素燃料電池を活用した低炭素水素サプライチェーン実証事業（以下「実証事業」）」が、平成29年8月1日付けで採択を受ける。（東北で初めて、全国で6例目）

令和3年度は、委託事業の最終年度となり、本サプライチェーンの社会実装に向けた各種データの収集・分析を行い、環境省に対して5年間の実証事業の実績を報告した。また、昨年度から導入したBCP対策としての水素混焼発電機の連続運転など、実際に水素製造システムが停電時においても使用可能となるための試験運用を行った。

環境省委託事業としては令和3年度をもって終了となるが、新たに本市が主体となり、環境省の補助事業を活用して、社会実装に向けた一般家庭向けの水素利活用のサプライチェーン構築モデルの実証を継続して実施していくこととしている。

2 燃料電池（FC）バスの路線への導入

令和2年度末から、宮城県内初の取組として宮城交通㈱富谷営業所に導入されたFCバスは、令和3年度においても、新富谷ガーデンシティ線や泉ヶ丘大富線などで路線バスとして継続して運行され、本市が取り組んでいる水素利活用のPRにも寄与している。

3 環境省事業「脱炭素先行地域（第1回）」への申請

令和4年1月に公募された「脱炭素先行地域（第1回）」に、富谷市2050年ゼロカーボン戦略を基に一般住宅のZEH化とEV車の活用と併せて、本市の地域特性として水素を活用した脱炭素事業の計画申請を行った。※脱炭素先行地域は、国が自指す2050年カーボンニュートラル目標達成に向けた取組として、環境省が全国約100の地域を2030年までに民生部門でカーボンニュートラルを達成するための地域を選定するもの。

事業名	④企画調整事務（土地利用対策事業関係）

I 事業の趣旨（目的）

国土法・公営法に基づく届出・申出を受け、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、土地利用の計画的推進を図り、秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 土地売買等届出事務事業

(1) 国土利用計画法第23条に係る土地売買等届出件数 28件

（市街化区域 2,000㎡以上、市街化調整区域 5,000㎡以上の土地取引の届出）

※届出の内、1件は契約から2週間を経過した届出（無届取引）のため、注意を行った。

2 公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出等事務事業

(1) 公有地の拡大の推進に関する法律第4条第1項に係る事務処理 6件
（土地を譲渡しようとする場合の届出）

(2) 公有地の拡大の推進に関する法律第5条第1項に係る事務処理 0件
（地方公共団体等に対する土地の買取り希望の申出）

事業名	⑤企画調整事務（しんまち活性化関係）

I 事業の趣旨（目的）

宿場町「しんまち地区」を文化的、歴史的な地域資源として最大限活用し、地域の方に愛され、多くの人が行き交う場所にするため、官民が連携したプロジェクトの企画運営を実施するもの。なお、本事業は地方創生推進交付金を活用して実施している。

II 実施内容及び実績

1 しんまち活性化プロジェクト（事業費：7,707,700円）

(1) 富谷しんまち活性化協議会の構成

しんまち地区の住民を中心とする市民、大学、市内事業者の代表者等で構成。
市民代表13人、市内各種団体代表2人、アドバイザー5人、顧問9人への委員委嘱。

(2) 協議会の実施内容

回数	開催日	内容
第1回	令和3年6月22日	協議会委員委嘱、R3事業説明 など
第2回	令和3年9月14日	デザインプロジェクト、分科会活動 など ※書面開催
第3回	令和4年3月24日	年度事業報告、事業総括、次年度協議会運営について など

(3) 分科会ワークショップの開催

開催日 令和3年11月25日（木）18:30～19:30

内容 ①まち歩きマップについて
②ARIによる地点紹介のイメージについて
③カルタ・紙芝居について

(4) 2021デザインプロジェクトの実施

歩きたくなる宿場町づくりに向けて、下記のプロジェクトを実施

- ①歩きたくなる宿場町 ぶらりしんまちマップの作成（10,000部）
- ②まちあるきARスポットの設置（12か所）

(5) 分科会の活動

- ①内ヶ崎作三郎氏の紙芝居の作成（10セット）※市内小学校、民俗ギャラリーに配布
- ②「富谷かるた」の作成（10セット）※市内小学校、民俗ギャラリーに配布

(6) 情報発信推進事業

- ①しんまちのホームページでの情報発信
- ②SNS（Facebook、Instagram）での情報発信

(7) 一般社団法人日本計画行政学会 第19回計画賞入賞

計画名 富谷宿開宿400年記念における地域活性化とエリアリノベーション事業
～コミュニティの創造における宮城大学共創ラボプロジェクト～

※計画賞とは…環境問題、長寿化、情報化など新たな社会ニーズに応える革新的で先導的な計画を発掘し、表彰することを目的として1995年度に一般社団法人日本計画行政学会が創設。
（日本計画行政学会HP抜粋）

事業名	⑥企画調整事務（プレミアムスクール関係（R3新規））

I 事業の趣旨（目的）

宮城大学との歴史文化資源による地域活性化共創プロジェクトとして設置されている「MTCL」（MYU×TOMIYA Co-Creation Lab）のラボ事業として、市民参加型のプレミアムスクールを開講し、将来のまちづくり人材を創出するための事業を実施するもの。

II 実施内容及び実績

1. 「人生学」プレミアムスクール（事業費：937,600円）

(1) 内容

宮城大学との共催での事業となるため、年度を通しての事業展開の方法については市と宮城大学との協議により決定する。

(2) 実施状況

令和3年度テーマ：「未来をどう生きるか？」

月に一度の講義を通し、スクール生が開校テーマについて考察を深めるもの。

回数	開催日	内容
第1回	令和3年7月20日	開校式、講義（宮城大：佐々木准教授、民俗ギャラリー：清水学芸員）
第2回	令和3年9月28日	講義（宮城大：風見教授）
第3回	令和3年10月12日	講義（株式会社ニキシモ：北山代表取締役）
第4回	令和3年11月19日	講義（株式会社良知経営：濱田代表取締役社長）
第5回	令和3年12月21日	最終考察会

・スクール生：10人（参加申込のあった市民の中から10人を選出）

・講義のYouTube配信：人数制限なし

(3) 業務委託

①業務受託者

株式会社ソノベ

②委託内容

「令和3年度 人生学プレミアムスクール企画運営支援業務」

・Webサイト運営支援業務

・プレミアムスクール講座オンライン配信支援業務

事業名	⑦長期総合計画推進事業

I 事業の趣旨（目的）

市のまちづくりの指針として策定した「富谷市総合計画」において、市の将来像「住みたくなるまち日本一」を掲げた。その実現に向けて実施する各種事業の進捗管理を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 富谷市総合計画の概要

平成28年第3回定例会において「富谷市総合計画基本構想」議決（平成28年9月15日）

（計画期間）

(1) 基本構想	平成28年度から令和7年度までの10年間
(2) 前期基本計画（平成29年2月策定）	平成28年度から令和2年度までの5年間
後期基本計画（令和3年3月策定）	令和3年度から令和7年度までの5年間
(3) 第1次実施計画（平成29年3月策定）	平成29年度から令和元年度までの3年間
第2次実施計画（平成30年3月策定）	平成30年度から令和2年度までの3年間
第3次実施計画（平成31年3月策定）	令和元年度から令和3年度までの3年間
第4次実施計画（令和2年3月策定）	令和2年度から令和4年度までの3年間
第5次実施計画（令和3年3月策定）	令和3年度から令和5年度までの3年間
第6次実施計画（令和4年3月策定）	令和4年度から令和6年度までの3年間

2 富谷市総合計画審議会の開催（令和3年11月2日）

・会長の選任、第1次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について

3 富谷市国土強靱化地域計画の進捗管理

・令和4年度国土強靱化計画関連事業一覧を作成し、市ホームページにて公表

事業名	⑧広域行政推進事業

I 事業の趣旨（目的）

各構成自治体間の広域行政に関する共通課題の解決に向け、広域行政計画の策定、相互に連絡調整を必要とする事項の調査及び審議並びに国、県及び関係機関への要望等を行い、より効果的な行政を推進することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 仙台都市圏広域行政推進協議会（根拠法令：地方自治法第252条の2）

(1) 構成 ○6市7町1村（仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村）

○委員（首長）、幹事（関係課室長）、事務局（仙台市）

(2) 内容 ①会議関係

ア 北部ブロック幹事会（令和3年4月22日 大和町役場）

イ 幹事会（令和3年6月22日、令和3年11月19日、令和4年1月6日（すべて書面開催））

ウ 第97回総会（令和3年7月6日 宮城県自治会館）

エ 第98回総会（令和4年1月18日 WEB会議）

②事業関係

ア 要望活動：宮城県、国土交通省東北地方整備局（令和3年8月18日 WEB実施）

イ 第五次仙台都市圏広域行政計画の進行管理（H24～R3）

ウ 第六次仙台都市圏広域行政計画の策定作業

エ どこでもパスポート発行事業

2 黒川圏広域行政推進協議会

(1) 構成 ○1市2町1村（富谷市、大和町、大郷町、大衡村）

○委員（首長）、幹事（関係課長）、事務局（大和町）

(2) 内容 ①会議関係

ア 幹事会（令和3年4月22日 大和町役場）

イ 第77回協議会（令和3年6月23日 黒川地域行政事務組合）

②事業関係

ア 調査研究担当者会議（令和3年11月10日、令和4年2月9日 大和町役場）

・黒川圏広域交通バスの実現に向けて

3 仙台市・富谷市広域行政協議会

(1) 構成 ○仙台市、富谷市

○委員（両首長及び議会議員各市7人、富谷市関係部長4人、仙台市関係局長4人）、

幹事（富谷市関係課室長7人、仙台市関係部長4人）、事務局（仙台市）

(2) 内容 ①会議関係

ア 幹事会（令和3年4月20日 書面開催）

イ 常任委員会（令和3年5月21日 書面開催）

ウ 総会（令和3年7月2日 富谷市役所）

②事業関係

ア 仙台北部道路の機能強化の要望（北部道路4車線化及び富谷JCTフルジャンクション化）

幹線道路網の整備促進の要望

（仙台三本木線現道拡幅の早期着手）

（塩釜吉岡線富谷市石積地内の路線延伸）

イ 要望活動：宮城県、国土交通省東北地方整備局（令和3年8月18日 WEB実施）

4 仙台北部道路建設促進期成同盟会（会長：富谷市長）

(1) 構成 ○1市3町1村（富谷市、利府町、大和町、大郷町、大衡村）

○会員（首長及び議会議員）、幹事（関係課長）、事務局（富谷市）

(2) 内容 ①会議関係

ア 幹事会（令和3年6月28日 富谷市役所、10月8日 書面開催）

イ 総会（令和3年7月19日 富谷市役所）

ウ 意見交換会（令和3年7月19日 富谷市役所）※総会終了後

・講話「仙台北部道路を中心とした最近の話題」

国土交通省東北整備局 仙台河川国道事務所長 中尾吉宏氏

②事業関係

- ア 仙台北部道路の機能強化の要望
(4車線化及び富谷JCTのフルジャンクション化ほか)
- イ 要望活動(地元要望、中央要望)
 - ・国土交通省(令和3年9月30日)
 - ・東北地方整備局、仙台河川国道事務所(郵送)(令和3年10月20日)
 - ・東日本高速道路株式会社(令和3年10月21日)
 - ・県選出等国会議員、国土交通省、財務省、東日本高速道路株式会社(令和3年12月13日)
- ウ 関連事業
 - ・道路整備促進期成同盟会全国協議会
「第42回通常総会」(令和3年5月20日) 書面開催
 - ・全国高速道路建設協議会第57回総会(令和3年5月26日) 書面開催
 - ・仙台都市圏自動車専用道路整備促進期成同盟会総会(令和3年6月25日) 書面開催
 - ・宮城県道路協会総会(令和4年3月11日) 書面開催

○「高速道路の暫定2車線区間の4車線化」について(国土交通省)

- ・暫定2車線区間の優先整備区間に選定(令和元年9月10日)※仙台北部道路「利府JCT～富谷IC」
- ・4車線化着手候補箇所に選定(令和3年3月5日)※仙台北部道路「利府しらかし台IC～富谷JCT」区間
- ・4車線化事業許可(令和3年3月30日)※仙台北部道路「利府しらかし台IC～富谷JCT」区間

5 国道4号拡幅改良(4車線)建設促進期成同盟会

- (1)構成 ○7市5町1村(大崎市、白石市、栗原市、仙台市、名取市、岩沼市、富谷市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、大和町、大衡村)
 - 会員(首長、関係課長)、幹事(関係課長)、事務局(大崎市)
- (2)内容 ①会議関係
 - ア 総会(令和3年7月16日 アインバルラ浦島(大崎市))
- ②事業関係
 - ア 要望活動(地元要望、中央要望)
 - ・東北地方整備局、仙台河川国道事務所(令和3年7月26日)
 - ・県選出国会議員、国土交通省、財務省(令和3年7月30日)

6 県道大衡仙台線建設促進協力会

- (1)構成 ○1市1町1村(富谷市、大和町、大衡村)
 - 会員(首長、議会議員)、幹事(関係課長)、事務局(大衡村)
- (2)内容 ①会議関係
 - ア 幹事会(令和3年4月26日、令和3年7月27日 大衡村役場)
 - イ 総会(令和3年7月6日)
- ②事業関係
 - ア 要望活動:宮城県、宮城県仙台土木事務所(令和3年8月19日)

7 緑の未来産業都市くろかわ建設推進協議会(会長:富谷市長)

- (1)構成 ○宮城県、1市2町1村(富谷市、大和町、大郷町、大衡村)、事務局(富谷市)
 - 会員(首長、議会議員、宮城県仙台地方振興事務所長)、幹事(関係課長)
- (2)内容 ①会議関係
 - ア 総会(令和3年7月20日) 書面開催

事業名	⑨移住支援事業

I 事業の趣旨（目的）

宮城県との連携による移住・定住施策の実施とともに、地域の課題解決を図りながら、移住者の定住を促進する「地域おこし協力隊制度」等を活用し、市内への移住・定住促進を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 地域おこし協力隊に関する事業

富谷宿観光交流ステーションの運営業務や、富谷市まちづくり産業交流プラザの企画運営など、各種事業を担う地域おこし協力隊の活動支援を行った。（農業クリエイターの2人は除く。）

(1) 富谷市地域おこし協力隊活動支援業務委託（事業費 27,869,483円 ※特別交付税措置対象）

①事業概要

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間、6人が地域おこし協力隊として活動。

隊員が円滑かつ効果的に地域協力活動を行うために、隊員の雇用、活動マネジメント、育成プログラムの作成協力等の業務を委託した。

②事業受託者

株式会社VISIT東北（伊具郡丸森町）

③事業内容

- ・地域協力活動年間プログラムの作成協力
- ・隊員の雇用
- ・隊員の活動マネジメント

④協力隊の担当業務

- ・コミュニティマネージャー（富谷市まちづくり産業交流プラザ担当）1人
- ・観光企画ディレクター（富谷宿観光交流ステーション担当）2人
- ・ビジネスクリエイター（富谷宿観光交流ステーション担当）3人

2 移住支援金支給事業（令和3年度における支給実績無し）

(1) 事業概要

宮城県及び県内の全市町村実施の事業。東京圏への過度な一極集中の是正及び県内の中小企業等における人手不足の解消を目的として、首都圏からの移住者に対して一定の条件の下、地方創生推進交付金を活用した支援金を支給するもの。

(2) 移住元要件

過去10年間のうち、通算5年以上かつ直近1年以上、東京23区内に在住、または東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県（一部地域を除く））に在住し、東京23区内への通勤をしていた方。

(3) 移住先要件

5年以上県内に定住する意思の確認のほか、次のいずれかの要件に該当する方。

- ①登録法人へ就業 ②起業支援金を活用して起業
- ③プロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用して就業（専門人材）
- ④現在の業務をテレワークに切り替えて移住

(4) 支給金額

2人以上の世帯の場合100万円、単身の場合は60万円の移住支援金を支給。
なお、交付する支援金の負担率は、国1/2、県1/4、市1/4となっている。

(5) 令和3年度実績

支給実績0件。当事業に係る問い合わせは4件。

3 移住相談事業（宮城まるごとon-line移住フェア）

宮城県及び県内の全市町村実施の事業。県内の全市町村が参加するWEBを活用したオンラインイベントに参加し、参加者の興味のある、仕事・暮らし・観光などの様々な情報を発信することで、富谷市で暮らすことへの興味関心を高め、関係人口の創出や移住促進を図った。

(1) 宮城まるごとオンライン移住フェア

①概要

令和3年11月6、7日に開催され、本市は6日に参加した。県内全市町村と県内8企業が参加し、一般参加者との相談の場を「Zoom」を利用して開設し、1人あたり25分のオンライン相談会を実施し

②実績

4人の方とオンラインでの相談を実施。

事業名	⑩市民バス運営事業

I 事業の趣旨（目的）

民間路線バスと連携し、市内における交通不便地域の解消と、公共施設などへの移動手段の確保のため、市民バスを運行するもの。

II 実施内容及び実績

1 市民バスの運行状況と利用状況

（単位：便、人）

	延べ運行便数		延べ利用者数			1便当たり利用者数		1日運行便数	
	R3	R2	R3		R2	R3	R2	R3	R2.10 ～
			利用者総数	（うち無料乗車 証利用者）					
①北部黒川病院線	1,936	1,944	8,119	6,949	8,013	4.2	4.1	8	8
②西部循環線※1	3,630	2,791	50,439	42,580	38,766	13.9	13.9	15	15
③南部循環線※1	2,904	2,184	23,826	18,740	20,654	8.2	9.5	12	12
④東部循環線※2	242	487	2,261	2,260	3,342	9.3	6.9	1	1
⑤大亀山森林公園線	968	972	2,921	2,734	2,949	3.0	3.0	4	4
⑥大亀成田線※3	0	244	0	0	599	0.0	2.5	0	0
合 計	9,680	8,622	87,566	73,263	74,323	9.0	8.6	40	40
比較 R3-R2	1,058		13,243			0.4		0	

※1 西部循環線、南部循環線は、令和2年10月よりイオン富谷店を起終点とする循環便を新設。（全13便）

※2 東部循環線は、令和2年10月より大亀山森林公園線へ一部統合。

※3 大亀成田線は、令和2年10月よりデマンド型交通の運行に伴い休止。

2 市民バスの運行委託状況

(1) 富谷市民バス運行業務委託（57,420,000円／令和3年度分）

委 託 先：仙台富士交通株式会社

委託期間：令和2年4月1日～令和5年3月31日（3年間）

使用車両：小型マイクロバス3台（29人乗り）、乗合小型バス3台（40人程度※立席含む）

※令和2年10月より乗合小型バス（40人程度）を1台増車

運 行 日：月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く。）※お盆期間は令和2年度より通常運行。

3 市民バス使用料（運賃収入）

（単位：円）

	R3	R2	比較 R3-R2
使用料（総額）	1,628,712	1,434,102	194,610
回数・定期券販売分	467,500	433,000	34,500
乗車時払い分	1,161,212	1,001,102	160,110

※運賃（乗車1回につき）：大人（中学生以上）100円、小人（小学生）50円

4 市民バス無料乗車証の交付

（単位：人）

対象者	R3	R2	比較 R3-R2	
70歳以上の方※1	620	706	△ 86	※H20.7～実施
障がいをお持ちの方※2	169	114	55	〃
遠距離通学児童（教育委員会認定）	321	300	21	※H21.4～実施
避難者支援※3	31	51	△ 20	※H23.4～実施
運転免許証返納者（60歳以上）	12	8	4	※H21.4～実施
合 計	1,153	1,179	△ 26	

※1 新規70歳到達者（翌年3月31日までに到達）へ交付。（有効期限無し）

※2 新規対象者へ交付。（有効期限無し）

※3 全国避難者情報システム登録者・原発事故避難者数。

5 市民バスアンケートの調査実施（令和3年11月10日～11月30日）

(1) 回収方法：市民バス車内、市役所総合窓口・各出張所・公民館、福祉健康センター、Webほか

（回答者 122人（紙面104、Web18））

(2) 調査概要：市民バスに関するニーズ調査を実施し意見や要望などを集約

6 富谷市地域公共交通会議の開催

(1) 構 成：市長（会長）、宮城交通㈱、仙台富士交通㈱、大和タクシー、県バス協会、東北運輸局宮城運輸支局、町内会長、宮城交通労働組合富谷支部、大和警察署、宮城県、大和町、小学校、社会福祉協議会

(2) 内 容：市民バス停留所の移設、市民バス運行計画について

(3) 開催日：令和3年8月5日（書面決議）、令和4年1月27日（書面決議）

事業名	⑪新公共交通システム推進事業

I 事業の趣旨（目的）

「新公共交通システム」の導入検討に関する調査分析などを行い、総合的な公共交通システム導入の促進を図るために必要なビジョンや目標を確認し、必要となる調査内容やプロセスを明確にしていく。

II 実施内容及び実績

1 令和3年度 富谷市官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査業務（委託金額 8,976,000円）

- (1) 委託先：株式会社 福山コンサルタント東北支社
- (2) 業務期間：令和3年10月4日から令和4年3月18日まで
- (3) 委託内容：①地下鉄整備の基本計画及び採算性の検討
②地下鉄のPFI事業による整備・運営手法の検討

2 富谷市総合交通検討委員会の開催

- (1) 構成：宮城大学教授（委員長）、富谷市、宮城交通網、仙台富士交通網、県タクシー協会、東北運輸局宮城運輸支局、町内会長、大和警察署、宮城県、仙台市、大和町、社会福祉協議会
- (2) 内容：①富谷市都市・地域総合交通戦略（基本計画）の進捗状況について
②令和3年度富谷市官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査の概要について
- (3) 開催日：令和4年3月1日

事業名	⑫市民バス乗り継ぎ運行事業

I 事業の趣旨（目的）

実証運行を踏まえ「イオン富谷店」を拠点とした市民バスと民間路線バスとの乗り継ぎ運行事業を実施することで、仙台市区間との公共交通の利便性向上を図り、既存バスの維持確保及び拡充を図る。

II 実施内容及び実績

1 内容

「イオン富谷店」を乗り継ぎ拠点として、市民バスと民間路線バスを結節し、泉中央駅までのバス区間を低額で運行する乗り継ぎ運行事業を実施。

2 期間：令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

3 運行委託事業者及び運行内容

- (1) 委託先：宮城交通株式会社
- (2) 運行日：平日のみ（月～金曜日）
- (3) 運行区間：宮城交通バス・上桜木大清水線（イオン富谷店～泉中央駅）

4 利用者負担額

- ・大人（中学生以上）片道100円（通常料金 片道390円）
 - ・小人（小学生以下）、障がい者 片道50円（通常料金 片道200円）
- ※市民バス車内にて往復乗車補助券を交付、未就学児は無料。

5 利用実績（往復乗車補助券利用枚数）（単位：枚）

	R3	R2	比較 R3-R2
大人	2,489	2,220	269
小人・障がい者	63	141	△ 78
合計	2,552	2,361	191

6 委託料（単位：円）

	R3	R2	比較 R3-R2
運賃補填額	731,260	664,950	66,310

事業名	⑬デマンド型交通運行事業

I 事業の趣旨（目的）

市民バスの代替手段となる新たな交通網の形成を目指し、市内の東部及び北部区域を対象に、デマンド（予約乗合）型交通の実証運行を実施し、買物や通院等の移動を支える「地域の足」を目指すため、運行するもの。

II 実施内容及び実績

1 内容

市内の東部区域（市民バス「大亀成田線」）及び北部区域（市民バス「北部黒川病院線」）沿線を対象にデマンド型交通の実証運行を実施。（使用車両：トヨタ・ノア「ウェルジョイン」3台）

2 実施期間

- (1) 実証運行：令和2年10月1日～令和4年3月31日（1年6か月）
 (2) 本格運行：令和4年4月1日～

3 デマンド型交通運行業務委託（8,430,246円／令和3年度分）

- (1) 委託先：社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会
 (2) 委託期間：令和2年9月1日～令和5年8月31日（3年間）
 (3) 運行日：平日のみ（月～金曜日、午前9時～午後5時）
 (4) 運行便数：北部区域 8便／日（1台）、東部区域 16便／日（2台）

4 デマンド型交通車両賃貸借（2,376,000円／令和3年度分）

- (1) 契約先：株式会社 トヨタレンタリース宮城
 (2) 賃貸借期間：令和2年9月1日～令和5年8月31日（3年間）
 (3) 賃貸借車両：トヨタ・ノア「ウェルジョイン」（3台）
 (4) 乗車定員：6人（運転手除く） ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止として当面は5人。

5 登録者数 (単位：人)

区域別	R3	R2	比較 R3-R2
北部区域	14	9	5
東部区域	73	65	8
合 計	87	74	13

(単位：人)

種別	R3	R2	比較 R3-R2
70歳以上	66	57	9
中学生以上	11	9	2
障がい者	9	8	1
小学生	1	0	1
合 計	87	74	13

6 利用実績 (単位：人)

	R3	R2	比較 R3-R2
利用人数	1,524	568	956
1日平均値	6.3	4.7	1.6

※R2は、10月から3月までの利用人数の合計。

7 使用料（運賃収入） (単位：円)

	R3	R2	比較 R3-R2
使用料（総額）	153,400	76,100	77,300
回数券販売分	110,000	66,000	44,000
現金	43,400	10,100	33,300

※運賃（乗車1回につき）：大人（中学生以上）200円、小人（小学生）100円、障がい者は無料。

70歳以上、60歳以上の運転免許返納者は100円。

※R2は、10月から3月までの使用料（運賃収入）の合計。

事業名	⑭地方創生推進事業

I 事業の趣旨（目的）

現在、日本が直面する人口減少や若者の東京一極集中に起因して地域活力の低下が危惧されている。その課題を克服すべく国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し策定した「富谷市地方創生総合戦略」に基づき、地域の魅力づくり等に資する事業を実施するもの。

II 実施内容及び実績

1 地方創生の取組に係る効果検証の実施について

内容：地方創生総合戦略及び地方創生各種交付金事業について、基本目標や重要業績評価指標（KPI）に対する検証を実施。

構成：富谷市総合計画審議会

2 地方創生交付金の活用について

(1) 地方創生推進交付金：14,850,008円

【交付対象事業の名称】

新たな観光拠点と地域の担い手創出による宿場町復活・活性化プロジェクト

【経費内訳】

①しんまち活性化協議会運営費

交付金額：556,600円

担当課：企画政策課

②活性化分科グループWS運営・情報発信推進業務

交付金額：3,297,250円

担当課：企画政策課

③観光コンテンツ富谷宿街道まつり企画運営事業

交付金額：0円（新型コロナウイルス感染症拡大による事業中止）

担当課：産業観光課

④富谷市観光交流拠点設立事業

交付金額：10,996,158円

担当課：産業観光課

(2) 地方創生拠点整備交付金：該当事業なし

3 第2次富谷市地方創生総合戦略（計画期間：令和3年度から令和7年度まで）の取組状況

(1) 基本目標1 地域の魅力を活かした雇用の場の創出

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R3)
新規雇用者数250人（累計）	-	142人

重要業績評価指標（KPI）	基準値 (R1)	実績値 (R3)
新規誘致・操業企業数5社（累計）	-	1社
市の支援による起業・創業の実現25社（累計）	-	17社
プレミアムスクール受講者数50人（延べ）	-	10人

(2) 基本目標2 とみやシティブランドの創出・発信による交流人口の拡大

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R3)
交流人口の増加16万人	54,645人	182,172人

重要業績評価指標（KPI）	基準値 (R1)	実績値 (R3)
富谷宿観光交流駅-ションへの年間来場者数10万人	-	155,891人
新たな特産品の開発2品（累計）	-	0品
空き家利活用促進事業を活用した売買等件数10件（累計）	1件	2件（累計3件）

(3)基本目標3 まちの未来を育てる環境の充実

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R3)
子育てに対する市民満足度50.0%	45.4% ※	—
学校教育に対する市民満足度30.0%	26.4% ※	—

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1)	実績値 (R3)
図書館利用登録者数15,000人	8,100人	8,879人
保育園待機児童数0人	0人 ※	0人
審議会等委員への女性登用率50%維持	50.0% ※	51.5%

※…令和2年度の数値を使用

(4)基本目標4 すべての世代が安心して暮らすことができる魅力的なまちの創造

数値目標	基準値 (R1)	実績値 (R3)
市民の定住意向の割合90.0%	88.0% ※	—

重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1)	実績値 (R3)
市民バス年間利用者数92,000人	88,247人	87,566人
デマンド型交通年間利用者数1,000人	—	1,524人
認知症学びの講座受講者数4,500人(累計)	2,462人	463人 (累計)3,292人
ゆとりすとクラブ・サロンの開催箇所数26箇所	22箇所	23箇所
市民協働による公共インフラ維持管理団体数15団体	3団体	5団体
省エネ・環境保全の市民満足度20.0%	14.1% ※	—

※…令和2年度の数値を使用

事業名	⑤行政改革推進事業

I 事業の趣旨（目的）

複雑・多様化する行政課題へ対応するため、行政改革基本方針・実施プランを基に行政改革を実施し、市総合計画の推進及び将来像の実現を図る。

II 実施内容及び実績

1 第2次富谷市行政改革基本方針、改革工程表の推進・進捗管理

事業目的達成のため、令和2年度に策定した「第2次富谷市行政改革基本方針」及び「改革工程表」を基に、各取組の推進及び進捗管理を行った。これらの取組概要については、市広報紙やホームページなどを通し、市内外へ情報発信している。

(1) 行政改革基本方針及び実施プランの進捗管理

① 行政改革基本方針（計画期間：令和3年度から令和5年度までの3年間）

本市の現況や課題を整理し、行政改革の指針として、3つの基本方針・8つの政策目標から構成

② 行政改革改革工程表（計画期間：令和3年度から令和5年度までの3年間）

基本方針に沿い、計画的かつ積極的に行政改革を推進していくため、具体的な項目及び内容から構成

③ 進捗管理（令和3年度実績）※令和4年1月末時点（単位：件）

基本方針	◎	○	△	×	計
1 行政経営能力の向上	1	8	-	-	9
2 市民参画と協働の推進	1	1	-	-	2
3 持続可能な財政運営	4	4	-	-	8
計	6	13	0	0	19

◎：計画より進んでいる ○：計画どおり △：やや遅れている ×：計画に着手していない

【計画より進んでいる実施項目】

外部人材の有効活用、市広報紙・ホームページ・SNS等の充実、選択と集中による予算編成、財政健全化判断比率（4指標）の維持、公共施設総合管理計画の推進、コスト削減及び費用対効果を意識した業務の推進

(2) 業務改善等提案制度の実施

職員が積極的に市民サービスの向上、事務の合理化効率化、執務環境の改善など、業務改善について意見を提案できる業務改善等提案制度を実施した。

① 提案期間 令和3年10月8日から10月29日まで

② 提案方法 みやぎ電子サービス又は提案箱への投函

③ 提案件数 14件

(3) 人事交流経験職員等意見交換会の開催

人事交流経験職員による派遣元や派遣先での優良事例等の意見交換会を開催し、行政事務の推進を図った。

① 開催日 令和3年10月19日

② 参加人数 12人

項 目	6. 指定統計 (2款5項1～2目)	担 当	行政経営担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	1,003,000	995,621	957,083 38,538

事業名	①統計管理事務

I 事業の趣旨（目的）

統計思想の普及、統計事務の研究・改善、会員相互の親睦を図ることを目的に設置している富谷市統計調査員協議会を支援し、統計事業の円滑な実施を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 富谷市統計調査員協議会の運営

- (1) 会員数 14人（R4.3.31時点、R3年度内1人増）
- (2) 市補助金額 35,000円
- (3) 活動状況 総会、役員会などの開催（研修会、意見交換会等はコロナ禍を配慮し、中止）

事業名	②統計調査員確保対策事業

I 事業の趣旨（目的）

市へ委託される総務省所管統計調査に、積極的に取り組んでいただく登録調査員を広く募集し、安定した調査員の確保を図る。また、統計調査員協議会員や登録調査員を対象に研修を行い、実務の知識を深め、調査結果の精度を上げることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 登録調査員募集事業

- ①応募者：14人（内12人登録）
- ②内 容：富谷市統計調査員協議会には属さないが、優先的に調査員を引き受ける人員を確保するもの。
※登録調査員数 19人（R4.3.31時点）

2 各種統計資料の提供

2022年版みやぎ手帳を富谷市統計調査員協議会員へ提供

3 広報活動

定期的に広報とみややFacebookにて登録調査員の募集記事を掲載し、統計調査全体の調査員確保の安定を図った。

事業名	③経済センサス-活動調査

I 事業の趣旨（目的）

日本国内の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の状態を全国的及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を対象とする各種の統計調査を行う際の基礎となる母集団情報の整備を図るもの。（5年ごとに実施）

II 実施内容及び実績

1 調査対象 全事業所

2 調査期日 令和3年6月1日現在

3 調査結果 市内総事業所数 1,380事業所（R4.5.31速報値）

4 調査員・指導員の活動

- (1) 調査員・指導員数 調査員13人 指導員1人
- (2) 調査員業務 調査票の配布、回収、インターネットでの回答の依頼
- (3) 指導員業務 調査票の審査、問合せ、書類整理
- (4) 説明会 会場：富谷市役所 303・304会議室
日時：令和3年4月21日（水） 調査員13：30～15：30
指導員15：30～16：00

5 コロナウイルス感染拡大防止対策

経済センサス-活動調査では新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、下記の対策を行った。

- ①調査員が活動する際には、マスク・手洗い・うがい・体温測定等の感染防止対策を徹底した。
- ②調査票を配布する際には、可能な範囲で、調査票をポストに投函し、調査内容の説明はインターホン越しで実施した。
- ③原則として、調査票の回収については、調査員は行わず、郵送またはインターネット回収とした。

6 広報活動

広報とみや（5月号）や市ホームページにて経済センサス-活動調査の調査概要・回答方法などを掲載し周知啓発を行った。また、調査前に事前依頼はがきを送付することで、調査員たちの負担軽減を図った。

項 目	7. 商工振興 (7款1項2目)		担 当	行政経営担当			
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 2-2 商業・観光						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	3,000,000 (内R2繰越分 3,000,000円)	2,970,000 (内R2繰越分 2,970,000円)					2,970,000
事業名	富谷宿観光交流ステーション運営事業 (R2繰越)						

I 事業の趣旨（目的）

富谷宿観光交流ステーション（とみやど）をオープンするにあたり、施設の周知の効果的な実施、集客等に係るPRイベントの企画立案、プレイベント、グランドオープンの式典などを実施し、施設の安定的な運営を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 事業概要

- (1) 事業名称 令和2年度 富谷宿観光交流ステーション施設PR企画及びオープンイベント支援事業
- (2) 事業場所 富谷宿観光交流ステーション
- (3) 事業費 2,970,000円 (R2繰越)
- (4) 事業期間 令和3年1月26日～令和3年10月30日
- (5) 実施内容
 - ① マスメディアを活用した施設のPR企画業務（施設オープン後に実施）
テレビ放送1回、テレビCM15回、ラジオ放送3回
 - ② プレオープンイベント、施設開所式典の運営支援、イベントの企画運営業務
令和3年3月13日（土）：テナントのシミュレーションを兼ねたテストオープンを実施
令和3年5月15日（土）：オープニングイベントとして、テープカットを実施
 - ③ その他、開所に向けた準備業務
施設誘導用看板等の作成・設置

部 画 企 課 政 財

項 目	8. 財産管理 (2款1項5目)	担 当	管財担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	114,886,000	107,415,689	284,000 4,757,482 102,374,207

事業名	①公有財産維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

庁舎、けやき館などの建物について、各種点検結果に基づき適正な維持管理を行うことで施設の長寿命化を図る。また、公共公益施設用地について、周辺の良い居住環境の維持や町内会行事等での活用を視野に、除草等を行い、適正な維持管理に努めるとともに、未利用地の売却や貸出しによる歳入の確保に努める。

II 実施内容及び実績

1 庁舎維持管理

(単位：千円、%)

	R3	対前年度 伸び率	R2	対前年度 伸び率	R1	対前年度 伸び率
1 庁舎維持管理業務	42,870	△ 0.5	43,084	1.3	42,515	11.1
内訳						
庁舎管理業務	41,369	0.1	41,340	0.9	40,962	13.8
敷地除草剪定業務	1,386	0.8	1,375	1.6	1,354	△ 0.5
敷地等自然緑地刈払業務	115	△ 68.8	369	85.4	199	△ 78.5
2. 光熱水費等	24,287	6.3	22,840	1.2	22,573	0.8
内訳						
電 気	料 金					
	使用量(Kwh)					
	17,974	7.7	16,687	0.2	16,653	△ 0.2
	828,552	2.8	806,200	6.4	757,710	△ 2.4
水 道	料 金					
	使用量(m)					
	1,578	2.0	1,547	5.0	1,473	△ 0.3
	3,423	△ 0.1	3,426	5.3	3,254	△ 1.3
電 話	料 金					
	4,688	2.6	4,571	3.8	4,404	5.1
灯 油	料 金					
	47	34.3	35	△ 18.6	43	4.9
	488	△ 10.9	548	1.5	540	9.3
合 計	67,157	1.9	65,924	1.3	65,088	7.3

2 公有財産維持管理（上記1を除く）【対象施設：けやき館、旧ひより台汚水処理場、バス車庫等】

(単位：千円、%)

	R3	対前年度 伸び率	R2	対前年度 伸び率	R1	対前年度 伸び率
1. 公有財産維持管理業務	5,358	△ 4.9	5,632	146.7	2,283	△ 34.3
内訳						
公共公益用地除草業務	2,219	△ 5.9	2,357	3.2	2,283	△ 28.1
公共施設除雪業務	3,139	△ 4.2	3,275	皆増	0	皆減
2. 光熱水費等	1,379	20.3	1,146	△ 0.9	1,156	12.7
内訳						
電 気	料 金					
	使用量(Kwh)					
	1,117	20.6	926	3.6	894	16.6
	42,387	12.6	37,628	8.8	34,586	18.2
水 道	料 金					
	262	19.1	220	△ 16.0	262	1.2
	101	△ 1.9	103	△ 15.6	122	6.1
合 計	6,737	△ 0.6	6,778	97.1	3,439	△ 23.6

・とちの木汚水処理場跡地境界確定測量業務 660 千円

3 財産等使用許可（賃貸借）

（単位：件、千円）

		R3	R2	R1
行政財産使用許可	許可件数	23	24	34
	使用料	14,490	13,055	13,706
普通財産貸付契約	賃貸借件数	19	19	22
	賃貸料	3,573	3,181	2,955
基金財産貸付契約	賃貸借件数	6	3	2
	賃貸料	1,598	1,705	969
合計	件数	48	46	58
	金額	19,661	17,941	17,630

※公有財産売却収入（東向陽台高圧線下敷地 2筆）

17,100 千円

4 その他

・固定資産台帳システムデータ更新・修正業務

1,958 千円

事業名

②入札契約事務・物品管理事務

I 事業の趣旨（目的）

入札、契約は、競争性・透明性・客観性を高めた適正かつ経済的な執行が行えるよう努める。物品管理は、公用車の日常点検を徹底すること、共通物品等の市場の動向に合わせた単価契約を行うことで適正な管理や経費の削減に努める。

II 実施内容及び実績

1 入札契約

(1) 富谷市契約等審査委員会開催数 35 回

入札開催数 22 回

(2) 入札件数及び落札率

（単位：件、％）

	一般競争入札		指名競争入札		合計	
	件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
R3	196 (20)	79.1	20	86.9	216	79.6
R2	118 (10)	84.9	154	82.6	272	84.5

※（ ）内は総合評価落札方式により入札した件数

※令和3年度の不調・不落件数は11件（一般競争入札10件、指名競争入札1件）

※落札率については、不調・不落件数を除いて算出

(3) 業種毎の入札件数及び落札率

（単位：件、％）

		一般競争入札		指名競争入札		合計	
		件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
R3	工事	78	78.5	8	87.4	86	79.4
	業務	89	80.3	9	83.6	98	80.4
	物品	19	86.7	0	0.0	19	86.7
	賃貸借	10	78.9	3	43.6	13	78.7
	計(再掲)	196	79.1	20	86.9	216	79.6

R2	工事	65	85.8	55	85.3	120	85.8
	業務	35	73.6	66	80.6	101	76.5
	物品	11	94.9	31	82.4	42	92.6
	賃貸借	7	84.8	2	95.6	9	85.3
	計(再掲)	118	84.9	154	82.6	272	84.5

※落札率については、不調・不落件数を除いて算出

2 ガソリン等単価契約の状況

（単位：円/10当たり年平均単価）

	R3	R2	R1
ガソリン	146.50	116.36	132.51
	133.49	116.35	128.48
軽油	120.05	92.09	109.73
	116.33	91.05	109.59
灯油	91.41	62.76	77.90
	96.98	64.59	78.80
A重油	99.88	63.80	81.77
	—	—	—

※数値上段は契約金額を契約回数で除した値

※数値下段は支出済額を年間消費量で除した値（当課所管分）

3 共用車の状況

（単位：台、千円、ℓ）

	R3	R2	R1
保有台数	17	17	17
燃料費(ガソリン・軽油)	919	735	1,148
燃料使用量	6,966	6,373	9,233

4 庁舎内コピー機等の使用状況

(1) 庁舎内コピー機使用状況【コピー機8台の合計】

(単位：千円、枚、%)

	R3	対前年度 伸び率	R2	対前年度 伸び率	R1	対前年度 伸び率
使用料 (トナー代含)	4,425	△ 12.0	5,027	6.7	4,711	14.2
使用枚数	1,881,658	△ 22.1	2,416,396	1.3	2,385,574	3.2

(2) 庁舎2Fカラー印刷機使用状況 (単位：千円、枚、%)

	R3	対前年度 伸び率
使用料	1,874	皆増
インク代	2,535	皆増
合計	4,409	皆増
使用枚数	1,661,740	皆増

5 物品購入

(1) コピー用紙購入 2,839 千円

うちA4サイズ

(単位：千円、枚、%)

	R3	対前年度 伸び率	R2	対前年度 伸び率	R1	対前年度 伸び率
金 額	2,562	△ 5.4	2,708	△ 0.2	2,714	27.1
枚数	4,445,000	△ 3.9	4,625,000	3.4	4,475,000	1.2

(2) 庁用備品購入 (飛沫対策用仕切板、更衣ロッカー等) 2,009 千円

項 目	9. 企画 (2款1項6目)		担 当	財務担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	72,115,000	67,321,536				0	67,321,536

事業名	ふるさと納税推進事業

I 事業の趣旨（目的）

ふるさと納税制度の施行に伴い、富谷市のまちづくりに共感を持つ方（寄附者）からふるさと納税（寄附金）を募り、「住みたくなるまち日本一」のまちづくりに資することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 ふるさと納税寄附実績

	(単位：件、円)		
	R3	R2	比較 R3-R2
寄附件数	5,923	2,176	3,747
寄附金額	147,474,833	56,126,000	91,348,833
返礼件数	6,444	2,406	4,038
返礼品金額	42,253,610	14,884,098	27,369,512

2 ふるさと納税返礼品

- ・ 返礼品として人気のある「牛たん」や季節限定の「冷凍ブルーベリー」に加え、「コストコ メンバークーポン券」、「牛たんおせち」、「ジェラート」、「ずんだ餅」などを新たに追加し、市内の特産品をPRしつつ、寄附を募った。

3 ふるさと納税を募集する際の取組

- ・ 「ふるさとチョイス」や「楽天ふるさと納税」に加え、「さとふる」などの4サイトを新たに追加し、計9つのポータルサイトにより募集したもの。

4 寄附金の使途毎の寄附件数・金額

寄附金の使途		(単位：件、円)	
	寄附件数	寄附金額	
(1) 富谷市民図書館整備運営基金事業	164	4,428,500	
(2) とみやスイーツ基金事業	144	3,616,500	
(3) 新型コロナウイルス感染症対策事業	1,366	33,699,000	
(4) 暮らしを自慢できるまちづくり事業	191	4,546,000	
(5) 教育と子育て環境を誇るまちづくり事業	1,302	33,049,500	
(6) 元気と温かい心で支えるまちづくり事業	160	3,727,000	
(7) 市民の思いを協働でつくるまちづくり事業	100	2,537,000	
(8) 令和4年福島県沖地震	84	678,333	
指定なし	2,412	61,193,000	
計	5,923	147,474,833	

※(4)～(7)については、富谷市総合計画の基本方針に基づく事業。

部 務 総 課 務 総

項 目	10. 一般管理 (2款1項1目)		担 当		人事組織管理担当 総務管理担当		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	550,372,000	521,181,002		1,157,301		8,861,287	511,162,414
事業名	①職員研修事業						

I 事業の趣旨（目的）

自治体として年々増大する行政需要に適切に対応するため、これまで以上に職員の資質向上及び意識改革の必要性が増しています。このことから、限られた財源や人的資源の中で、本市の独自性を発揮し、創造的かつ効果的な行政施策やサービスを市民に提供していくため、富谷市人材育成基本方針をもとに職員の資質向上を図ります。

II 実施内容及び実績

1 職場内研修

（単位：人、日）

研 修 名	R3		R2		R1		比較 R3-R2	
	人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数
一般職員研修 ※詳細は下記のとおり	145	3	32	1	176	4	113	2
新規採用職員研修 ※詳細は下記のとおり	128	10	152	10	138	14	△ 24	0
合 計	273	13	184	11	314	18	89	2

令和3年度一般職員研修の内訳

（単位：人、日）

内 容	人 数	受講日数
1 人事評価者研修	38	1
2 事務実務研修（課長補佐職等編） ※新規	43	1
3 事務実務研修（一般職員編） ※新規	64	1
合 計	145	3

令和3年度新規採用職員研修の内訳（新規採用職員 16人）

（単位：人、日）

内 容	人 数	受講日数
1 市長講話	16	1
2 新規採用職員研修	16	1
3 接遇研修	15	1
4 事務基本実務研修	13	1
5 防災教育	13	1
6 事務レベルアップ研修Ⅰ	14	1
7 目標設定面談	15	1
8 事務レベルアップ研修Ⅱ	12	1
9 年度末個別面談	14	1
合 計	128	9

2 職場外研修（宮城県市町村職員研修所主催）

（単位：人）

区分	研 修 名	年 度	市 長 公 室	企 画 部		総 務 部	市 民 生 活 部		保 健 福 祉 部		経 済 産 業 部	建 設 部		計 画 部	会 議 部	教 育 部		合 計	比較 R3-R2							
				企 画 策 略 課	財 政 課		市 民 協 働 課	市 民 課	税 務 課	生 活 環 境 課		長 寿 福 祉 課	地 域 福 祉 課			子 育 て 支 援 課	健 康 推 進 課			産 業 振 興 課	都 市 整 備 課	都 市 計 画 課	上 下 水 道 課	教 育 総 務 課	学 校 教 育 課	生 涯 学 習 課
階 層 別 研 修	新規採用職員研修	R3 R2		1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1		1	1	14 17	△ 3						
	一般職員研修Ⅰ	R3 R2	1	1	1	2		1		1	3	1	4	1	1	2		1	8 21	△ 13						
	一般職員研修Ⅱ	R3 R2	1						1			1	1	1					5 0	5						
	監督者研修Ⅰ	R3 R2			1				2		2	1						1	5 5	0						
	監督者研修Ⅱ	R3 R2					2			2							1	5 0	5							
	管理者研修Ⅰ	R3 R2								2	1								3 0	3						
	管理者研修Ⅱ	R3 R2		1															1 0	1						
専 門 研 修	市町村等職員 給与制度等研修会	R3 R2			2													2 0	2							
	私債権管理・回収 研修	R3 R2											1					0 1	△ 1							
	条例・規則作成研修 （基礎）	R3 R2							2 1					1				2 2	0							
	政策形成研修	R3 R2									1							0 1	△ 1							
	タイムマネジメント 研修	R3 R2								1								0 1	△ 1							
	リスクマネジメント 研修	R3 R2			1													0 1	△ 1							
	契約事務研修	R3 R2		1			1			1			2				1	4 3	1							
	民法研修	R3 R2									1							0 1	△ 1							
	クレーム対応研修	R3 R2			1													0 1	△ 1							
	会計学基礎研修	R3 R2			1													1 0	1							
	コミュニケーション 研修	R3 R2									1							1 0	1							
	コーチングスキル 講座	R3 R2						1										1 0	1							
	合 計		R3 R2	2 1	3 1	3 3	4 3	1 1	3 0	3 4	2 1	3 7	9 11	2 2	3 3	0 1	5 2	1 3	1 0	0 0	0 2	0 2	3 3	52 54	△ 2	

(再掲)

(単位：人、日)

研 修 名	R3		R2		R1		比較 R3-R2	
	人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数
階層別研修	41	23	43	11	54	25	△ 2	12
専門研修	11	12	11	16	38	42	0	△ 4
合 計	52	35	54	27	92	67	△ 2	8

3 派遣研修（その他の主催）

(単位：人、日)

研修名	主催	R3		R2		R1		比較 R3-R2	
		人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数	人数	受講日数
生活保護と自立支援対策	市町村アカデミー	/	/	/	/	1	5	/	/
地方公会計制度	市町村アカデミー	/	/	/	/	1	5	/	/
メンタルヘルスセミナー	宮城県職員厚生課	/	/	/	/	2	1	/	/
合 計		0	0	0	0	4	11	/	/

事業名	②人事（給与）管理事業

I 事業の趣旨（目的）

組織の最適化及び職員のモチベーション向上を目指した人事配置や人材確保に努めるとともに、適切な就業管理やアウトソーシングによる効率的な給与支給を図ります。

II 実施内容及び実績

1 給与計算事務委託業務

委託先：七十セリサーチ&コンサルティング㈱

(1) 業務内容【正職員】

（単位：円）

項目	支払額	項目	支払額
例月給与計算事務	1,380,720	給料異動報告書作成事務	36,080
期末勤労手当計算事務	231,660	財務会計資料作成事務	123,200
差額支給計算事務	0	履歴データ作成支援	330,000
年末調整計算事務	121,110	給与実態調査資料作成事務	116,490
源泉徴収票作成事務	20,185	標準報酬処理事務	116,820
給与支払報告書データ作成事務	187,110	扶養控除等（異動）申告書作成支援	132,000
決算資料作成事務	115,830		
合 計			2,911,205

(2) 業務内容【会計年度任用職員】

（単位：円）

項目	支払額	項目	支払額
例月給与計算事務	1,179,750	源泉徴収票作成事務	15,895
期末手当計算事務	141,570	財務会計資料作成業務	123,200
差額支給計算事務	0	社会保険計算事務	53,790
年末調整計算事務	95,370	給与支払報告書データ運用事務	95,370
合 計			1,704,945

2 職員採用試験業務委託

(1) 実施内容

- ① 令和3年7月11日（日） 場所：富谷市役所
ア 試験区分・職種
（ア）上級（行政・土木）
- ② 令和3年9月19日（日） 場所：富谷市役所
ア 試験区分・職種
（ア）中級（保育士）
（イ）初級（行政）
- ③ 令和3年10月31日（日） 場所：富谷市役所
ア 試験区分・職種
（ア）初級（行政・障がい者）
- ④ 令和4年1月30日（日） 場所：富谷市役所
ア 試験区分・職種
（ア）上級（土木）

(2) 委託料

（単位：円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
市町村職員採用統一試験経費	315,845	310,977	351,442	4,868
個別実施（追加実施）委託料	93,500	0	187,660	93,500
合 計	409,345	310,977	539,102	98,368

(3) 受験者数

(単位：人)

項目 \ 年度	R3		R2		R1		比較 R3-R2	
	申込者数	受験者数	申込者数	受験者数	申込者数	受験者数	申込者数	受験者数
上級・行政	75	52	61	48	79	61	14	4
上級・保健師					8	7		
上級・社会福祉士					8	7		
上級・土木	15	14	8	6	15	12	7	8
上級・建築					2	1		
中級・保育士	5	4	15	10	23	18	△ 10	△ 6
初級・行政	41	37	51	44	32	29	△ 10	△ 7
初級・行政(障がい)	1	1					1	1
初級・建築					2	2		
合 計	137	108	135	108	169	137	2	0

3 宮城県町村会非常勤職員公務災害補償保険

(単位：円)

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
保険料	540,530	597,080	821,910	△ 56,550

※令和元年度より宮城県町村会「災害共済事業自治振興基金」による支出から加入団体負担に変更されたもの

事業名	③職員健康管理事業

I 事業の趣旨（目的）

職員の健康を確保するため健康診断を実施するとともに、職員個々の健康管理・メンタルケアに対する意識向上を図ります。

II 実施内容及び実績

1 職員定期健康診断等受診者数

（単位：人、％）

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
定期健康診断	250	247	233	3
人間ドック	102	97	101	5
その他医療機関	5	5	7	0
合計	357	349	341	8
受診対象者	357	349	341	8
未受診者	0	0	0	0
受診率	100.0	100.0	100.0	0
全職員数（各年4月1日）	357	349	343	8

2 会計年度任用職員等定期健康診断受診者数（受診希望者に対して実施）

（単位：人）

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
受診者数	187	176	160	11

3 成人病健康診断受診者数

（単位：人）

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
胃がん検診	61	62	51	△ 1
大腸がん検診	109	107	90	2
乳がん検診	70	89	81	△ 19
子宮がん検診	95	111	93	△ 16
前立腺がん検査	97	96	98	1
腹部超音波検査	163	166	155	△ 3
喀痰検査	73	84	84	△ 11
骨密度測定検査	196	192	188	4

4 ストレスチェック受検者数

（単位：人、％）

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
受検者数	389	372	318	17
対象者数	390	373	320	17
受検率	99.7	99.7	99.4	0

5 労働安全衛生法に基づく産業医

川村 武 氏（宮城県予防医学協会健診センター所長）

6 富谷市職員安全衛生規程に基づく精神科顧問医

福田 一彦 氏（元 福田クリニック院長）

事業名	④総務事務

I 事業の趣旨（目的）

市の業務遂行上に生じた損害賠償責任に総合的に対応するため、賠償補償保険へ加入し行財政運営の円滑な推進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 全国町村会総合賠償補償保険

(1) 保険料 4,807,566円

(2) 保険金受取件数

(単位：件)

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
賠償責任保険	4	3	4	1
合 計	4	3	4	1

事業名	⑤情報公開・個人情報保護事務

I 事業の趣旨（目的）

市政運営の透明性の向上を図るため、市が保有する情報の公開に努めます。

II 実施内容及び実績

1 情報公開等請求開示状況

(単位：件)

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
情報公開条例関係開示請求件数	119 (0)	100 (0)	103 (0)	19 (0)
個人情報の保護に関する条例 関係開示請求件数	2 (0)	1 (0)	5 (0)	1 (0)

※情報公開条例関係の開示請求件数は、書面による請求件数

() 内の数字は、不服申立の件数

項 目	11. 文書広報 (2款1項2目)	担 当	法令・総務管理担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	17,931,000	17,285,109	17,285,109

事業名	①法令事務

I 事業の趣旨（目的）

法令等改正情報提供システムを活用し、条例等の審査を的確に実施するとともに、弁護士顧問契約を締結し複雑・多様化する行政問題等を迅速かつ適切な解決に努めます。

II 実施内容及び実績

1 例規集加除整備

年度		(単位：円)			
項目		R3	R2	R1	比較 R3-R2
例規集加除追録代		275,000	275,000	272,500	0
例規システム更新データ作成料		1,320,000	1,320,000	1,308,000	0
例規執務システム使用許諾料		792,000	792,000	784,000	0

2 法令集加除整備

年度		(単位：円)			
項目		R3	R2	R1	比較 R3-R2
法令集加除追録代		391,288	384,700	381,054	6,588
法令改廃情報提供システム使用許諾料		330,000	330,000	327,000	0
自治体法務庁使用許諾料		132,000	132,000	130,800	0
自治体法務サービス使用許諾料		224,400	224,400	196,200	0

3 弁護士顧問契約

年度		(単位：円、件)			
項目		R3	R2	R1	比較 R3-R2
弁護士顧問契約	契約金額	660,000	660,000	654,000	0
	相談件数	11	22	20	△ 11

事業名	②文書管理事務

I 事業の趣旨（目的）

文書保存ファイルを作成し、行政文書の適切な保存・管理を行うとともに、保存年限の経過した行政文書については廃棄処理を行い、文書管理事務の適切かつ円滑な推進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 文書保存ファイルの作成

年度		(単位：円)			
項目		文書保存ファイルの作成			
		契約金額	作成部数		
R3		0	在庫状況により作成せず		
R2		0	在庫状況により作成せず		
R1		182,050	50mm幅 500冊	80mm幅	1,000冊
比較 R3-R2		0			

※県内各市の文書保存ファイルの材質等を参考に平成29年度に文書保存ファイルの仕様を変更

事業名	③文書等郵送事務

I 事業の趣旨（目的）

庁内統一の封筒を印刷し、利用することにより事務の合理化を図ります。また、各課の公文書郵送料を負担し、時間外に郵送をする場合は切手による対応を行うなど、柔軟で敏速な処理に努めます。

II 実施内容及び実績

1 文書等郵送

（単位：円）

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
公文書発送用封筒代	1,287,000	1,056,000	1,085,340	231,000
公文書郵送料（後納郵便、切手代等）	11,055,360	11,688,565	10,779,904	△ 633,205

項 目	12. 情報化推進 (2款1項7目)		担 当	情報デジタル化推進担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
	円	円	国庫支出金 円	県支出金 円	地方債 円	その他 円	一般財源 円
	183,900,000 (内R2繰越分 8,338,000円)	177,596,214 (内R2繰越分 8,338,000円)	2,306,000				175,290,214

事業名	①基幹系システム運用事業

I 事業の趣旨（目的）

住民情報の異動処理や税業務、国保業務、福祉・衛生等業務について、基幹系システムにおける運用により行政事務の効率化に努めます。また、システムトラブルによる住民への影響を防ぐためシステム全般の管理と必要な保守を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要内容

		(単位：円)			
項 目	年 度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
ハード（機器）賃貸		76,466,572	72,719,667	72,928,230	3,746,905
各種システムサポート		8,501,570	9,349,560	11,030,784	△ 847,990
ハード（機器）保守		9,023,212	11,643,632	11,783,833	△ 2,620,420
ハードシステム構築		2,188,901	1,610,400	15,204,132	578,501
専用線通信料		1,896,048	1,909,600	1,935,840	△ 13,552

2 基幹系システム機器一覧

機器名	保有台数（設置場所）
ホストコンピュータ	1台（電算室）
税申告支援サーバ	1台（電算室）
日本語ラインプリンタ	1台（電算室）
端末機（住基系ノートPC）	46台（本庁：34台、出先：12台）
レーザープリンタ	29台（本庁：18台、出先：11台）
無停電電源装置	1台（電算室：1台）
OCR装置	2台（会計課）（税務課）
住基システム待機系サーバ	1台（電算室）
ネットワーク機器（ルータ・ハブ等）	一式
子育て支援システムサーバー機器	1台

3 他課保有システム一覧

システム名	所管課
税滞納管理システム	税務課
住民基本台帳ネットワーク～J-NET～システム	市民課
戸籍電算システム	市民課
介護保険システム	長寿福祉課
後期高齢者医療制度関連システム	健康推進課
総合福祉システム	長寿福祉課、子育て支援課
GISシステム	上下水道課
上水道財務システム	上下水道課

事業名	② 基幹系システム改修事業

I 事業の趣旨（目的）

関係法令の改正等に対応するためのプログラム改修および業務運用上必要なプログラム等の改修を行い、確実かつ効率的な業務の遂行を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要内容

業務主管課	業務名	内 容	備考
子育て支援課	児童扶養手当	児童扶養手当システム税制改正対応	
税務課	固定資産税	区画整理表示改修	
税務課	収納	OCRシステム私債権管理対応	R2より繰越
税務課	滞納	滞納システム私債権管理対応	R2より繰越

2 決算額

（単位：円）

項 目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
委託料	10,610,600	12,350,800	21,520,080	△ 1,740,200

事業名	③ 内部情報システム運用事業

I 事業の趣旨（目的）

「財務会計」「文書管理」システムのほか、市内グループウェアシステムの運用により事務処理の円滑化・簡素化に努めます。また、セキュリティ対策としてデータセンターを活用し、システムの更なる安定稼働を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要内容

（単位：円）

項 目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
内部ネットワーク回線使用料	1,811,040	1,922,880	1,886,136	△ 111,840
内部情報構築・システムサポート	3,040,620	2,552,616	4,275,408	488,004
情報系データセンター賃貸借	488,400	488,400	483,960	0

事業名	④パソコンリース等事業

I 事業の趣旨（目的）

職員用パソコンの導入及びネットワークを利用した全庁的な情報システム（メール・プロキシ・ファイルサーバ等）の整備を図り、事務の効率化・簡素化に努めます。

II 実施内容及び実績

1 主要内容

（単位：円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
ハード（機器）等賃貸	29,633,208	30,643,239	27,165,623	△ 1,010,031
ハード（機器）保守	0	1,686,608	2,185,032	△ 1,686,608
備品購入	2,528,838	1,259,610	1,378,498	1,269,228
消耗品購入	883,972	676,776	697,738	207,196

※令和2年度までの保守料は再リース分であり、令和3年度はハード（機器）等賃貸に含まれる。

2 年度末保有台数等

（単位：台、円）

年度 項目	R3	R2	R1
サーバ	5	5	3
ノートPC	495	495	495
プリンタ	56	56	55
リース料 （各年度決算額）	29,633,208	25,155,484	20,157,170

事業名	⑤サブシステム運用事業

I 事業の趣旨（目的）

市職員による工事積算や設備管理を円滑に行うため、積算システムおよび航空写真システムを導入し、庁内事務の簡素化及び利便性の向上を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要内容

（単位：円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
工事積算システム賃借等	3,891,890	3,149,280	3,149,280	742,610

事業名	⑥L G W A N 運用事業

I 事業の趣旨（目的）

地方公共団体相互のコミュニケーションの円滑化及び情報の共有による情報の高度利用を図るための基盤として整備されたL G W A Nを運用し、地方公共団体が発信する電子文書等についての秘密の保持、安全確保を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要事業

（単位：円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
通信料	409,200	409,200	393,876	0
委託料	0	0	194,892	0
機器使用料	798,600	798,600	41,610	0

事業名	⑦電子申請事業

I 事業の趣旨（目的）

住民サービスの向上に努めるため、選定された事務手続きに関してインターネットによる申請を可能とする「みやぎ電子申請サービス」について、県及び各市町村共同での運用を図ります。

II 実施内容及び実績

1 負担金決算額

（単位：円）

項 目	年 度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
負担金		382,800	382,800	371,042	0

2 申請項目及び月別申請件数

（単位：件）

（単位：件）

申請項目名	年 度	申請件数			比較 R3-R2	年 度	申請件数		
		R3	R2	R1		月	R3	R2	R1
給水使用開始届		215	16	2	199	4月	33	0	0
給水使用中止届		294	37	0	257	5月	27	0	0
犬の登録事項変更申請		1	0	0	1	6月	27	0	0
犬の死亡届		22	0	0	22	7月	46	0	0
公文書公開請求		6	0	0	6	8月	195	0	0
スイーツフェアフォトキャンペーン（夏・秋）		36			36	9月	267	0	0
新型コロナワクチンキャンセル待ちフォーム		137			137	10月	239	0	0
読んで答えて 広報とみやクイズ		88			88	11月	182	0	2
ちょっと聞いて 私の声		34			34	12月	65	0	79
アンケート調査等（住民向け）※		31			31	1月	293	2	0
職員内部利用 ※		763	158	81	605	2月	172	152	2
合 計		1,627	211	83	1,416	3月	81	57	0
						合 計	1,627	211	83

※令和3年度主な利用内容

アンケート調査等（住民向け）	市民バスアンケート、市ホームページアンケート等
職員内部利用	アンケート（研修・行事・セキュリティ自己点検等）等

事業名	⑧マイナンバー制度対応事業

I 事業の趣旨（目的）

社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、行政の効率化及び住民の利便性を高めるため、番号法に基づき、必要なシステム改修を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要事業

（単位：円）

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
マイナンバー制度対応改修	11,242,572	15,225,716	15,446,748	△ 3,983,144
使用料及び賃借料	967,560	1,402,520	1,620,000	△ 434,960
負担金	4,163,000	6,189,000	5,313,000	△ 2,026,000

事業名	⑨情報セキュリティ対策事業

I 事業の趣旨（目的）

番号法の施行により、安全管理措置を含めた情報セキュリティ研修の実施及び番号制度関係事務の内部監査実施報告の実施状況について、国の個人情報保護委員会へ報告等を行うとともに、県が運営する自治体情報セキュリティクラウドに参加し、番号制度施行やサイバーテロ等への対策を強化し、個人情報流出・漏えい防止を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要事業

（単位：円）

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
情報セキュリティ対策業務	2,733,500	1,760,000	1,815,000	973,500
負担金	1,307,000	1,347,200	1,474,900	△ 40,200

事業名	⑩オンライン会議システム構築事業（R2～）

I 事業の趣旨（目的）

オンラインでの打ち合わせや研修会への参加に必要な機材・ネットワーク環境を整え、感染症予防における新しい生活様式への対応及びデジタル化社会への対応を図ります。

II 実施内容及び実績

1 主要事業

（単位：円）

年度	R3	R2	比較 R3-R2
ウェブ会議用回線使用料	234,630	146,042	88,588

2 導入機器

機器名	台数	導入年度	備考
多人数用大型モニタPC	3台	R2	PC・大型モニタ・マイクスピーカ・カメラ
少人数用ノートPC	3台	R2	
外付マイクスピーカ・カメラ	各3台	R2	

3 WEB会議活用回数

（単位：件）

R3	R2	比較 R3-R2
373	23	350

項 目	13. 選挙 (2款4項1～3目)	担 当	選挙管理委員会
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	18,976,000	18,580,937	18,308,284 272,653
事業名	①選挙管理委員会運営事務		

I 事業の趣旨（目的）

公職選挙関係法令の規定に基づき、選挙人及び在外選挙人の登録・抹消等、選挙管理委員会の権限に属する事項について審議するとともに、選挙人名簿登録者及び在外選挙人名簿登録者の適切な管理を図ります。
また、公益財団法人明るい選挙推進協会及び宮城県選挙管理委員会と連携し、選挙啓発の一環として明るい選挙の推進により、選挙への投票参加、政治意識の向上を図ります。

II 実施内容及び実績

1 選挙管理委員会の開催日等

年月日	審議事項
令和3年 6月 1日（火）	令和3年6月1日現在選挙人名簿定時登録
令和3年 9月 1日（水）	令和3年9月1日現在選挙人名簿定時登録、裁判員及び検察審査員候補者予定者選定、富谷市公職選挙執行規程の一部改正について
令和3年10月13日（水）	在外選挙名簿に登録すべき者の決定について
令和3年12月 1日（水）	令和3年12月1日現在選挙人名簿定時登録
令和4年 3月 1日（火）	令和4年3月1日現在選挙人名簿定時登録、富谷市公職選挙執行規程・選挙公報発行規程・富谷市議会議員及び富谷市長の選挙における選挙運動用ビラの証紙に関する規程の一部改正について

2 定時登録者数

（単位：人）

年度	6月定時登録			9月定時登録		
	男	女	計	男	女	計
R3	20,479	21,436	41,915	20,436	21,405	41,841
R2	20,367	21,344	41,711	20,338	21,296	41,634
R1	20,312	21,225	41,537	20,233	21,216	41,449
R3-R2	112	92	204	98	109	207

年度	12月定時登録			3月定時登録		
	男	女	計	男	女	計
R3	20,488	21,432	41,920	20,568	21,516	42,084
R2	20,417	21,371	41,788	20,416	21,411	41,827
R1	20,282	21,259	41,541	20,288	21,289	41,577
R3-R2	71	61	132	152	105	257

3 明るい選挙推進事業

(1) 明るい選挙ポスター・標語コンクールへの応募

市内小中学校への選挙啓発ポスター及び標語コンクールへの応募依頼を行ったもの。

① 応募者数

ア ポスター

(ア) 小学校… 0人
(イ) 中学校… 48人

イ 標語

(ア) 小学校… 17人
(イ) 中学校… 1人

(単位：人)

年度	項目	ポスター			標語		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
R3		0	48	48	17	1	18
R2		1	5	6	13	0	13
R1		3	22	25	0	1	1
R3-R2		△ 1	43	42	4	1	5

事業名 ②宮城県知事選挙費

I 事業の趣旨（目的）

任期満了に伴う宮城県知事選挙について、適正な選挙事務執行を図ります。

II 実施内容及び実績

1 選挙期日等

(1) 選挙期日 令和3年 10月31日
(2) 告示日 令和3年 10月14日
(3) 期日前投票期間 令和3年 10月15日～同月30日（16日間）
(4) 任期満了日 令和3年 11月20日

2 選挙管理委員会の開催日等

年月日	審議事項
令和3年10月13日（水）	選挙人名簿選挙時登録他14案件
令和3年10月14日（木）	投票記載所氏名等揭示の順序を定めるくじ
令和3年10月19日（火）	投票立会人の選任他1案件
令和3年10月31日（日）	選挙人名簿抹消者の決定他1案件

3 投票率等

(単位：人)

年度	項目	有権者数		
		男	女	合計
R3		20,293	21,244	41,537
H29		19,862	20,780	40,642
R3-H29		431	464	895

(単位：人)

年度	項目	当日投票者数（不在者含）			期日前投票者数			合計		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
R3		8,849	9,213	18,062	3,407	3,593	7,000	12,256	12,806	25,062
H29		8,272	8,481	16,753	3,086	3,299	6,385	11,358	11,780	23,138
R3-H29		577	732	1,309	321	294	615	898	1,026	1,924

(単位：%)

年度	項目	当日投票率（不在者含）			期日前投票投票率			合計		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
R3		43.61	43.37	43.48	16.79	16.91	16.85	60.40	60.28	60.34
H29		41.65	40.81	41.22	15.54	15.88	15.71	57.18	56.69	56.93
R3-H29		1.96	2.56	2.26	1.25	1.03	1.14	3.22	3.59	3.41

事業名	③衆議院議員選挙費

I 事業の趣旨（目的）

任期満了に伴う衆議院議員選挙について、適正な選挙事務執行を図ります。

II 実施内容及び実績

1 選挙期日等

- (1) 選挙期日 令和3年 10月31日
 (2) 告示日 令和3年 10月19日
 (3) 期日前投票期間 令和3年 10月20日～同月30日（11日間）
 (4) 衆議院解散日 令和3年 10月14日

2 選挙管理委員会の開催日等

年月日	審議事項
令和3年10月13日（水）	投票所の決定他13案件
令和3年10月18日（月）	選挙人名簿選挙時登録他1案件
令和3年10月19日（火）	投票記載所の氏名等の掲示の順序を定めるくじ他2案件
令和3年10月31日（日）	選挙人名簿抹消者の決定他1案件

3 投票率等

（単位：人）

項目 年度	有権者数（在外含）		
	男	女	合計
R3	20,453	21,393	41,846
H29	20,087	20,983	41,050
R3-H29	366	430	796

（単位：人）

項目 年度	当日投票者数（不在者、在外含）			期日前投票者数			合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
R3	8,856	9,217	18,073	3,404	3,590	6,994	12,260	12,807	25,067
H29	8,289	8,492	16,781	3,063	3,287	6,350	11,352	11,779	23,131
R3-H29	567	725	1,292	341	303	644	908	1,028	1,936

（単位：%）

項目 年度	当日投票率（不在者、在外含）			期日前投票投票率			合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
R3	43.30	43.08	43.19	16.64	16.78	16.71	59.94	59.87	59.90
H29	41.27	40.51	40.88	15.25	15.68	15.47	56.51	56.19	56.35
R3-H29	2.03	2.57	2.31	1.39	1.10	1.24	3.43	3.68	3.55

総務部 防災安全課

項 目	1 4. 一般管理 (2 款 1 項 1 目)		担 当		危機管理担当		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3－2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 218,000	円 201,100	円	円	円	円	円 201,100
事業名	防災総務事務						

I 事業の趣旨（目的）

道路交通法に基づく、安全運転管理者及び副安全運転管理者を選任するとともに、各種団体に対する負担金を支払うこと。

II 実施内容及び実績

1 黒川地区安全運転管理者事業主会	37,000円
2 宮城県山岳遭難防止対策協議会大和支部	45,000円
3 安全運転管理者講習会(5人分) ・令和3年7月14日 5人参加	22,500円
4 みやぎ被害者支援センター	51,600円
5 黒川地区安全運転管理者会	15,000円
6 富谷地域安全運転管理者協議会	1,000円
7 黒川地区暴力団追放対策協議会	29,000円

項 目	15. 交通安全対策 (2款1項8目)	担 当	危機管理担当
総合計画	第4篇 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-2 防犯・交通安全・消費生活		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	5,380,000	4,147,297	208,000 3,939,297

事業名	①交通安全対策総務事務

I 事業の趣旨（目的）

より効果的な交通安全対策の推進と効果的な業務の運用を図るとともに、交通安全推進車を適正に維持・管理すること。

II 実施内容及び実績

1 交通安全推進車の維持管理（1台）	227,150円
2 黒川地区交通安全推進連絡協議会負担金	67,000円

事業名	②交通安全啓発・教育事業

I 事業の趣旨（目的）

市民一人ひとりに交通安全意識の普及・高揚を図るとともに、児童・生徒などに交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけること。

II 実施内容及び実績

1 交通安全運動の推進

(1) 春の交通安全県民総ぐるみ運動（4月6日～4月15日）

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置適用のため、出動式並びに街頭広報活動を自粛。

(2) 秋の交通安全県民総ぐるみ運動（9月21日～9月30日）

①出動式

日 時：令和3年9月21日（火）7:00～7:30

場 所：富谷市役所前職員駐車場

参加者：交通安全機関・団体 59人

②シートベルト着用・飲酒運転等根絶キャンペーン

日 時：令和3年9月21日（火）7:45～8:15

内 容：市内主要セーフティ交差点にて、シートベルトの着用や飲酒運転の根絶を呼びかけ、交通事故防止を図った。

③関係機関等による街頭交通安全広報

日 時：令和3年9月24日（金）、9月28日（火）7:15～8:15

内 容：市内主要セーフティ交差点にて、通学児童・生徒への指導、通行車両への啓発などを実施。

④ 富谷市高齢者交通安全教室の開催

日 時：令和3年9月29日（水）16:00～

場 所：富谷自動車学校

参加者：32人（四季の会、とちの木豊寿会、日吉台宝樹会、せせらぎ会、熊谷、町中、町下、三ノ関、太子堂、穀田、明石、黒川地区シルバードライバースクラブ、富谷市社会福祉協議会）

内 容：高齢化に伴い、高齢者が交通事故に遭遇する機会が増加しており、運動の重点目標の1つである「夕暮れ時と夜間の事故防止と歩行者等の保護など安全運転意識の向上」を実践するため、高齢者の方々に夕暮れ時の交通マナー等を学ぶ機会を設けた。また、セーフティサポートカーの体験会も実施し、サポートカーの普及・啓発を行った。

(3) その他

①交通安全推進車を活用した巡回広報活動、交通安全協会との連携

②黒川地区交通安全協会市内支部長懇談会

日 時：令和3年12月16日（木） 14:00～

場 所：富谷市役所305会議室

参加者：黒川地区交通安全協会市内支部長

内 容：各支部での交通安全に関する取組みや交通危険箇所について意見交換を行い、大和警察署交通課長より最近の事故状況や冬季の運転の注意事項について講話をいただいた。

(4) 交通安全意識の高揚に向けた啓発運動

①幼稚園児黄色い腕章の交付（680枚）

153,340円

②新入学児童黄色い帽子的交付（655個）

345,840円

2 交通安全教育の実施

・新入学児交通安全教育用リーフレットの配布（660冊）

58,080円

3 交通安全施設の整備（抜粋）

	日付	改善箇所	内 容
1	R3.10	明石台東土地区画整理地内	横断歩道の設置

4 交通事故発生件数（1月1日～12月31日）（単位：件、人）

	人身事故	死者数	負傷者数	物損事故
R3	71	0	90	1,063
R2	58	0	70	1,021
R1	96	1	120	1,138
比較 R3-R2	13	0	20	42

宮城県警察本部「令和4年版わたしのまちからマナーアップ」より

事業名

③交通安全指導員設置・運営事業

I 事業の趣旨（目的）

各地域の実情に即した人員を確保するとともに、指導員一人ひとりの交通安全知識の習得と技術の向上を図ること。

II 実施内容及び実績

1 交通安全指導員による活動

(1) 令和4年3月現在指導員数

（単位：人）

	男性	女性	計
R3	7	5	12
R2	8	5	13
R1	6	4	10
比較 R3-R2	△ 1	0	△ 1

(2) 出勤延回数

（単位：回）

	定時出勤	特別出勤	その他	計
R3	639	42	56	737
R2	528	1	28	557
R1	523	186	42	751
比較 R3-R2	111	41	28	180

(3) 幼稚園及び小・中学校の児童生徒等に通学時における安全通行を指導

(4) 幼稚園及び小・中学校による交通安全教室等における安全指導

(5) 各種催事における道路交通の安全確保

2 交通安全指導員訓練の実施

(1) 令和3年度第一回交通安全指導員訓練

日 時：令和3年9月17日(金)18:30～

場 所：富谷中央公民館

内 容：秋の交通安全運動に向けての実施要領の確認や交通安全指導員の技術及び知識の習得を図った。

(2) 令和3年度第二回交通安全指導員訓練

日 時：令和4年3月29日(火)18:30～

場 所：富谷市役所

内 容：春の交通安全運動に向けての実施要領の確認や交通安全指導員の技術及び知識の習得を図った。

事業名	④交通安全推進団体助成事業

I 事業の趣旨（目的）

交通安全推進団体への助成

II 実施内容及び実績

1 関係団体への助成

黒川地区交通安全協会市内8支部（各30,000円）

240,000円

項 目	16. 防犯対策 (2款1項9目)		担 当		危機管理担当		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-2 防犯・交通安全・消費生活						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	4,119,000	3,654,102		1,000,000			2,654,102
事業名	①防犯活動推進団体助成事業						

I 事業の趣旨（目的）

多様な手段を用いて情報提供に努めるとともに、防犯に関する啓発情報をお知らせし、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図る。
また、富谷市防犯協会と連携し、各種防犯啓発事業を展開するとともに、地域住民や学校、大和警察署等と強いに連携し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指す。

II 実施内容及び実績

1 防犯意識の普及・高揚

- (1) 地域安全情報の提供
- (2) 警察署及び関係機関・団体と連携し、「広報とみや」にて市内の犯罪発生状況等をお知らせし、地域安全情報の提供に努めた。
- (3) 富谷市安全安心メールを活用した、不審者情報の発信や防犯に関する啓発を実施。

2 防犯協会への助成

(単位：円)

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
防犯活動推進団体助成事業	1,200,000	1,200,000	1,100,000	0

3 富谷市防犯協会の活動

(1) 防犯活動用品の支給

内 容：各地域で実施している自主防犯活動用の用品を配布するもの。
配布物：ウインドブレーカー 72枚

(2) 新入学1年生・防犯ブザー配布

内 容：小学新1年生へ防犯ブザーを配布するもの。
配布物：防犯ブザー 524個（新1年生・小学校8校）

(3) 富谷市青色防犯パトロール研修会

日 時：
場 所：新型コロナウイルス感染症の影響により中止
参加者：
内 容：

(4) 青色回転灯付車両の貸出

- ・青色回転灯付車両 9台（富谷市役所公用車、公民館公用車も含む）
- ・利用回数 29回
- ・利用団体 しんまち地域防犯見回り隊等

(5) 「年末年始特別警戒出発式」参加

年末年始特別警戒が12月15日から1月7日まで開催されるにあたり、黒川地区内の関係団体が一同に会し、士気の高揚を図ったもの。

日 時：令和3年12月15日（水）10:00～

場 所：宮城県大和警察署

【犯罪発生状況】（1月1日～12月31日）

（単位：件）

	侵入盗	車上狙	乗物盗	その他	計
R3	6	5	12	79	102
R2	8	10	6	89	113
R1	11	12	9	95	127
比較 R3-R2	△ 2	△ 5	6	△ 10	△ 11

※犯罪発生件数については、毎月交番で届出のあった件数を積算

事業名 ②防犯設備整備事業

I 事業の趣旨（目的）

市町村振興総合補助金を活用し、防犯カメラを設置することにより、安全安心なまちづくりを更に推進する。

II 実施内容及び実績

1 防犯カメラ設置工事

2,035,000 円

・毎年各中学校区に 1 台設置

（単位：台）

	富谷	富谷第二	東向陽台	日吉台	成田	その他	計
R3累計	4	4	4	4	4	4	24
R2累計	3	3	3	3	3	4	19
R1累計	2	2	2	2	2	4	14
比較 R3-R2	1	1	1	1	1	0	5

※その他は成田アンダーパス分

事業名 ③防犯対策総務

I 事業の趣旨（目的）

特殊詐欺対策電話装置等の購入費用の一部を補助し、犯罪被害の防止を推進する。

II 実施内容及び実績

1 補助金交付状況

交付件数 11 件

交付金額 55,000 円

項 目	17. 諸費 (2款1項12目)		担 当		危機管理担当		
総合計画	第4篇 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 46,000	円 30,968	円 26,000	円	円	円	円 4,968
事業名	自衛官募集事業						

I 事業の趣旨（目的）

自衛官募集すること。
※地方自治法施行令第1条（政令に定める法定受託事務）に含まれる。

II 実施内容及び実績

1 市ホームページにて自衛官募集記事を掲載

募集実績		(単位：人)		
	R3	R2	R1	比較 R3-R2
受験者数	26	22	19	4
入隊者数	9 (R4入隊)	11 (R3入隊)	9 (R2入隊)	△ 2

※令和2年度、防衛大学1人含む。

項 目	18. 消防・防災対策 (9款1項1～6目)	担 当	危機管理担当
総合計画	4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-1 防災・救急・消防		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	675,522,000	668,551,147	円 円 円 2,274,829 657,604,318

事業名	①黒川地域行政事務組合（消防）負担金事務

I 事業の趣旨（目的）

常備消防である黒川消防本部との連携を強化し、火災・救急・災害時の協力体制を確立することで、住民の生命財産を守る。（黒川地域行政事務組合理約第3条1項7号（組合の共同処理する事務）及び第16条2項3号（費用の支弁方法）に基づき、負担する）

II 実施内容及び実績

1 負担金

（単位：円）

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
黒川地域行政事務組合負担金（消防費）	619,574,000	601,629,000	589,991,000	17,945,000

2 出動状況

（単位：件）

	火災	救急	救助	計
R3	10	1,670	15	1,695
R2	13	1,612	15	1,640
R1	8	1,786	23	1,817
比較 R3-R2	△ 3	58	0	55

事業名	②消防総務事務

I 事業の趣旨（目的）

宮城県消防協会及び同黒川地区支部の関係機関との連携を図る。

II 実施内容及び実績

1 負担金

（単位：円）

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
（公財）宮城県消防協会負担金	130,000	131,000	129,000	△ 1,000
（公財）宮城県消防協会黒川地区支部負担金	54,600	55,020	54,180	△ 420

事業名	③消防団員設置・運営事業

I 事業の趣旨（目的）

消防組織法に基づき、消防団員の確保に努め多種多様な災害に対処するための資質向上を図る。

II 実施内容及び実績

1 消防団員の入退団状況

（単位：人）

年度	団員数（充足率）	入団者	退団者	増減
R3	160（ 89.4%）	4	10	△ 6
R2	166（ 92.7%）	5	1	4
R1	162（ 90.5%）	4	10	△ 6
比較R3-R2	△ 6（ △3.3%）	—	—	—

2 消防団員の出勤状況

(単位：回、人)

年度別	出勤区分(延回数)					出勤区分(延人数)				
	火災等	演習・訓練	予防啓発	その他	計	火災等	演習・訓練	予防啓発	その他	計
R3	4	16	199	32	251	17	212	675	261	1,165
R2	7	7	191	26	231	20	59	711	194	984
R1	15	31	159	41	246	97	692	626	313	1,728
比較R3-R2	△ 3	9	8	6	20	△ 3	153	△ 36	67	181

3 令和3年度 火災等出勤状況

(単位：人)

	日時	種別	場所	出勤人員
1	4月8日	非火災	富谷関ノ川	2
2	10月10日	建物火災	東向陽台3丁目	4
3	10月21日	建物火災	ひより台1丁目	2
4	2月17日	建物火災	石積勝負沢	9
5	3月16日～ 3月18日	福島県沖を震源とする地震(警戒)	富谷市全域	26

4 全国火災予防運動

- ・令和3年 秋の火災予防運動(11月9日～11月15日)
- ・令和4年 春の火災予防運動(3月1日～3月7日)

出勤125人

出勤99人

5 消防団員の教育(消防学校他)

(単位：人)

階級	R3	R2	R1	比較 R3-R2
団長・副団長	2	0	0	2
分団長・副分団長	3	1	3	2
班長・団員	0	1	0	△ 1
計	5	2	3	3

事業名 ④防火活動推進団体助成事業

I 事業の趣旨(目的)

地区の女性を中心とした婦人防火クラブを設置することで、防火意識の高揚、知識の普及を目的とし、安全安心のまちづくりを進める。

II 実施内容及び実績

1 婦人防火クラブに対する活動補助金の交付

(1) 富谷市婦人防火クラブ連合会	110,000 円
(2) 地区婦人防火クラブ(23団体)	787,000 円

2 婦人防火リーダー研修会の開催

- (1) 期 日：令和3年11月30日(火) 8:40～16:30
 (2) 場 所：南三陸ホテル観光、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
 (3) 対 象 者：婦人防火クラブ(23クラブ)
 (4) 参加人数：15人
 (5) 内 容：南三陸沿岸部の各被災施設の視察及び震災語り部による解説
 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の視察

事業名 ⑤消防ポンプ整備事業・消防施設整備事業

I 事業の趣旨(目的)

火災及び災害時等での迅速な消防団活動を展開するために、消防車両及び消防ポンプ、消防施設を配置し維持することにより、有事の際に適切に対応する。

II 実施内容及び実績

1 明石班小型動力消防ポンプ付軽積載車購入及び関連費	6,155,652 円
2 明石班消防ポンプ格納庫設置工事及び関連費	4,883,000 円

事業名 ⑥消防ポンプ維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

消防ポンプを維持することにより、有事の際に適切に対応する消防ポンプ車、小型動力消防ポンプ付軽積載車などの維持管理。

II 実施内容及び実績

- 1 消防ポンプ自動車、小型動力消防ポンプ付軽積載車、救助資機材搭載車の車検・燃料費・修繕等
・消防団配備車両台数 (単位：台)

年度	ポンプ車	軽積載車	小型可搬ポンプ	救助資機材搭載車	計
R3	2	14	0	1	17
R2	2	13	1	1	17
R1	2	13	1	1	17
比較R3-R2	0	1	△ 1	0	0

事業名 ⑦消防施設維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

適正な消防施設、設備を維持することにより、有事の際に適切に対応するため。

II 実施内容及び実績

- 1 消火栓・防火水槽横線等修繕

2,350,700 円

- ・消防水利現況 (単位：基)

年度	消火栓	防火水槽
R3	471	256
R2	469	255
R1	469	253
比較R3-R2	2	1

事業名 ⑧水防事業

I 事業の趣旨（目的）

重要水防箇所となっている竹林川を主として、水害から住民の生命・財産を守り、被害を最小限に抑える。

II 実施内容及び実績

- 1 重要水防箇所（竹林川）合同点検実施 令和3年6月10日（木） 18人
参加者：国土交通省北上川下流河川事務所、宮城県仙台土木事務所、防災エキスパート
富谷市防災安全課・都市整備課、富谷市消防団、三ノ関行政区長

事業名 ⑨災害対策総務事務

I 事業の趣旨（目的）

災害発生時に迅速な対応を備えるため、災害発生に備えた地域防災計画や各種マニュアルの作成。災害時の情報収集に有効となる震度情報ネットワーク、衛星携帯電話等の維持管理。地域防災力の向上を図るための、自主防災組織の結成及び活動支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 安全安心メールの運用

・防災や防犯等の情報を、一斉に多くの市民の携帯電話等へ配信するサービス

（単位：人、件）

年度	登録者	配信数					計
		防災	交通安全	防犯	気象	職員情報	
R3	4,998	70	0	30	79	0	179
R2	4,713	54	1	35	78	4	172
R1	4,189	77	0	29	64	9	179
比較 R3-R2	285	16	△ 1	△ 5	1	△ 4	7

事業名 ⑩防災啓発事業

I 事業の趣旨（目的）

住民の防災に対する正しい防災知識の普及及び意識の高揚を図る。
（※防災訓練の実施、各地域での防災訓練に対する支援）

II 実施内容及び実績

1 職員防災勉強会の開催

・第1回職員防災勉強会

日 時：令和3年6月29日（火） 8時30分～16時00分

場 所：富谷スポーツセンター

参加者：富谷市役所職員

内 容：危機管理監による講話（職員の災害時における行動、避難所の運営要領等）
避難所用品の展示、MCA無線の通話展示

2 総合防災訓練の実施

・令和3年度富谷市総合防災訓練

日 時：令和3年11月7日（日） 8時30分～11時00分

場 所：富谷市役所、町内会館

対象地区：富谷市全域

内 容：各家庭の備蓄品等の点検、町内会等毎の安否確認訓練、情報伝達訓練

3 公開型地図情報配信システム（富谷・黒川地区わがまちマップ）使用料 231,000 円

4 AEDの設置（リース：防災安全課保管）

(1) 貸借期間 令和3年3月1日から令和8年2月28日まで

賃借料 47,520 円 （契約総額：237,600円）

(2) 貸借期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

賃借料 47,520 円 （契約総額：237,600円）

事業名 ⑪防災用情報通信設備等維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

防災情報の収集伝達及び災害時の通信手段として、的確かつ有効に運用できるよう情報通信設備機器の適正管理を図る。

II 実施内容及び実績

1 負担金

（単位：円）

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
地域衛星通信ネットワーク管理負担金	328,900	325,600	317,777	3,300

2 利用料

（単位：円）

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
MCA防災行政無線利用料	2,497,440	2,497,440	2,460,260	0

事業名 ⑫防災用備蓄物品等整備事業

I 事業の趣旨（目的）

市内避難所などへの備蓄倉庫を設置、備蓄物品の維持管理を行うことで、宮城県沖地震等の大規模災害に備える。

II 実施内容及び実績

1 防災備蓄用品等の購入

(1)非常食（保存水、アルファ米等）	300,023 円
(2)防災備蓄物品（生理用品、発電機）	135,740 円

事業名 ⑬国民保護計画推進事業

I 事業の趣旨（目的）

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（国民保護法）に基づき、国民保護計画を推進するための事業を行う。

II 実施内容及び実績

1 手数料

（単位：円）

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
全国瞬時警報システム(J-ALERT)設備保守点検	418,000	418,000	418,000	0

事業名 ⑭防災センター運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

地域住民の自主的な防災活動の拠点として、災害に強いまちづくりに寄与するため防災センターの維持管理を図る。

II 実施内容及び実績

1 施設利用状況

（単位：件、人、円）

使用区分	使用件数	使用人数	使用料
鷹乃杜町内会	98	907	214,891
一般	27	270	41,250
公用	51	1,332	
R3 計	176	2,509	256,141
R2	162	3,438	198,602
R1	317	5,305	511,560
比較 R3-R2	14	△ 929	57,539

2 施設の主な維持管理費用

665,184 円

(1)光熱水費	579,769 円
(2)燃料費	85,415 円

3 AEDの設置（リース）

(1)賃貸借期間 令和2年3月1日から令和7年2月28日まで

賃借料 68,640 円（契約総額：343,200円） ※令和3年度（12ヶ月分）

総務部 市民協働課

項 目	19. 一般管理 (2款1項1目)	担 当	市民協働担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-1 市民参加・協働		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	23,110,000	22,910,268	944,000 21,966,268

事業名	①行政区長事務

I 事業の趣旨（目的）

行政区長を通じて行政の円滑な運営及び市民との連絡協調を図るとともに、行政区長の任務を円滑に遂行するため、行政区長会議等を開催する。

II 実施内容及び実績

1 行政区長報償金（年額分）

(1) 算出根拠 8月末行政区世帯数×650円＋平均割200,000円

(2) 報償金支出状況

（単位：円）

行政区名	支 出 額		比較 R3-R2	行政区名	支 出 額		比較 R3-R2
	R3	R2			R3	R2	
熊谷	240,300	240,300	0	あけの平二丁目	541,250	541,250	0
町上	453,500	435,300	18,200	あけの平三丁目	610,800	608,200	2,600
町中	244,850	245,500	△ 650	大清水一丁目	482,750	482,100	650
町下	587,400	578,300	9,100	大清水二丁目	356,650	356,650	0
一ノ関	223,400	224,050	△ 650	日吉台一丁目	515,900	512,000	3,900
二ノ関	233,800	233,800	0	日吉台二丁目	612,750	612,750	0
三ノ関	305,300	302,700	2,600	日吉台三丁目	381,350	378,750	2,600
太子堂	561,400	559,450	1,950	杜乃橋一丁目	426,200	420,350	5,850
志戸田	269,550	268,900	650	杜乃橋二丁目	489,900	487,950	1,950
穀田	220,150	220,150	0	東向陽台第一	694,000	693,350	650
原	223,400	223,400	0	東向陽台三丁目	499,000	496,400	2,600
大遼	220,150	220,150	0	東向陽台サニハイ	310,500	309,850	650
今泉	233,800	233,150	650	明石台第一	560,100	531,500	28,600
大亀	217,550	216,250	1,300	明石台第二	411,250	406,700	4,550
石積	227,950	228,600	△ 650	明石台第三	597,800	586,750	11,050
明石	235,750	236,400	△ 650	明石台第五	640,700	639,400	1,300
西成田	244,200	242,250	1,950	明石台第六	436,600	435,300	1,300
ひより台一丁目	788,900	788,250	650	明石台第七	401,500	398,250	3,250
ひより台二丁目	499,650	482,100	17,550	明石台第九	339,100	331,950	7,150
とちの木	531,500	531,500	0	上桜木	557,500	558,800	△ 1,300
富ヶ丘南部	865,600	857,150	8,450	成田第一	861,700	864,300	△ 2,600
富ヶ丘北部	775,900	777,200	△ 1,300	成田第二	877,300	871,450	5,850
鷹乃社	917,600	922,150	△ 4,550	成田第三	887,050	881,200	5,850
あけの平一丁目	491,850	487,300	4,550	合計	22,305,100	22,159,500	145,600

事業名	②市民協働推進事業

I 事業の趣旨（目的）

市民の声が届く市政運営を進めるとともに、市民や団体、企業など多様な主体と協働によるまちづくりを推進するため、まちづくりの担い手となる人材や団体の育成・支援、協働の仕組みの構築を図る。

II 実施内容及び実績

1 とみやわくわくミーティング

(1)開催回数等

（単位：回、人）

区分	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数	4	4	0
参加者数	46	56	△ 10

(2)開催内容等

（単位：人）

月 日	内 容	参加者数	会 場	担当課
7月29日	大亀山森林公園について ～新たな魅力を見つけよう！～	10	富谷市役所	建設部 都市計画課
10月5日	観光交流について ～とみやらしい観光とは～	11	富谷駅観光交流 ステーション （とみやど）	経済産業部 産業観光課
11月18日	とみやわくわく子どもミーティング 子どもにやさしいまちづくりについて ～とみやの未来を考える～	15	富谷市役所	保健福祉部 子育て支援課
12月21日	田園都市構想について ～住みたくなるまち日本一を目指して～	10	西成田コミュ ニティセン ター	企画部 企画政策課
合計（4回）		46		

2 市民協働関係研修会

市民協働セミナーは、新型コロナウイルス感染症の影響により次年度に開催延期。

3 富谷市協働のまちづくり推進審議会

月 日	内 容
12月16日	富谷市協働のまちづくり推進審議会へ諮問
3月23日	第1回富谷市協働のまちづくり推進審議会（公益的な活動への支援について） 第2回富谷市協働のまちづくり推進審議会（公益的な活動への支援について）

項 目	20. 自治振興 (2款1項10目)		担 当		市民協働担当	
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 3-2 地域コミュニティ 3-3 地域活動 第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-1 市民参加・協働					
予算の 執行状況	予 算 額 決 算 額		左の財源内訳			
	円 100,350,000 (内R2繰越分 38,920,000円)	円 56,416,002 (内R2繰越分 30,179,570円)	国庫支出金 円	県支出金 円	地方債 円	その他 円 4,900,000 一般財源 円 51,516,002
事業名	①自治振興事業					

I 事業の趣旨（目的）

各町内会の事業活動への支援を行い、地域住民相互の親睦融和と人材育成を図る。

II 実施内容及び実績

1 地域振興費補助金

(1) 算出根拠

交付対象経費	算出根拠
町内会の運営に要する経費	3月末行政区世帯数×650円+平均割85,000円

(2) 補助金交付状況

(単位：円)

町内会名	交付額		比較 R3-R2	町内会名	交付額		比較 R3-R2
	R3	R2			R3	R2	
熊谷	124,000	122,700	1,300	あけの平三丁目	497,100	496,450	650
町上	327,450	318,350	9,100	大清水一丁目	367,100	364,500	2,600
町中	129,200	130,500	△ 1,300	大清水二丁目	241,650	241,650	0
町下	472,400	456,150	16,250	日吉台一丁目	397,650	393,100	4,550
一ノ関	107,750	109,050	△ 1,300	日吉台二丁目	498,400	493,850	4,550
二ノ関	118,800	118,800	0	日吉台三丁目	265,050	261,150	3,900
三ノ関	188,350	189,650	△ 1,300	杜乃橋一丁目	307,300	302,100	5,200
太子堂	445,100	438,600	6,500	杜乃橋二丁目	374,900	370,350	4,550
志戸田	153,900	152,600	1,300	東向陽台第一	575,100	571,850	3,250
般若田	105,800	105,150	650	東向陽台三丁目	385,950	380,100	5,850
原	108,400	108,400	0	東向陽台サニーハイツ 管理組合	194,850	192,900	1,950
大置	105,150	104,500	650	明石台第一	431,450	398,300	33,150
今泉	117,500	118,150	△ 650	明石台第二	292,350	290,400	1,950
大亀	101,900	101,250	650	明石台第三	477,600	469,150	8,450
石積	112,950	113,600	△ 650	明石台第五	521,150	530,250	△ 9,100
明石	120,100	120,100	0	明石台第六	321,600	320,950	650
西成田	129,850	125,950	3,900	明石台第七	285,850	280,650	5,200
ひより台一丁目	671,950	661,550	10,400	明石台第九	220,200	216,300	3,900
ひより台二丁目	383,350	365,800	17,550	上桜木	441,850	441,200	650
とちの木	413,250	413,250	0	成田第一	748,000	748,000	0
富ヶ丘南部	746,700	721,350	25,350	成田第二	757,750	758,400	△ 650
富ヶ丘北部	657,650	658,300	△ 650	成田第三	773,350	768,150	5,200
鷹乃社	805,850	800,650	5,200				
あけの平一丁目	374,900	374,900	0	合計	16,828,600	16,644,000	184,600
あけの平二丁目	430,150	424,950	5,200				

事業名	②町内会館維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

町内会館の適切な維持管理に努める。

II 実施内容及び実績

1 小破修繕等

（単位：円）

会 館 名	内 容	事業費
大清水二丁目会館	スロープ手摺り修繕	26,400
ひより台一丁目会館	玄関タイル修繕	165,000
原会館	玄関ポーチタイル修繕	126,500
日吉台三丁目会館	外壁修繕（雨漏り修繕、目地修繕）	68,200
東向陽台第二会館	水抜栓内通管交換	33,000
東向陽台第一会館	玄関ポーチ床修繕	198,000
東向陽台第一会館	雨漏り補修材料購入（原材料費）	1,680
明石台第三会館	和室一部床下補修（緊急）	489,500
明石台第三会館	白蟻消毒業務（緊急、委託料）	430,650
合計		1,538,930

2 火災保険

540,813 円

事業名	③町内会館整備事業

I 事業の趣旨（目的）

コミュニティ活動の拠点となる町内会館の整備を図る。また、老朽化した町内会館の計画的な建て替え及び改修を行う。

II 実施内容及び実績

1 工事請負費等

（単位：円）

事業名	事業費		うち現年	うち繰越明許費
	工事請負費			
明石会館新築工事	28,811,200		-	28,811,200
	備品購入費	1,153,570	-	1,153,570
とちの木会館改修工事に伴う地質調査及び工事設計業務	委託料	1,485,000	1,485,000	-

2 新型コロナウイルス感染症予防対策（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う独自支援策）

（単位：円）

品 名	数 量	事業費
手指消毒液	984本（100世帯未満：12町内会 各12本、100世帯以上：35町内会 各24本）	816,129

事業名	④コミュニティ助成事業

I 事業の趣旨（目的）

一般財団法人自治総合センターによる宝くじの社会貢献広報事業を活用し、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。

II 実施内容及び実績

I 一般コミュニティ助成

町内会名	内 容	(単位：円) 補助金額
志戸田町内会	映像音響機器、和室用椅子テーブル、発電機ほか	1,000,000
今泉町内会	カラオケ及び周辺機器	1,000,000
杜乃橋二丁目町内会	タブレット端末及びタブレット用レザーケース	1,700,000
成田第二町内会	カラオケ及び周辺機器	1,200,000

項 目	21、諸費 (2款1項12目)		担 当		市民協働担当		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-3 人権尊重・男女共同						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	968,000	961,288		214,234			747,054

事業名	①男女共同参画社会推進事業

I 事業の趣旨（目的）

男女共同参画社会の形成による活き活きとした社会の実現に向け、富谷市男女共同参画基本計画に基づき、普及啓発や相談会の開催等により意識の高揚を図る。

II 実施内容及び実績

1 審議会等における女性の登用推進状況

(単位：機関、人、%)

基準日 4月1日	地方自治法に基づく 審議会等区分	審議会等数	女性委員を有する 審議会等数	全体委員数	女性の委員数	割合
R3	第180条の5に基づくもの	5	5	20	7	35.0
	第202条の3に基づくもの	20	20	213	113	53.1
	合計	25	25	233	120	51.5
R2	第180条の5に基づくもの	5	5	20	7	35.0
	第202条の3に基づくもの	19	19	196	101	51.5
	合計	24	24	216	108	50.0
比較 R3-R2	第180条の5に基づくもの	0	0	0	0	0.0
	第202条の3に基づくもの	1	1	17	12	1.6
	合計	1	1	17	12	1.5

委員会等【地方自治法 第180条の5に基づくもの】

・教育委員会・選挙管理委員会・監査委員・農業委員会・固定資産評価審査委員会

審議会等【地方自治法 第202条の3に基づくもの】

・民生委員推薦会・国民健康保険運営協議会・障害者に関する審議会その他の合議制の機関・社会教育委員会等

2 相談・啓発事業

- (1) 夫婦の問題や離婚等に関する相談受付（人権相談として対応）
- (2) 女性のための相談会開設（女性相談員が対応）
- (3) 市広報紙への啓発記事掲載、ポスター等の掲示、リーフレットの配布
- (4) 市町村男女共同参画パネルキャラバン「富谷市男女共同参画パネルキャラバン」
(実施期間 12月10日～12月23日) ※県共催事業

事業名	②消費者行政推進事業

I 事業の趣旨（目的）

複雑・多様化する消費者問題に対して、迅速かつ適切な対応を図るとともに、健全な消費生活の啓発を図り、消費者被害の未然防止を図る。

II 実施内容及び実績

1 相談窓口の開設状況

開設日：毎週月・木曜日

消費生活相談員：1人

(1) 相談受付状況

（単位：回、件、人）

	開催回数	相談件数				男女別相談者内訳		
		来庁	電話	FAX等	合計	男性	女性 （次期を含む）	不明
R3	95	11	29	2	42	17	24	1
R2	87	11	34	0	45	10	35	0
比較 R3-R2	8	0	△ 5	2	△ 3	7	△ 11	1

(2) 相談内容

（単位：件、％）

内 容 ・ 項 目	R3		R2		比較 R3-R2
	延べ件数	構成比	延べ件数	構成比	
多重債務／借金	0	0.0	5	11.1	△ 5
通信／インターネット関連サービス	11	26.2	5	11.1	6
工事／建築／加工／修理サービス	6	14.3	5	11.1	1
保険／クレジット／金融関連サービス	1	2.4	2	4.5	△ 1
健康器具／健康食品／健康品	2	4.8	5	11.1	△ 3
被服品	1	2.4	0	0.0	1
架空請求	4	9.5	1	2.2	3
マルチ商法	1	2.4	0	0.0	1
解約／クーリング・オフ	8	19.0	17	37.8	△ 9
その他消費生活相談以外	8	19.0	5	11.1	3
合計	42	100.0	45	100.0	△ 3

事業名	③人権教育・相談等事業、行政・生活相談事業

I 事業の趣旨（目的）

各種相談所の開設、人権教室や街頭啓発などの活動への支援を行い、人権を尊重した地域社会づくりの推進を図る。

II 実施内容及び実績

1 人権教育等

(1) 子ども人権教室

新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし

(2) 人権啓発活動

①街頭啓発

月 日	内 容	場 所
12月1日	「人権週間」人権啓発活動	イオン富谷店

※ 例年実施している「人権擁護委員の日」特設相談所、人権擁護研修会、富谷宿「街道まつり」街頭啓発は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

②啓発品配布等

「ストップ！コロナ差別」クリアファイルとチラシを作成し、市内小中学校の児童生徒に配布及び市役所に備付。

2 人権・行政・生活相談

(1) 相談受付状況

(単位：回、件、人、組)

	開催回数	相談件数			男女別等相談者内訳		
		来庁	電話	合計	一人女性	一人男性	夫婦・親子・友人等
R3	23	24	36	60	43	13	4
R2	22	34	26	60	30	26	4
比較 R3-R2	1	△ 10	10	0	13	△ 13	0

※ 社会福祉協議会と連携し、「人権・行政・生活相談」を開催した。(月2回原則第1・3水曜日)

・人権擁護委員：9人(法務省)・行政相談委員：2人(総務省)・生活相談員：3人(市社協)

※ 宮城県行政書士会と合同相談会(月1回、原則第1水曜日)

※ 宮城県司法書士会と合同相談会(月1回、原則第3水曜日)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月に予定していた相談会1回を中止。4月(1回)、5月(2回)、6月(1回)、7月(1回)、9月(2回)は電話相談のみ受付。

(2) 相談内容

(単位：件、%)

内 容 ・ 項 目	R3		R2		比較 R3-R2
	延べ件数	構成比	延べ件数	構成比	
離婚に関すること(DVを起因としたものを除く)	3	5.0	2	3.3	1
遺言や相続に関すること	31	51.7	21	35.0	10
生活全般(生活の維持/将来の不安など)	1	1.7	6	10.0	△ 5
借金に関すること(多重債務/友人や親類間の貸借等)	1	1.7	5	8.3	△ 4
行政に関する相談/要望	1	1.7	1	1.7	0
家族や親類との問題/不安/介護	4	6.6	4	6.7	0
配偶者からのDV(身体的/精神的/言葉)	1	1.7	0	0.0	1
トラブル(近隣/友人/職場)	4	6.6	10	16.7	△ 6
土地/登記/不動産に関すること(相続を除く)	6	10.0	9	15.0	△ 3
その他	8	13.3	2	3.3	6
合計	60	100.0	60	100.0	0

3 法律相談

(1) 相談受付状況

(単位：回、件、人)

	開催回数	相談件数				男女別相談者内訳		
		来庁	電話	FAX等	合計	男性	女性	不明
R3	24	57	32	0	89	39	50	0
R2	24	74	0	0	74	29	45	0
比較 R3-R2	0	△ 17	32	0	15	10	5	0

※ 仙台弁護士会に委託し、「法律相談」を開催した。(月2回原則第2・4金曜日)

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、4月に予定していた相談会1回を中止し、11月に3回開催。

※ 令和3年度より総務課から市民協働課へ事務移管

(2) 相談内容

(単位：件、%)

内 容 ・ 項 目	R3		R2		比較 R3-R2
	延べ件数	構成比	延べ件数	構成比	
遺言/相続	28	31.5	32	43.2	△ 4
債権/債務	6	6.7	7	9.4	△ 1
宅地/土地	7	7.9	4	5.4	3
契約	3	3.4	1	1.4	2
離婚	14	15.7	4	5.4	10
家族トラブル	3	3.4	0	0.0	3
金銭トラブル	6	6.7	0	0.0	6
近隣トラブル	4	4.5	5	6.8	△ 1
その他	18	20.2	21	28.4	△ 3
合計	89	100.0	74	100.0	15

4 更生保護

(1) 社会を明るくする運動

月 日	内 容	場 所
7月5日	社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式・広報活動	富谷市役所ほか
7月～9月	※新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小して実施 社会を明るくする運動作文コンテスト	各小中学校

市民生活部 市 民 課

項 目	22. 出張所 (2款1項11目)	担 当	出張所(5所)
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち! 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	58,990,000	55,956,913	8,147,900 47,809,013

事業名	出張所運営事業

I 事業の趣旨(目的)

市民の利便性向上を図るため、戸籍、住基及び諸証明事務及び他種業務について迅速かつ正確に業務を遂行します。

II 実施内容及び実績

1 住民基本台帳届出

(単位:件)

出張所	年度	転入	転出	転居	出生	世帯変更等	計
東向陽台	R3	69	152	23	23	12	279
	R2	68	182	15	10	13	288
	R1	99	163	26	7	8	303
	比較 R3-R2	1	△ 30	8	13	△ 1	△ 9
富ヶ丘	R3	44	84	14	11	8	161
	R2	50	101	23	4	13	191
	R1	38	112	19	12	8	189
	比較 R3-R2	△ 6	△ 17	△ 9	7	△ 5	△ 30
あけの平	R3	20	53	6	4	7	90
	R2	25	59	9	4	4	101
	R1	18	64	10	2	6	100
	比較 R3-R2	△ 5	△ 6	△ 3	0	3	△ 11
日吉台	R3	34	58	11	3	3	109
	R2	45	87	11	6	6	155
	R1	45	93	16	10	6	170
	比較 R3-R2	△ 11	△ 29	0	△ 3	△ 3	△ 46
成 田	R3	84	257	37	25	15	418
	R2	101	286	40	27	21	475
	R1	120	324	47	36	26	553
	比較 R3-R2	△ 17	△ 29	△ 3	△ 2	△ 6	△ 57
計	R3	251	604	91	66	45	1,057
	R2	289	715	98	51	57	1,210
	R1	320	756	118	67	54	1,315
	比較 R3-R2	△ 38	△ 111	△ 7	15	△ 12	△ 153

2 戸籍届出

(単位:件)

出張所	年度	出生	死亡	婚姻	離婚	転籍	その他	計
東向陽台	R3	25	1	0	3	27	6	62
	R2	11	0	0	2	19	1	33
	R1	8	1	2	1	20	2	34
	比較 R3-R2	14	1	0	1	8	5	29
富ヶ丘	R3	12	1	1	1	6	3	24
	R2	5	0	1	0	12	1	19
	R1	12	1	0	1	9	2	25
	比較 R3-R2	7	1	0	1	△ 6	2	5
あけの平	R3	5	0	2	0	1	1	9
	R2	5	0	0	0	13	0	18
	R1	2	0	1	0	5	2	10
	比較 R3-R2	0	0	2	0	△ 12	1	△ 9
日吉台	R3	1	0	0	0	3	1	5
	R2	5	0	2	0	8	2	17
	R1	16	0	1	0	5	2	24
	比較 R3-R2	△ 4	0	△ 2	0	△ 5	△ 1	△ 12
成 田	R3	26	0	0	1	23	7	57
	R2	33	1	2	3	23	5	67
	R1	36	1	3	1	32	4	77
	比較 R3-R2	△ 7	△ 1	△ 2	△ 2	0	2	△ 10
計	R3	69	2	3	5	60	18	157
	R2	59	1	5	5	75	9	154
	R1	74	3	7	3	71	12	170
	比較 R3-R2	10	1	△ 2	0	△ 15	9	3

3 納税等取扱状況

(単位: 件、円)

区分	年度	市税等		水道料		その他		計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
東向陽台	R3	2,513	35,726,704	99	1,336,225	534	3,517,000	3,146	40,579,929
	R2	2,742	41,027,377	119	1,524,108	510	2,771,624	3,371	45,323,109
	R1	3,246	48,738,000	144	1,910,522	581	4,702,841	3,971	55,351,363
	比較R3-R2	△ 229	△ 5,300,673	△ 20	△ 187,883	24	745,376	△ 225	△ 4,743,180
富ヶ丘	R3	4,169	49,136,250	452	5,108,258	399	2,464,495	5,020	56,709,003
	R2	4,048	51,220,813	498	5,546,256	606	4,023,463	5,152	60,790,532
	R1	4,403	54,902,700	624	6,856,261	661	5,015,844	5,688	66,774,805
	比較R3-R2	121	△ 2,084,563	△ 46	△ 437,998	△ 207	△ 1,558,968	△ 132	△ 4,081,529
あけの平	R3	3,210	39,038,487	307	3,670,754	374	1,819,989	3,891	44,529,230
	R2	3,444	44,597,797	360	4,105,831	413	2,142,716	4,217	50,846,344
	R1	3,716	45,575,698	447	5,137,453	463	2,618,122	4,626	53,331,273
	比較R3-R2	△ 234	△ 5,559,310	△ 53	△ 435,077	△ 39	△ 322,727	△ 326	△ 6,317,114
日吉台	R3	1,510	24,707,100	151	2,355,504	302	1,283,982	1,963	28,346,586
	R2	1,793	26,200,540	207	3,024,503	346	1,778,760	2,346	31,003,803
	R1	1,983	29,621,600	255	3,370,417	455	2,096,137	2,694	35,088,154
	比較R3-R2	△ 283	△ 1,493,440	△ 56	△ 668,999	△ 44	△ 494,778	△ 383	△ 2,657,217
成田	R3	3,520	60,162,900	282	3,996,047	642	4,527,845	4,444	68,686,792
	R2	3,744	70,198,904	293	4,459,331	670	4,516,949	4,707	79,173,184
	R1	4,207	78,423,500	425	6,173,877	1,036	7,478,269	5,668	92,075,646
	比較R3-R2	△ 224	△ 10,034,004	△ 11	△ 463,284	△ 28	10,896	△ 263	△ 10,486,392
計	R3	14,922	208,771,441	1,291	16,466,788	2,251	13,613,311	18,464	238,851,540
	R2	15,771	233,243,431	1,477	18,660,029	2,545	15,233,512	19,793	267,136,972
	R1	17,555	257,261,498	1,896	23,448,530	3,196	21,911,213	22,647	302,621,241
	比較R3-R2	△ 849	△ 24,471,990	△ 186	△ 2,193,241	△ 294	△ 1,620,201	△ 1,329	△ 28,285,432

4 各種証明交付状況

(単位: 件、円)

区分	交付件数			手数料
	有料	無料	計	
東向陽台	戸(除)籍謄抄本・戸籍諸証明	794	0	794
	戸籍附票の写し	33	0	33
	住民票の写し	3,127	5	3,132
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明		6	6
	印鑑登録	202	0	202
	印鑑証明	2,138	1	2,139
	税証明(軽自動車使用納税証明含む)	1,135	154	1,289
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	173	1	174
	R3計	7,602	167	7,769
	R2計	7,820	218	8,038
富ヶ丘	R1計	8,606	250	8,856
	比較 R3-R2	△ 218	△ 51	△ 269
	戸(除)籍謄抄本・戸籍諸証明	508	1	509
	戸籍附票の写し	30	0	30
	住民票の写し	1,594	5	1,599
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明		28	28
	印鑑登録	115	1	116
	印鑑証明	1,275	5	1,280
	税証明(軽自動車使用納税証明含む)	501	93	594
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	94	1	95
あけの平	R3計	4,117	134	4,251
	R2計	4,377	132	4,509
	R1計	4,540	96	4,636
	比較 R3-R2	△ 260	2	△ 258
	戸(除)籍謄抄本・戸籍諸証明	256	0	256
	戸籍附票の写し	9	0	9
	住民票の写し	1,050	1	1,051
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明		4	4
	印鑑登録	77	0	77
	印鑑証明	769	4	773
あけの平	税証明(軽自動車使用納税証明含む)	380	72	452
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	61	4	65
	R3計	2,602	85	2,687
	R2計	2,693	97	2,790
	R1計	3,212	88	3,300
	比較 R3-R2	△ 91	△ 12	△ 103

区分	交付件数			手数料
	有料	無料	計	
日吉台	戸(除)籍謄抄本・戸籍簿証明	297	0	297
	戸籍附票の写し	11	0	11
	住民票の写し	1,245	0	1,245
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明		0	0
	印鑑登録	60	0	60
	印鑑証明	750	0	750
	税証明(軽自動車検用納税証明含む)	417	37	454
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	82	0	82
	R3計	2,862	37	2,899
	R2計	3,408	75	3,483
	R1計	3,887	101	3,988
	比較 R3-R2	△ 546	△ 38	△ 584
成田	戸(除)籍謄抄本・戸籍簿証明	659	0	659
	戸籍附票の写し	28	0	28
	住民票の写し	3,695	0	3,695
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明		26	26
	印鑑登録	216	0	216
	印鑑証明	2,315	6	2,321
	税証明(軽自動車検用納税証明含む)	1,383	134	1,517
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	207	7	214
	R3計	8,503	173	8,676
	R2計	9,821	218	10,039
	R1計	12,318	251	12,569
	比較 R3-R2	△ 1,318	△ 45	△ 1,363
計	戸(除)籍謄抄本・戸籍簿証明	2,514	1	2,515
	戸籍附票の写し	111	0	111
	住民票の写し	10,711	11	10,722
	市制施行に伴う住所・本籍変更証明	0	64	64
	印鑑登録	670	1	671
	印鑑証明	7,247	16	7,263
	税証明(軽自動車検用納税証明含む)	3,816	490	4,306
	その他(身分証明・記載事項証明ほか)	617	13	630
	R3計	25,536	596	26,132
	R2計	28,119	740	28,859
	R1計	32,563	786	33,349
	比較 R3-R2	△ 2,433	△ 144	△ 2,577

5 月別取扱状況(出張所)

(単位: 件)

出張所	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3計	R2計	比較R3-R2
東向陽台	住基届出	33	18	22	18	16	19	8	21	16	18	18	76	279	288	△ 9
	戸籍届出	4	8	8	5	4	10	4	2	3	5	4	6	62	33	29
	納税等	127	636	397	325	326	186	244	247	228	171	151	108	3,146	3,371	△ 225
	各種証明	718	516	770	681	738	540	481	597	604	566	616	942	7,769	8,038	△ 269
	各種届出	257	223	834	205	187	186	169	199	167	425	322	313	3,487	2,868	619
	計	1,139	1,397	2,031	1,234	1,271	941	906	1,066	1,018	1,184	1,111	1,445	14,743	14,598	145
富ヶ丘	住基届出	23	17	15	8	10	7	6	6	11	15	12	31	161	191	△ 30
	戸籍届出	0	4	2	1	4	6	1	1	0	3	2	0	24	19	5
	納税等	263	931	453	586	496	370	388	388	409	300	277	159	5,020	5,152	△ 132
	各種証明	352	336	423	444	371	360	267	303	303	315	309	488	4,251	4,509	△ 258
	各種届出	180	189	510	170	163	162	130	134	130	306	336	226	2,638	2,211	427
	計	818	1,477	1,403	1,209	1,044	905	792	832	853	939	838	884	12,094	12,082	12
あけの平	住基届出	4	8	8	4	10	12	8	6	5	3	4	18	90	101	△ 11
	戸籍届出	0	0	2	3	0	1	1	1	0	0	1	0	9	18	△ 9
	納税等	194	765	486	415	409	242	299	272	331	166	198	114	3,891	4,217	△ 326
	各種証明	276	205	322	219	205	215	166	213	180	216	167	303	2,687	2,790	△ 103
	各種届出	110	97	308	108	80	77	80	92	79	199	133	103	1,463	1,327	136
	計	584	1,075	1,123	749	704	547	554	584	595	584	503	538	8,140	8,453	△ 313
日吉台	住基届出	17	4	5	9	10	6	5	4	3	11	7	28	109	155	△ 46
	戸籍届出	2	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	5	17	△ 12
	納税等	101	387	269	171	209	140	133	129	162	91	97	74	1,963	2,346	△ 383
	各種証明	286	203	306	354	295	210	175	184	179	183	194	329	2,899	3,483	△ 584
	各種届出	90	66	445	67	92	64	50	48	48	144	92	76	1,282	1,443	△ 161
	計	496	660	1,025	601	608	420	363	366	392	431	390	507	6,258	7,444	△ 1,186
成田	住基届出	53	42	27	18	32	20	28	33	24	32	21	88	418	475	△ 57
	戸籍届出	8	3	3	1	9	3	7	7	2	2	3	9	57	67	△ 10
	納税等	220	990	524	545	427	260	328	322	342	179	165	142	4,444	4,707	△ 263
	各種証明	798	523	986	800	770	565	618	664	602	662	576	1,012	8,676	10,039	△ 1,363
	各種届出	255	176	989	192	202	156	156	167	123	503	293	227	3,439	3,701	△ 262
	計	1,334	1,834	2,529	1,556	1,440	1,004	1,137	1,193	1,093	1,378	1,058	1,478	17,034	18,989	△ 1,955

出張所	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3計	R2計	比較R3-R2
計	住基届出	130	87	77	57	78	64	55	70	59	77	62	241	1,057	1,210	△ 153
	戸籍届出	14	13	15	10	18	20	13	11	5	13	10	15	157	154	3
	納税等	905	3,709	2,129	2,042	1,867	1,198	1,392	1,358	1,472	907	888	597	18,464	19,793	△ 1,329
	各種証明	2,430	1,883	2,807	2,498	2,380	1,890	1,707	1,961	1,868	1,942	1,862	3,064	26,282	28,859	△ 2,577
	各種届出	892	751	3,083	742	724	645	585	640	547	1,577	1,178	945	12,309	11,550	759
	計	4,371	6,443	8,111	5,349	5,067	3,817	3,752	4,040	3,951	4,516	4,000	4,852	58,269	61,566	△ 3,297
1日平均	住基届出	6	5	4	3	4	3	3	4	3	4	3	11	4	5	△ 1
	戸籍届出	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0
	納税等	43	206	97	102	89	60	66	68	74	48	49	27	76	81	△ 5
	各種証明	116	105	128	125	113	95	81	98	93	102	103	139	109	119	△ 10
	各種届出	42	42	140	37	34	32	28	32	27	83	65	43	51	48	3
	計	208	359	370	268	241	191	179	203	197	238	221	221	241	254	△ 13
月別業務日数		21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	243	△ 1

※ 取扱事務主管課別主な事務内容

取扱事務主管課		主 な 事 務 内 容
市長公室		・広報紙配布
企画部	企画政策課	・市民バス（時刻表配布・回数券販売・定期券販売）
総務部	防災安全課	・震災対策センター使用許可・特殊詐欺対策補助金申請受付
	市民協働課	・行政区長諸連絡取り次ぎ
市民生活部	市民課	・戸籍届出受付・住民異動届受付・印鑑登録等受付 ・各種証明交付・建築等新築届出書受付・住居表示板の交付 ・マイナンバーカード新規申請受付
	税務課	・原動機付自転車（新規・変更・廃車）申告受付 ・市税等口座振替申請受付・市税等の収納
	生活環境課	・飼犬登録（登録証交付・変更届・死亡届・狂犬病予防注射済証交付）受付 ・生ごみ処理機補助金（交付申請・実績）受付・粗大ごみ処理手数料券販売 ・集団資源回収助成金（交付申請・実績）受付
保健福祉部	長寿福祉課	・介護保険（認定更新・負担限度額認定申請）受付・介護保険証再交付申請受付
	地域福祉課	・心身障害者医療費（新規・変更）申請受付・生活保護診療依頼書発行 ・各種障害者手帳（新規・取下・再交付）申請受付 ・原油価格高騰緊急対策燃料費助成券交付事業申請受付 ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請受付
	子育て支援課	・予防接種券交付・保育所入所申請書・案内書配布・保育料の収納 ・母子父子家庭医療費受給資格（変更・助成）申請受付 ・児童手当（認定請求・消滅届・変更届・現況届等）受付 ・子ども医療費（新規・変更・助成・再交付）申請受付 ・第3子給付金申請受付・児童クラブ利用料の収納 ・子育て世帯への臨時特別給付金申請受付
	健康推進課	・住民検診申込書の配布・受付 ・国民健康保険（被保険者証等各種申請・療養費・葬祭費支給申請等）受付 ・国民年金（資格取得・免除・付加給付）受付 ・後期高齢者医療（被保険者証再交付・高額療養費・葬祭費支給申請等）受付 ・予防接種券（インフルエンザ・肺炎球菌）交付 ・新型コロナワクチン予診票配布 ・新型コロナワクチン接種記録確認同意書兼新接種券発行申請受付
経済産業部	農林振興課	・レクリエーション農園申込受付・とみやふるさと便申込受付
	産業観光課	・テイクアウト利用促進事業割引券配布
建設部	都市計画課	・都市公園内行為許可申請受付・成田西公園テニスコート使用許可申請等受付
	上下水道課	・給水使用開閉栓届・水道料金の収納
教育委員会	学校教育課	・転入時就学通知書の発行・区域外就学届受付・奨学金返納受付
		・幼稚園入園案内等配布

項 目	23. 戸籍住民基本台帳 (2款3項1目)	担 当	総合窓口担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	135,148,000	130,043,839	32,095,000 35,000 8,950,950 88,962,889

事業名	①戸籍住基等事務

I 事業の趣旨（目的）

住民基本台帳法や戸籍法に基づき、適法性・専門性・公平性などを確保しつつ、身分を公証する重要な記録管理と運用に努めます。市民と接する窓口業務においては、正確かつ迅速な窓口対応に努め、市民満足度の向上と窓口サービスの効率化を図ります。

II 実施内容及び実績

1 住民基本台帳人口及び世帯数（令和4年3月末現在）

（単位：世帯、人、％）

区分	世帯数	人 口			人口伸び率 (対前年度)
		総数	男	女	
R3	20,007	52,374	25,706	26,668	0.0
R2	19,744	52,370	25,721	26,649	△ 0.1
R1	19,460	52,404	25,759	26,645	△ 0.2
比較 R3-R2	263	4	△ 15	19	-

2 外国人人口（住民基本台帳人口 表1の内数）

（単位：人、％）

区分	人 口			人口伸び率 (対前年度)
	総数	男	女	
R3	219	85	134	△ 12.7
R2	251	114	137	10.1
R1	228	107	121	8.1
比較 R3-R2	△ 32	△ 29	△ 3	-

3 人口動態（住民基本台帳人口）

（単位：人）

区分	純増減数	自然増減			社会増減		
		増減数	出生	死亡	増減数	転入等	転出等
R3	4	△ 45	305	350	49	1,815	1,766
R2	△ 34	7	308	301	△ 41	1,797	1,838
R1	△ 117	18	341	323	△ 135	1,854	1,989
比較 R3-R2	38	△ 52	△ 3	49	90	18	△ 72

4 住民基本台帳届出（外国人含む）

（単位：件）

区分	転入	転出	転居	世帯変更等	出生	死亡	記載修正	計
R3	1,213	1,395	308	204	305	350	2,037	5,812
R2	1,198	1,453	323	191	303	301	2,156	5,940
R1	1,253	1,517	360	180	341	323	2,344	6,318
比較 R3-R2	15	△ 58	△ 15	13	△ 3	49	△ 129	△ 128

5 住民基本台帳届出（外国人）

（単位：件）

区分	転入	転出	転居	世帯変更等	出生	死亡	法務省通知修正	計
R3	34	54	4	8	0	0	116	216
R2	62	31	12	1	0	1	107	214
R1	56	32	5	8	2	1	89	193
比較 R3-R2	△ 28	23	△ 8	7	0	△ 1	9	2

6 本籍数及び本籍人口

（単位：戸、人、％）

区分	本籍数	本籍人口	本籍人口伸び率 (対前年度)
R3	14,706	39,779	0.6
R2	14,567	39,536	0.7
R1	14,410	39,266	1.0
比較 R3-R2	139	243	-

7 戸籍届出

(単位：件)

区分	総数	届 出			他市町村 から送付
		計	本籍人	非本籍人	
出 生	424	312	122	190	112
死 亡	412	367	200	167	45
婚 姻	424	145	96	49	279
離 婚	102	62	51	11	40
転 籍	268	168	168	0	100
その他	222	153	129	24	69
R3	1,852	1,207	766	441	645
R2	1,869	1,166	810	356	703
R1	1,953	1,261	851	410	692
比較 R3-R2	△ 17	41	△ 44	85	△ 58

8 戸籍処理状況

(単位：件)

区分	新戸籍編製	戸籍全部消除	戸籍の再製外	計
R3	345	206	1	552
R2	365	208	5	578
R1	409	209	5	623
比較 R3-R2	△ 20	△ 2	△ 4	△ 26

9 戸籍の附票処理状況

(単位：件)

区分	附票の記載	附票の消除	計
R3	2,792	206	2,998
R2	2,581	208	2,789
R1	2,736	209	2,945
比較 R3-R2	211	△ 2	209

10 犯歴事務

(単位：件)

区分	登録関係	閉鎖関係	犯歴照会	身上調査	計
R3	32	30	233	256	551
R2	32	19	249	255	555
R1	54	32	257	282	625
比較 R3-R2	0	11	△ 16	1	△ 4

11 各種証明交付状況（総合窓口分）

(単位：件、円)

区分	交付件数			手数料
	有料	無料	計	
戸(除) 籍簿抄本・戸籍諸証明	3,355	1,965	5,320	1,823,450
戸籍附票の写し	420	907	1,327	126,000
住民票の写し	8,479	764	9,243	2,543,700
市制施行に伴う住所・本籍変更証明		36	36	
住民基本台帳閲覧	5	3	8	70,200
印鑑登録	881	1	882	264,300
印鑑証明	3,993	2	3,995	1,197,900
税証明（軽自動車検用納税証明含む）	1,577	246	1,823	473,100
その他（身分証明・記載事項証明ほか）	532	12	544	159,600
通知カード・マイナンバーカード再発行	8	21	29	6,400
R3計	19,250	3,957	23,207	6,664,650
R2計	21,173	4,622	25,795	7,299,350
R1計	22,055	4,453	26,508	6,154,200
比較 R3-R2	△ 1,923	△ 665	△ 2,588	△ 634,700

12 各種証明交付状況(コンビニ分) (単位: 件, 円)

区分	交付件数			手数料
	市内	市外	計	
戸籍諸証明	259	342	601	270,450
戸籍附票の写し	28	39	67	20,100
住民票の写し	1,870	1,001	2,871	861,300
住民票記載	105	57	162	48,600
印鑑証明	1,468	633	2,101	630,300
税証明	373	173	546	163,800
R3	4,103	2,245	6,348	1,994,550
R2	1,807	1,311	3,118	985,800
R1	706	525	1,231	385,350
比較 R3-R2	2,296	934	3,230	1,008,750

※H29.4.1より運用開始

13 仮ナンバー貸出状況 (単位: 件, 円)

区分	件数	手数料
R3	389	291,750
R2	393	294,750
R1	437	327,750
比較 R3-R2	△ 4	△ 3,000

※H28.10.10(市制施行)より運用開始

14 月別取扱状況(総合窓口分)

(単位: 件)

総合窓口	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	R2実績	比較
	住基届出	260	192	210	195	216	201	204	226	198	180	209	427	2,718	2,564	154
1日平均	戸籍届出	80	93	85	89	92	83	87	110	82	63	84	102	1,050	1,715	△ 665
	各種証明等	2,147	1,835	2,372	1,998	2,003	1,901	1,844	2,160	1,683	1,828	1,967	2,560	24,298	27,218	△ 2,920
1日平均	計	2,487	2,120	2,667	2,282	2,311	2,185	2,135	2,496	1,963	2,071	2,260	3,089	28,066	31,497	△ 3,431
	住基届出	12	11	10	10	10	10	10	11	10	9	12	19	11	11	0
1日平均	戸籍届出	4	5	4	4	4	4	4	6	4	3	5	5	4	7	△ 3
	各種証明等	102	102	108	100	95	95	88	108	84	96	109	115	100	112	△ 12
1日平均	計	118	118	122	114	109	109	102	125	98	108	126	140	115	130	△ 15
	月別業務日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	243	△ 1

15 戸籍電算システム等費用

(単位: 円)

項目	年 額
戸籍電算システム保守点検業務	2,706,000
戸籍電算システム機器賃借料	2,268,000
戸籍電算システムソフト使用料	2,332,800
戸籍証明コンビニ交付クラウドサービス利用料	3,564,000
戸籍証明コンビニ交付システム機器更新業務	3,828,000
戸籍システム副本データ全件送信業務	396,000
住民記録システム等改修業務	4,584,800
計	19,679,600

事業名

②J-NET(住基ネット)運用事業

I 事業の趣旨(目的)

有効期限のあるマイナンバー(個人番号)カードの適正な運用に努め、住民の利便性向上と自治体事務処理の効率化を図ります。また、マイナンバーカード交付の推進をするとともに、諸証明のコンビニ交付の制度周知を図り、住民の利便性向上に努めます。

II 実施内容及び実績

1 住基ネットワークシステム関連費用

(単位: 円)

項目	年 額
住基ネットワークシステム運用支援業務	1,372,800
住基ネットワークシステム運用支援業務(追加分)	140,800
住基ネットワークシステム機器等保守業務	1,914,000
住基ネットワークシステム機器等保守業務(追加分)	58,960
住基ネットワークシステム機器賃借	4,339,008
住基ネットワークシステム機器賃借(追加分)	323,928
計	8,149,496

2 マイナンバーカード交付等

(単位: 人, %)

年度	区分	交付者数	※継続利用者数	計	年度末人口	交付率 (交付者数/人口)
	R3	8,784	1,013	9,797	52,374	
	R2	7,917	457	8,374	52,370	
	R1	1,986	265	2,251	52,404	
	累計	24,507	2,179	26,686	52,374	

※継続利用とは、他市区町村で発行したマイナンバーカードを引き続き本市で利用するもの。

項 目	2 4 . 住居表示 (2 款 3 項 2 目)		担 当		総合窓口担当	
総合計画	第 4 編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3－2 行財政経営					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	円 22,000	円 21,956	円	円	円	円 21,956

事業名	住居表示事務

I 事業の趣旨（目的）

「住居表示に関する法律」に基づき、下記の市内住居表示地区（5地区）内の建物に順序よく住居番号を付番し、土地の地番によらない方法で分かりやすい住所の表示に努め、管理運営を図ります。

II 実施内容及び実績

1 新築家屋等への住居番号の付番状況（住居表示に関する法律による）

（単位：件）

住居表示地区	実施年月日	R3	R2	R1	比較 R3-R2
東向陽台	昭和52年 9月 1日	13	19	17	△ 6
富ヶ丘	昭和53年 7月 1日	18	24	43	△ 6
鷹乃杜	昭和54年 9月 1日	11	15	8	△ 4
木子堂	昭和62年10月 1日	7	9	3	△ 2
どちの木	平成14年10月 7日	1	8	2	△ 7
計		50	75	73	△ 25

市民生活部 稅 務 課

項 目	25. 税務総務 (2款2項1目)	担 当	住 民 税 担 当 固定資産税担当 保 險 税 担 当 収 納 対 策 室
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2 行財政経営		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	153,246,000	152,501,561	81,890,766 910,600 69,700,195

事業名	税務総務事務

I 事業の趣旨（目的）

公平で公正な課税、納税促進が出来る職員資質の向上と納税意識の高揚を図る。また、税情報の適正な記録管理、各種の諸証明請求に対する迅速な対応に努める。

II 実施内容及び実績

1 各種証明及び閲覧等業務

各種証明及び閲覧等件数

(単位：件、円)

区分	交付件数			手数料
	有料	無料	計	
固定資産税諸証明	782		782	234,600
住民税諸証明	455	1	456	136,500
納税証明	136		136	40,800
閲覧	242		242	72,600
租税特別措置法関係証明	301		301	391,300
価格決定通知		334	334	
軽自動車納税証明		1,066	1,066	
その他の証明	116		116	34,800
R3計	2,032	1,401	3,433	910,600
R2計	2,134	1,323	3,457	903,200
R1計	2,147	1,508	3,655	687,900
比較 R3-R2	△ 102	78	△ 24	7,400

2 負担金

340千円

- (1) 仙台北税務署管内地区税務協議会 (4千円)
- (2) 宮城県軽自動車等運営協議会 (237千円)
- (3) (財) 資産評価システム研究センター正会員会費 (90千円)
- (4) 東北都市税務協議会 (9千円)

項 目	2 6 . 賦課徴収 (2 款 2 項 2 目)		担 当		住 民 税 担 当 固 定 資 産 税 担 当 保 険 税 担 当 収 納 対 策 室		
総合計画	第 4 編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3－2 行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	79,204,000	70,226,365				866,800	69,359,565

事業名	①徴収事業・市税等口座振替申込ペーパーレス対応システム構築事業

I 事業の趣旨（目的）

納税意識の高揚を図るとともに収納率向上による自主財源の確保に努める。

II 実施内容及び実績

徴収事業

25,477千円

税目別収納状況

(単位：円、%)

区 分	調 定 額	対前年 伸び率	収 納 額	対前年 伸び率	収入未済額	対前年 伸び率	収 納 率		
							R3	R2	R1
市民税	3,283,690,100	△ 1.40	3,267,823,486	△ 1.17	15,866,614	△ 33.04	99.52	99.29	99.38
個人市民税	2,969,050,200	△ 1.46	2,953,505,736	△ 1.33	15,544,464	△ 20.93	99.48	99.35	99.32
法人市民税	314,639,900	△ 0.80	314,317,750	0.38	322,150	△ 92.02	99.90	98.73	99.79
固定資産税	2,529,437,800	△ 2.17	2,520,056,753	△ 2.15	9,381,047	△ 6.47	99.63	99.61	99.63
固定資産税(国庫特例割)	4,947,500	41.61	4,947,500	41.61	0	-	100.00	100.00	100.00
固定資産税(特別割)	120,847,000	4.08	120,405,000	4.33	442,000	△ 37.00	99.63	99.40	99.23
市たばこ税	297,441,594	5.94	297,441,594	5.94	0	-	100.00	100.00	100.00
入湯税	5,135,830	3.74	5,135,830	3.74	0	-	100.00	100.00	100.00
計	6,241,499,824	△ 1.26	6,215,810,163	△ 1.13	25,689,661	△ 25.38	99.59	99.46	99.51
市民税	60,870,705	△ 0.22	24,901,369	15.77	35,969,336	△ 8.93	40.91	35.26	33.36
個人市民税	57,066,705	△ 4.25	22,223,025	8.90	34,843,680	△ 11.10	38.94	34.24	33.03
法人市民税	3,804,000	170.54	2,678,344	142.93	1,125,656	270.77	70.41	78.41	46.96
固定資産税	38,821,220	△ 5.51	11,783,129	14.51	27,038,091	△ 12.20	30.35	25.05	21.35
固定資産税	2,267,389	2.93	636,000	17.29	1,631,389	△ 1.75	28.05	24.62	26.41
計	101,959,314	△ 2.24	37,320,498	15.40	64,638,816	△ 10.16	36.60	31.01	28.48
現年+滞納 合計	6,343,459,138	△ 1.28	6,253,130,661	△ 1.04	90,328,477	△ 15.09	98.58	98.34	98.30
参考 R2	6,425,423,430	0.35	6,319,045,118	0.39	106,378,312	△ 2.13			

※1 不納欠損前の数値。

※2 収納額には、還付未済額を含む。

重点項目

- 1 口座振替制度利用の勧奨及び多様な納税環境を整備。〔表1〕
- 2 未納者への督促状、催告書の発送。〔表2〕
- 3 滞納者への訪問、窓口来庁等による納税指導と滞納処分を実施。〔表3-1〕〔表3-2〕〔表3-3〕
- 4 滞納処分の執行を停止。〔表4〕
- 5 不納欠損処分を実施。〔表5〕
- 6 宮城県地方税滞納整理機構への徴収の引継ぎを実施。〔表6〕
- 7 滞納者の納税及び滞納状況、その他納税者に関する情報と収納の適正管理を実施。〔表7〕
- 8 事案移管に関する所管課への事務ヒアリング及び債権管理の助言を実施。〔表8〕
- 9 移管債権に係る債務者への催告、訪問、窓口来庁等による納付指導、法的措置の調査の実施。
〔表9-1〕〔表9-2〕
- 10 広報とみや等を活用し、納期内納税、滞納額の早期納付を周知・啓発。
- 11 滞納者の納税意識や担税力に応じた納付指導及び面談徴収、分納誓約等により、効果的な指導を実施。
- 12 納税促進及び滞納処分などに必要な知識、技能を高めるため研修会等へ参加。

1 普通徴収収納の状況〔表1〕

(単位：件、%)

税 目	納付書 (市役所及び金融機関)		納付書 (コンビニ)		納付書 (スマホ決済)		口座振替		合計 件数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
個人市・県民税	5,179	29.4	6,939	39.3	456	2.6	5,057	28.7	17,631
固定資産税	20,297	26.9	18,455	24.5	1,570	2.1	35,068	46.5	75,390
軽自動車税	4,615	28.8	7,918	49.5	402	2.5	3,077	19.2	16,012
国民健康保険税	9,728	27.3	10,630	29.9	568	1.6	14,664	41.2	35,590
小計	39,819	27.5	43,942	30.4	2,996	2.1	57,866	40.0	144,623
介護保険料	3,444	81.1	-	-	-	-	805	18.9	4,249
後期高齢者医療保険料	3,180	48.6	-	-	-	-	3,369	51.4	6,549
R3 計	46,443		43,942		2,996		62,040		155,421
R2 計	50,778		43,093		-		60,703		154,574
R1 計	54,585		40,780		-		60,110		155,475
比較 R3-R2	△ 4,335		849		2,996		1,337		847

2 督促状等文書発送の状況〔表2〕

(単位：件)

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
督促状	15,868	16,312	19,367	△ 444
催告書	2,989	3,591	5,099	△ 602
合 計	18,857	19,903	24,466	△ 1,046

3 税目別滞納者の状況

(1) 滞納繰越〔表3-1〕

(単位：人)

区 分	市 民 税			固 定 資 産 税	軽 自 動 車 税	国民健康 保 険 税	介 護 保 険 料	後 期 保 険 料	計
	特 徴	普 徴	法 人						
R3	60	503	6	389	201	749	174	60	2,142
R2	61	522	5	468	202	840	185	60	2,343
R1	56	584	11	504	194	892	170	48	2,459
比較 R3-R2	△ 1	△ 19	1	△ 79	△ 1	△ 91	△ 11	0	△ 201

※ 税目毎の滞納者数は、各年度合計（延）人数で、不納欠損前の数値。

(2) 現年度〔表3-2〕

(単位：人)

区 分	市 民 税			固 定 資 産 税	軽 自 動 車 税	国民健康 保 険 税	介 護 保 険 料	後 期 保 険 料	計
	特 徴	普 徴	法 人						
R3	59	290	8	193	66	280	73	34	1,003
R2	67	349	15	215	84	319	85	34	1,168
R1	79	320	13	171	100	334	106	41	1,164
比較 R3-R2	△ 8	△ 59	△ 7	△ 22	△ 18	△ 39	△ 12	0	△ 165

※ 税目毎の滞納者数は、各年度合計（延）人数で、不納欠損前の数値。

(3) 滞納処分の状況〔表3-3〕

(単位：件、円)

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
交付件数 ①	8	21	22	△ 13
要求 配当件数	7	7	9	0
配当額(a)	959,501	990,451	1,532,369	△ 30,950
参加差押件数 ②	3	6	0	△ 3
不動産差押 ③	1	12	3	△ 11
差 債権差押等 ④	65	67	94	△ 2
配当件数	67	66	112	1
押 配当額(b)	4,522,271	3,536,780	10,109,157	985,491
内公売	0	0	0	0
配当額合計(a)+(b)	5,481,772	4,527,231	11,641,526	954,541
滞納処分件数合計①+②+③+④	77	106	119	△ 29

4 滞納処分執行停止の状況〔表4〕

(単位：人、円)

区 分	人 数	処 分 額			
		R3	R2	R1	比較 R3-R2
市民税	38	2,860,668	5,263,917	1,340,838	△ 2,403,249
個人	36	2,772,412	5,263,917	1,099,238	△ 2,491,505
法人	2	88,256	0	241,600	88,256
固定資産税	9	2,661,572	895,627	1,459,641	1,765,945
軽自動車税	12	187,400	131,218	77,400	56,182
国民健康保険税	40	4,598,628	6,525,228	5,259,899	△ 1,926,600
介護保険料	15	1,169,600	492,200	1,015,900	677,400
後期高齢者医療保険料	8	383,100	5,200	8,200	377,900
合 計	122	11,860,968	13,313,390	9,161,878	△ 1,452,422

※税目毎の執行停止者数は、合計（延）人数

5 不納欠損処分の状況〔表5〕

(単位：人、円)

区 分	人 数	処 分 額			
		R3	R2	R1	比較 R3-R2
市民税	34	1,817,380	1,344,214	2,444,571	473,166
個人	32	1,729,124	1,344,214	2,202,971	384,910
法人	2	88,256	0	241,600	88,256
固定資産税	17	3,263,239	2,140,979	2,181,917	1,122,260
軽自動車税	10	143,900	86,718	250,945	57,182
国民健康保険税	34	6,003,281	5,246,543	10,460,884	756,738
介護保険料	18	1,017,600	608,600	607,400	409,000
後期高齢者医療保険料	5	307,505	36,062	33,600	271,443
合 計	118	12,552,905	9,463,116	15,979,317	3,089,789

※税目毎の人数は、根拠法令該当条項毎の合計（延）人数

6 宮城県地方税滞納整理機構への引継ぎの状況〔表6〕

(1) 引継ぎ状況

(単位：人、円、%)

区 分	徴収引継ぎの内容		収納実績		収納率
	人 数	金 額	人 数	金 額	
R3	40	18,744,134	38	8,835,325	47.14
R2	39	17,101,427	35	11,746,929	68.69
R1	49	23,799,200	47	16,247,006	68.27
比較 R3-R2	1	1,642,707	3	△ 2,911,604	△ 21.55

(2) 宮城県地方税滞納整理機構負担金

131千円

7 情報と収納の適正管理

(1) 滞納管理システム保守業務・賃貸借料

7,473千円

(2) 償還金〔表7〕

(単位：件、円)

区 分	件 数	金 額
令和3年度 償 還 金	市・県民税	271 6,216,956
	法人市民税	82 3,374,300
	軽自動車税	4 19,000
	固定資産税	32 141,029
	合 計	389 9,751,285

8 債権管理業務

(1) 移管引受債権の状況〔表8〕

(単位：件、円)

所管課	債権名	R3		R2		比較 R3-R2	
		引受 件数	金額	引受 件数	金額	引受 件数	金額
学校教育課	奨学金貸付金	9	5,449,400			皆増	皆増
長寿福祉課	災害援護資金貸付金	8	4,289,103			皆増	皆増
合 計		17	9,738,503			皆増	皆増

(2) 移管後の納付指導等の状況〔表9-1〕

(単位：件、円)

区 分	引受事案		納付約束		効果率 B/A
	件数	金額 A	件数	金額 B	
奨学金貸付金	9	5,449,400	6	3,983,800	73.11%
災害援護資金貸付金	8	4,289,103	6	2,738,454	63.85%
R3合計	17	9,738,503	12	6,722,254	69.03%
R2合計					
比較 R3-R2	皆増	皆増	皆増	皆増	皆増

(3) 移管後の収納状況〔表9-2〕

(単位：件、円)

区 分	引受事案		納付済額		収納率 C/A
	件数	金額 A	件数	金額 C	
奨学金貸付金	9	5,449,400	6	364,000	6.68%
災害援護資金貸付金	8	4,289,103	2	137,082	3.20%
R3合計	17	9,738,503	8	501,082	5.15%
R2合計					
比較 R3-R2	皆増	皆増	皆増	皆増	皆増

市税等口座振替申込ペーパーレス対応システム構築事業

6,988千円

市税等の口座振替の新規申込者がインターネット上で口座振替の申込みができるシステムを構築し、住民の納税に係る負担軽減と利便性の向上を図るもの。

口座振替申込み状況

(単位：件、%)

税 目	口座振替依頼書		WEB口座振替		合計 件数
	件数	割合	件数	割合	
市・県民税	329	99.7	1	0.3	330
固定資産税	508	99.6	2	0.4	510
軽自動車税	148	99.3	1	0.7	149
国民健康保険税	300	99.0	3	1.0	303
介護保険料	239	99.6	1	0.4	240
後期高齢者医療保険料	208	99.0	2	1.0	210
R3合計	1,732	99.4	10	0.6	1,742
R2合計					
比較 R3-R2	皆増	皆増	皆増	皆増	皆増

※令和3年10月より実施。

※申込み不備件数は含めていない。

事業名	②個人住民税（市・県民税）・法人市民税 固定資産税・軽自動車税・諸税賦課事業

I 事業の趣旨（目的）

市財政の基盤である税財源の確保は、最重要な課題であると認識し、課税客体の正確な把握及び基礎データ収集・整備を図り、公平で公正な課税に努める。

II 実施内容及び実績

1 市税の課税（構成）状況

調定金額による構成比率（滞納繰越分除く）

（単位：％）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
個人市民税	47.6	47.7	46.9	△ 0.1
法人市民税	5.0	5.0	6.2	0.0
固定資産税	40.5	40.9	40.6	△ 0.4
軽自動車税	2.0	1.9	1.8	0.1
市たばこ税	4.8	4.4	4.4	0.4
入 湯 税	0.1	0.1	0.1	0.0
合 計	100.0	100.0	100.0	

2 個人住民税賦課事業

18,363千円

(1) 賦課業務

- ①未申告者に対する申告指導の実施（未申告発送人数：年2回 596人）
- ②市外被扶養者の所得調査の実施（調査対象人数：年1回 665人）
- ③住宅借入金（住宅ローン）等特別税額控除件数（1,890件）
- ④市受付申告書等データの国税への電子送信（2,716件）

(2) 個人市民税の課税状況

①納税義務者数（令和3年度課税状況調）

（単位：人）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
所得割納税義務者	給 与	20,585	20,479	106
	営 業	785	737	48
	農 業	9	10	△ 1
	その他	2,508	2,389	119
	分離課税	180	169	11
合 計	24,067	23,784	23,500	283
均等割納税義務者	給 与	22,089	22,074	15
	営 業	888	881	7
	農 業	18	20	△ 2
	その他	3,440	3,314	126
	分離課税	0	0	0
合 計	26,435	26,289	25,935	146

②課税額（調定金額）

（単位：円）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
課税額	2,969,050,200	3,013,126,275	2,951,541,212	△ 44,076,075

(3) 所得申告相談の状況

（単位：件、人、日）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
申告件数	3,900	3,936	4,023	△ 36
従事職員数	380	385	359	△ 5
申告日数	25	25	25	0
1日平均申告件数	156.0	157.4	160.9	△ 1.4
1日平均従事職員数	15.2	15.4	14.4	△ 0.2

(4) 地方税電子申告支援サービス業務

2,534千円

電子申告状況

(単位：件)

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
給与支払報告書	23,562	21,892	17,244	1,670
公的年金等支払報告書	18,137	17,710	17,434	427
所得税申告書	9,169	9,031	8,234	138
法人市民税（申告書）	1,216	1,081	1,095	135
法人市民税（設立届出等）	195	176	138	19
固定資産税（償却資産）	571	509	678	62

(5) 地方税共同機構負担金

1,249千円

地方税ポータルサイト（eLTAX）において納税事務の負担軽減と利便性を向上させることを目的として令和元年10月より全国一斉に地方税共通納税システムの運用が開始された。

納付件数及び納税額

(単位：件、円)

区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	件数	納税額	件数	納税額	件数	納税額
個人住民税（特別徴収）	3,874	154,742,400	1,646	59,369,299	2,228	95,373,101
法人市民税	212	79,151,900	99	46,608,300	113	32,543,600

※対象税目については今後、順次拡大予定となっている。

3 法人市民税賦課事業

113千円

(1) 法人市民税の賦課業務

- ①申告書、設立・異動届など資料の適切な管理
- ②未申告法人に対する申告指導の実施

(2) 法人市民税の課税状況

①納税義務者数（令和3年度課税状況調）

(単位：人)

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
均等割納税義務者	1,073	1,039	1,075	34
法人税割納税者数	430	413	457	17

②課税額（調定金額）

(単位：円)

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
課税額	314,639,900	317,179,100	392,937,100	△ 2,539,200

4 固定資産税賦課事業

16,476千円

(1) 固定資産税の賦課業務

- ①登記異動通知、実地調査等による課税客体の把握
- ②納税義務者の相続等に伴う現所有者（法定相続人等）の把握
- ③固定資産基礎資料修正及び土地評価業務委託（8,217千円）令和3年度～令和5年度までの3か年事業

(2) 固定資産税の課税状況

①納税義務者数（令和3年度概要調査）

(単位：人、%)

区 分		R3	R2	R1	比較 R3-R2
納税義務者	土地	16,461	16,342	16,273	119
	家屋	16,043	15,913	15,803	130
	償却資産	488	511	512	△ 23
	合 計	32,992	32,766	32,588	226
構成比	土地	49.9	49.9	50.0	0.0
	家屋	48.6	48.6	48.5	0.0
	償却資産	1.5	1.5	1.5	0.0

②課税額（調定金額）

(単位：円、%)

区 分		R3	R2	R1	比較 R3-R2
課税額	土地	889,398,300	892,537,600	875,176,600	△ 3,139,300
	家屋	1,267,738,100	1,326,864,200	1,293,472,500	△ 59,126,100
	償却資産	372,301,400	366,114,900	386,131,500	6,186,500
	合 計	2,529,437,800	2,585,516,700	2,554,780,600	△ 56,078,900
構成比	土地	35.2	34.5	34.3	0.7
	家屋	50.1	51.3	50.6	△ 1.2
	償却資産	14.7	14.2	15.1	0.5

(3) 家屋調査の状況（令和3年度概要調査）

（単位：棟）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
木造家屋	175	146	153	29
新 築	3	8	9	△ 5
計	178	154	162	24
非木造家屋	54	47	54	7
新 築	3	1	2	2
計	57	48	56	9
合 計	235	202	218	33

5 軽自動車税賦課事業

1,689千円

(1) 軽自動車税の賦課業務

- ①課税台帳の適切な管理により納税義務者の正確な把握を実施
 ②廃車、譲渡、転出などに伴う、異動時の届出等の指導及び周知

(2) 軽自動車税の課税状況

①課税台数（令和3年度課税状況調）

（単位：台）

区 分	税 率（円）	R3台数	R2台数	R1台数	課税分比較 R3-R2
	～H26 H27～	課 税 非課税	課 税 非課税	課 税 非課税	
原動機付自転車	(50cc) 1,000 2,000	1,112 1	1,158 1	1,232 1	△ 46
	(90cc) 1,200 2,000	102	108	93	△ 6
	(125cc) 1,600 2,400	419 1	413 1	409 1	6
	(ミニカー) 2,500 3,700	20	17	19	3
軽二輪自動車	2,400 3,600	706	695	677	11
軽三輪自動車	3,100 3,900	1	1	1	0
軽自動車（乗用自家用）	7,200 10,800 *	10,870 101	10,674 109	10,498 103	196
軽自動車（乗用営業用）	5,500 6,900 *	1			1
軽自動車（貨物自家用）	4,000 5,000 *	1,501 42	1,478 42	1,500 40	23
軽自動車（貨物営業用）	3,000 3,800 *	77	80	77	△ 3
小型特殊自動車農耕用	1,600 2,400	340	336	338	4
小型特殊自動車その他	4,700 5,900	129 1	119 1	116 1	10
二輪小型自動車	4,000 6,000	865	837	806	28
合 計		16,143 146	15,916 154	15,766 146	227

※1 *は軽課・重課があることを示し、煩雑を避けるため基本的な税率を表示している。

※2 非課税欄は非課税・減免台数を表示している。

②課税額（調定金額）

（単位：円）

区 分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
課税額	125,794,500	119,604,700	111,957,600	6,189,800

(3) ご当地ナンバー交付実績

（単位：枚、％）

排気量	R3			R2			R1			比較 R3-R2	
	ナンバー プレート 交付総数	うち、ご当地 ナンバー	割合	ナンバー プレート 交付総数	うち、ご当地 ナンバー	割合	ナンバー プレート 交付総数	うち、ご当地 ナンバー	割合	ナンバー プレート 交付総数	うち、ご当地 ナンバー
50cc	142	34	23.9	156	46	29.5	163	49	30.1	△ 14	△ 12
90cc	22	8	36.4	25	13	52.0	30	12	40.0	△ 3	△ 5
125cc	85	26	30.6	65	27	41.5	69	26	37.7	20	△ 1
合計	249	68	27.3	246	86	35.0	262	87	33.2	31	△ 18

(4) 軽自動車税環境性能割徴収取扱費負担金

175千円

6 諸税賦課事業

(1) 市たばこ税の課税状況（調定金額）

（単位：本、円）

区 分		税 率	R3	R2	R1	比較 R3-R2
売渡本数	旧3級品以外	5,692円/1,000本		29,822,800	* 48,349,198	
		6,122円/1,000本	29,219,958	17,934,513		△ 626,712
		6,552円/1,000本	17,910,643			
	旧3級品	4,000円/1,000本			712,360	
	合 計		47,130,601	47,757,313	49,061,558	△ 626,712
課税額			297,441,594	280,755,056	278,113,501	16,686,538

※税率について、旧3級品以外は平成30年10月1日以降の売り渡し分が5,692円/1,000本、令和2年10月1日以降の売り渡し分が6,122円/1,000本、令和3年10月1日以降の売り渡し分が6,552円/1,000本に引き上げられ、また旧3級品は平成30年4月1日以降の売り渡し分が4,000円/1,000本となっている。

※2 *は平成30年10月以降の旧3級品の本数も含む。

(2)入湯税の課税状況(調定金額)

(単位:人、円)

区 分	税 率	R3	R2	R1	比較 R3-R2
利用者数	日帰り70円/1人1日	73,369	70,723	76,019	2,646
課税額		5,135,830	4,950,610	5,321,330	185,220

7 東日本大震災関連事業

(1)復興産業集積区域における固定資産税課税免除の状況

(単位:件、円)

区分	R3	R2	R1	比較 R3-R2
対象件数	11	11	11	0
課税免除額	47,767,000	65,377,600	68,480,400	△ 17,610,600

(2)課税免除額の内訳

(単位:件、円)

区分	R3		R2		R1		比較 R3-R2	
	件数	課税免除額	件数	課税免除額	件数	課税免除額	件数	課税免除額
土 地	3	851,700	3	2,864,700	4	3,807,500	0	△ 2,013,000
家 屋	4	17,976,900	6	34,525,400	7	37,446,000	△ 2	△ 16,548,500
償却資産	10	28,938,400	11	27,987,500	11	27,226,900	△ 1	950,900

8 新型コロナウイルス関連事業

(1)新型コロナウイルスの影響による固定資産税軽減の状況

(単位:件、円)

区分	R3	R2	比較 R3-R2
対象件数	85		皆増
軽減税額	29,949,000		皆増

(2)軽減税額の内訳

(単位:件、円)

区分	特例率	R3		R2		比較 R3-R2	
		件数	軽減税額	件数	軽減税額	件数	軽減税額
家 屋	1/2	31	7,694,000			皆増	皆増
	0	22	12,832,000			皆増	皆増
	計	53	20,526,000			皆増	皆増
償却資産	1/2	31	3,807,000			皆増	皆増
	0	27	5,616,000			皆増	皆増
	計	58	9,423,000			皆増	皆増
合計		111	29,949,000			皆増	皆増

9 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料事業

各特別会計実績報告書による。

市民生活部 生活環境課

項 目	27. 社会福祉総務 (3款1項1目)		担 当	環境対策担当			
総合計画	第3編 元氣と温かい心で支えるまち！ 3-2 地域コミュニティ						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	10,000	10,000					10,000

事業名	社会福祉総務事務

I 事業の趣旨（目的）

墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定に基づき、身元が判明しているが、死体の埋葬又は火葬を行うものがいないとき又は判明しない死亡者についての埋・火葬を実施する。

II 実施内容及び実績

1 墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定に基づき火葬執行した遺骨の保管料 10 千円

項 目	28. 環境衛生 (4款1項3目)		担 当	環境対策担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 2-1 環境衛生						
	第1編 まらしを自慢できるまち！ 4-2 住宅・公園・上下水道						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 60,887,000	円 59,062,835	円 828,000	円 2,500,000	円	円 9,977,000	円 45,757,835

事業名	①環境衛生総務事務

I 事業の趣旨（目的）

環境衛生事務の推進に係るもの、環境対策の新たな課題などに対し、適正に管理・対応することで環境衛生行政を総合的に推進する。

II 実施内容及び実績

1 黒川食品衛生協会富谷支部補助金 38 千円
 2 図書、記録、ウェブ参考図書使用料 66 千円
 3 公用車（軽トラック）維持管理 83 千円
 4 事務補助員の雇用（会計年度任用職員1人） 1,669 千円

事業名	②合併処理浄化槽設置事業

I 事業の趣旨（目的）

公共下水道処理区域外の区域について、生活排水による水質汚濁を防止し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与するため、汲み取り・単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換普及促進に努める。
 生活排水の浄化機能のある合併処理浄化槽の設置を促進するため、設置に要する経費に対し補助金を交付し、設置者の負担の軽減を図る。

II 実施内容及び実績

1 合併処理浄化槽設置事業

(1) 新規設置基数（補助対象分）

(単位：基)

年度 人槽	R3	R2	R1	比較 R3-R2
5人槽	1	0	0	1
7人槽	5	2	5	3
10人槽	0	1	1	△1
合 計	6	3	6	3

(2) 補助金交付額

(単位: 円)

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
人槽				
5人槽 (570,000)	570,000	0	0	570,000
7人槽 (712,000)	3,560,000	1,424,000	3,560,000	2,136,000
10人槽 (1,057,000)	0	1,057,000	1,057,000	△1,057,000
合 計	4,130,000	2,481,000	4,617,000	1,649,000

※ 人槽の()内は、各人槽の限度額

(3) 合併処理浄化槽の普及状況及び普及率

(単位: 人, %)

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2	
項 目				増 減	伸び率
A. 行政人口 (R4.3.31)	52,374	52,370	52,404	4	0.0
B. 合併処理浄化槽区域人口	1,632	1,670	1,697	△38	△2.3
C. 合併処理浄化槽人口	1,387	1,362	1,393	25	1.8
D. 合併処理浄化槽普及率(区域内) C/B	85.0	81.6	82.1	3.4	—
E. 合併処理浄化槽普及率(全人口) C/A	2.6	2.6	2.7	0.0	—

※ 合併処理浄化槽設置の普及状況については、処理人口普及率で表示している。

2 合併処理浄化槽維持管理費補助事業

(1) 補助金交付明細

(単位: 件, %, 円)

内訳	対象件数 ①	申請件数 ②	申請割合 ②/①	補助金単価 ③	補助金交付額 ②×③
人槽					
5人槽	37	36	97.3	13,000	468,000
7人槽	184	179	97.3	15,000	2,685,000
10人槽	137	137	100.0	17,000	2,329,000
集会所施設	8	8	100.0	—	161,000
合 計	366	360	98.4	—	5,643,000

事業名

③公害対策事業

I 事業の趣旨(目的)

公害防止に関する対策を計画的に推進し、市民の健康を保護するとともに生活環境の保全に努める。

II 実施内容及び実績

1 自動車騒音常時監視業務 633千円

(1) 実施日 令和3年10月4日～10月5日

(2) 測定場所(令和3年度調査分)

番号	路線名	評価区間番号	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	区間延長
1	宮沢根白石線	2015-100001-1	富谷市明石台	富谷市成田	1.6km
2	七北田西成田線	2015-100002-1	富谷市明石台	富谷市明石台	1.0km

※国からの法定受託業務であり、自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握するため、年間を通じて平均的と想定される状況の調査を継続的に行うものである。24時間365日の調査をするものではない。

市内の主要道路について、年度毎のローテーションにより調査を行う。

2 自動車交通騒音測定業務(仙台北部道路) 259千円

(1) 調査実施日 令和3年8月20日～8月21日

(2) 調査地点

所在地	路線名	車線数	評価区間沿道の用途地域区分
富谷市石積三合田沢5番	仙台北部道路	2車線	無指定
富谷市大亀和合田一番45番地			

(3) 調査項目

① 等価騒音レベル、最大騒音レベル、時間率騒音レベル

② 交通量(方向別3車種分類)、平均走行速度

(4) 測定時間 正午から翌日正午までの24時間連続測定

(5) 測定結果 石積 昼間61dB、夜間58dB (環境基準: 昼間65dB、夜間60dB)
大亀 昼間56dB、夜間53dB

- 3 河川水質検査業務 325千円
 (1) 採水月 6, 7, 8, 10, 12, 2月 (計6回)
 (2) 採水箇所 市内8か所
- 4 騒音・振動規制法及び公害防止条例に基づく届出件数
 (1) 騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出件数 2件
 (2) 振動規制法に基づく特定建設作業実施届出件数 2件
 (3) 騒音規制法に基づく特定施設設置届出件数 7件
 (4) 振動規制法に基づく特定施設設置届出件数 6件

事業名 ④空地雑草除去指導事務

I 事業の趣旨（目的）

主に住宅団地の空き地の所有者又は管理者に対して、空き地に繁茂した雑草又は枯草を除去するよう指導し、住民の安全性及び快適性を確保する。

II 実施内容及び実績

空地雑草除去指導事務

雑草等の除去通知

94千円

(単位：件)

年度	項目	区画件数	発送件数	回 答 内 訳			回 答 率
				自主管理	斡旋依頼	計	
R3		272	164	43	86	129	78.7%
R2		341	166	40	97	137	82.5%
R1		363	161	48	89	137	85.1%
比較	R3-R2	△ 69	△ 2	3	△ 11	△ 8	△ 3.8%

事業名 ⑤防疫薬剤配布事業

I 事業の趣旨（目的）

ハエや蚊の発生を抑制し、日本脳炎・デング熱等の伝染病を予防する。

II 実施内容及び実績

市内清掃用防疫薬剤の購入 2,739千円

1 ポンプラン発泡錠剤 4,000 袋（1袋／5g入×5錠）

2 ポンプラン粒剤 750 袋（1袋／500g）

(単位：区)

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
行政区数	47	47	47	0
配布希望行政区数	32	33	32	△ 1

事業名 ⑥空き家対策事業

I 事業の趣旨（目的）

空き家対策及び空家予防対策を行うことにより、防災・防犯・衛生・景観など地域の生活環境の保全・向上を図る。

II 実施内容及び実績

1 空き家関連GISデータ更新業務委託

198千円

2 空き家関連GIS使用料

0円（令和3年度から総務課へ）

3 空き家対策セミナー消耗品

7千円

4 空き家対策セミナー講師謝金（3人分）

89千円

事業名	⑦ゼロカーボンシティ推進事業

I 事業の趣旨（目的）

2050年の二酸化炭素排出実質ゼロを目指すとともに、市が進める水素活用に関する市民啓発を行い、水素エネルギーへの理解と受容性を高める。

II 実施内容及び実績

1 「サイエンスキャッスル 2021東北大会 in 富谷」（令和4年3月20日） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とした。	5,459千円
2 富谷市燃料電池バス路線運行等業務委託 （宮城県・宮城交通（株）・富谷市の連携協定）	1,069千円
3 富谷市2050年ゼロカーボン戦略策定業務	9,977千円

事業名	⑧市営墓地特別会計繰出金

I 事業の趣旨（目的）

市営墓地特別会計への財源調整等に伴う繰出しを行い、特別会計の安定的な運営に資する。

II 実施内容及び実績

令和3年度市営墓地特別会計への繰出金 98千円

事業名	⑨黒川地域行政事務組合負担金事務

I 事業の趣旨（目的）

火葬業務及びし尿処理業務の広域的処理に要する費用の負担。

II 実施内容及び実績

黒川地域行政事務組合負担金

1 火葬場業務（黒川浄斎場）	14,976 千円
2 し尿処理業務（環境衛生センター）	11,061 千円

○負担金額の推移

（単位：千円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
火葬場	14,976	17,576	14,305	△ 2,600
し尿処理	11,061	10,826	11,015	235
合 計	26,037	28,402	25,320	△ 2,365

項 目	29. 狂犬病予防 (4款1項4目)		担 当	環境対策担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 2-1 環境衛生						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	3,648,000	3,587,744				3,587,744	0

事業名	狂犬病予防事業 飼主・飼犬マナーアップ推進事業

I 事業の趣旨（目的）

狂犬病の発生とその蔓延を予防し、これを撲滅することによって、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進を図る。また、ペット飼養のマナー向上を推進する。

II 実施内容及び実績

1 登録及び狂犬病予防注射頭数

(単位：頭、%)

年度 項目	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
登 録 頭 数	3,187	3,253	3,268	△ 66
予防注射頭数	2,544	2,614	2,703	△ 70
注 射 率	79.8	80.4	82.7	△ 0.6

※ 予防注射頭数は、動物病院で接種した数と下表集合注射との合計。

2 上記注射頭数のうち集合注射による頭数（委託料：3,073千円）

(単位：頭)

年度 項目	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
集合注射頭数	1,182	666	1,373	516

3 犬のしつけ方教室

13千円

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、しつけ方教室は中止とした。

4 ふん放置防止啓発

7千円

看板設置・更新25基

項 目	30. 清掃総務 (4款2項1目)		担 当	廃棄物対策担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 2-1 環境衛生						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	60,993,000	59,051,201				1,516,276	57,534,925

事業名	①清掃総務事務

I 事業の趣旨（目的）

一般廃棄物の適正排出に向けた啓発、廃棄物処理に関する新たな課題などに対し、適正に管理・対応すること
で廃棄物対策行政を総合的に推進する。

II 実施内容及び実績

1 環境美化・衛生事業の推進

(1) 環境美化市民行動の日

- ① 一斉清掃活動「春のクリーン作戦」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
② 一斉清掃活動「秋のクリーン作戦」 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(単位：t, 人)

項目	年度	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
収 集 量	燃えるごみ	新型コロナウイルス の影響により中 止	新型コロナウイルス 及び台風の影響 により中止	16.0	-
	資源ごみ			1.0	-
	不燃ごみ			12.0	-
	合 計			29.0	-
参加人数				9,200	-

(2) 日曜清掃 5月～12月の第1又は第2日曜日に実施（秋のクリーン作戦を除く）。

- ① 実施地区：30町内会／47町内会

② 日曜清掃収集量

(単位：t)

項目	年度	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
収 集 量	燃えるごみ	28.9	33.4	46.9	△ 4.5
	不燃ごみ	17.5	14.0	20.0	3.5
	合 計	46.4	47.4	66.9	△ 1.0

2 不法投棄防止関係業務

- (1) 不法投棄防止看板設置 (設置5件・更新1件)
(2) 不法投棄監視ウィーク巡回パトロール (令和3年5月31日～6月4日 市内一円)
(3) 不法投棄廃棄物の年間回収量 6.28t (前年 4.05t)
※ 集積所に出されたルール違反ごみを含む。

事業名	②生ごみ処理容器等設置助成事業

I 事業の趣旨（目的）

家庭から排出される生ごみの減量を推進することで、ごみ全体の減量化、再資源化に対する意識の高揚を図る。

II 実施内容及び実績

232 千円

1 電気式生ごみ処理機補助状況

(単位：人, 円)

項目	年度	助成者数	補 助 額
年度	R3	9	232,200
	R2	14	244,000
	R1	10	278,900
	比較 R3-R2	△ 5	△ 11,800

事業名	③集団資源回収助成事業

I 事業の趣旨（目的）

活動を通じたりサイクル意識の向上を図ることにより、限りある資源の有効利用を促進するとともに、地域のコミュニティづくりに資する。

II 実施内容及び実績

833 千円

集団資源回収奨励金交付事業

（単位：t、円）

年度	項目	交付団体数	資源回収量	奨励金
R3		40	277	833,350
R2		51	269	810,047
R1		54	405	1,220,768
比較 R3-R2		△ 11	8	23,303

事業名	④環境衛生推進員会議運営事務

I 事業の趣旨（目的）

市民の生活環境の保全及び環境衛生思想の普及並びに環境美化の促進を図るとともに、市の環境衛生事業の効果的な推進を図る。

II 実施内容及び実績

環境衛生推進員会議の開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。）

・環境衛生推進員総数 47 人

事業名	⑤ごみ集積所整備事業

I 事業の趣旨（目的）

町内会等が行うごみ集積所の整備等に要する経費に対して補助金を交付し、衛生的で利便性の高いごみ集積所の整備を促進する。

II 実施内容及び実績

ごみ集積所整備費等助成事業

【補助金交付町内会：11町内会】

2,300千円

1 更新事業

（単位：件、円）

年度	項目	補助金交付件数	補助額	備考
R3		8	1,685,000	集積所更新8件
R2		10	1,287,000	集積所更新10件
比較 R3-R2		△ 2	398,000	

2 修繕事業

（単位：件、円）

年度	項目	補助金交付件数	補助額	備考
R3		3	615,000	集積所修理3件
R2		5	888,000	集積所修理4件、ネット修理1件
比較 R3-R2		△ 2	△ 273,000	

項 目	3 1. ごみ処理 (4 款 2 項 2 目)	担 当	廃棄物対策担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 2-1 環境衛生		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	593,876,000	570,086,096	0 64,620,261 505,465,835

事業名	①清掃センター管理棟運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

清掃センターの管理運営を適切に行うとともに、一般廃棄物の収集量等各種データ管理を行い、処理の効率化を図る。

II 実施内容及び実績

富谷市清掃センター管理棟運営・維持管理に係る主な費用

1 事務補助員の雇用（会計年度任用職員1人）	1,681 千円
2 除草業務委託	473 千円
3 トラックスケール計量システム使用料	1,724 千円

事業名	②一般廃棄物収集運搬処理事業

I 事業の趣旨（目的）

「一般廃棄物処理計画」に従い、効率的な一般廃棄物の収集運搬・中間処理・処分を行い、一般廃棄物を適正に処理する。

II 実施内容及び実績

1 ごみの収集状況

(1) ごみの収集回数

① 可燃ごみ	2～3回／週	② 資源1種	2回／月
③ 資源2種	2回／月	④ 資源3種	毎週
⑤ 粗大ごみ	2回／月（戸別収集・自己搬入、第1・第2日曜日分）		

(2) ごみの収集量

項目	年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
可燃ごみ		14,500	14,644	14,672	△ 144
資源ごみ（1・2・3種）		2,193	2,304	2,123	△ 111
粗大ごみ		303	312	305	△ 9
直接搬入ごみ		929	1,453	1,093	△ 524
合 計		17,925	18,713	18,193	△ 788
人口（10月1日基準、人）		52,401	52,483	52,537	△ 82
1人1日当たり排出量（g）		937	977	946	△ 40
ごみ集積所数（箇所）		898	889	883	9

※ 1人1日当たり排出量の算定にあたっての人口は、各種調査の関係により各年度10月1日を基準とし、外国人登録者数を含んだ数値で算出。

(3) 収集運搬業務

生活ごみ収集運搬等業務委託 255,981千円

2 ごみの処理状況

項目	年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
焼却量（仙台市委託）		15,450	16,156	15,806	△ 706
埋立量（仙台市委託）		292	262	246	30
資源化量		2,183	2,295	2,141	△ 112
合 計		17,925	18,713	18,193	△ 788

事業名 ③粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

「一般廃棄物処理計画」に従い、粗大ごみ等の資源化を図るため、粗大ごみ処理施設の適正な維持管理を行う。

II 実施内容及び実績

粗大ごみ処理施設運営・維持管理に係る主な費用

1 電気料金	4,068千円
2 粗大ごみ処理施設修繕	27,940千円
※粗大ごみ処理施設修繕工事（緊急工事）令和4年度へ繰越明許	407千円
3 フォークリフト等備品修繕	948千円
4 粗大可燃物運搬業務	4,326千円
5 業務補助員の雇用（会計年度任用職員2人）	4,035千円

事業名 ④リサイクル推進事業

I 事業の趣旨（目的）

リサイクル推進のための適正処理を行い、循環型社会の構築に資する。

II 実施内容及び実績

1 リサイクル推進事業に係る主な費用

(1) 業務補助員の雇用（会計年度任用職員1人）	1,688 千円
(2) 資源物再生品搬出業務	2,609 千円
(3) 使用済乾電池・蛍光管運搬・処分業務	2,766 千円
(4) 容器包装リサイクル法に基づく再商品化業務	408 千円
(5) 廃食用油リサイクル業務	

- ① 業 務 名 使用済み天ぷら油試験回収事業
 ② 試験回収地区 鷹乃杜、富ヶ丘、成田
 ③ 試験回収期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日
 ④ 地区別回収量

（単位：t）

地 区 別	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
鷹乃杜地区	400	440	450	△ 40
富ヶ丘地区	760	730	830	30
成 田 地区	1,530	1,660	1,350	△ 130
合 計	2,690	2,830	2,630	△ 140

2 資源化量及び資源化率

(1) 一般廃棄物処理量 17,925 t … (A) （※ R2の一般廃棄物処理量＝ 18,713t）

(2) 資源化量及び資源化率 （単位：t, %）

資 源 化 量	R3		R2		比 較 R3-R2	
	資源化量	資源化率	資源化量	資源化率	資源化量	資源化率
1 市資源化(イ)	2,183	12.2	2,295	12.3	△ 112	△ 0.1
2 集団資源回収(ロ)	278		269		9	
小 計	2,461	13.5	2,564	13.5	△ 103	0.0
3 事業所直接資源化(ハ)	1,373		1,413		△ 40	
合 計	3,834	19.6	3,977	19.5	△ 143	0.1

※ 1) 資源化率1 12.2 % = (イ) ÷ (A)

※ 2) 資源化率2 13.5 % = ((イ) + (ロ)) ÷ ((A) + (ロ))

※ 3) 資源化率3 19.6 % = ((イ) + (ロ) + (ハ)) ÷ ((A) + (ロ) + (ハ))

事業名	⑤松森工場共同処理整備事業

I 事業の趣旨（目的）

一般廃棄物（可燃ごみ）の安全で安心した適正処理を行う。

II 実施内容及び実績

仙台市松森工場共同処理建設負担金

（単位：千円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
建設負担金	37,056	27,289	17,796	9,767

事業名	⑥最終処分場閉鎖事業

I 事業の趣旨（目的）

桜田最終処分場を安全・適切に閉鎖するため、検査等を実施する。

II 実施内容及び実績

- 1 富谷市最終処分場水質検査業務 437 千円
測定箇所：3か所 敷地内保有水・上流地下水・下流地下水
- 2 富谷市最終処分場ダイオキシン類測定業務 394 千円
(1) 測定箇所：2か所／年2回
(2) 測定項目：ダイオキシン（保有水・上流地下水・下流地下水）、埋立地内部温度、発生ガス
- 3 富谷市最終処分場地盤沈下測定業務 275千円
(1) 水平移動の確認測定 4級基準点測量一式
(2) 高低変化の確認測定 4級水準点測量一式

事業名	⑦一般廃棄物処理（仙台市委託分）事業

I 事業の趣旨（目的）

一般廃棄物（可燃ごみ・不燃ごみ）の安全で安定した適正処理を行う。

II 実施内容及び実績

一般廃棄物処理業務（仙台市事務委託分）

（単位：千円）

年度 項目	R3	R2	R1	比較 R3-R2
1 可燃性ごみ焼却処理業務	70,112	84,222	74,574	△ 14,110
2 不燃性ごみ埋立処分業務	4,517	4,247	3,850	270
3 犬猫等死体処理業務	1,542	1,383	2,143	159
合 計	76,171	89,852	80,567	△ 13,681

事業名	⑧清掃センター焼却棟解体事業

I 事業の趣旨（目的）

清掃センターの既に稼働していない焼却棟を安全・適切に解体を行う。

II 実施内容及び実績

- 1 富谷市旧可燃ごみ焼却施設解体工事監理業務 5,940千円（令和2～3年度事業、契約額5,940千円）
監理内容：現場及び現場外監理（工事工程、関係書類、財産処分完了報告書の作成等）
- 2 富谷市旧可燃ごみ焼却施設解体工事 97,690千円（令和2～3年度事業、契約額217,690千円）
工事内容：施設解体、外構工事、運搬、処分、分析

項 目	3 2. 市営墓地 (市営墓地特別会計)		担 当		環境対策担当		
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4－2 住宅・公園・上下水道						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	54,500,000	54,497,984			54,400,000	0	97,984

事業名	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業

I 事業の趣旨(目的)

公営墓地とパークゴルフ場の複合施設である(仮称)やすらぎパークとみやの整備に係る実施設計等業務を行い、令和5年度のオープンに向け、事業を計画的に進める。

II 実施内容及び実績

- 1 実施設計等業務委託 26,572千円 (令和2~3年度事業、契約額 53,143千円)
- 2 実施設計に伴う測量、登記等業務 627千円 (契約額 1,254千円)
- 3 用地購入費 27,299千円 (契約額 69,998千円)

※ () 内の契約額は、パークゴルフ場(一般会計・公園費)との合計金額で表示している。

保健福祉部 長寿福祉課

項 目	33. 社会福祉総務 (3款1項1目) (3款5項1目)		担 当		社会福祉担当		
総合計画	第3編 元気で温かい心で支えるまち! 3-3 地域活動						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	259,750,000	248,550,332	167,804	79,000	0	11,447,287	236,856,241
事業名	①民生委員推薦等事務						

I 事業の趣旨（目的）

民生委員法第8条により、民生委員の選任（委嘱）手続時に候補者の適否を審議する。
民生委員・児童委員の活動の推進を図るため、民生委員児童委員協議会が行う地域への活動啓発や、委員の資質向上を図るための研修会等に要する経費に対して補助金を交付する。

II 実施内容及び実績

1 民生委員推薦会の開催状況

（単位：回、人）

項目 \ 年度	R3	R2	比 較 R3-R2
開 催 回 数	1	1	0
推 薦 者 数	2	1	1

2 民生委員児童委員協議会への補助金交付状況（民生委員協議会活動事業費補助金）

（単位：千円）

項目 \ 年度	R3	R2	比 較 R3-R2
補 助 金 交 付 額	4,417	4,417	0

3 民生委員・児童委員の状況（各年度末）

（単位：人、日、回、件）

年度		R3	R2	比較 R3-R2
項目				
民生委員・児童委員定数		71	71	0
民生委員・児童委員実数		68	68	0
活動延日数		7,691	7,897	△ 206
訪問延回数		8,920	9,054	△ 134
活動内容	相談・支援件数	815	579	236
	調査各種行事等	5,359	5,629	△ 270

任期 3年（R1.12.1～R4.11.30）

(1) 定例会、外部研修等

項 目	内 容
定例会活動 (月1回)	情報交換、事例検討、グループワーク 各種サービスや社会資源の理解 行政区長との情報交換会（避難行動要支援者名簿および個別計画についての三者協議）
その他活動	地域福祉支援活動・ボランティアセンター登録 学校との連携（学校訪問、情報交換等） 地域包括支援センターとの連携等
外部研修会	宮城県民生委員児童委員協議会、仙台ブロック民児協連絡協議会等

(2) 地域活動等

時 期	内 容
5月～6月	65歳以上一人暮らし、75歳以上二人暮らし高齢者実態把握 避難行動要支援者名簿更新作業
11月～12月	歳末并当事業協力
12月17日	歳末たすけあい募金 訪問贈呈
3月	福島県沖地震における支援活動（安否確認・声がけ支援）

事業名	②社会福祉総務事務

I 事業の趣旨（目的）

本市所管の社会福祉法人の設立認可及び監査業務を行う。また、日本赤十字社及び東日本大震災関連事務等社会福祉全般に関する業務を取り扱い、進捗管理を行う。

II 実施内容及び実績

1 社会福祉法人数

（単位：件）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
年度始の法人数	1	1	0
新規法人数	0	0	0
所轄庁の変更	0	0	0
廃止法人数	0	0	0
年度末の法人数	1	1	0

2 日本赤十字社関係事務

(1) 会員募集運動実績

（単位：円）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
個人会員	5,356,275	5,203,625	152,650
法人会員	170,000	175,000	△ 5,000
合計	5,526,275	5,378,625	147,650

(2) 主な事業

地域奉仕団（町内会等）、地域福祉活動、 災害支援活動に対する資機材貸出等	・災害用テントの貸出：0件 ・移動炊飯装置の貸出：1件 ・アルファ米の提供：2件

3 東日本大震災被災者支援

(1) 災害援護資金貸付関係

① 貸付状況

貸付総件数 67件 貸付総額 98,044,430円 R3新規貸付件数 0件

② 償還状況（利子含む）

（単位：円、件）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
年度償還額	9,614,980	9,217,369	397,611
未完済者数	52	55	△ 3
未償還額	52,396,485	62,035,560	△ 9,639,075
うち納期限到来未償還額（収入未済額）	13,291,335	10,190,050	3,101,285

③ 免除状況

（単位：件、円）

年 度	免除理由 破 産	免除した金額
R3	0	0
R2	3	3,202,750
合 計	3	3,202,750

(2) 災害義援金支給状況

（単位：件、円）

項目 \ 年度	R3		R2		比較 R3-R2	
種別	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額
死亡	6	38,238	6	30,000	0	8,238
住宅の全壊	15	95,595	15	75,000	0	20,595
住宅の大規模半壊	55	210,265	55	165,000	0	45,265
合 計	76	344,098	76	270,000	0	74,098

4 令和元年台風第19号被災者支援
災害義援金支給状況

(単位：件、円)

項目 種別	R3		R2		比較 R3-R2	
	件数	支給額	件数	支給額	件数	支給額
半壊	6	324,414	6	600,000	0	△ 275,586
一部損壊 (10%未満)	18	97,308	18	180,000	0	△ 82,692
合 計	24	421,722	24	780,000	0	△ 358,278

5 避難行動要支援者名簿

(個別計画策定状況)

行政区長と民生委員・児童委員及び市の三者で協議し策定

(単位：人)

	R3			R2			比較 R3-R2		
	個別 計画 策定済	声がけ 安否 確認	合計	個別 計画 策定済	声がけ 安否 確認	合計	個別 計画 策定済	声がけ 安否 確認	合計
登録者(実人数)	170	650	820	194	654	848	△ 24	△ 4	△ 28
高齢者	51	525	576	62	537	599	△ 11	△ 12	△ 23
要介護4・5	29	9	38	35	12	47	△ 6	△ 3	△ 9
身体障害者手帳 1・2級の第1種	63	75	138	66	73	139	△ 3	2	△ 1
療育手帳A	9	9	18	10	8	18	△ 1	1	0
精神障害者保健福祉 手帳1級	1	1	2	1	1	2	0	0	0
そ の 他	17	31	48	20	23	43	△ 3	8	5

事業名 ③社会福祉協議会補助事業

I 事業の趣旨(目的)

社会福祉法第58条に基づき社会福祉協議会に対して補助金を交付することにより、同法第109条に規定する「地域福祉の推進」を図る団体としての安定的な事業運営を支援する。

II 実施内容及び実績

1 富谷市社会福祉協議会への補助金交付内訳(社会福祉協議会活動事業費補助金)

(単位：件、円)

項目	R3		R2		比較 R3-R2	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
1 職員人件費	8	26,009,402	8	26,257,031	0	△ 247,629
2 事業運営費(事務費等)	-	536,224	-	608,242	-	△ 72,018
3 地域福祉団体交付金	49	1,042,916	54	1,158,500	△ 5	△ 115,584
4 ボランティアセンター事業	-	1,500,000	-	1,500,000	-	0
合 計		29,088,542		29,523,773		△ 435,231

2 補助対象主要事業

富谷市連携事業	1 地域福祉活動推進計画 2 権利擁護 3 福祉関係団体支援
社会福祉協議会 独自事業	1 子育て支援(子育てサロン「とことこ」) 2 災害体制整備(地域防災訓練協力等) 3 小・中・高校生の福祉体験 4 生活相談 5 各種ボランティア講座 6 障害者相談支援事業所「富谷社協らいふ」 7 社会福祉士の実習生受け入れ 8 日常生活自立支援(まもりーぶ) 9 生活(安定・福祉)資金の貸付 10 車椅子貸与 11 ボランティアコーディネート

事業名	④緊急学業支援金貸付事業

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、生計の維持が困難になることによって学納金が支払えず退学が危ぶまれる学生に対して、協定に基づき社会福祉協議会を通し当面の学業資金として貸付を実施する。

II 実施内容及び実績

- 1 協定名称 富谷市と富谷市社会福祉協議会における緊急学業支援金貸付金に関する協定書
- 2 貸付状況 貸付総件数 令和2年度 6件 貸付総額 1,770,000円（270,000円×1人、300,000円×5人）
※受付期間：令和2年6月22日から令和2年8月31日まで
- 3 償還状況

（単位：円）

	R3	R2	比較R3-R2
年度内分償還額	294,000		皆増
繰上分償還額	4,500		皆増
合 計	298,500		皆増

- 4 富谷市社会福祉協議会への補助金交付内訳

（単位：円）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
1 貸付事業調整経費		100,000	500,000	△ 400,000
2 貸付金振込経費		15,000	15,000	0
合 計		115,000	515,000	△ 400,000

事業名	⑤地域福祉計画策定事業

I 事業の趣旨（目的）

誰もが住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、助け合い・支え合いの取組を行い、幸せな生活を“地域”全体で推進していく社会を実現するために策定した地域福祉計画について、進行管理を行うもの。

II 実施内容及び実績

- 1 会議開催数及び協議事項

（単位：回）

会議名	R3	R2
地域福祉計画検討委員会	1	3
地域福祉計画推進本部会議	1	3
地域福祉計画推進協議会	1	3

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、令和3年度の推進本部会議及び推進協議会は書面開催

協議事項

第1回 地域福祉計画の進行管理及び評価方針について

- 2 参加人数

（単位：人）

会議名	R3	R2		
	第1回	第1回	第2回	第3回
地域福祉計画検討委員会	5	6	6	5
地域福祉計画推進本部会議	11	10	15	12
地域福祉計画推進協議会	18	15	16	14

※令和3年度の推進本部会議及び推進協議会は書面開催のため全数でカウント

項 目	3 4. 保健福祉総合支援センター (3 款 1 項 5 目)	担 当	高齢者保健福祉担当
総合計画	第3編 元気で温かい心で支えるまち！ 1-1 高齢者支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 14,597,000 (内R2繰越分 3,255,000円)	円 11,896,219 (内R2繰越分 2,365,000円)	国庫支出金 円 294,000 県支出金 円 58,000 地方債 円 その他 円 714,000 一般財源 円 10,830,219

事業名	①保健福祉総合支援センター運営事業

I 事業の趣旨（目的）

複雑、多様化している相談に迅速かつ的確に対応するとともに関係機関と連携を図りながら各種事業を展開し、高齢者が住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせる環境づくりに努める。

II 実施内容及び実績

1 相談実績

(1)相談件数（高齢者）※夜間等緊急相談 社の風委託 132,000円/年 (単位：件)

年度	項目	個別電話相談	事業所電話相談	来所相談	夜間等緊急相談 (社の風委託)	合計
R3		5,801	1,792	1,356	5	8,954
R2		5,468	1,633	1,070	7	8,178
比較	R3-R2	333	159	286	△ 2	776

(2)介護支援専門員（ケアマネジャー）等との連携強化
(単位：件)

年度	項目	事業者申請 (代行申出書分)
R3		922
R2		880
比較	R3-R2	42

※ケアプラン作成等のための情報開示件数

(3)包括的・継続的ケアマネジメントの連携業務実績
ケアマネ・ケアスタッフ研修定例会

(単位：人、回)

年度	項目	ケアマネジャー	ケアスタッフ	開催回数	研修テーマ
R3		23	21	2	新型コロナウイルス感染症への対応(オンライン研修)
R2		0	0	0	※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
比較	R3-R2	23	21	2	

2 権利擁護事業（NPO法人宮城福祉オンブズネット「エール」への委託）

(1)相談件数 (単位：人、件)

年度	項目	実人数	延件数
R3		4	4
R2		7	9
比較	R3-R2	△ 3	△ 5

(2)相談内容 (単位：人)

年度	項目(実人数)	虐待	成年後見	債務	その他
R3		0	1	1	2
R2		1	4	0	2
比較	R3-R2	△ 1	△ 3	1	0

3 認知症専門（専門医）相談

（単位：回、人）

年度	項目	回数	人数	内 訳		
				認 知 症 (アルツハイマー病・ レビー小体症等)	精 神 (うつ病・アルコール依 存症等)	そ の 他 (異常なし等)
	R3	8	12	8	3	1
	R2	10	15	12	1	2
	比較 R3-R2	△ 2	△ 3	△ 4	2	△ 1

※相談の8割が地域包括支援センターやケアマネジャーを介したもので、相談当日に支援者が同席することで、受診やサービス申請等相談後の支援に繋がっている。

4 富谷市高齢者虐待防止連絡協議会

(1) 虐待相談状況（新規相談）

（単位：人、件）

年度	項目	実人数	内 訳（重複あり）				
			身体的虐待	経済的虐待	心理的虐待	ネグレクト セルフネグレクト	性的虐待
	R3	13	8	2	8	1	0
	R2	10	5	3	5	1	0
	比較 R3-R2	3	3	△ 1	3	0	0

※疑い含む

(2) 実務者会議（2回開催）

（単位：件）

年度	審議件数	終結件数	継続件数
R3	48	9	39
R2	39	12	27
比較 R3-R2	9	△ 3	12

※個別支援会議については、随時開催。

※代表者会議は1回開催。代表者会議にて令和2年度実績報告及び令和3年度事業計画承認。また、事業所管理者を対象に「養介護施設従事者等における高齢者虐待」をテーマに外部講師による研修会を実施。

5 認知症学びの講座

地域や職場において認知症に関する正しい知識を持ち、認知症になっても住み慣れた地域で健やかに安心して暮らし続けられる地域づくりを推進する。

(1) 認知症学びの講座（認知症サポーター養成）

（単位：回、人）

区分	開催回数	参加者数	受講団体
地域	7	90	富ヶ丘、太子堂、東向陽台他
学校	2	279	富谷第二中学校、日吉台中学校
職場	3	94	コンビニ、高齢者施設、市職員
合 計	12	463	

（圏域地域包括支援センター実施8回120人を含む）

※令和3年度までの実績：3,292人

(2) フォローアップ研修

（単位：回、人）

区分	開催回数	参加者数	受講団体
地域	1	59	富谷市民生委員・児童委員

6 住宅改修費相談件数

(1) 実績（事前相談件数）

（単位：件）

年度	件数
R3	101
R2	98
比較 R3-R2	3

(2) 登録事業者数

(単位：者)

年度	新規	継続更新	合 計
R3	3	43	46
R2	3	36	39
比較 R3-R2	0	7	7

※年1回 登録事業者に対して、適正な住宅改修に向けての研修会を開催

※登録事業所は2年ごとに更新（研修会の受講必須）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、規模縮小して実施。

7 事業所への指導・助言・連携

(1) 地域密着型サービス事業所運営推進会議

(単位：回)

事業所区分	事業所名称	参加回数	書面報告
認知症対応型共同生活介護	グループホームひかりの里	0	6
	グループホームそよかぜ	0	6
	ケアホームいちいの杜	0	6
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	特別養護老人ホーム成田の里	0	4
小規模多機能型居宅介護	杜の家いちい	0	6
看護小規模多機能型居宅介護	複合型サービス事業所富谷あおい	4	2
合 計		4	30

※「富谷市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例」の規定により、各事業所ごとに設置・開催（2か月に1回以上）が義務付けられているもの。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、図の方針に基づき書面での報告を受けた。

(2) 施設における入所判定会議等

(単位：回)

事業所区分	事業所名称	回数
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	特別養護老人ホーム成田の里	4
介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム杜の風	1
	特別養護老人ホームせせらぎの里	5
	特別養護老人ホームアルシュ富谷	1
軽養老人ホーム	ケアハウスいちいの風	3
合 計		14

※随時会議を含む。

(3) 市内地域包括支援センターとの情報交換会

開催日	内 容
4月15日	高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について、新型コロナワクチン接種について
5月10日	月次報告書について、エンディングノートについて
6月9日	パーソナルサポートセンターとの連携について、虐待ケース支援の在り方とその役割分担について
7月9日	サポネットみやぎとの連携について
8月10日	認知症カフェについて、災害時における対応について
9月10日	KDBシステムから見る各圏域における疾患の傾向とその活動の在り方について
10月8日	上半期事業実績及び下半期事業計画について
11月9日	市の高齢者支援事業について（高齢者等生活支援生きがい健康づくり事業・生活支援型訪問サービス・一般介護予防事業）
12月10日	生活支援体制整備事業について
1月7日	潜在化しているケースの早期発見・支援を行うための体制整備について
2月9日	権利擁護業務と中核機関について、月次報告書について
3月10日	介護保険申請書の様式改正について、今年度活動状況のまとめと次年度に向けて

※ 今年度より、連携強化のため毎月開催とした。

※ 高齢者保健事業と介護予防の一体的な実施に向け、健康推進課職員が随時参加。

8 要介護認定・ケアプランにおける適正化に関すること (単位：件)

内容	実件数
要介護認定訪問調査に対する事後点検	1,311
ケアプラン点検	
住宅改修	101
福祉用具	111

9 地域と施設の支えあいモデル事業 (単位：人、回、円)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
登録者数	施設コーディネーター	12	12	0
	施設サポーター	17	17	0
活動回数	施設コーディネーター	188	186	2
	施設サポーター	153	141	12
事業費		714,622	732,292	△ 17,670

※委託先：(福) 富谷市社会福祉協議会

10 市民後見人養成講座

対 象	一般市民 (満30歳～65歳)
内 容	基礎講座10回 (56.5時間)、応用講座5回 (28時間)
講座修了者	3人

※委託先：(福) 仙台市社会福祉協議会

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、3回をオンラインにて開催。

事業名 ②保健福祉総合支援センター維持管理

I 事業の主旨(目的)

高齢者の福祉向上に寄与し、基幹型・機能強化型地域包括支援センターを兼ねる保健福祉総合支援センター及びとうみやの杜の維持管理を行う。

II 実施内容及び実績

保健福祉総合支援センター維持管理業務

9,800,614 円

「主な維持管理内容」

(単位：円)

区分	主な内容	金額
施設修繕	加圧給水ユニット(受水槽給水ポンプ)修繕	308,000
	空調設備室外機修繕	61,600
	手洗い水栓修繕	58,300
	インターネット回線断線修繕	19,690
	駐車場舗装等補修 (R2繰越明許費)	1,870,000
	平板ブロック (R2繰越明許費)	495,000
委託料	樹木剪定業務	484,000
	警備業務	91,080
	とうみやの杜敷地除草業務	1,133,000
	清掃業務	165,550
機械器具費	サーマルカメラ	152,900
	リモート環境設備機器	429,000
その他	光熱水費、通信運搬費、使用料及び賃借料等	4,532,494

項 目	35. 老人福祉 (3款3項1目)	担 当	高齢者保健福祉担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-1 高齢者支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	522,973,000	516,556,553	15,240,200 9,981,440 0 2,704,139 488,630,774

事業名	①敬老祝い事業

I 事業の趣旨（目的）

高齢者への敬愛と長寿を祝福する敬老思想の普及と老人福祉に寄与することを目的に、敬老を祝う事業に要する経費に対して補助金を交付する。併せて、地域の自主性が育ち、地域コミュニティの醸成の一助とする。

II 実施内容及び実績

1 敬老祝い事業（補助対象者：75歳以上）

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため令和2年度に引き続き補助金の交付を中止し、代替事業として75歳以上の高齢者に対し、500円×6枚の市内取扱店で使用可能な商品券を郵送により贈呈する商品券事業を実施した。

（単位：人、％、千円）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
対 象 者		4,990	4,722	268
商品券使用率		97.0	94.5	2.5
事 業 費		17,384	15,793	1,591

2 敬老祝金贈呈事業（対象者：80歳・88歳・90歳・100歳）

（単位：千円、人）

項目	年度	R3			R2			比較 R3-R2	
贈呈年齢		贈呈金額	人数	総額	贈呈金額	人数	総額	人数	総額
80歳（傘寿）		5	396	1,980	5	359	1,795	37	185
88歳（米寿）		10	148	1,480	10	137	1,370	11	110
90歳（卒寿）		20	111	2,220	20	110	2,200	1	20
計			655	5,680		606	5,365	49	315
新百歳		300	3	900	300	5	1,500	△ 2	△ 600
		50	1	50	50	1	50	0	0
総計			659	6,630		612	6,915	47	△ 285

事業名	②老人ホーム入所措置事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

老人福祉法第11条の規定により、心身の状態や置かれている環境の状況等を総合的に勘案し、在宅において日常生活を営むことに支障がある65歳以上の方に対し、養護老人ホームへの入所等の措置を適切に行う。

II 実施内容及び実績

1 養護老人ホーム入所措置

（単位：人）

項目	年度	措置者数 (継続)
R3		2
R2		2
比較 R3-R2		0

事業名	③一般介護予防事業

I 事業の趣旨（目的）

市民が地域において、高齢者の閉じこもり予防事業や交流活動を主体的に推進できるよう支援し、高齢者の心身の健康維持と安心した生活の一助とする。そのため、各種サポーター養成研修も実施し、市民の支えあい活動がより円滑に推進できるように努めると共に、サポーター自身の健康の維持・向上を目指す。

II 実施内容及び実績

1 ゆとりすどクラブ・サロン事業について

(1) 開催地区等の推移

（単位：箇所、人）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催地区		23	23	0
参加登録者	メンバー	584	570	14
	サポーター	329	338	△ 9
	合計	913	908	5

(2) 参加延人数の推移

（単位：人）

地域包括支援センター圏域	年度	R3	R2	比較 R3-R2
富谷中央・あけの平	町上	115	105	10
	町中	58	71	△ 13
	町下	86	101	△ 15
	三ノ関	0	0	0
	志戸田	0	0	0
	明石	66	43	23
	太子堂	129	0	129
	ひより台1	188	176	12
	ひより台2	126	127	△ 1
	あけの平	221	214	7
富ヶ丘・日吉台	富ヶ丘南部	189	190	△ 1
	富ヶ丘北部	138	160	△ 22
	日吉台	111	66	45
	鷹乃社	113	124	△ 11
東向陽台・成田	成田	195	194	1
	東向陽台第1	232	172	60
	東向陽台3丁目	192	163	29
	サニーハイツ	101	111	△ 10
	明石台1	45	75	△ 30
	明石台2	150	143	7
	明石台3	60	31	29
	明石台5	136	146	△ 10
	明石台6	56	57	△ 1
合計		2,707	2,469	238

※緊急事態宣言発令により8月27日～9月12日活動中止。

(3) ゆとりすどクラブ・サロン代表者会議

（単位：人）

回数	日時	内容	参加人数
第1回	5月24日	代表者顔合わせ、感染症拡大防止対策について	22
第2回	9月30日	下半期の事業計画、次年度事業計画、感染症拡大防止対策について	21
第3回	2月15日	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、中止 （次年度計画、年度末・年度始めの手続き等について資料送付）	
合計			43

2 地域交流ステーションの創設 「街かどカフェ事業」

(1) 開催地区等

(単位：人)

地区名	項目	会場	定例開催曜日	1日当たりの概ね利用者数		
				利用者	サポーター	合計
富ヶ丘北部		富ヶ丘北部会館	金曜日	20	15	35
富ヶ丘南部		富ヶ丘南部会館	月曜日	18	6	24
鷹乃杜		鷹乃杜防災センター	火曜日	10	5	15
ひより台一丁目		ひより台一丁目会館	土曜日	15	5	20

※緊急事態宣言発令により8月27日～9月12日活動中止。

(2) 出前カフェ実績

(単位：地区)

日時	内 容	場 所	参加地区数
12月4日	富谷市社会福祉協議会「地域福祉フォーラム」	富谷中央公民館	4

事業名 ④老人クラブ等助成事業

I 事業の趣旨（目的）

老人福祉の増進を図るため、老人クラブ連合会及び老人クラブが行う社会奉仕活動、老人教養講座やスポーツ振興事業等健康づくりに必要な経費を補助金として交付する。

II 実施内容及び実績

1 老人クラブ会員数

(単位：人)

R3	R2	比較 R3-R2
585	622	△ 37

2 老人クラブ助成支援事業

(単位：円)

区 分	対象事業	R3	R2	比較 R3-R2
単位老人クラブ	クラブ運営費	983,700	941,676	42,024
老人クラブ連合会	連合会運営費	208,388	99,590	108,798
老人クラブ連合会 特別事業（定額助成）	広報加入促進事業	239,000	239,000	0
	シニアスポーツ大会	239,000	0	239,000
	高齢者芸能大会	30,294	0	30,294
合 計		1,700,382	1,280,266	420,116

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、老人クラブ連合会の特別事業を一部中止。

事業名	⑤高齢者在宅生活支援事業

I 事業の趣旨（目的）

要介護高齢者等の自立と、その家族の身体的又は精神的な負担の軽減を図るとともに、介護保険制度を補完し、生きがい健康づくり対策の拡充に資することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 高齢者生活支援・生きがい健康づくり事業について

(1) 高齢者生活支援事業（委託先：（福）富谷市社会福祉協議会）

①家族介護者交流会事業

・令和3年度より、家族介護者教室と統合。「介護者教室・交流事業」へ名称変更。

②給食サービス事業

（単位：人、食、円）

年度	利用者数	利用延食数	事業費
R3	166 (うち病態食 8)	18,638 (うち病態食 1,181)	9,653,033
R2	150 (うち病態食 8)	18,136 (うち病態食 1,414)	8,689,906
比較 R3-R2	16	502	963,127

※ 弁当製造委託先：障害者就労支援施設「夢の風とみや」

③歳末弁当提供サービス

（単位：人、円）

年度	利用者数	事業費
R3	415	372,941
R2	378	346,258
比較 R3-R2	37	26,683

④家族介護用品支給事業（紙オムツ）

（単位：人、回、円）

年度	利用者数	利用延回数	事業費
R3	84	573	3,471,755
R2	78	529	3,203,096
比較 R3-R2	6	44	268,660

⑤会食交流事業（虹いろ会食サロン）

（単位：人、円）

年度	参加者数	参加延人数	事業費
R3	91	469	398,054
R2	80	364	239,400
比較 R3-R2	11	105	158,654

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、4・5月は事業中止、9月は利用者へ訪問対応。

高齢者生活支援事業費合計（①～⑤）（単位：円）

年度	事業費
R3	13,895,783
R2	12,478,659
比較 R3-R2	1,417,124

(2) 家族介護者支援事業

①緊急支援ショートステイ事業

（単位：人、日、円）

年度	利用者数	利用日数	事業費
R3	0	0	0
R2	1	6	49,980
比較 R3-R2	△ 1	△ 6	△ 49,980

※委託施設：22施設

②元気回復ショートステイ事業

（単位：人、日、円）

年度	利用者数	利用日数	事業費
R3	38	142	2,210,205
R2	17	105	1,669,599
比較 R3-R2	21	37	540,606

※委託施設：20施設

(3) 緊急通報システム事業

(単位：人、円)

年度	利用者数 (年度末時点)	事業費	増減の状況	
			新規	廃止
R3	56	3,114,222	7	15
R2	64	3,146,054	11	9
比較 R3-R2	△ 8	△ 31,832	△ 4	6

※委託先：ALSOKあんしんケアサポート株式会社

事業名 ⑥低所得者利用者負担対策事業

I 事業の趣旨（目的）

介護保険法に基づくサービスを提供する社会福祉法人が、低所得者を対象として実施する利用負担軽減事業に対して補助を行う。（県補助事業3/4）

II 実施内容及び実績

1 介護保険低所得者利用負担軽減対策事業

(単位：人、円)

R3		R2		比較 R3-R2		増減理由
人数	事業費	人数	事業費	人数	事業費	
7	95,463	7	23,028	0	72,435	対象者1人の利用日数の増

事業名 ⑦高齢者・障がい者交通対策事業（高齢者）

I 事業の趣旨（目的）

高齢者・障がい者外出支援乗車証「とみばす」を交付することにより、高齢者及び障がい者の社会参加並びに安心安全な移動を支援し、福祉増進を図る。

1 交付対象者数及び交付実績【高齢者】

(単位：人、%)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数	6,971	6,532	439
交付者数(①+②-③-④)	2,825	2,684	141
①既交付	2,684	2,448	236
②新規	230	299	△69
③区分変更	14	12	2
④返還	75	51	24
交付率	40.5	41.1	△ 0.6

申請受付：5月、6月に本庁にて6日間実施

周知方法：広報・ホームページ、新規対象者へ個別案内

※③の区分変更は、年度中に各種障害者手帳を取得し「高齢者」から「障がい者」へ区分変更した数

支援件数及び金額【高齢者】

(単位：件、円)

項目 \ 年度	R3		R2		比較 R3-R2	
	件数	支援額	件数	支援額	件数	支援額
支援（入金）実績	1,592	15,920,000	1,638	16,380,000	△ 46	△ 460,000

項 目	36. 福祉健康センター (3款3項2目)	担 当	高齢者保健福祉担当
総合計画	第3編 元氣と温かい心で支えるまち! 1-1 高齢者支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	24,401,000	22,610,524	601,323 22,009,201

事業名	福祉健康センター管理事業

I 事業の建言（目的）

高齢者からの各種相談対応、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜等を総合的に供与し、もって高齢者が健康で明るい生活が送れるよう適切な運営管理に努める。

II 事業決算概要

1 福祉健康センター指定管理委託状況 (単位：円)

指定管理者	社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会
指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
指定管理料	総額 103,942,315 R3 22,407,407

2 施設利用状況 (単位：人)

年 度	R3	R2	比 較 R3-R2
利用者数	4,016	5,433	△ 1,417

3 各事業の実施状況（参加者延人数）

(1) 教養講座 (単位：人)

教室名	R3	R2	比 較 R3-R2
あけぼの川柳教室	125	114	11
陶芸体験教室	57	71	△ 14
合 計	182	185	△ 3

(2) 健康増進に関する教室 (単位：人)

教室名	R3	R2	比 較 R3-R2
快適ライフ教室	50	34	16
シニア料理教室	16	24	△ 8
転ばぬ先の足腰教室	261	257	4
脳力アップ教室	42	0	42
楽々クッキング	35	56	△ 21
健康運動クラブ	424	332	92
がけげんきに栄養講座	6	17	△ 11
音楽健康教室	32	41	△ 9
大学生と楽しくの教室	42		42
合 計	908	761	147

※令和2年度名称変更(旧:歌声健康喫茶)
※令和3年度新規教室

(3) 創造活動 (単位：人)

区 分	R3	R2	比 較 R3-R2
染織の会	100	48	52
七宝の会	74	90	△ 16
泥ん好会	34	55	△ 21
陶芸の会	19	105	△ 86

※「代官松まつり(作品展示・バザー)」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止

項 目	37. 介護保険 (介護保険特別会計)	担 当	介護保険担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-1 高齢者支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	3,022,494,000	2,887,295,177	539,666,793 401,861,177 0 1,141,198,000 804,569,207

事業名	①認定調査等に要する経費

I 事業の趣旨（目的）

介護認定調査員による要介護・要支援認定申請者を対象とした心身の状況調査及び主治医意見書に基づき行うコンピュータ判定（一次判定）について、迅速かつ適正に行う。

II 実施内容及び実績

1 要介護・要支援認定調査状況について

(単位：人、%)

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
新規申請	434	382	52	13.6
更新申請	749	684	65	9.5
変更申請	128	128	0	0
合 計	1,311	1,194	117	9.8

2 認定調査等費の推移について

(単位：円、%)

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
認定調査等費	15,316,390	14,440,873	875,517	6.1

事業名	②介護認定審査会に要する経費

I 事業の趣旨（目的）

保健・医療・福祉の学識経験者により構成される介護認定審査会において、介護認定審査会資料（一次判定結果、主治医意見書等）に基づき、総合的に判断して要介護等審査判定を行う。

II 実施内容及び実績

1 要介護・要支援認定審査会状況について

(単位：回、件、%)

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
審査回数	93	102	△ 9	△ 8.8
認定件数	1,637	1,331	306	23.0

(認定件数 1,637件のうち、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による自動更新454件を含む)

運営：黒川地域行政事務組合

認定審査会委員：40人

審査会合議体：8合議体

2 介護認定審査会費の推移について

(単位：円、%)

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
負担金	3,713,000	4,923,000	△ 1,210,000	△ 24.6

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴う審査会書面合議による減。

事業名 ③介護保険給付事業

I 事業の趣旨（目的）

要介護（要支援）状態となった場合において、尊厳を保持しその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、介護保険サービスを提供し、安心して自分らしく生涯を過ごすことができることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 高齢者人口等について

(1) 第1号被保険者の推移について（各年度末現在）

（単位：人、％）

年度 項目	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
65～74歳	6,595	6,532	63	1.0
75歳以上	4,863	4,626	237	5.1
合 計	11,458	11,158	300	2.7

(2) 認定者数の状況について（各年度末現在）

（単位：人、％）

介護度 項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	構成割合
R3									
1号被保険者	159	206	344	301	215	187	146	1,558	97.3
65～74歳	28	36	35	32	18	29	21	199	12.4
75～84歳	77	89	133	125	73	54	49	600	37.5
85歳以上	54	81	176	144	124	104	76	759	47.4
2号被保険者	4	11	4	8	7	3	7	44	2.7
合 計 ①	163	217	348	309	222	190	153	1,602	—
R2									
1号被保険者	142	181	328	317	209	175	156	1,508	96.9
65～74歳	27	38	37	45	21	28	21	217	13.9
75～84歳	67	68	153	117	68	48	53	574	36.9
85歳以上	48	75	138	155	120	99	82	717	46.1
2号被保険者	3	6	10	8	6	7	8	48	3.1
合 計 ②	145	187	338	325	215	182	164	1,556	—
比較 ①-②	18	30	10	△ 16	7	8	△ 11	46	—

(3) 認定者数の推移について（各年度末現在）

（単位：人、％）

年度 項目	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
1号被保険者	1,558	1,508	50	3.3
65～74歳	199	217	△ 18	△ 8.3
75～84歳	600	574	26	4.5
85歳以上	759	717	42	5.9
2号被保険者	44	48	△ 4	△ 8.3
合 計	1,602	1,556	46	3.0

(4) 第1号被保険者に対する認定者の出現率の推移（各年度末現在）

（単位：％、ポイント）

年度 項目	R3	R2	比較 R3-R2
65～74歳者	1.7	1.9	△ 0.2
75歳以上者	11.9	11.6	0.3
合 計	13.6	13.5	0.1

2 介護給付費等について

(1) サービス受給者の状況について

① 居宅介護（介護予防）サービス（年間延べ）

（単位：人）

介護度 項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
1号被保険者	758	1,132	2,840	2,763	1,373	714	656	10,236
2号被保険者	1	68	46	79	75	25	41	335
合 計	759	1,200	2,886	2,842	1,448	739	697	10,571

② 地域密着型（介護予防）サービス（年間延べ）

（単位：人）

介護度 項目	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
1号被保険者	17	28	374	456	321	281	189	1,666
2号被保険者	0	0	0	12	0	5	1	18
合 計	17	28	374	468	321	286	190	1,684

③ 施設介護サービス（年間延べ）

（単位：人）

種別 項目	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	合 計
1号被保険者	2,100	1,281	3,381
2号被保険者	12	34	46
合 計	2,112	1,315	3,427

④ サービス毎の受給者数の推移（年間延べ）

（単位：人、％）

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
居宅介護サービス	10,571	10,372	199	1.9
地域密着型サービス	1,684	1,760	△ 76	△ 4.3
施設介護サービス	3,427	3,254	173	5.3
合 計	15,682	15,386	296	1.9

⑤ サービス利用状況の推移（年間延べ）※予防も含む

（単位：回、日、件、％）

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
訪問介護（回）	26,514	24,128	2,386	9.9
訪問入浴介護（回）	1,615	1,424	191	13.4
訪問看護（回）	8,133	6,368	1,765	27.7
訪問リハビリテーション（回）	4,785	4,062	723	17.8
通所介護（回）	41,372	41,254	118	0.3
通所リハビリテーション（回）	14,161	14,439	△ 278	△ 1.9
短期入所（日）	14,317	15,426	△ 1,109	△ 7.2
地域密着型通所介護（回）	2,378	2,699	△ 321	△ 11.9
福祉用具貸与（件）	6,657	6,408	249	3.9
居宅介護支援（件）	9,824	9,675	149	1.5
福祉用具購入費（件）	111	95	16	16.8
住宅改修費（件）	98	95	3	3.2
特定入所者 食費（件）	2,791	2,945	△ 154	△ 5.2
特定入所者 居住費（件）	2,805	2,922	△ 117	△ 4.0
高額介護サービス費（件）	4,619	4,848	△ 229	△ 4.7
高額医療費合算介護サービス費（件）	283	293	△ 10	△ 3.4

(2) 負担限度額適用認定者の推移

（単位：人、％）

年度 項目	R3	R2	比 較 R3-R2	対前年度 伸び率
第三段階	229	245	△ 16	△ 6.5
第二段階	100	121	△ 21	△ 17.4
第一段階	4	7	△ 3	△ 42.9
合 計	333	373	△ 40	△ 10.7

(3) 介護給付費等の推移について

①介護給付費（現物給付分）の推移

(単位：円、%)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
居宅介護サービス給付費		880,980,193	871,995,957	8,984,236	1.0
地域密着型介護サービス給付費		344,087,391	357,808,116	△ 13,720,725	△ 3.8
施設介護サービス給付費		916,759,590	862,993,826	53,765,764	6.2
居宅介護サービス計画給付費		115,360,788	112,686,454	2,674,334	2.4
介護予防サービス給付費		49,232,366	43,297,880	5,934,486	13.7
地域密着型介護予防サービス給付費		3,255,228	3,610,053	△ 354,825	△ 9.8
介護予防サービス計画給付費		8,361,810	7,553,831	807,979	10.7
審査支払手数料		2,139,900	2,174,004	△ 34,104	△ 1.6
高額介護サービス費		888,863	1,358,551	△ 469,688	△ 34.6
特定入所者介護サービス費		95,973,799	118,750,830	△ 22,777,031	△ 19.2
特定入所者介護予防サービス費		105,165	145,874	△ 40,709	△ 27.9
合 計		2,417,145,093	2,382,375,376	34,769,717	1.5

②介護給付費（償還払い分）の推移

(単位：円、%)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
居宅介護サービス給付費		8,521,840	8,628,977	△ 107,137	△ 1.2
介護予防サービス給付費		4,370,908	3,195,185	1,175,723	36.8
高額介護サービス費		56,043,586	58,439,833	△ 2,396,247	△ 4.1
高額介護予防サービス費		19,316	21,266	△ 1,950	△ 9.2
高額医療合算介護サービス費		8,210,437	8,693,383	△ 482,946	△ 5.6
高額医療合算介護予防サービス費		2,588	0	2,588	皆増
合 計		77,168,675	78,978,644	△ 1,809,969	△ 2.3

③介護給付費（現物給付分+償還払い分）合計

(単位：円、%、ポイント)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
居宅介護サービス給付費		943,105,307	927,117,999	15,987,308	1.7
地域密着型介護サービス給付費		347,342,619	361,418,169	△ 14,075,550	△ 3.9
施設介護サービス給付費		916,759,590	862,993,826	53,765,764	6.2
その他(※)		287,106,252	309,824,026	△ 22,717,774	△ 7.3
合 計		2,494,313,768	2,461,354,020	32,959,748	1.3

※特定入所者介護サービス費及び居宅介護サービス計画給付費等

④地域支援事業費の推移

(単位：円、%)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2	対前年度 伸び率
介護予防・生活支援サービス		68,778,058	55,721,308	13,056,750	23.4
包括的支援・任意事業		94,506,253	70,454,299	24,051,954	34.1
計		163,284,311	126,175,607	37,108,704	29.4

3 介護保険料の調定と収納状況

(単位：円、%)

区 分	調 定 額 A	対前年 伸び率	収 納 額 B	対前年 伸び率	還付未済額 C	収納率(B-C)/A	
						R3	R2
現年度分	特別徴収分	723,035,000	5.21	723,280,200	5.19	245,200	100.00
	普通徴収分	66,298,100	1.36	63,313,500	3.63	11,700	95.48
	小計	789,333,100	4.87	786,593,700	5.07	256,900	99.62
滞納繰越分	普通徴収分	10,373,659	7.29	3,109,131	9.54	0	29.97
総計		799,706,759	4.90	789,702,831	5.08	256,900	98.72

4 所得段階別第1号被保険者数

(単位：人、円)

区 分	R3末現在 被保険者数	R2末現在 被保険者数	比 較 R3-R2	第 8 期 年額保険料
第1段階	1,318	1,311	7	20,700
第2段階	781	707	74	27,600
第3段階	736	667	69	48,300
第4段階	1,742	1,757	△ 15	58,700
第5段階(基準)	1,808	1,787	21	69,000
第6段階	1,904	1,819	85	82,800
第7段階	1,674	1,650	24	89,700
第8段階	790	798	△ 8	103,500
第9段階	270	253	17	113,900
第10段階	277	265	12	127,700
第11段階	70	72	△ 2	138,000
第12段階	88	72	16	155,300
合 計	11,458	11,158	300	

5 自己負担割合別の状況(年度末現在)

(単位：人、%、ポイント)

項目	R3		R2		比 較 R3-R2	
	2割	3割	2割	3割	2割	3割
自己負担割合						
人数	91	46	93	53	△ 2	△ 7
65歳以上認定者数(両掲)	1,558		1,508		50	
認定者に対する割合	5.8	3.0	6.2	3.5	△ 0.4	△ 0.5

※認定者数に対する割合は、2割及び3割対象者数を65歳以上の認定者数で除して算定

6 介護保険の利用料及び保険料の減免状況

(1) 介護保険利用料の減免対象者人数及び減免給付費

(単位：人、円)

区分	年度	R3	R2	比 較 R3-R2
原免避難者	対象人数	2	1	1
	減免給付費	85,094	136,178	△ 51,084
合 計	合計対象人数	2	1	1
	合計減免額	85,094	136,178	△ 51,084

(2) 介護保険料の減免対象者人数及び減免保険料

(単位：人、円)

区分	年度	R3	R2	比 較 R3-R2
原免避難者	対象人数	4	3	1
	減免保険料	231,100	179,400	51,700
台風19号	対象人数		5	△ 5
	減免保険料		74,400	△ 74,400
コロナウイルス	対象人数	15	78	△ 63
	減免保険料	584,200	4,040,600	△ 3,456,400
合 計	合計対象人数	19	86	△ 67
	合計減免保険料	815,300	4,294,400	△ 3,479,100

事業名	④介護保険運営委員会事業

I 事業の趣旨（目的）

3年を一期とする介護保険事業計画の策定に関する事項、計画の進捗管理に関する事項及びその他介護保険の運営に関する事項を審議することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 介護保険運営委員会

（単位：回）

項目 \ 年度	R3	R2
開催数	2	4

※うち1回は書面開催

協議事項

- ・ 令和2年度介護給付実績について
- ・ 令和2年度介護保険料調定額・収納額・収納率の推移について
- ・ 令和3年度介護保険運営事業・高齢者保健福祉事業実績及び令和4年度計画について
- ・ 令和3年度上半期 介護保険給付実績等について
- ・ 第9期介護保険事業計画策定について

事業名	⑤介護予防・生活支援サービス事業

I 事業の趣旨（目的）

要支援又は要支援状態となるおそれのある高齢者に対し、住み慣れた地域でできる限り健康で自立した生活を送ることができるよう、多様な社会資源やマンパワーを活用した生活支援サービスを総合的に提供することで、心身機能の維持・向上を図り、要介護状態への移行を防止する。

II 実施内容及び実績

1 対象者

①事業対象者：65歳以上で、国の基本チェックリストの回答結果が一定の基準に該当するもの

②要支援認定者：要支援認定（要支援1・2）を受けているもの

（単位：人）

年度	項目	事業対象者	要支援1 認定者	要支援2 認定者
R3		185	163	217
R2		161	145	187
比較	R3-R2	24	18	30

2 筋トレ型通所サービス

（単位：回、人）

対象地区	年度	項目	実施回数 延べ数	利用者		運動サポーター	
				実数	延べ数	実数	延べ数
西部・北部エリア	R3		474	130	3,960	16	474
	R2		478	123	3,514	15	478
	比較	R3-R2	△ 4	7	446	1	△ 4
東部・南部エリア	R3		341	70	2,223	16	341
	R2		389	88	1,156	18	194
	比較	R3-R2	△ 48	△ 18	1,067	△ 2	147
合 計	R3		815	200	6,183	32	815
	R2		867	211	4,670	33	672
	比較	R3-R2	△ 52	△ 11	1,513	△ 1	143

※指定事業者 西部・北部エリア：（有）ケアオフィス 東部・南部エリア：（医）仙台リハビリテーション病院

3 生活支援型訪問サービス

（単位：回、人）

年度	項目	支援延回数	利用者実数	生活支援員実数
R3		2,069	53	36
R2		1,674	45	33
比較	R3-R2	395	8	3

4 予防サービス相当 受給者の状況について

サービス受給者（年間延べ）

（単位：人）

サービス種類	年度	項目	R3	R2	比較 R3-R2
訪問介護相当 サービス	要支援1		44	23	21
	要支援2		199	179	20
	合 計		243	202	41
通所介護相当 サービス	要支援1		113	91	22
	要支援2		324	286	38
	合 計		437	377	60

5 訪問介護・通所介護相当サービス費

（単位：円）

年度	項目	R3	R2	比較 R3-R2
	訪問介護相当サービス費	6,001,293	4,432,480	1,568,813
	通所介護相当サービス費	12,795,100	11,152,717	1,642,383
	合 計	18,796,393	15,585,197	3,211,196

事業名	⑥地域包括支援センター運営事業

I 事業の趣旨(目的)

保健福祉総合支援センターにおいて権利擁護事業を推進するとともに保健福祉総合支援センター運営協議会において総合事業などの審議を行い、地域包括ケアの推進に努める。また、委託している3か所の地域包括支援センターとの連携・助言指導により確実な委託業務の展開を目的とする。

II 実施内容及び実績

1 権利擁護事業実績について

(1) 成年後見制度 市町村長申立及び後見人等支援実績

(単位：人)

年度	項目	継続
	R3	2
	R2	4
	比較 R3-R2	△ 2

(2) 成年後見制度 本人・親族等申立及び後見人等支援実績

(単位：人)

年度	項目	本人申立		親族申立		合計
		継続		新規	継続	
	R3	3	2	5		10
	R2	3	5	0		8
	比較 R3-R2	0	△ 3	5		2

(3) 成年後見人等の報酬助成実績

(単位：件、円)

年度	項目	報酬件数	助成額
	R3	0	0
	R2	2	126,000
	比較 R3-R2	△ 2	△ 126,000

(4) 成年後見制度研修

対 象	一般市民
内 容	成年後見制度の概要と後見人の職務等について
受講者	22人

2 保健福祉総合支援センター運営協議会

(単位：回)

年度	項目	開催数
	R3	4 (うち1回書面開催)
	R2	4
	比較 R3-R2	0

協議事項

- ・ 高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画(説明)
- ・ 地域包括支援センター運営方針(説明)
- ・ 保健福祉総合支援センター及び各圏域地域包括支援センター事業実績報告、取組
- ・ 地域課題検討(支援対象者の早期発見体制構築について)
- ・ 介護予防支援業務再委託と介護予防支援業務委託先指定居宅支援事業所の承認

3 地域包括支援センター運営

(1) 相談・訪問実績

(単位：件)

項目 圏域	R3			R2			比較 R3-R2		
	個別 相談	事業所 相談	訪問	個別 相談	事業所 相談	訪問	個別 相談	事業所 相談	訪問
富谷中央・あけの平	6,531	518	847	4,403	169	658	2,128	349	189
富ヶ丘・日吉台	4,839	285	1,248	4,753	234	1,305	86	51	△ 57
東向陽台・成田	5,178	328	1,404	5,072	379	1,290	106	△ 51	114
計	16,548	1,131	3,499	14,228	782	3,253	2,320	349	246

(2) 介護ケアマネジメント

(単位：件)

項目 圏域	R3				R2				比較 R3-R2			
	介護予防 支援		第1号介護 予防支援		介護予防 支援		第1号介護 予防支援		介護予防 支援		第1号介護 予防支援	
	実数	年間延数	実数	年間延数	実数	年間延数	実数	年間延数	実数	年間延数	実数	年間延数
富谷中央・あけの平	63	506	93	828	54	467	80	677	9	38	13	151
富ヶ丘・日吉台	74	731	65	579	81	714	62	545	△ 7	17	3	34
東向陽台・成田	77	636	78	631	72	606	66	535	5	30	12	96
計	214	1,872	236	2,038	207	1,787	208	1,757	7	85	28	281

(3) 地域ケア会議

(単位：回、人)

項目 圏域	R3				R2				比較 R3-R2			
	生活圏域毎		個別		生活圏域毎		個別		生活圏域毎		個別	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
富谷中央・あけの平	2	11	3	14	1	8	3	24	1	3	0	△ 10
富ヶ丘・日吉台	6	77	6	48	3	27	4	30	3	50	2	18
東向陽台・成田	1	5	1	4	0	0	1	11	1	5	0	△ 7
計	9	93	10	66	4	35	8	65	5	58	2	1

(4) 認知症総合支援事業

(単位：人、件、回)

項目 圏域	認知症地域支援推 進員配置数(人)	初期集中支援チ ーム連携件数(件)	認知症サポーター 養成講座		予防・普及啓発 講座		認知症カフェ (回)
			回数	人数	回数	人数	
富谷中央・あけの平	1	2	2	29	2	21	1
富ヶ丘・日吉台	1	3	2	31	0	0	6
東向陽台・成田	2	2	4	60	3	35	3
計	4	7	8	120	5	56	10

(5) 生活支援体制整備事業

(単位：人、件)

項目 圏域	生活支援コーディネーター 配置数(人)	生活支援・介護予防サービ ス関係コーディネート件数(件)
富谷中央・あけの平	1	94
富ヶ丘・日吉台	1	12
東向陽台・成田	2	33
計	4	139

(6) 一般介護予防事業

(単位：回、人)

項目 圏域		R3		R2		比較 R3-R2	
		回数	人数	回数	人数	回数	人数
富谷中央・あけの平	普及啓発 予防教室	4	74	4	62	0	12
		12	125	10	117	2	8
富ヶ丘・日吉台	普及啓発 予防教室	8	122	8	89	0	33
		12	145	10	113	2	32
東向陽台・成田	普及啓発 予防教室	4	104	0	0	4	104
		11	98	12	104	△ 1	△ 6
計	普及啓発 予防教室	16	300	12	151	4	149
		35	368	32	334	3	34

事業名 ⑦介護予防普及啓発事業

I 事業の趣旨(目的)

介護予防に資する基本的な知識を住民へ普及啓発し、現在介護認定を受けていない高齢者が要支援及び軽度の介護認定者とならないように予防していくこと、並びに現在要支援状態の高齢者において、現状を維持し、要介護状態への移行を防止することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 サロン型通所サービス

(単位：回、人)

年度	項目	実施回数		利用者		ボランティア	
		延べ数	実数	延べ数	実数	延べ数	実数
R3		89	29	874	25	175	
R2		73	25	669	27	194	
比較	R3-R2	16	4	205	△ 2	△ 19	

※委託先：富谷市社会福祉協議会

※新型コロナウイルス感染症感染拡大状況に合わせて、時間短縮やボランティアによる昼食の提供を弁当配布に変更しながらも継続して実施。

事業名 ⑧地域介護予防活動支援事業

I 事業の趣旨(目的)

年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の通いの場の活動・ボランティアの人材育成等を効果的に支援することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 富谷市生活支援員養成講座

(1)新規向け

対象	講座修了後、市の生活支援型訪問サービスにおいて、生活支援員として活動が可能な市民
内容	生活支援において必要な制度の理解、コミュニケーション、応急処置などの講座
修了者	10人(年2回実施)

※委託先：富谷市社会福祉協議会

(2)現任者向け

対象	登録済の生活支援員
内容	①情報交換会 ②フォローアップ研修
参加者	①新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止 ②8人

※委託先：富谷市社会福祉協議会

2 サポーター養成基礎研修 ※令和3年度新規事業

対象	介護予防や支え合い活動・生きがいづくりに興味関心があり、地域活動を始めたい方
内容	講義①：できることから始める支え合い活動 講義②：住み慣れた地域で安心して暮らすために、知っておくこと・できること
参加者	22人

※新しくサポーター活動を希望する方が、地域サポーター、運動サポーター養成に共通する基礎知識を学ぶ基礎研修として開催した。

3 運動サポーター養成研修

(1)実施内容等

(単位：人)

区分	内容	対象	参加者数
初任者研修	講義、実技	運動サポーター活動に関心のある市民	5
フォローアップ研修	講義、実技、グループワーク	活動中の運動サポーター	12
リーダー研修	1回目 講義、実技(ストレッチの効果)、演習	活動中の運動サポーターのうち1年以上の経験を有する方	7
	2回目 講義、実技、グループワーク		6
リーダーフォローアップ研修	講義、グループワーク	リーダー研修修了者	
合計			30

※研修体制の変更に伴い、初任者研修は「サポーター養成基礎研修」の受講が必須となった。

※リーダーフォローアップ研修は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。

※委託先：仙台リハビリテーション病院

(2)登録・活動状況

(単位：人)

区分	R3	R2	比較 R3-R2
研修修了者	5	2	3
運動サポーター登録者	32	41	△ 9

事業名	⑨家族介護支援

I 事業の趣旨(目的)

家族介護者及び将来的に介護を担う可能性のある家族等が、介護保険制度や高齢保健福祉サービス、介護に必要な知識および技術などについて学びを深めるとともに、介護者同士の情報交換や交流を行い、要介護者及び家族介護者が共によりよい生活を営めるよう支援する。

II 実施内容及び実績

1 認知症の人と家族の会

(単位：人、回)

年度	項目	実人数	延べ人数	開催数
	R3	26	88	9
	R2	23	115	10
	比較 R3-R2	3	△ 27	△ 1

内容：認知症の方を介護されている家族への支援事業。介護情報の共有や研修会を実施。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い、4月、8月、2月は活動中止。

2 介護者教室・交流事業

(単位：人、回)

年度	項目	延べ人数	開催数
	R3	10	1
	R2	39	2
	比較 R3-R2	△ 29	△ 1

※第1回「自宅で最期を迎えるには～看取り・看取られる方法～」をテーマに開催。

※第2回「エンディングノートを活用しよう！」をテーマに開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴い中止。参加申込者数は19人。

保健福祉部 地域福祉課

項 目	38. 障害者福祉 (3款1項3目)		担 当	障がい保健福祉担当			
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！		2-1 障がい者支援 2-2 高齢者・障がい者支援				
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	594,210,000	555,913,332	280,988,090	136,750,068		287,136	137,888,038

事業名	①在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業

I 事業の趣旨（目的）

在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障害者に対して、その使用に係る電気料金の一部を助成することにより、呼吸器機能障害者の健康保持と生活の安定を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成（市町村振興総合補助事業）

（単位：人、円）

年度	項目	助成対象者数	助成額
R3		18	438,000
R2		17	492,000
比較 R3-R2		1	△ 54,000

※助成額単価 3,000円/月（定額）

事業名	②自立支援医療給付事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

身体障害者手帳所持者が、日常生活により適合するため、身体の機能障害を軽減、改善するための医療給付を目的とする。

II 実施内容及び実績

事業決算概要（令和3年3月～令和4年2月診療分）

1 自立支援医療給付事業（更生医療）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度は、特例措置として受給者の有効期間が自動で1年延長となったものの、令和3年度は通常に戻ったため支給決定人数等が増加した。

(1) 給付件数（単位：人、円）

年度	項目	支給決定実人数	公費負担額
R3		68	26,965,471
R2		45	17,571,193
比較 R3-R2		23	9,394,278

(2) 種類内訳（単位：人）

区分	新規認定	再認定	合計
肢体不自由	0	0	0
内部障害（腎臓）	5	62	67
肝機能障害	0	1	1
免疫機能障害	0	0	0
合 計	5	63	68

(3) 保険区分別実績（単位：件、円）

区 分	延件数			公費負担額（医療費支払額）		
	入院	外来・調剤	計	入院	外来・調剤	計
一般						
国保	16	511	527	308,471	3,918,680	4,227,151
社保	20	211	231	288,994	3,839,419	4,128,413
後期高齢	25	323	348	221,030	1,364,543	1,585,573
生活保護	5	80	85	1,992,054	15,032,280	17,024,334
合 計	66	1,125	1,191	2,810,549	24,154,922	26,965,471

(4) 所得区分別内訳（医療保険別）

(単位：件)

区分	自己負担額(円)	生活保護 0	低所得 1 2,500	低所得 2 5,000	中間所得 医療保険の上限未満型	重度かつ継続			計
						中間所得 1 5,000	中間所得 2 10,000	一定所得以上 20,000	
一般	国保	0	5	8	0	11	4	0	28
	社保	0	0	6	0	3	9	0	18
後期高齢		0	2	10	0	6	0	0	18
生活保護		4	0	0	0	0	0	0	4
計		4	7	24	0	20	13	0	68

※生活保護受給者：医療費全額（10割）公費負担

※重度かつ継続

（人工透析、抗免疫療法）

事業名 ③補装具交付修理事業（一部福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

身体障がい者（児）や難病患者の日常生活又は就学、就労等の向上を図るために、身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完、代替するための用具の交付及び修理を目的とする。

II 実施内容及び実績

1 補装具交付修理事業

(単位：人、件、円)

年度	項目	区 分	実人数	件 数	公費負担額
R3		身体障害者	53	70	5,641,894
		身体障害児	11	28	7,160,714
		計	64	98	12,802,608
R2		身体障害者	44	64	4,579,687
		身体障害児	8	21	4,536,068
		計	52	85	9,115,755
比較 R3-R2		身体障害者	9	6	1,062,207
		身体障害児	3	7	2,624,646
		計	12	13	3,686,853

※主な項目
・ 装具30件
・ 車いす30件
・ 補聴器10件
※件数内訳
・ 交付43件
・ 修理55件

2 難聴児補聴器購入助成事業(市町村振興総合補助事業)

イヤモールド（両耳）交換 1 件 12,720 円

事業名 ④小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業

I 事業の趣旨（目的）

小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 日常生活用具給付 3 件
紫外線カットクリーム 1 件 30,250円
電気式たん吸引器 2 件 80,600円 合計 110,850円

事業名 ⑤障害者支援事務（一部福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

障害者手帳の交付及び各種福祉サービスの調整や障害支援区分の判定を行う。「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」の策定及び進行管理を行い、障がい福祉の向上を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 相談・支援事業（年間延件数）

(単位：件)

年度	項目	電話	来所
R3		2,515	2,577
R2		2,120	2,222
比較 R3-R2		395	355

※相談のほか問合せ件数含む

2 障害者手帳所持者数

(1) 身体障害者手帳所持者数 (福祉事務所所管)

(単位:人)

等級	年度	R3	R2	比較 R3-R2
1級		419	420	△ 1
2級		170	169	1
3級		162	152	10
4級		289	279	10
5級		98	103	△ 5
6級		64	61	3
合 計		1,202	1,184	18

(2) 療育手帳所持者数 (福祉事務所所管)

(単位:人)

等級	年度	R3		R2		比較 R3-R2	
		18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満
A	(最重度)	21	5	19	4	2	1
	(重 度)	40	20	39	18	1	2
	(中 度)	3	2	3	2	0	0
	(軽 度)	1	0	1	0	0	0
B	(中 度)	49	23	47	22	2	1
	(軽 度)	56	60	49	62	7	△ 2
合 計		170	110	158	108	12	2

3 障害支援区分認定審査会 (区分認定審査・判定)

(単位:回,件,円)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
障害支援区分認定審査会開催回数		12	12	0
区分認定者数		73	49	24
自立支援審査会負担金(富谷市分)		306,000	319,000	△ 13,000

※負担金は、前年度実績に基づいて算出。

(1) 審査内訳(黒川地域行政事務組合にて運営)

- ・新規認定: 21件
- ・区分変更: 0件
- ・更新認定: 52件
- ・個別審査: 0件

(2) 認定審査会委員: 10人

(3) 審査会 合議体: 2合議体

4 障がい者施策推進協議会

(単位:回)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催数		3	4	△ 1

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、うち1回は書面決議

委員数: 10人

委嘱期間: 令和3年4月1日～令和6年3月31日

目 的: 障がい者に関する施策の総合的かつ計画的な推進について必要な事項等を調査審議する機関

内 容: (報告)

- ・富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画説明
- ・富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の事業実績について
- ・令和4年度 障がい保健福祉事業の重点事業等について
- (審議)
- ・障がい者計画重点方針の中間評価について
- ・富谷市第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画の評価について
- ・富谷市第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画 令和3年度上半期事業実績

事業名	⑥地域生活支援事業

I 事業の趣旨（目的）

身体障がい者（児）がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた福祉サービスの給付を行うことを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 市町村必須事業

(1) 日常生活用具給付等事業

（単位：人、件、円）

年度	項目	実人数	件数	公費負担額
R3		110	992	9,786,093
R2		98	912	9,648,420
比較 R3-R2		12	80	137,673

※主な種目

- ・ストマ装具785件(実人数76人)
- ・紙オムツ 183件(実人数17人)

(2) 移動支援事業（委託事業）

（単位：人、回、時間、円、箇所）

年度	項目	実人数	回数	延利用時間	公費負担額	利用事業所数
R3		23	528	1,175	3,135,159	16
R2		17	401	715	1,873,831	11
比較 R3-R2		6	127	460	1,261,328	5

(3) 意思疎通支援事業

①委託事業

（単位：人、回、円）

年度	項目	実人数	回数	公費負担額
R3		3	54	135,460
R2		3	65	167,511
比較 R3-R2		0	△ 11	△ 32,051

※事業内容：代読・代筆ヘルパーの派遣

②遠隔手話通訳事業

・事業内容

専用アプリケーションを導入し、タブレット端末を利用し、聴覚障がい者等と意思疎通を図るもの。

（単位：人、回）

実人数	回数
1	3

※新型コロナワクチン集団接種会場にも貸出した。

(4) 自発的活動支援事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、補助申請がなかった。

(5) 理解促進研修・啓発事業

①富谷市障がい者差別解消法研修会

実績なし（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催見合わせ）

②理解促進啓発事業（ヘルプマーク周知活動）

内容：地域福祉課及び各出張所、保健福祉総合支援センター、とみや子育て支援センターにヘルプマークを配置し随時配布している。

配布個数 52個

(6) 成年後見制度利用支援事業

成年後見人等の報酬助成 利用者1人 助成額 216,000円

(7) 成年後見制度法人後見支援事業

- ・法人後見実施体制に関する課題検討及び情報交換会：令和4年3月29日に、法人後見実施機関である富谷市社会福祉協議会と現状共有や今後の事業展開についての情報交換を実施した。
- ・研修会：実績なし（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催見合わせ）

(8) 相談支援事業

相談支援事業業務委託 12,129,009円/年額

①障がい者等基幹相談支援事業（地域生活支援事業：基幹相談支援センター等機能強化事業）

委託先	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会（実施事業所：地域支援センターぱれっとよしおか）
委託金額	5,373,000円
対象圏域	富谷市・黒川郡の4市町村
体制等	週5日×職員2人（うち1人主任相談専門員・医療的ケア児等コーディネーター）
実施内容	総合的・専門的相談支援、地域の支援体制強化、富谷市・黒川地域自立支援協議会運営等

基幹相談内訳

（単位：件）

年度	項目	相談支援事業所（当市分）		
		電話	来所	訪問
R3		144	5	15
R2		73	4	13
比較 R3-R2		71	1	2

※相談内訳件数は本人・家族支援のほか、関係機関との連絡調整も含む

※電話にはメール対応を含む

富谷市・黒川地域自立支援協議会

（単位：回）

年度	項目	全体会議	実務者会議	就労支援ネットワーク会	相談支援ネットワーク会	地域生活支援拠点等整備プロジェクト会議	事務局会議
R3		2	1	4	11		10
R2		2	2	8	10	1	12
比較 R3-R2		0	△ 1	△ 4	1		△ 2

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体会議・実務者会議は各1回書面決議実施。

※実務者会議、就労支援ネットワーク会、事務局会議：同上の理由により、開催回数減。

※地域生活支援拠点等整備プロジェクトは、拠点整備完了に伴い令和2年度で終了。以降、事務局会議にて、事業実施状況等協議する形となったため、実績なし。

年度	項目	医療的ケア部会	就労支援サービスネットワーク会	グループホーム連絡会	精神的ケアシステム協議会運営プロジェクト
R3		2	2	0	1
R2		2	2	0	2
比較 R3-R2		0	0	0	△ 1

②障がい者等相談支援事業

委託先	特定非営利活動法人 自閉症ピアリンクセンターここねっと（実施事業所：ふれんず）
委託金額	6,756,009円
対象圏域	富谷市
体制等	週5日×職員1人 ※富谷市役所保健福祉部地域福祉課内に設置
実施内容	個別相談、福祉サービス援助、専門機関紹介及び連携、富谷市・黒川地域自立支援協議会参加、児童クラブ訪問、地域活動支援センター・自立相談支援センターへのスーパーバイズ等

相談内訳

（単位：件）

年度	項目	相談支援事業所		
		電話	来所	訪問
R3		212	50	84
R2		91	29	69
比較 R3-R2		121	21	15

※相談内訳件数は本人・家族支援のほか、関係機関との連絡調整も含む

※電話にはメール対応を含む

(9) 手話奉仕員養成研修事業

①事業内容：手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成及び登録し、もって聴覚障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにする。

②委託先：一般社団法人 宮城県聴覚障害者協会

③研修名：令和3年度手話奉仕員養成研修（基礎課程）事業

内 容：相手の手話が理解でき、特定の聴覚障がい者等と手話で日常会話が可能な程度まで履修する課程

実施期間：令和3年6月3日～令和3年12月16日

実施回数：22回（44時間）

受講者数：11人、修了者数：11人、登録者数：10人

2 市町村任意事業

(1) 訪問入浴サービス事業（委託事業）

（単位：人、回、円、箇所）

年度	項目	実人数	回数	公費負担額	利用事業所数
R3		5	274	3,412,543	2
R2		4	225	2,687,846	1
比較 R3-R2		1	49	724,697	1

(2) 日中一時支援事業（委託事業）

（単位：人、回、円、箇所）

年度	項目	実人数	回数	公費負担額	利用事業所数
R3		1	8	21,080	1
R2		3	8	23,286	2
比較 R3-R2		△ 2	0	△ 2,206	△ 1

(3) 地域移行のための安心生活支援（委託事業）

委託先：社会福祉法人みんなの輪 対象圏域：富谷市・黒川郡の4市町村 本市負担：4,227,000円

実施内容：障害者等緊急時支援体制整備事業 本市登録人員：4人

(4) 障害者虐待防止対策支援事業

障がい者虐待防止連絡協議会代表者会議及び実務者会議（11月25日開催）

①代表者会議

- ・令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画
- ・研修：「権利擁護と障害者施設従事者等による虐待」

講師：宮城県障害者権利擁護センター 所長 鈴木 みゆき 氏

②実務者会議

（単位：件）

年度	項目	審議件数	終結件数	継続件数
R3		4	1	3
R2		4	1	3
比較 R3-R2		0	0	0

※令和3年度件数内訳：終結件数1件…施設従事者による身体的虐待疑い、継続件数3件…養護者による身体的虐待、養護者による経済的虐待疑い、施設従事者による身体的虐待疑い 各1件

③参集範囲：富谷市障がい者虐待防止連絡協議会設置要綱に定める21機関

（弁護士、宮城県障害者権利擁護センター、民生委員児童委員協議会、人権擁護委員、社会福祉協議会、医師会、警察署、塩釜保健所黒川支所、宮城県仙台保健福祉事務所、障害福祉サービス事業所、障害指定相談支援事業所、自立相談支援センター等）

富谷市虐待防止連絡協議会

（単位：人、回）

区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	出席者数	回	出席者数	回	出席者数	回
富谷市障がい者虐待防止連絡協議会代表者会議	24	1	19	1	5	0
富谷市障がい者虐待防止連絡協議会実務者会議	20	1	18	1	2	0

3 地域生活支援促進事業（新規事業）

重度訪問介護利用者の大学修学支援事業

（単位：人、円）

実人数	公費負担額
1	235,900

4 その他

(1) 自動車改造助成事業

（単位：人、回、円）

年度	実人数	回数	公費負担額
R3	4	4	321,687
R2	4	4	369,360
比較 R3-R2	0	0	△ 47,673

(2) 自動車運転免許取得助成事業 (単位: 人, 円)

年度	実人数	公費負担額
R3	4	360,000
R2	3	270,000
比較 R3-R2	1	90,000

(3) グループホーム体験ステイ推進事業 (市町村振興総合補助) (単位: 人, 日, 円)

年度	実人数	泊数	公費負担額	利用事業所数
R3	2	6	60,000	1
R2	0	0	0	0
比較 R3-R2	2	6	60,000	1

事業名 ⑦障害者自立支援給付事業 (福祉事務所所管)

I 事業の趣旨 (目的)

障がい者の方が自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう福祉の増進を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

(令和3年3月～令和4年2月サービス提供分)

1 自立支援給付費等の状況

(1) 給付実績の推移 (2月末現在実人数) (単位: 人)

年度	R3	R2	比較 R3-R2
項目			
身体障がい者	41	39	2
知的障がい者	103	97	6
精神障がい者	66	69	△ 3
難病患者等	3	3	0
障がい児 (18才未満)	23	22	1
合 計	236	230	6

※難病患者等において、身体障害者手帳を有している方は身体障害者でカウント

(2) 障害福祉サービス費 (介護給付費, 訓練等給付費等) の推移 (単位: 円)

年度	R3	R2	比較 R3-R2
項目			
居宅介護	43,026,252	39,208,715	3,817,537
重度訪問介護	14,688,703	15,415,518	△ 726,815
同行援護	761,682	766,203	△ 4,521
行動援護	428,510	862,150	△ 433,640
療養介護サービス	9,201,200	11,779,020	△ 2,577,820
生活介護	121,986,418	115,286,941	6,699,477
短期入所	17,162,352	18,145,786	△ 983,434
施設入所支援	28,525,089	25,692,650	2,832,439
自立訓練 (生活訓練)	7,772,135	9,723,151	△ 1,951,016
就労移行支援	20,163,738	22,291,174	△ 2,127,436
就労継続支援 A 型	15,073,019	17,515,384	△ 2,442,365
就労継続支援 B 型	113,414,378	104,515,664	8,898,714
就労定着支援	1,427,506	828,182	599,324
共同生活援助	49,250,783	52,389,001	△ 3,138,218
特例介護給付費等	20,384	563,937	△ 543,553
特定障害者特別給付費	4,884,563	4,728,863	155,700
合 計	447,786,712	439,712,339	8,074,373

(3) 相談支援給付費等（計画相談支援給付費・地域定着支援給付費）の推移（単位：円）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
相談支援給付費等		8,520,556	6,978,513	1,542,043

(4) 療養介護医療費の推移（単位：円）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
療養介護医療費		3,354,805	4,400,252	△ 1,045,447

(5) 高額障害福祉サービス等給付費の推移（単位：円）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
高額障害福祉サービス		238,830	62,653	176,177

事業名	⑧精神障害者地域生活支援事業

I 事業の趣旨（目的）

精神障がい者の医療及び保護を行い、その社会復帰及び自立と社会経済活動への参加促進のために必要な援助を行い、並びにその発生の予防その他精神的健康の保持増進に努めることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 相談支援事業（保健師相談）

（単位：件）

相談方法	R3	R2	比較 R3-R2
来所	62	66	△ 4
電話	586	334	252
訪問	60	50	10
合計	708	450	258

2 団体支援

（単位：人、回）

事業	活動内容	R3 会員数	R3 活動回数	R2 会員数	R2 活動回数
やおき会（家族会）	情報交換の他、親亡き後の生活についての勉強会開催の実施	8	7	8	9

※4月・5月・9月・2月は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、休会。

3 精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院）所持者数

（単位：人）

区分	R3	R2	比較 R3-R2
精神障害者保健福祉手帳所持者数	278	261	17
自立支援医療（精神通院）受給者証認定者数	560	274	286

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和2年度は、特例措置として受給者の有効期間が自動で1年延長となったものの、令和3年度は通常に戻ったため受給者認定者が増加した。

4 自死予防対策支援事業

①自死相談対応、周知啓発用としてゲートキーパー手帳印刷（1,000部）

その他 自死予防相談窓口一覧を作成し、窓口へ設置。

②ゲートキーパー養成研修

実績なし（新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催見合わせ）

事業名 ⑨高齢者・障がい者交通対策事業（障がい者）

I 事業の趣旨（目的） （高齢者・障がい者外出支援乗車証）

高齢者・障がい者外出支援乗車証を交付することにより、高齢者及び障がい者の社会参加及び安心安全な移動を支援し、もって高齢者及び障がい者の福祉の増進を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 交付対象者数及び交付実績【障がい者】（3月末現在）

（単位：人、％）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数		1,501	1,433	68
交付者数(①+②+③+④)		363	358	5
①既交付		358	338	20
②新規		20	28	△8
③区分変更		14	12	2
④返還		29	20	9
交付率		24.2%	25.0%	△0.8%

申請受付：6～7月に本庁にて6日間実施

周知方法：広報・ホームページ、新規対象者へ個別案内

※ ③の区分変更は、年度中に各種障害者手帳を取得し「高齢者」から「障がい者」へ区分変更した数

2 支援件数及び金額【障がい者】（3月末現在）

（単位：件、円）

項目	年度	R3		R2		比較 R3-R2	
		件数	支援額	件数	支援額	件数	支援額
入金実績		192	1,920,000	202	2,020,000	△10	△100,000

I 事業の趣旨（目的） （重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業）

重度障がいや重度の要介護状態があり、公共交通機関の利用が極めて困難な者に対し、タクシー利用料金の一部を助成することにより外出の機会を確保し、日常生活の利便及び社会活動の範囲の拡大を図り、もって福祉の向上に資することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 申請書受付及び支援実績

※令和3年度より下記の対象者が拡大

- ①身体障害者の障害程度が視覚・聴覚・呼吸器・心臓機能障害単独で1種1級に該当する方
- ②精神障害者保健福祉手帳1級に該当する方
- ③療育手帳Aに該当する方
- ④人工透析療法を受けている方
- ⑤在宅酸素療法を受けている方
- ⑥介護保険法に定める要介護認定者のうち、要介護3に該当する方

（障がい者）

（単位：人、円、％）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数		489	167	322
身体1種1級		320	44	276
身体1種2級		65	123	△58
療育A		39		皆増
精神1種1級		27		皆増
在宅酸素		18		皆増
人工透析		20		皆増
交付者数		174	66	108
身体1種1級		124	38	86
身体1種2級		24	28	△4
療育A		10		皆増
精神1種1級		1		皆増
在宅酸素		3		皆増
人工透析		12		皆増
交付額		2,869,500	1,132,500	1,737,000
交付率		35.6%	39.5%	△3.9%

(介護認定者)		(単位：人、円、%)		
項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数		276	160	116
	要介護3	128		皆増
	要介護4	75	82	△ 7
	要介護5	73	78	△ 5
交付者数		34	27	7
	要介護3	10		皆増
	要介護4	12	13	△ 1
	要介護5	12	14	△ 2
交付額		490,500	373,500	117,000
交付率		12.3%	16.9%	△4.6%

※交付使用額：3,360,000円 金額ベース使用率：58.9%

※とみばすの返還をもってタクシー利用券の交付申請が行われることがあるため、対象者数＜交付者数となる場合がある

事業名	⑩特別障害者手当等支給事業 (福祉事務所所管)

I 事業の趣旨 (目的)

障がい者の所得保障の一環として、重度の障がいのため精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として手当を支給する。

II 実施内容及び実績

1 特別障害者等受給資格認定件数

(単位：人、円)

項目	特別障害者手当	障害児福祉手当	経過的福祉手当	支給金額
年度				
R3	25	16	1	9,095,590
R2	25	15	1	10,001,370
比較 R3-R2	0	1	0	△ 905,780

※受給者数は実人数 (年度内に受給資格があった人数)

2 特別障害者手当等認定審査会

(1) 審査会開催状況

(単位：回、件)

年度	回数	審査件数
R3	5	12
R2	4	7
比較 R3-R2	1	5

(2) 構成員：富谷市福祉事務所特別障害者手当等認定審査会委員

委員長… 保健福祉部長
 委員… 保健福祉部次長
 保健福祉部地域福祉課長
 地域福祉課長補佐 障がい保健福祉担当
 認定医
 保健師

項 目	39. 医療助成 (3款1項4目)		担 当		障がい保健福祉担当		
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 2-1 障がい者支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	65,699,000	63,194,743		27,521,000		170,536	35,503,207
事業名	心身障害者医療費助成事業						

I 事業の趣旨（目的）

心身障害者に医療費の助成を行うことにより、経済的な負担の軽減と福祉の増進を図る。

II 実施内容及び実績

(1) 事業内容

心身障害者に下記の医療費を助成。

- ・保険適用医療費の自己負担額
- ・入院時食事療養費の標準負担額の2分の1の額

(2) 助成件数

(単位：件)

年度	項目	延件数		
		入院	入院外	合計
R3		673	12,440	13,113
R2		748	12,805	13,553
比較 R3-R2		△ 75	△ 365	△ 440

(3) 助成額

(単位：円)

年度	項目	公費負担額（助成額）			
		入院	入院外	食事療養費	合計
R3		15,363,268	39,850,027	6,491,005	61,704,300
R2		17,323,356	39,728,277	6,692,149	63,743,782
比較 R3-R2		△ 1,960,088	121,750	△ 201,144	△ 2,039,482

(4) 保険区分別内訳

(単位：件、円)

区分		延件数			公費負担額（助成額）			
		入院	入院外	計	入院	入院外	食事療養費	計
一 般	国保	230	4,984	5,214	5,379,749	18,838,590	2,210,165	26,428,504
	社保	136	1,992	2,128	3,650,324	9,890,192	1,750,735	15,291,251
後期高齢		307	5,464	5,771	6,333,195	11,121,245	2,530,105	19,984,545
合計		673	12,440	13,113	15,363,268	39,850,027	6,491,005	61,704,300

項 目	40.地域活動支援センター (3款1項6目)		担 当		障がい保健福祉担当		
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 2-1 障がい者支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	17,586,000	15,745,047	41,757	20,878			15,602,412
事業名	地域活動支援センター運営事業						

I 事業の趣旨（目的）

在宅の障がい者（児）が、富谷市地域活動支援センターに通所して、創作的活動又は生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進させることによって、地域における障がい者（児）等の自立の促進と社会参加を目的とする。

II 実施内容及び実績

1 施設概要

トモトモ・ユウユウ

- (1) 名 称：富谷市地域活動支援センター（愛称：TOMOTOMO・YOUYOU）
 (2) 開 所 日：平成22年4月1日
 (3) 法令根拠：障害者総合支援法第77条（地域生活支援事業：市町村必須事業）
 (4) 事業概要 ①平日（月～金）：日常生活動作の訓練や創作及び作業活動の実施
 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、8月30日～9月12日は利用自粛要請。
 ②休日（土）：サロン（余暇支援）活動。（毎月第3土曜日 午前）※下記サロン選択式
 「すまいるサロン」：参加者の希望のもと、レクリエーション（創作・調理・ゲーム・運動等）の企画を用意。
 「ほっとスペース」：仲間同士・ボランティア・職員との談笑や読書、ゲーム等自由に過ごせる場の提供。
 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4～9月、2～3月は利用自粛要請。

2 施設利用状況

利用定員：20人

（単位：人）

年度	項目	平日通所（月～金）			休日サロン（土）		
		登録者	延利用者数	1日平均	登録者	延利用者数	1日平均
R3		17	2,402	10.50	28	23	5.8
R2		16	2,309	10.70	29	69	8.6
比較	R3-R2	1	93	△0.20	△1	△46	△2.8

※増減理由：平日…新規登録2人、登録者の利用終了1人（就労支援事業所移行）による1人増。
 休日…転出により1人減。

3 事業の実施状況（平日）

（単位：回、人）

年度	項目	R3		R2		比較 R3-R2	
		回数	延参加者数	回数	延参加者数	回数	延参加者数
	絵画教室	7	80	4	45	3	35
	外部講師教室	1	9	2	25	△1	△16
	運動指導	12	110	10	103	2	7
	調理実習	5	61	9	108	△4	△47
	異物実習	5	9	7	8	△2	1
	販売活動	3	0	1	0	2	0
	季節の行事	6	63	7	82	△1	△19
	施設外研修	20	137	22	142	△2	△5

※施設外研修は「市役所清掃実習」「保健福祉総合支援センター清掃実習」含む。
 ※外部講師教室は、パソコン教室を実施。
 ※販売活動は、一部通信販売となり、職員のみ参加。

4 地域活動支援センター指定管理委託状況

（単位：円）

指定管理者	社会福祉法人 富谷市社会福祉協議会		
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）		
指定管理料	総額 80,000,000	R3	15,500,000
		R2	15,000,000

項 目	4 1. 子ども医療助成 (3款1項7目)		担 当		障がい保健福祉担当		
総合計画	第3編 元気で温かい心で支えるまち！ 2-1 障害がい者支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	275,000	231,819	132,000	66,000			33,819

事業名	障害児育成医療費助成事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

18歳未満の身体障がいのある児童で、その障がいを除去、軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる者に対して、生活の能力を得るために必要な医療の給付を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 障害児育成医療費助成状況

（単位：件、円）

区分	件 数			助 成 額		
	入院	入院外	計	入院	入院外	計
R3	2	5	7	162,906	68,431	231,337
R2	1	3	4	81,877	37,559	119,436
比較 R3-R2	1	2	3	81,029	30,872	111,901

項 目	4 2. 児童福祉総務 (3款2項1目)		担 当		障がい保健福祉担当	
総合計画	第3編 元気で温かい心で支えるまち！ 2-1 障がい者支援					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	円	円	円	円	円	円
	66,000	37,768	37,768			

事業名	特別児童扶養手当支給事業

I 事業の趣旨（目的）

精神又は身体に障がいのある児童を家庭において監護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給して子の児童の福祉の増進を図る。

II 実施内容及び実績

1 特別児童扶養手当支給事務

（単位：人）

年度	項目	受給権者数	支給者数
R3		111	103
R2		108	98
比較 R3-R2		3	5

※12月末時点対象者数

項 目	4 3. 障害児福祉 (3款2項5目)		担 当		障がい保健福祉担当		
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 2－1 障がい者支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 253,760,000	円 242,671,608	円 119,081,142	円 59,540,571	円	円	円 64,049,895
事業名	障害児通所支援事業（福祉事務所所管）						

I 事業の趣旨（目的）

障がい児の日常生活の基本動作、集団生活の適応訓練、生活能力の向上等の支援を目的とする。

II 実施内容及び実績

1 障害児通所等給付費支給状況

(1) 障害児通所等支給決定人数（延人員）

（単位：人）

項目 \ 年度	R3	R2	比 較 R3-R2
児童発達支援	377	303	74
放課後等デイサービス	1,428	1,372	56
保育所等訪問支援	23	17	6
障害児相談支援	330	265	65
高額障害児通所給付費	43	91	△ 48
合 計	2,201	2,048	153

(2) 障害児通所等給付費の推移

（単位：円、％）

項目 \ 年度	R3	R2	比 較 R3-R2
児童発達支援	49,523,079	35,605,362	13,917,717 39.1
放課後等デイサービス	184,869,163	175,654,830	9,214,333 5.2
保育所等訪問支援	496,970	322,375	174,595 54.2
障害児相談支援	5,780,831	4,703,370	1,077,461 22.9
高額障害児通所費	90,835	224,564	△ 133,729 △ 59.6
合 計	240,760,878	216,510,501	24,250,377 11.2

項 目	44. 生活保護総務 (3款4項1目)	担 当	地域生活支援担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 3-3 地域活動		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	71,303,000	61,194,726	40,877,310 51,800 0 0 20,265,616

事業名 ①生活保護総務事務（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

福祉事務所及び地域福祉課の運営に必要な環境を整える。

II 実施内容及び実績

1 宮城県市長会福祉事務所部会

- (1) 目 的…県内各福祉事務所間の相互連携、共同研究及び調査の実施による適正な行政運営を図る。
- (2) 開 催 日…コロナ禍により書面開催
- (3) 開 催 地…コロナ禍により書面開催
- (4) 事 務 局…大崎市福祉事務所（宮城県市長会長の市福祉事務所）
- (5) 参集範囲…仙台市5区及び県内13市

事業名 ②生活困窮者自立支援促進事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

生活困窮者自立支援法に定める各事業を実施することで、生活保護に至る前の第二のセーフティーネットとして生活困窮者の自立の促進を図る。

II 実施内容及び実績

1 事業概要

富谷市自立相談支援センターにおいて、生活困窮者が抱える複合的な問題を一元的に相談・支援する。

2 富谷市自立相談支援センター運営委託状況

- (1) 委託先…一般社団法人 パーソナルサポートセンター
- (2) 委託料…26,273,278円

令和3年度より自立相談支援事業と就労準備支援事業、家計改善支援事業の一体実施及びアウトリーチ支援を拡充
令和3年度から人員5人に増員

内訳 生活困窮者自立相談支援事業…10,752,848円
就労準備支援事業……………5,713,626円
家計改善支援事業……………3,744,601円
アウトリーチ支援事業…………5,681,823円
一時生活支援事業……………380,380円

3 生活困窮者自立支援制度に定める各事業実施状況

(1) 必須事業

①生活困窮者自立相談支援事業

日常生活における困りごとや、不安に関する相談に対し、自立に向けた具体的な支援プランを作成し支援を行う。また、地域や関係機関とつながりを持ち、ニーズの掘り起こしに努める。

【相談実績】

(単位：人)

年度／種別	新規相談者数	延べ相談者数
R3	300	5,407
R2	277	5,141
比較 R3-R2	23	266

【相談内容】（相談内容により重複する場合にはそれぞれ計上）

(単位：人)

年度／種別	病気・健康等	住まい	家計	債務・滞納	求職	家族関係	食糧支援	その他	計
R3	44	51	171	14	70	24	18	202	594
R2	41	55	141	29	62	23	8	179	538
比較 R3-R2	3	△4	30	△15	8	1	10	23	56

その他（202件）内訳

・コロナ関連120件 ・引きこもり、不登校20件 ・介護6件 ・DV、虐待9件 ・人間関係1件
・シェルター入所1件 ・その他45件

（その他内訳：申請補助、労働環境、制度説明、母子世帯の相談、他機関と調整について、家庭内の相談など。）

【他機関開催の会議・会合への参加状況】

(単位:回)

要保護児童、障がい者、高齢者虐待防止連絡協議会	7
地域福祉計画推進協議会	1
富谷市教育委員会との「ひきこもり支援」情報交換会	1
富谷市社会福祉協議会との情報交換会	1

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面開催

②生活困窮者住居確保給付金

離職等の理由により経済的に困窮している方のうち、住居を失った又は失うおそれのある方に対して求職活動を行うことなどを条件に住宅費の支援を図る。

- ・対象者…離職・廃業後2年以内または、休業等により収入減少し離職・廃業と同程度にある方
- ・支給概要…生活保護制度に定める住宅扶助費の範囲内で家賃相当額を自治体から直接家主へ支給

利用実績 (単位:人、円)			
年度/種別	案件数	延べ件数	金額
R3	14	55	2,601,800
R2	15	90	4,167,600
比較 R3-R2	△ 1	△ 35	△ 1,565,800

(2) 任意事業

①就労準備支援事業

一般就労を目指すことが困難な方を対象に、社会生活及び日常生活における基礎能力の形成を目的とした支援を実施することにより一般就労に向けた準備を図る。

- ・支援者数…3人
うち 就職者1人、支援継続者2人
- ・支援期間…6か月間～12か月間
- ・支援内容
社会生活支援…プログラムは清掃活動や畑作業、野外散策を行いながらの面談。他者と共同作業を行う中で、基本的な挨拶やコミュニケーション・協調性を身につけることと、体力作りを目的とし実施。
日常生活支援…面談やアウトリーチにより不安やストレスを把握し、意欲醸成と生活リズムの獲得を支援。
体験実習による支援…就活講座、コミュニケーション講座、企業見学、ジョブカード、VRTカードを含めた面談やハローワーク同行を実施。就労決定は1件。

②家計改善支援事業(新規)

家計に問題を抱える方の家計改善意欲を引き出すことを目的に、状況に応じた家計再生プランを作成し支援を行う。

- ・支援者数…3人
- ・支援内容

(7)家計管理支援

- (4)滞納解消、各種給付金制度等の利用に向けた支援
- (9)債務整理
- (1)貸付のあっせん

③アウトリーチ支援事業(新規)

ひきこもり状態にある当事者・家族の方に対し、同行支援や信頼関係の構築といった対本人型のアウトリーチを主体に支援を実施する。

また、地域資源に積極的に出向き、潜在化するニーズの掘り起こしに努め、早期的・予防的に支援を行う。

(7)支援者数…17世帯

うち、就労準備支援事業につながった方2人、就職者2人

(4)支援内容

対象者支援…対象者の状況に応じて期間や頻度、環境づくり等も含め幅広く対応し、信頼関係を構築していく。また、活動範囲や視野を広げ対象者の選択肢を増やすことを目的とし、商業施設や公共施設、工場見学等の同行支援を実施。

家族支援…家族からの対象者の状況等を傾聴した中で情報を得ることや家族の困り事も含めた支援を行う。

(9)ひきこもり医師相談会(新規)(地域福祉課 精神保健福祉担当と共催)

ひきこもりに悩む当事者・ご家族・支援者の相談を受け、精神科医師が助言・指導を行う。

- ・実施回数:3回
- ・相談者数等:来6人(年代:10代 3人、30～50代 各1人)
- ・診断(疑い含む):対人恐怖症、強迫神経症、自閉症スペクトラム、うつ状態・うつ病エピソード(重複あり)
- ・対応:要治療(「精神科」受診勧奨・治療継続)、アウトリーチ支援継続等

④一時生活支援事業

住居を持たない生活困窮者に対して、安定した生活が営めるようになるまでの期間の支援として、宿泊場所及び食事の提供、衣類等の日常生活を営むために必要な物資の貸与又は提供を行う。

- ・利用実績…1人

事業名	③生活保護適正実施推進事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

生活保護業務に必要な環境を整える。

II 実施内容及び実績

1 非常勤特別職

(1) 配置数及び業務内容

（単位：人）

役職名	人数	業務内容	根拠法令等
富谷市福祉事務所嘱託医	1	・医療扶助の支給に関する各要否意見書の審査 ・受給者に対する指導及び支援に関する専門的判断及び助言等	生活保護法による医療扶助運営要領

(2) 生活保護医療要否意見書審査（単位：件）

年度／種別	件数
R3	529
R2	433
比較 R3-R2	96

2 会計年度任用職員

（単位：人）

役職名	人数	業務内容	根拠法令等
生活保護面接相談員	1	・生活保護の面接相談の受付及び制度説明 ・生活保護申請の受理等	平成12年10月25日付厚生労働省社会・援護局長通知
被保護者就労支援員	1	・被保護者の就労意欲喚起 ・被保護者の就労に向けた助言・指導等	平成22年9月14日付厚生労働省社会・援護局長通知

3 医療扶助適正化事業（生活保護診療報酬明細点検業務）

社会保険診療報酬支払基金へ支払った医療費に関する診療報酬明細書（レセプト）について、本事業により内容点検及び縦覧点検を実施し、再審査請求の対象を抽出する。

(1) 実施回数…4回（6月、9月、12月、3月）

(2) 事業実績

点検件数…2,301件

うち再審査請求対象件数…110件

(3) 令和3年度中の過誤納金確定件数及び確定額…13件 99,002円

4 社会保障生計調査

被保護世帯の家計収支の実態を明らかにすることによって、生活保護基準の改定等生活保護制度の企画運営のために必要な基礎資料を得るとともに、厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

(1) 対象世帯…1世帯

(2) 世帯人員…2人

(3) 世帯類型…母子世帯

(4) 世帯業態…不就業者

(5) 事業費…51,800円（県補助10/10）

（報償金 3,400円×12か月＝40,800円 消耗品費 11,000円）

事業名	④新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

緊急小口資金等の特例貸付を終了した世帯や再貸付について不承認とされた世帯等に対して、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給し、就労による自立を図るため、またそれが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげることを目的とする。

II 実施内容及び実績

事業決算概要

1 収入要件や資産要件等に該当する世帯に対し、最大3か月間自立支援金を支給

※初回の支給が終了した世帯は、再支給の申請が可能となり、要件を満たせば3か月間の支給決定となる。

申請開始日：令和3年7月1日

支給額（月額）：単身世帯 6万円、2人世帯 8万円、3人以上世帯 10万円

(1) 給付世帯件数：32世帯

(2) 給付決定額：6,560,000円

項 目	45. 扶助 (3款4項2目)	担 当	地域生活支援担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 3-3 地域活動		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	176,005,000	171,137,653	円 円 円 円 円 0 0 6,704,465 49,660,778

事業名	生活保護扶助事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

生活保護受給者が社会的・経済的・精神的に自立するために生活保護基準に定める生活保護費を支給する。

II 実施内容及び実績

1 生活保護援護事務

(1) 保護の実施状況

（単位：世帯、人、%）

年度 項目	R3 (3月末現在)	R2 (3月末現在)	比較 R3-R2
受給世帯	79	76	3
受給人員	98	93	5
保護率	1.87	1.78	0.09

（参考）宮城県県の保護率 13.14%（令和4年3月現在）

(2) 相談件数等

（単位：件、世帯、人）

年度	相談	新規 申請	職種 保護	開始		却下 取下	廃止		変更（※）	
				世帯	人員		世帯	人員	増員	減員
R3	47	23	0	15	20	7	10	11	1	1
R2	45	27	0	19	25	8	13	14	1	2
比較 R3-R2	2	△ 4	0	△ 4	△ 5	△ 1	△ 3	△ 3	0	△ 1

※変更とは世帯数に変更はないが、出産や転居等に伴う増員や、死亡や転居等に伴う減員により人員数に変更があった場合を示す。受給世帯及び受給人員は月末の該当数。

・開始理由（15）

貯金の減少・喪失	7	傷病・要介護状態	4	社会保障給付金の減少・喪失	1
ケース移管	1	自己都合失業	1	その他	1

・廃止理由（10）

ケース移管	4	死亡	3	社会保障給付金の増	1
リバースモーゲージ	1	仕送り等の増加	1		

・却下取下理由（7）

他法他施策活用により生計維持可能	4
境界措置措置適用	3

(3) 世帯類型別件数

（単位：世帯）

年度／種別	高齢	母子	障害	傷病	その他	合計
R3	53	3	6	2	15	79
R2	54	2	5	3	12	76
比較 R3-R2	△ 1	1	1	△ 1	3	3

世帯分類について（優先度順）

- ①高齢世帯…65歳以上の者のみの世帯又は65歳以上の者に18歳未満の未婚者が加わった世帯
- ②母子世帯…65歳未満で配偶者がいない女性かつ18歳未満の自身の子のみの世帯
- ③障害者世帯…世帯主が障害者加算を受けている又は障害及び知的障害等の心身上の理由により働けない世帯
- ④傷病世帯…世帯主が入院または在宅患者加算を受けている又は傷病のために働けない世帯
- ⑤その他世帯…上記の世帯に該当しない世帯

(4) 生活保護費の支出状況

(単位：円)

年度 項目		R3	R2	比較 R3-R2
生活扶助費等	生活扶助費	39,554,471	35,185,119	4,369,352
	住宅扶助費	22,933,251	20,599,037	2,334,214
	教育扶助費	287,810	160,464	127,346
	生業扶助費	10,930	161,319	△ 150,389
	葬祭扶助費	0	182,900	△ 182,900
	(扶助費小計)	62,786,462	56,288,839	6,497,623
	保護施設事務費 及び委託事務費	3,706,633	3,448,009	258,624
	【小計】	66,493,095	59,736,848	6,756,247
	医療扶助費	77,564,800	64,196,938	13,367,862
	介護扶助費	9,603,941	5,134,164	4,469,777
【合 計】		153,661,836	129,067,950	24,593,886

項 目	4 6. 社会福祉		担 当		地域生活支援担当		
	(3 款 1 項 1 目)						
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 3-3 地域活動						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	302,437,000	244,757,026	198,554,000	2,000,000			44,203,026
事業名	①原油価格高騰緊急対策燃料費助成券交付事業						

I 事業の趣旨（目的）

原油価格の高騰に伴う低所得世帯の経済的負担を軽減するため、灯油、ガソリン及び軽油（以下「燃料」という。）の購入に要する費用の一部を助成することにより、低所得世帯の生活の安定を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

事業決算概要

1 原油価格高騰緊急対策による燃料助成券交付

- (1) 対 象 者：令和4年1月1日現在、富谷市の住民基本台帳に登録され、現に居住する方で令和3年度の市町村民税が非課税である世帯（生活保護受給世帯を含む）、令和3年12月末日時点の新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金対象世帯
- (2) 助 成 額：5,111,000円
- (3) 申請期間：令和4年1月5日～令和4年2月21日
- (4) 使用期間：令和4年3月31日まで
- (5) 使用場所：市内の富谷市燃料券助成券取扱業者（12事業所）

(6) 燃料券助成件数

（単位：世帯）

項目	非課税世帯	生活困窮者自立支援金 対象世帯	合計
世帯数	837	36	873

※一世帯当たり6,000円（1枚1,000円の燃料助成券を6枚交付）

事業名	②住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業

I 事業の趣旨（目的）

「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、臨時的な措置として実施することを目的とする。

II 実施内容及び実績

事業決算概要

1 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付

- (1) 対 象 者：令和3年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯、令和3年1月以降の家計急変世帯のうち、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて令和3年1月以降申請日の属する月の前月までの家計が急変し、同一の世帯に属する者全員が令和3年度分の市町村民税が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯
- (2) 申請期間：令和4年1月24日～令和4年9月30日
- (3) 給 付 額：一世帯あたりの給付金 10万円

(4) 給付世帯件数、給付額

（単位：世帯、円）

項目	非課税世帯	家計急変世帯	合計
世帯数	2,354	7	2,361
給付額	235,400,000	700,000	236,100,000

※令和4年3月末現在

保健福祉部 健康推進課

項 目	47. 国民年金 (3款1項2目)	担 当	保険・年金担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-3 医療		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	2,682,000	2,484,072	2,484,072

事業名	国民年金適用対策事業

I 事業の趣旨（目的）

住民にとって身近な市町村窓口において、国民年金に係る資格得喪、保険料の免除、各種給付の申出の受理及び年金相談について、また、受理した申請書等の日本年金機構への送付について、法定受託事務として行っています。

II 実施内容及び実績

1 国民年金適用対策事業実施状況

(1) 被保険者加入状況

(単位：人)

区 分	第1号被保険者	任意加入被保険者	第3号被保険者	被保険者総数
R3	4,520	36	4,528	9,084
R2	4,534	47	4,607	9,188
比較 R3-R2	△ 14	△ 11	△ 79	△ 104

(2) 第1号被保険者資格取得者の内訳

(単位：人)

区 分	適用漏れ者	20歳到達者	2号被保険者 からの移行者	その他 (3号被保険者からの移行者 等)	計
R3	129	562	843	186	1,720
R2	155	556	856	193	1,760
比較 R3-R2	△ 26	6	△ 13	△ 7	△ 40

(3) 被保険者の異動状況

(単位：人)

区 分	取 得	転 入	転 出	喪 失	計
R3	2,109	392	376	2,204	5,081
R2	2,147	308	367	2,236	5,058
比較 R3-R2	△ 38	84	9	△ 32	23

※取得・喪失 ⇒ 20歳到達、厚生年金離脱での資格取得や厚生年金加入などで資格喪失したもの。

※転入・転出 ⇒ 富谷市への転入、富谷市からの転出に伴う住所変更により資格異動したもの。

(4) 国民年金受給状況

(単位：人、円)

区 分		R3	R2	比較 R3-R2
老齢年金	受給者	96	111	△ 15
	金 額	32,055,382	38,344,898	△ 6,289,516
老齢基礎年金	受給者	11,040	10,723	317
	金 額	7,511,094,757	7,276,173,689	234,921,068
障害年金	受給者	7	7	0
	金 額	6,442,425	6,449,025	△ 6,600
障害基礎年金・拋出	受給者	290	295	△ 5
	金 額	254,401,775	258,481,450	△ 4,079,675
障害基礎年金・福祉	受給者	256	249	7
	金 額	226,655,200	221,248,750	5,406,450
遺族基礎年金	受給者	131	141	△ 10
	金 額	100,666,801	108,552,198	△ 7,885,397
寡婦年金	受給者	2	3	△ 1
	金 額	727,214	1,321,562	△ 594,348
老齢福祉年金	受給者	0	0	0
	金 額	0	0	0
合 計	受給者	11,822	11,529	293
	金 額	8,132,043,554	7,910,571,572	221,471,982

(数値は日本年金機構提供)

項 目	4 8. 保健衛生総務 (4 款 1 項 1 目)	担 当	健康推進担当
総合計画	第3編 元氣と温かい心で支えるまち！ 1-2 健康・保健 1-3 医療		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	138,610,000	134,880,704	7,625,664 254,000 127,001,020

事業名	①保健衛生総務事務

I 事業の趣旨（目的）

- 1 課内事務費・備品等の適正な管理を行います。
- 2 各団体への運営支援及び連携を図るために各種負担金の交付を行います。
- 3 がん患者の治療と就労や社会参加の両立を支援し、療養生活の質の向上、経済的負担の軽減を図ります。骨髄提供者（ドナー）の負担を軽減し、骨髄又は末梢血幹細胞の移植とドナー登録の推進を図ります。

II 実施内容及び実績

- 1 課内の事務費及び備品の管理を行い、円滑な事務事業及び保健事業を実施した。

- 2 各種団体への負担金交付

（単位：円）

区 分	R3	R2	比較 R3-R2
黒川地区栄養士研究会	0	3,000	△ 3,000
宮城県食生活改善推進員連絡協議会	34,800	34,200	600
宮城ハンセン協会	4,750	4,750	0
宮城県栄養士設置市町村連絡協議会	9,000	9,000	0
黒川地区地域医療対策委員会	0	22,500	△ 22,500

- 3 がん患者医療用ウィッグ購入助成・骨髄バンクドナー助成（平成30年10月より実施）（単位：件、円）

区 分	R3	R2	比較 R3-R2
がん患者医療用ウィッグ購入助成	助成件数 7 助成額 130,000	25 497,000	△ 18 △ 367,000
骨髄バンクドナー助成	助成件数 1 助成額 140,000	1 140,000	0 0

- 4 富谷市内医療機関等従事者感謝・応援事業

内 容：新型コロナウイルス感染症への対応その他地域の医療を担う医療機関に従事する医療従事者及び職員に対する、とみや感謝・応援便（市特産品等）の贈呈

対象者：市内医療機関等に従事する医療従事者または職員で次のいずれにも該当する方

- ①令和2年2月1日～令和3年3月31日までの間に10日以上勤務した方で、かつ申請日時点で継続して職務にあたっていた方
- ②患者と直接的または間接的な接触を伴った業務を担っていた方

贈呈日：令和3年5月31日～7月1日

贈呈数：57箇所901人分

贈呈品：レトルト食品、菓子類、アイマスク、TOMOTOMOYOUYOU作成小物、市内児童クラブ感謝・応援メッセージ色紙

事業名	②健康づくり推進協議会運営事務

I 事業の趣旨（目的）

富谷市健康推進計画の策定・計画の見直し、市民の健康づくりに関する推進方針や方法について協議を行い、健康推進計画の目標達成に努めます。

II 実施内容及び実績

- 1 健康づくり推進協議会

(1) 健康推進計画の進捗管理及び市民の健康づくりに関する事項について審議を実施。令和3年度は、健康推進計画の中間評価、国・県計画の計画期間1年延長に伴う本計画の計画期間の見直し等について協議。

(2) 委員数：15人

(3) 令和3年7月16日 令和2年度健康づくり推進協議会等の実施報告及び令和3年度の実施計画（案）について等
令和4年2月7日 富谷市健康推進計画の計画期間延長について等（書面開催）

2 健康づくり推進ネットワーク会議

- (1) 富谷市健康づくり推進ネットワーク会議設置要綱に基づき平成29年5月に設置
- (2) 健康づくりに関する施策を計画的かつ効果的に推進していくため、市の健康課題の共有や課題への対応等について協議。健康推進計画の中間評価からみえてきた健康課題について、幅広い世代へ周知啓発を図るため、市民向けまんがの制作を行った。（令和4年度、市内小中学校に設置予定。）
- (3) 委員数：13人
- (4) 令和3年7月27日 新任委員顔合わせ、健康づくり推進ネットワーク会議の説明、事業評価シートについて（令和2年度実績報告）、健康推進計画における中間評価（案）について等
令和3年12月22日 富谷市健康推進計画中間評価概要版について、市民向け用啓発まんが（案）について※グループワークを実施

事業名	③献血推進事務

I 事業の趣旨（目的）

医療上必要な血液の安定供給のために、市民に対する献血思想の普及・理解を深め、献血者の確保に努めます。

II 実施内容及び実績

安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律に基づき、宮城県で定めている目標値達成に向けて血液センターと協働し、献血実施による献血者の確保及び推進を図った。前年度と比較し、献血率及び目標達成率は高い値となった。

1 献血の実施状況

区 分	R3	R2	比較 R3-R2
対象人口(人)	32,071	32,115	△ 44
受付人数(人)	2,551	1,722	829
献血者数(人)	200ml 59	35	24
※採血できた方	400ml 2,192	1,478	714
	計 2,251	1,513	738
目標人数(人)	1,375	1,259	116
目標達成率(%)	163.7	120.2	43.5
献血率(%)	7.0	4.7	2.3
実施回数(回)	52	37	15
実施事業所数(か所)	9	8	1

※対象人口は、16～64歳の住民基本台帳人口（各年年度末現在）

※献血率 = 献血者数 ÷ 対象人口

※目標値は、血液製剤の安定供給を確保し、献血受入を円滑に推進するために、宮城県・赤十字血液センター・東北ブロック血液センターで協議し、決定される。

事業名	④食育推進事業

I 事業の趣旨（目的）

食育推進計画に基づき、地域の食を通じて、生涯にわたり豊かな心とからだを育むことを目的とし、食育の推進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 食育推進会議

- (1) 食育推進計画に基づき、アンケート調査及び食育推進計画中間評価を実施し、子どもとその家族に向けた食育や地域の「食」を活用した食育の推進等に関する事項について審議を行った。
- (2) 委員数：14人
- (3) 令和3年7月19日 第1回富谷市食育推進会議 令和2年度実施報告、令和3年度食育推進方針（案）について等
令和4年2月15日 第2回富谷市食育推進会議 第3期富谷市食育推進計画の進捗状況について等（書面開催）

2 食育推進連絡会議

- (1) 富谷市食育推進連絡会議設置要綱に基づき設置（平成29年5月）
- (2) 食育推進事業の推進に関わる庁内関係課における情報共有及び連携による事業を行った。
- (3) 委員数：15人
- (4) 令和4年1月24日 第3期富谷市食育推進計画中間評価アンケート調査の結果報告等

3 食育推進事務局連絡会議

- (1) 令和3年7月16日 第1回富谷市食育推進会議について
令和4年2月2日 第2回富谷市食育推進会議について

4 食育推進事業

食育推進計画中間評価のためのアンケート調査を行い、本市の食に関する現状や課題を分析し、第3期富谷市食育推進計画中間評価概要版を令和4年3月に作成した。（広報とみや4月号別冊として全戸配布済。）

また、継続してSNSによる情報発信に取り組み、市立保育所、市立幼稚園その他食に関する各課と連携し、タイムリーな情報発信に努めた。

（単位：回、人）

事業名	R3		R2		比較 R3-R2	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
植（食）育教室	1	8	6	159	△ 5	△ 151
男性のための料理教室	1	6	0	0	1	6
若者世代講座	0	0	1	63	△ 1	△ 63
働き世代講座	2	56	0	0	2	56
うす味定着化事業	1	66	1	81	0	△ 15
食育カレンダー講習会	1	347	1	257	0	90

事業名	⑤黒川地域行政事務組合（病院運営）負担金事務

I 事業の趣旨（目的）

公立黒川病院の維持管理のための負担金支出事務を行います。

II 実施内容及び実績

1 黒川地域行政事務組合負担金（病院事業会計）

（単位：円）

区 分	R3	R2	比較 R3-R2
負 担 金	51,732,000	53,830,000	△ 2,098,000

項 目	49. 予防 (4款1項2目)	担 当	健康推進担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-2 健康・保健 1-3 医療		
予算の 執行状況	予 算 額 円 220,822,000	決 算 額 円 203,340,638	左の財源内訳 国庫支出金 円 5,713,000 県支出金 円 3,115,000 地方債 円 その他 円 16,583,063 一般財源 円 177,929,575

事業名	①住民検診事業

I 事業の趣旨（目的）

がん検診等の必要性について各種事業等で啓発するとともに、受診環境を整え、疾患の早期発見・早期治療につなげ、市民の健康保持・増進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 各種検診受診状況

(単位：人、%)

検 診 名	対象者区分	R3			R2			比較 R3-R2		備 考
		対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率	受診者数	受診率	
健康35	35～39歳		279			248		31		
健康増進法 健診	生活保護者（40歳以上）		6			14		△ 8		
後期高齢者 健診	後期高齢者医療被保険者	4,326	1,748	40.4%	4,232	1,605	37.9%	143	2.5%	
胃がん検診	30歳以上	36,067	3,800	10.5%	35,866	3,822	10.7%	△ 22	△0.2%	
子宮頸がん 検診	頸部 20歳以上女性	20,752	5,415	26.1%	20,608	5,453	26.5%	△ 38	△0.4%	
	再 20歳※H26から20	(305)	(38)	(12.4%)	(307)	(41)	(13.4%)	△ 3	△1.0%	H26より 独自事業
	がん検診推進 綱 事業相当事業	(188)	(42)	(22.3%)	(186)	(48)	(25.8%)	△ 6	△3.5%	
	体部 25歳※R1から25歳 を補充 頸部受診者のうち 医師判断		201			238		△ 37		
乳がん検診	30歳以上女性	18,484	4,174	22.6%	18,377	4,179	22.7%	△ 5	△0.2%	
	再 40歳※H26から がん検診推進 綱 事業相当事業 40歳に限定	(377)	(121)	(32.0%)	(402)	(140)	(34.8%)	△ 19	△2.8%	H26より 独自事業
結核検診	40歳以上	30,127	6,650	22.1%	29,733	5,861	19.7%	789	2.4%	
肺がん検診	40歳以上	30,127	6,650	22.1%	29,733	5,861	19.7%	789	2.4%	
	喀痰細胞診 ※0.5mlで検出率 81%から検出率60%以上		372			369		3		
大腸がん検診	30歳以上	36,067	7,066	19.6%	35,866	6,252	17.4%	814	2.2%	
肝炎ウイル ス検査	40歳	765	173	22.6%	804	145	18.0%	28	4.6%	
	41～74歳（過去未検者）		58			64		△ 6		
前立腺がん 検診	50歳以上男性	10,102	2,370	23.5%	9,858	2,149	21.8%	221	1.7%	
脳検診	40～75歳(5歳毎) ※R2から 75歳を補充		369			441		△ 72		
成人週周 疾患健診	40～70歳(10歳毎)	2,984	203	6.8%	2,888	138	4.8%	65	2.0%	
黄斑しょう 眼検診	40～70歳の女性(5歳毎)	2,619	598	22.8%	2,585	569	22.0%	29	0.8%	
合 計			40,132			37,408		2,724		

【参考】

特定健康診査	富谷市国保加入者 (40～74歳)	6,677	3,593	53.8%	6,514	3,087	47.4%	506	6.4%	国保 事業

※対象者 がん検診： 各年4月1日現在年齢別人口統計表の対象年齢

※ () は内数

後期健診： 後期高齢者医療広域連合会へ提出する実績報告書に基づく

上記以外： 受診票発送数または基準日時点抽出

2 夜間休日検診実施状況

(単位：日)

検診名		R3	R2	比較 R3-R2
特定健康診査等	全検診日数	28 (28)	28 (28)	0 (0)
	再掲 夜間検診日数	5 (5)	5 (5)	0 (0)
	再掲 土日検診日数	5 (5)	5 (5)	0 (0)
胃がん検診	全検診日数	24 (41)	25 (41)	△ 1 (0)
	再掲 夜間検診日数	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	再掲 土日検診日数	4 (6)	5 (6)	△ 1 (0)
乳がん検診	全検診日数	19 (20)	19 (20)	0 (0)
	再掲 夜間検診日数	8 (8)	8 (8)	0 (0)
	再掲 土日検診日数	3 (4)	3 (4)	0 (0)

※カッコ内は実施会場数

事業名 ②健康推進員育成事業

I 事業の趣旨（目的）

効果的な健康づくり事業を推進し、市民の健康意識の普及・向上及び健康の保持増進を図るため、健康推進員を育成します。

II 実施内容及び実績

効果的な健康づくり事業を推進し、市民の健康意識の普及・向上及び健康の保持増進を図るために健康推進員定例研修会を実施し、健康推進員の育成に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市保健事業やイベントの中止が相次ぎ、健康推進員の地域活動においても中止や規模の縮小を余儀なくされたが、感染対策を講じた活動方法について助言等を行い、健康推進員一人ひとりができる範囲で健康づくり活動を実施した。

1 健康推進員定例研修会

(単位：回、人)

年度	回数	参加者 延べ人数	1回あたり 参加者数	参加率	備考
R3	6	274	46	78.7%	新型コロナウイルス感染症の影響により2回中止
R2	8	354	44	77.6%	令和2年4月のみ書面開催
比較 R3-R2	△ 2	△ 80	2	1.1%	

2 地区活動の実績（集会、対話や訪問等による健康づくり活動）

(単位：回、人)

年度	子ども		若者・働き世代		高齢者		その他		計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R3	97	254	169	8,769	526	4,356	80	290	872	13,669
R2	67	299	631	7,100	467	2,865	323	2,758	1,488	13,022
比較 R3-R2	30	△ 45	△ 462	1,669	59	1,491	△ 243	△ 2,468	△ 616	647

事業名 ③感染症予防事業

I 事業の趣旨（目的）

- 1 予防接種法に基づき、感染症予防及び公衆衛生の観点より、高齢者におけるインフルエンザ予防接種・肺炎球菌予防接種の助成を実施します。
- 2 予防接種法に基づき、成人男性の風疹にかかる追加的対策について、円滑な実施に努めます。
- 3 新型コロナウイルス感染症等、新たな感染症の蔓延防止に努めます。

II 実施内容及び実績

1 高齢者インフルエンザ対策

- (1) 対象者：①接種日当日に65歳以上
②60～64歳の心臓・腎臓等の機能に障害を有し、身体障害者手帳1級相当に該当する方
※対象者数基準日：各年度末
- (2) 接種助成額：接種にかかった金額から自己負担額（1,500円）を差し引いた額を助成
※生活保護世帯の方は接種費用全額助成

（単位：人）

年度	対象者数	接種者数	接種率
R3	11,163	6,335	56.7%
R2	10,763	7,471	69.4%
比較 R3-R2	400	△ 1,136	△12.7%

2 高齢者肺炎球菌感染対策

- (1) 対象者：①65、70、75、80、85、90、95、100歳の方で、過去に肺炎球菌ワクチン接種を未接種の方
②60～64歳の心臓・腎臓等の機能に障害を有し、身体障害者手帳1級相当に該当する方
※5年間（平成26年から平成30年）の経過措置終了後、期間延長に伴い、令和元年度以降も実施
70歳以上の対象年齢該当者については、2回目の案内となる。

※対象者数：各年度の受診票等発送者数
（各年度の予防接種対象年齢該当者から、過去に接種歴がない者に受診票等を発送）

- (2) 接種助成額：接種にかかった金額から自己負担額（4,000円）を差し引いた額を助成
※生活保護世帯の方は接種費用全額助成

- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響により、定期予防接種期間内に受けられなかった方を対象に、令和3年11月1日から令和4年3月31日までの期間において、特例的に接種費用の助成を行った。

（単位：人）

年度	対象者数	接種者数	接種率
R3	1,404	437	31.1%
R2	1,469	486	33.1%
比較 R3-R2	△ 65	△ 49	△2.0%

3 風しんの追加的対策 対象者：昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（R2.11.19時点 7,024人）

年度	国保連合会 審査月	クーポン券発送者数(人)		抗体検査受診者数(人)			接種者数(人)	抗体検査 受診率	予防 接種率
		初回	任意		陽性	陰性			
R3	R3.4～R4.3	5,246	5,246	650	502	148	157	12.4%	106.1%
R2	R2.4～R3.3	6,542	6,542	1,129	874	255	214	17.3%	83.9%

4 感染症予防対策・啓発等

区 分	実施内容
チラシ・広報誌等による周知啓発	各種予防接種（風疹、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）の案内、ノロウイルス・インフルエンザ等の注意喚起に関する内容について、広報誌・チラシ配布等を通じて周知啓発を図った。

5 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府の方針や県内での患者発生状況を踏まえ、富谷市新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、市主催イベントや市施設の利用方針などについての決定を行った。また、「新しい生活様式」の実践と定着に向けて市ホームページや広報等による情報提供のほか、庁舎内での感染防止対策として、職員のマスク着用、環境の消毒、換気の徹底等についてアナウンスを実施した。

新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者と特定された方に対しては、食料品等の配送や、保健所等の指導に基づいて実施した市内事業所・施設等の消毒費用に対する一部助成を実施した。

(1) 富谷市新型コロナウイルス感染症対策本部会議開催状況 設置日：令和2年2月4日

年度	富谷市新型コロナウイルス感染症対策本部会議※
R3	17回
R2	22回

※新型コロナウイルス感染症対策特別措置法第32条第1項の規定に基づく緊急事態宣言発令中においては、同法第34条の規定に基づき「富谷市危機管理対策本部」を同時設置。

(2) 食料品等生活物資緊急支援事業

開始日：令和4年2月14日

内 容：自宅待機期間中の生活の一助となるよう、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、希望者へ生活物資（食料品・日用品）を無償で配送

対象者：新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として保健所等から特定された市民で、食料品等を調達することが困難な方（感染症患者本人への配送は県が実施）

配送物：食料品 ご飯、レトルト食品、缶詰、野菜ジュース、スープ
日用品 トイレットペーパー、ティッシュペーパー、手指消毒液、除菌ウェットティッシュ、不織布マスク等

（単位：件、人）

年度	申請件数	申請人数
R3	73	188
R2		
比較 R3-R2	皆増	皆増

(3) 店舗等消毒事業補助金

内 容：保健所の指導に基づき実施した店舗等の消毒清掃作業等に対して、30万円を上限に費用の一部を助成

対象者：市内に事務所を有するもので、

- ①店舗、事務所、工場、研究所等の事業を営む中小企業者、小規模事業者又は個人事業者
- ②介護施設、教育施設、児童福祉施設、障害福祉サービス施設・事業所等を運営する事業者

（単位：件、円）

年度	申請件数	決定額
R3	1	289,000
R2	3	691,000
比較 R3-R2	△ 2	△ 402,000

事業名	④黒川地区休日当番医事業

I 事業の趣旨（目的）

市民の休日診療へ対応へするため、富谷市と黒川郡3町村が黒川医師会に休日急患診療業務を委託します。

II 実施内容及び実績

1 休日当番医利用者数

（単位：人、日）

区分	R3	R2	比較 R3-R2
利用者数	602	544	58
診療日数	72	72	0

事業名	⑤健康づくり事業

I 事業の趣旨（目的）

市民の健康意識の向上及び健康の保持増進を図り、あらゆる世代の住民が生産にわたって健やかに暮らすことのできるよう、健康づくりに関する知識の周知啓発や健康づくり事業を実施します。

II 実施内容及び実績

1 健康教育・健康相談

(1) 地区活動支援

健康推進計画及びデータヘルス計画等の分析結果に基づき、市の健康課題である「高血圧・高血糖予防」をテーマとし、健康推進員と共に健康教室や啓発活動を実施。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、教室開催を自粛される地区が多かったため、前年度に比べ実績減となったが、チラシ配布等による啓発活動を中心に実施した。

※地区健康教室開催状況

（単位：回、人）

区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
回数・人数	2	37	3	54	△ 1	△ 17

(2) 健診に関する健康教育

（単位：回、人）

区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
回数・人数	1	39	3	11	△ 2	28
重点対象 (R3)	全住民（特に、健康35・特定健康診査・後期高齢者健診・加入保険による健康診査を受診した住民）					
内 容	コロナ禍においても健康づくりに取り組むことができるよう、みやぎウォーキングアプリを活用した1か月間の歩数記録を実施した。平均歩数8,000歩以上の参加者にはインセンティブを付与するなど行動変容に結び付く機会の提供に努めた。					

(3) 健康づくり啓発事業

（単位：回、人）

区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
回数・人数	1	62	2	54	△ 1	8
内 容	①高血圧・高血糖予防PRキャンペーン 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各種健（検）診会場での周知啓発活動（健康推進員会と協働）は自粛。今年度より、宮城県赤十字血液センター協力のもと、献血協力者に高血圧・高血糖予防に関する啓発資料の配布を行い、周知啓発に努めた。 ②とみや市民公開講座 健康推進計画中間評価よりみえてきた課題を踏まえ、市民の運動習慣の獲得に向けた取り組みとして「運動」をテーマに開催。健康運動指導士を講師に招き、コロナ禍に伴う外出自粛の状況下においても、自宅の中で活動量を増やすことができる簡単なストレッチ等の紹介を行った。また、幅広い世代への啓発を図るため、同講師による指導のもと、運動動画を制作した。（令和4年度HPで公開予定。） ③知ってお得な健康情報＆エコキャンペーン 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ④こころの健康づくりの普及啓発 新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ⑤幅広い世代に対する普及啓発の実施 広報誌・SNS等の活用、関係各課・健康推進員会等と連携のもと、健康づくりに関する知識、情報について普及啓発を図った。					

(4) 健康づくり活動支援

地域で健康づくりを目的とした活動を行っているグループに対して、保健師や栄養士等による健康づくりに関する講習、グループ活動の周知や関係機関との調整等、活動運営に関わる支援を実施。

年間を通して柔軟運動・有酸素運動・筋力トレーニングを基本とした運動講習を実施。

（単位：件、回、人）

R3			R2			比較 R3-R2		
支援団体数	支援回数	実支援者数	支援団体数	支援回数	実支援者数	支援団体数	支援回数	実支援者数
7	24	123	3	21	141	4	3	△ 18

項 目	50. 新型コロナウイルスワクチン接種 (4款1項6目)		担 当	新型コロナウイルス ワクチン接種特別対策 チーム		
総合計画	第3編 元氣と温かい心で支えるまち！ 1-2 健康・保健 1-3 医療					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
	円	円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	円	円	円	円	円	円
	420,346,000 (内R2繰越分 23,012,000円)	385,228,049 (内R2繰越分 22,328,053円)	385,228,049	0	0	0

事業名	①新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

I 事業の趣旨（目的）

市民への新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に推進するため、必要な体制整備を図ります。

II 実施内容及び実績

黒川医師会及び黒川3町村（大和町・大郷町・大衡村）と連携を図ると共に、共同体制を構築し、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を推進した。

1 新型コロナウイルスワクチン接種に係る各種会議 開催・参加状況 (単位：回)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2	備考
黒川医師会理事会等	28	16	12	理事会、理事等協議会議
接種体制連携調整会議	50	12	38	宮城県、富谷市、黒川町村
医療機関向け説明会 (Web開催)	2	0	2	個別接種向け：1回（4月9日） 集団接種向け：1回（5月28日）

2 接種体制 (単位：箇所)

接種体制	医療機関数	備考
個別接種	27	訪問接種専用医療機関1が所含む
集団接種	2	富谷市会場、大和町会場（住民一部相互受入）
施設接種・院内接種	14	特別養護老人ホーム（囃託医）、老人保健施設、入院施設等

3 個別接種体制整備（富谷市実施分）

項目	内容
接種計画・配分調整	黒川圏域全体の接種計画の立案及び進捗管理、配分調整を富谷市にて実施
管理・配送ワクチンの種類	ファイザー社製ワクチン（超低温冷凍庫にて-75℃±5℃で保管・管理） ※武田/モデルナ社製ワクチンについては、大衡村が保管・管理
配送温度	冷蔵：2～8℃、冷凍：-20℃±5℃ ※温度管理可能な保冷バッグ・保冷剤等を使用
配送回数	59回 ※原則毎週月曜日に準備・配送、臨時配送・集団接種分を除く
配送ワクチン数（延数）	全数：18,629バイアル（1バイアル6～7回分） ※令和3年4月・5月の黒川病院を起点とした配送分を除く ※個別接種、集団接種、施設接種、院内接種含む
配送医療機関数（実数）	30か所 ※一般住民向け医療機関、老人保健施設、入院施設

4 集団接種体制整備（富谷市実施分）

（単位：回）

項目	回数	実施日等	会場等
集団接種設置	14	6月23日・24日・26日・27日 7月14日・15日・17日・18日 10月7日・9日・10日・28日・30日・31日 （最大8レーン、接種者数総計 8,355人）	富谷武道館 富谷スポーツセンター
送迎バスの運行	4	6月26日・27日、7月17日・18日 （バス1日6台運行、利用者数総計 414人）	各公民館経由 （各日3ルート）
模擬訓練	1	4月17日 （黒川医師会、富谷・黒川3町村職員従事）	成田公民館
医療機関向け説明会	1	5月28日（Web開催） （対象：集団接種協力医師・看護師）	大郷町役場
看護師等向け説明会	1	4月9日 （対象：保健師・会計年度任用看護師）	富谷市役所
看護師向け希釈・接種演習	2	6月3日・8日 （対象：会計年度任用看護師）	公立黒川病院
救急対応研修会	2	5月19日・31日（Web開催） （対象：保健師・会計年度任用看護師）	富谷市役所
予約受付支援	5	6月1日～6月7日（土日除く）	富谷市役所
予約受付電話回線拡充	5	6月1日～6月7日（土日除く）	富谷市役所

5 集団接種実績

（単位：人）

1回目			2回目			計	
実施日	接種人数	うち他市町村民	実施日	接種人数	うち他市町村民	接種人数	うち他市町村民
6月23日	157	20	7月14日	159	21	316	41
6月24日	151	22	7月15日	147	21	298	43
6月26日	1,237	2	7月17日	1,238	2	2,475	4
6月27日	1,395	2	7月18日	1,391	4	2,786	6
10月7日	265	1	10月28日	260	1	525	2
10月9日	635	23	10月30日	625	23	1,260	46
10月10日	350	24	10月31日	345	24	695	48
計	4,190	94	計	4,165	96	8,355	190

6 庁内体制等

項目	内容
人的体制整備	・新型コロナウイルスワクチン特別対策チームの体制を継続。6月より拡充（統括：1人、専任：6人、兼務：4人、会計年度職員：3人）（拡充後）
予防接種台帳整備	・対象の拡大及び追加接種並びにマイナンバー情報連携に係る健康管理システム（予防接種台帳）を改修・整備 ・接種記録システム及び予約票を基に、予防接種台帳の個人記録の作成・整備
接種券等の発送	・初回接種：原則年齢の高い順から段階的に発送 ただし12歳～19歳は、夏季休暇に合わせて他世代より早期に発送 ・追加接種：国及び県の指針に基づき、接種経過日に応じて毎日発送
相談体制	・専用のコールセンターによる相談体制を継続
予約体制	・集団接種は、Web及び電話受付を実施（初回接種のみ） ・個別接種は、各医療機関にて直接受付（初回接種のみWeb受付に限り、一部医療機関分を受付） ・小児接種は、市町村にてWebを活用し予約受付、管理
未接種者への勧奨	・初回接種の未接種者に対し、接種勧奨通知の発出（9月14日、発送件数：14,615件）
65歳以上への勧奨	・宮城県が設置する東北大学ワクチン接種センターにて、追加接種を対象に65歳以上を先行受付する際、案内通知を発出（1月13日、発送件数：6,719件）

事業名	② 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

I 事業の趣旨（目的）

市民への新型コロナウイルスワクチン接種を円滑に実施します。

II 実施内容及び実績

- ・新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種に向けて、黒川医師会及び黒川3町村（大和町・大郷町・大衛村）と連携を図り、共同体制にて接種を実施した。
- ・宮城県が設置する東北大学ワクチン接種センターについては、積極的に周知を図り利用促進に努めた。

1 初回接種

（単位：人）

対象年齢	12歳以上	対象者数	46,374	対象期間	R3.2.19～R4.3.31
接種ワクチン	①ファイザー社製ワクチン（適用 12歳以上） ②武田/モデルナ社製ワクチン（適用 12歳以上） ③アストラゼネカ社製ワクチン（適用 40歳以上）				
接種回数	接種人数	接種率	ファイザー社製	武田/モデルナ社製	アストラゼネカ社製
1回目	42,314	91.2%	36,204	6,110	0
2回目	42,096	90.8%	36,018	6,078	0

※対象者数：R4.3.31現在 12歳以上人口

※接種人数：R4.6.13時点 国の接種記録システムから算出

2 第1期追加接種（3回目接種）

（単位：人）

対象年齢	12歳以上	対象者数	46,374	対象期間	R3.12.1～R4.3.31
接種ワクチン	①ファイザー社製ワクチン（適用 12歳以上） ②武田/モデルナ社製ワクチン（適用 18歳以上）				
接種回数	接種人数	接種率	ファイザー社製	武田/モデルナ社製	
3回目	21,660	46.7%	15,416	6,244	
2回目完了者を母数とした場合		51.5%			

※対象者数：R4.3.31現在 12歳以上人口

※接種人数：R4.6.13時点 国の接種記録システムから算出

3 小児接種（富谷・黒川圏域の開始日はR4.3.8）

（単位：人）

対象年齢	5歳～11歳	対象者数	4,042	対象期間	R4.2.21～R4.3.31
接種ワクチン	小児用ファイザー社製ワクチン（適用 5歳～11歳）				
接種回数	接種人数	接種率			
1回目	656	16.2%			
2回目	72	1.8%			

※対象者数：R4.3.31現在 5歳～11歳人口

※接種人数：R4.6.13時点 国の接種記録システムから算出

項 目	5 1. 国民健康保険 (国民健康保険特別会計)	担 当	保険・年金担当
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-3 医療		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	円 4,003,497,000	円 3,975,429,680	円 2,510,000 円 2,937,493,223 円 783,887,336 円 251,539,121
事業名	国民健康保険事業		

I 事業の趣旨（目的）

平成30年度より国民健康保険は都道府県単位化となり、市町村に加えて県も国保の財政運営を担うこととなりました。

市保険者として、これまでどおり国民健康保険の資格管理、各種保険給付、保険税の賦課・徴収など市民に身近な業務についての役割を担うとともに、国保財政については、「宮城県国民健康保険運営方針」に基づき、宮城県と連携のもと、将来を見据え健全な財政運営を図ります。

また、国保加入者の健康保持、疾病予防を積極的に促進するため、「特定健康診査等実施計画」及び「データヘルス計画」を基に効果的かつ効率的な保健事業を行い、健康保持増進及び医療費適正化に努めるとともに、保険者努力支援制度の評価項目達成へ向けた取り組みを強化します。

II 実施内容及び実績

1 国民健康保険加入状況について

(単位：人、世帯)

年度	人 口	世帯数	国保 世帯数	被保険者数		加入率 (対世帯)	加入率 (対人口)	対前年 世帯数 伸率	対前年 被保険者 伸率
				前期高齢者					
R3 (年度平均)	52,374	20,007	5,040	8,073	4,270	25.2%	15.4%	0.0%	△1.4%
			5,099	8,210	4,317	25.5%	15.7%	1.7%	△0.1%
R2 (年度平均)	52,370	19,744	5,039	8,188	4,262	25.5%	15.6%	2.2%	1.0%
			5,014	8,215	4,193	25.4%	15.7%	0.9%	△0.7%
比較 R3-R2	4	263	1	△ 115	8	△0.3%	△0.2%	△2.2%	△2.4%
			85	△ 5	124	0.1%	0.0%	0.8%	0.6%

(単位：人)

被保険者 増減内訳	増	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	後期高齢者離脱	その他	計
		195	1,472	5	17	0	76	1,765
	減	転 出	社保加入	生保開始	死 亡	後期高齢者加入	その他	計
		190	1,142	9	54	385	100	1,880
差引		5	330	△ 4	△ 37	△ 385	△ 24	△ 115

国保の被保険者数は8,073人と令和2年度から115人の減、世帯数は5,040世帯と1世帯の増、加入率(対人口)は15.4%と0.2ポイントの減で近年減少傾向にあり、令和2年度に一旦増加に転じたものがまた減少となった。

増加の主な理由としては、社会保険離脱(330人の増)であり、減少の主な理由としては後期高齢者への移行(385人の減)によるものとなっている。

2 保険給付の状況について

(1) 療養の給付

①費用額等の状況

(単位：人、件、日、円)

年度	区 分	人 数	件 数	日 数	費 用 額	1人当たり 受診件数	1件当たり 日 数	1日当たり 費用額
R3		8,210	147,330	168,092	3,268,269,006	17.9	1.1	19,443
R2		8,215	138,844	158,418	2,978,494,012	16.9	1.1	18,801
比較		△ 5	8,486	9,674	289,774,994	1.0	0.0	642
R3-R2		△0.1%	6.1%	6.1%	9.7%	5.9%	0.0%	3.4%

②療養の給付に係る一人当たり費用額の推移 (単位：円)

年度	区 分	費 用 額	対前年伸率
R3		398,084	9.8%
R2		362,568	△4.3%
比較 R3-R2		35,516	14.1%

③療養給付の診療別状況

(単位：円)

年度	区分	入院	入院外	歯科	調剤	食事療養等	訪問看護	計
R3		1,172,957,554	1,163,630,050	202,510,240	652,099,970	46,485,062	30,606,120	3,268,269,006
R2		1,064,246,220	1,071,566,770	192,153,780	679,812,560	41,395,222	29,319,460	2,978,494,012
比較	R3-R2	108,711,344	92,063,280	10,356,460	72,287,410	5,089,840	1,286,660	289,774,994

(2) 療養費

①費用額等の状況

(単位：件、円)

年度	区分	件数	費用額	対前年 件数伸率	対前年 費用額伸率
R3		3,194	25,429,334	△3.1%	△6.1%
R2		3,295	27,080,820	△5.5%	△4.1%
比較	R3-R2	△101	△1,651,486	2.4%	△2.0%

(3) 高額療養費

①支給額等の状況

(単位：件、円)

年度	区分	件数	支給額	対前年 件数伸率	対前年 支給額伸率
R3		6,329	342,584,791	13.7%	10.9%
R2		5,566	308,959,402	△4.4%	△3.1%
比較	R3-R2	763	33,625,389	18.1%	14.0%

(4) 出産育児一時金

①支給額等の状況

(単位：件、円)

年度	区分	件数	支給額	対前年 件数伸率	対前年 支給額伸率
R3		19	7,966,470	35.7%	35.4%
R2		14	5,881,260	△41.7%	△41.7%
比較	R3-R2	5	2,084,210	77.4%	77.1%

(5) 葬祭費

①支給額等の状況

(単位：件、円)

年度	区分	件数	支給額	対前年 件数伸率	対前年 支給額伸率
R3		50	2,500,000	8.7%	8.7%
R2		46	2,300,000	△11.5%	△11.5%
比較	R3-R2	4	200,000	20.2%	20.2%

(6) 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者等に対する傷病手当金

①支給額等の状況

(単位：件、円)

年度	区分	件数	支給額	対前年 件数伸率	対前年 支給額伸率
R3		1	25,278	-	-
R2		0	0	-	-
比較	R3-R2	1	25,278	-	-

(7) 一部負担金等免除

①東日本大震災（原発）分

(単位：件、日、円)

年度	区分	件数	日数	費用額	免除額
R3		94	117	760,070	164,349
R2		97	137	2,846,300	579,741
比較	R3-R2	△3	△20	△2,086,230	△415,392

※対象は全て一般分

保険給付費の状況は、療養給付費全体で費用額が32億6,827万円となり、対前年度比で2億8,977万円（9.7ポイント）の増となり、療養の給付に係る1人当たり費用額では、35,516円（9.8ポイント）の増となっている。

高額療養費については、6,329件、約3億4,258万円と、対前年度比では件数で763件（18.1ポイント）の増、支給額で約3,363万円（14.0ポイント）の増となった。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として傷病手当金を支給したほか、東日本大震災による原発指定地域からの避難者に対する一部負担金等免除を行った。

3 特定健康診査等・疾病予防について

(1) 特定健康診査等

①特定健康診査実施状況

富谷市国保加入者の40～74歳までの被保険者を対象に、市内6公民館、全28日間（内、土日健診5日間、夜間健診5日間）で集団健診を実施。また、集団健診実施期間中に受診できなかった方向けに、黒川地域内指定医療機関での個別健診を、9月の1か月間実施した。

特定健康診査の受診率は53.8%となり、前年度の受診率より6.4ポイント増加したが、第3期特定健康診査等実施計画の目標値である64%を大きく下回り、目標を達成することはできなかった。

受診率増加の主な理由は、「新しい生活様式」が定着し、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診控えの状況が回復してきているためと考えられる。

（単位：人）

年度	区分	対象者数	受診者数				受診率	目標値	達成率
			集団健診	個別健診	計	(他保)			
R3		6,677	3,577	16	3,593	(16)	53.8%	64.0%	84.1%
R2		6,514	3,086	1	3,087	(9)	47.4%	63.5%	74.6%
比較 R3-R2		163	491	15	506	(7)	6.4%	0.5%	9.5%

※対象者数、受診者数、受診率については、法定報告と異なり暫定値

※目標値については、第3期特定健康診査等計画の目標率（段階的目標設定の3年目及び4年目にあたる）を記載

②特定保健指導実施状況

特定保健指導の実施率向上にむけて、腹囲・体重・血圧・喫煙歴等の状況から特定保健指導の対象見込み者を選定し、健診当日の保健指導初回面談の分割実施（暫定的な行動計画の策定）を市内6公民館にて、実施日を6日間増やし全12日間で行った。健診当日に初回面談を行った者には、検査結果が全て揃った後、電話等により2度目の初回面談（行動計画の修正・完成）を実施した。

さらに、従来の方法により市内6公民館、全10日間（うち土日開催2日間）にて初回面談を実施したが、実施率は19.9%と前年度より7.1ポイント減少し、目標値を達成することはできなかった。

（単位：人）

年度	区分	動機付け支援			積極的支援			計			目標値	達成率
		対象者数	実施者数	実施率	対象者数	実施者数	実施率	対象者数	実施者数	実施率		
R3		401	70	17.5%	136	37	27.2%	537	107	19.9%	50.0%	39.9%
R2		368	95	25.8%	121	37	30.6%	489	132	27.0%	40.0%	67.5%
比較 R3-R2		33	△ 25	△ 8.3%	15	0	△ 3.4%	48	△ 25	△ 7.1%	10.0%	△ 27.6%

※対象者数、実施者数、実施率については、法定報告と異なり暫定値

※目標値については、第3期特定健康診査等計画の目標率（段階的目標設定の3年目及び4年目にあたる）を記載

③重症化予防事業

データヘルス計画に基づき、糖尿病性腎症の悪化による人工透析への移行を予防するため、特定健康診査の結果及びレセプトから糖尿病性腎症になる危険性のある対象者を抽出し、通知や電話、面接による受診勧奨及び保健指導を実施。また、今年度より、医師会及びかかりつけ医との連携した保健指導を図るため、「黒川圏域糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を始動した。

糖尿病治療中断者（国保連合会からデータ提供（令和3年7月・令和4年1月）を受け、対象者選定）に対しては、医療機関への受診状況について確認するとともに必要に応じて受診勧奨を実施した。

※対象者について

リスク有の者：HbA1c5.5以上かつ腎機能が低下（eGFR60未満）

ハイリスク者：リスク有の者の基準に加えて尿蛋白2+以上

（単位：人、%）

年度	項目	リスク有の者	医療機関受診率	ハイリスク者	医療機関受診率
R3		93	98.9	2	100.0
R2		52	98.1	3	100.0
比較 R3-R2		41	0.8	△ 1	0.0

(2) 疾病予防

(1) 疾病予防事業

特定健康診査の結果、血糖値（HbA1c値）が高めの50～64歳の方を対象に、糖尿病及び糖尿病による合併症の予防を目的として、採血検査（HbA1c値のみ）を実施した。生活習慣改善に取り組めるよう高血糖予防のためのリーフレットを配布し、配布から約1か月後、HbA1c値の採血検査を実施した。

(単位：回、人)

年度	項目	回数	参加者数	内容
R3		1	69	糖尿病に関するリーフレット配布（病態・食事・運動・飲酒） 採血検査（HbA1c値のみ）
R2		0	0	令和3年1月以降実施予定であった講座は、新型コロナウイルスワクチン接種特別対策チーム発足に伴う業務配分見直しにより中止とした。
比較	R3-R2	1	69	

②各種検診等に対する一部負担金助成

(単位：人、円)

年度	区分	健康35	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん (頸・体部)	肺がん (喀痰)	前立腺 がん	合 計
R3	助成単価	1,500	1,800	500	1,800	2,100	500	1,000	
	受診者数	69	919	1,638	724	885	82	522	4,839
	助成額	103,500	1,654,200	819,000	1,303,200	1,858,500	41,000	522,000	6,301,400
R2	助成単価	1,500	1,800	500	1,800	2,100	500	1,000	
	受診者数	76	889	1,522	720	942	95	493	4,737
	助成額	114,000	1,600,200	761,000	1,296,000	1,978,200	47,500	493,000	6,289,900
比較	助成単価	0	0	0	0	0	0	0	
R3-R2	受診者数	△7	30	116	4	△57	△13	29	102
	助成額	△10,500	54,000	58,000	7,200	△119,700	△6,500	29,000	11,500
	伸び率(受診者数)	△9.2%	3.4%	7.6%	0.6%	△6.1%	△13.7%	5.9%	2.2%

市が実施する各種がん検診等の自己負担額については、全額助成を行い受診の促進を図った。

4 国民健康保険税等について

(1) 国民健康保険税

①国民健康保険税の調定と収納状況

(単位：円)

区 分		調 定 額	対前年 伸率	収 納 額	対前年 伸率	収入未済額 (全額未済額)	対前年 伸率	収 納 率	
								R3	R2
医療分 現年	一般被保険者	470,084,216	1.0%	457,054,444	1.4%	13,029,772	△11.4%	97.2%	96.8%
	退職被保険者	0	-	0	-	0	-	-	-
	小計	470,084,216	1.0%	457,054,444	1.4%	13,029,772	△11.4%	97.2%	96.8%
支援分 現年	一般被保険者	156,552,665	1.0%	152,038,214	1.6%	4,514,451	△14.9%	97.1%	96.6%
	退職被保険者	0	-	0	-	0	-	-	-
	小計	156,552,665	1.0%	152,038,214	1.6%	4,514,451	△14.9%	97.1%	96.6%
介護分 現年	一般被保険者	57,500,319	△0.5%	55,274,055	0.6%	2,226,264	△22.0%	96.1%	95.1%
	退職被保険者	0	-	0	-	0	-	-	-
	小計	57,500,319	△0.5%	55,274,055	0.6%	2,226,264	△22.0%	96.1%	95.1%
現年合計		684,137,200	0.9%	664,366,713	1.4%	19,770,487	△13.5%	97.1%	96.6%
滞繰分 滞繰	一般被保険者	59,053,633	△6.8%	18,854,331	14.0%	40,199,302	△14.2%	31.9%	26.1%
	退職被保険者	268,713	△82.2%	218,625	257.4%	50,088	△96.5%	81.4%	4.0%
	小計	59,322,346	△8.6%	19,072,956	14.9%	40,249,390	△16.7%	32.2%	25.6%
支援分 滞繰	一般被保険者	18,188,890	△5.0%	6,088,127	14.7%	12,100,763	△12.6%	33.5%	27.7%
	退職被保険者	80,070	△19.8%	63,430	237.6%	16,640	△79.5%	79.2%	18.8%
	小計	18,268,960	△5.1%	6,151,557	15.5%	12,117,403	△13.0%	33.7%	27.7%
介護分 滞繰	一般被保険者	10,406,406	△7.9%	3,541,486	9.4%	6,864,920	△14.9%	34.0%	28.6%
	退職被保険者	98,418	△52.7%	80,241	274.3%	18,177	△90.3%	81.5%	10.3%
	小計	10,504,824	△8.7%	3,621,727	11.2%	6,883,097	△16.6%	34.5%	28.3%
滞繰合計		88,096,130	△7.9%	28,846,240	14.5%	59,249,890	△15.9%	32.7%	26.3%
現年+滞繰合計		772,233,330	△0.2%	693,212,953	1.9%	79,020,377	△15.3%	89.8%	87.9%

※収納額には、還付未済額を含む。

②一人当たり調定額の状況

(単位：円、人)

区分 年度	1人当たり調定額(現年分)				年間平均 被保険者数		
	医療分	支援分	介護分	合計	医療分	支援分	介護分
R3	57,257	19,069	25,420	101,746	8,210	8,210	2,262
比較 R3-R2	599	206	272	1,077	△ 5	△ 5	△ 37
R2	56,658	18,863	25,148	100,669	8,215	8,215	2,299
R1	56,245	18,752	25,218	100,215	8,269	8,269	2,346
H30	57,338	19,137	25,621	102,095	8,485	8,485	2,488

③国民健康保険税の減免状況

(単位：円)

年度	減免区分	東日本大震災(原発)分	令和元年台風第19号分	新型コロナウイルス分
R3	現年 医療分	107,400	0	2,594,973
	現年 支援分	38,700	0	853,662
	現年 介護分	14,200	0	601,465
	計	160,300	0	4,050,100
R2	現年 医療分	252,600	73,400	7,057,523
	現年 支援分	85,900	23,600	2,325,635
	現年 介護分	57,900	0	1,360,442
	計	396,400	97,000	10,743,600
比較 R3-R2	現年 医療分	△ 145,200	△ 73,400	△ 4,462,550
	現年 支援分	△ 47,200	△ 23,600	△ 1,471,973
	現年 介護分	△ 43,700	0	△ 758,977
	計	△ 236,100	△ 97,000	△ 6,693,500

※令和元年台風19号分については、令和2年度まで対象

※対象は全て一般分

④国民健康保険税の税率等の推移

(単位：％、円)

区分 年度	所得割			均等割			平等割			限度額		
	医療	支援	介護	医療	支援	介護	医療	支援	介護	医療	支援	介護
R3	5.50	1.65	1.75	22,700	7,300	9,500	21,200	10,100	9,500	630,000	190,000	170,000
比較 R3-R2	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R2	5.50	1.65	1.75	22,700	7,300	9,500	21,200	10,100	9,500	630,000	190,000	170,000
R1	5.50	1.65	1.75	22,700	7,300	9,500	21,200	10,100	9,500	610,000	190,000	160,000
H30	5.50	1.65	1.75	22,700	7,300	9,500	21,200	10,100	9,500	580,000	190,000	160,000

(2) 短期被保険証及び被保険者資格証明書交付状況

①短期被保険証等

(単位：世帯)

区分 年度	短期 被保険者証	被保険者 資格証明書	対前年 短期伸率	対前年 資格伸率
R3	78	0	△31.0%	0.0%
R2	113	0	3.0%	0.0%
比較 R3-R2	△ 35	0	△34.0%	0.0%

国民健康保険税の収納状況については、現年度分の収納率が97.1%と前年比で0.5ポイントの増、滞納繰越分が32.7%と前年比で6.4ポイントの増となった。

1人当たり調定額は、前年比で医療分で599円の増、支援分で206円の増、介護分で272円の増、合計で1,077円の増となった。

また、短期被保険者証は、78世帯と前年度から35世帯の減となり、資格証明書の交付はなかった。

5 周知啓発

①広報等

広報とみや	12回(毎月)	第三者行為、限度額適用、保険証更新、ジェネリック活用、傷病手当金、その他
ホームページ	通年	各種制度のご案内
その他	随時	各種保健事業、窓口等においてパンフレット・ポスター掲示等

広報とみや、ホームページ、各種事業等の機会を活用し、国民健康保険制度の啓発に努めた。

②医療費通知

(単位：件)

年度	区分	5月	8月	11月	2月	計
R3		4,291	4,428	4,399	4,410	17,528
R2		4,282	4,238	4,297	4,336	17,153
比較 R3-R2		9	190	102	74	375

③後発医薬品（ジェネリック）利用差額通知

(単位：件)

年度	区分	6月	8月	10月	2月	3月	計
R3			89		87		176
R2		101		118		83	302
比較 R3-R2							△ 126

(単位：%)

ジェネリック 医薬品利用率 (数量ベース)	R4年3月調剤分		R3年3月調剤分		比較 R3-R2	
	先発品	後発品	先発品	後発品	先発品	後発品
	17.0	83.0	17.7	82.3	△ 0.7	0.7

健康や医療費に関する意識高揚及び医療費適正化を図るため、昨年度に引き続き医療費通知及びジェネリック医薬品（後発医薬品）差額通知を送付するとともに、新規加入者への保険証発行時にジェネリック医薬品希望シールを配付し、ジェネリック医薬品の啓発に努めた。

6 国保事業費納付金

①確定納付金額

(単位：円)

年度	区分	確定納付金額			
		医療分	支援分	介護分	合計
R3		651,170,051	245,562,781	76,880,708	973,603,540
比較 R3-R2		△ 38,822,362	500,929	8,937,641	△ 29,383,792
R2		689,992,413	245,051,852	67,943,067	1,002,987,332
R1		693,242,628	243,187,970	78,713,178	1,015,143,776

②一人当たり納付金額

(単位：円、人)

年度	区分	1人当たり納付金額				年間平均 被保険者数		
		医療分	支援分	介護分	合計	医療分	支援分	介護分
R3		79,314	29,909	33,988	143,211	8,210	8,210	2,262
比較 R3-R2		△ 4,678	79	4,435	△ 164	△ 5	△ 5	△ 37
R2		83,992	29,830	29,553	143,375	8,215	8,215	2,299
R1		83,836	29,410	33,552	146,798	8,269	8,269	2,346

平成30年度より国保都道府県単位化が開始されたことに伴い、県全体の国保保険給付費の財源に充てるため、県が全体の必要額を市町村の被保険者数、世帯数、所得水準及び医療費水準に応じ按分し、また、滞差緩和措置により調整した事業費納付金を、県に納付した。

項 目	52. 後期高齢	担 当	保険・年金担当
	(後期高齢者医療特別会計)		
総合計画	第3編 元気と温かい心で支えるまち！ 1-3 医療		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	407,468,000	403,384,165	円 円 円 円 円 309,118,853 94,265,312
事業名	後期高齢者医療事業		

I 事業の趣旨（目的）

後期高齢者医療に係る各種届出の受理、保険料の徴収など市民に身近な業務について円滑かつ効果的に推進し、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携のもと、将来に渡る安定的な医療の供給を図ります。

II 実施内容及び実績

I 事業決算概要

1 後期高齢者医療被保険者状況（令和4年3月末現在）

（単位：人、％）

項目	年度	R3	R2	伸び率 R3-R2
65歳～74歳までの者		32	36	△ 11.1
75歳以上の者		4,813	4,574	5.2
合 計		4,845	4,610	5.1

2 医療費の給付状況（現物分）

（単位：件、円、％）

項目	年度	R3	R2	伸び率 R3-R2
療養給付	件 数	133,440	127,943	4.3
	費 用 額	3,903,317,570	3,498,756,243	11.6
	保険者等負担額	3,444,962,991	3,088,631,431	11.5
	一人当たり費用額	831,024	766,095	8.5
療養費	件 数	1,290	1,408	△ 8.4
	費 用 額	7,996,310	9,469,857	△ 15.6
	保険者等負担額	7,105,369	8,378,037	△ 15.2
	一人当たり費用額	1,702	2,074	△ 17.9
合 計	件 数	134,730	129,351	4.2
	費 用 額	3,911,313,880	3,508,226,100	11.5
	保険者等負担額	3,452,068,360	3,097,009,468	11.5
	一人当たり費用額	832,726	768,169	8.4

※ 一人当たり費用額については、費用額を被保険者数平均値（令和3年度：4,697人）で除して得たもの。

※ 療養費については、柔道整復術の情報のみ記載。

3 後期高齢者医療保険料の調定と収納状況

（単位：円、％）

区分		調定額 A	対前年 伸び率	収納額 B	対前年 伸び率	還付未済額 C	収納率(B-C)/A	
							R3	R2
現年度分	特別徴収分	202,473,200	3.8	202,640,900	3.8	167,700	100.0	100.0
	普通徴収分	105,271,000	3.0	103,461,991	3.2	119,100	98.2	98.1
	計	307,744,200	3.5	306,102,891	3.6	286,800	99.4	99.3
滞納繰越分	普通徴収分	6,008,205	1.8	2,196,903	22.7	0	36.6	30.3
	計	6,008,205	1.8	2,196,903	22.7	0	36.6	30.3
合 計	特別徴収分	202,473,200	3.8	202,640,900	3.8	167,700	100.0	100.0
	普通徴収分	111,279,205	2.9	105,658,894	3.5	119,100	94.8	94.4
	計	313,752,405	3.5	308,299,794	3.7	286,800	98.2	98.0

4 各種検診助成額等

65歳～69歳以下（対象者7人）で一定の障がいがあると認定された後期高齢者医療保険対象者に対して助成。

（単位：人、円）

年度	区分	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮がん (頸部・体部)	肺がん (略痰)	前立腺 がん	合 計
R3	助成単価	1,800	500	1,800	2,100	500	1,000	
	受診者数	0	2	0	0	0	1	3
	助 成 額	0	1,000	0	0	0	1,000	2,000
R2	助成単価	1,800	500	1,800	2,100	500	1,000	
	受診者数	0	0	0	0	0	0	0
	助 成 額	0	0	0	0	0	0	0
比較 R3-R2	助成単価	0	0	0	0	0	0	
	受診者数	0	2	0	0	0	1	3
	助 成 額	0	1,000	0	0	0	1,000	2,000

5 一部負担金免除状況

①東日本大震災（原発）分 （単位：人、円）

	対象者数	免除額
R3	3	516,264
R2	4	606,495
比較 R3-R2	△ 1	△ 90,231

②令和元年台風第19号分 （単位：人、円）

	対象者数	免除額
R3	0	0
R2	2	27,198
比較 R3-R2	△ 2	△ 27,198

※免除は令和2年9月30日で終了

6 広報活動

広報とみや・各種パンフレット及びポスターに後期高齢者医療保険料、被保険者証の交付等についての記事の掲載を行ったほか、被保険者証交付の際に後期高齢者医療制度のパンフレットの添付を行い、対象者へ後期高齢者医療制度の周知を図った。

保健福祉部 子育て支援課

項 目	53. 子ども医療助成 (3款1項7目)	担 当	給付支援担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	299,310,000	293,773,884	1,254,600 29,485,950 690,370 262,342,964

事業名	①子ども医療費助成事業

I 事業の趣旨（目的）

18歳に達した年の年度末までの子どもに係る医療費の一部を、保護者に助成することにより、子どもの適正な医療機会の確保及び子育て家庭における経済的負担の軽減を図ります。

II 実施内容及び実績

1 対象人数

（単位：人）

区 分	人 数
R3	県補助対象者 1,870
	市補助対象者 9,026
	計 10,896
R2	県補助対象者 2,012
	市補助対象者 9,162
	計 11,174
比較 R3-R2	県補助対象者 △ 142
	市補助対象者 △ 136
	計 △ 278

※県補助対象者とは、子ども医療費助成受給登録者のうち、入院・入院外について、未就学児で、保護者が宮城県で定めている所得制限以内の者

※市補助対象者とは、子ども医療費助成受給登録者のうち、県補助対象者以外の者

2 助成件数・助成額

（単位：件、円）

区 分	件 数			助 成 額		
	入 院	入院外	計	入 院	入院外	計
0～2歳	159	18,710	18,869	7,726,334	30,573,017	38,299,351
3～6歳	73	28,176	28,249	2,737,838	37,902,560	40,640,398
7～9歳	45	23,683	23,728	2,398,037	43,544,713	45,942,750
10～15歳	135	51,704	51,839	9,134,209	105,680,063	114,814,272
16～18歳	80	12,567	12,647	5,812,456	27,719,663	33,532,119
R3 計	492	134,840	135,332	27,808,874	245,420,016	273,228,890
	(食事療養対象)		407	(うち食事療養分)		991,840
R2 計	522	115,686	116,408	26,160,176	200,941,167	227,101,343
	(食事療養対象)		407	(うち食事療養分)		1,087,770
比較 R3-R2	△ 30	18,954	18,924	1,648,698	44,478,849	46,127,547
	(食事療養対象)		0	(うち食事療養分)		△ 95,930

※6歳及び18歳については、各年齢に達した後の最初の3月31日までを記載

※0～2歳の「入院」については、未熟児養育医療費の「保護者自己負担額」を含む

※令和2年10月診療分より、小学4年生以上に設けていた所得制限を撤廃

事業名	②母子・父子家庭医療費助成事業

I 事業の趣旨（目的）

母子・父子家庭に対して医療費を助成することにより、母子・父子家庭の生活の安定と福祉の増進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 対象人数（単位：人）

区 分	人 数
R3	860
R2	962
比較 R3-R2	△ 102

2 助成件数・助成額（単位：件、円）

区 分	件 数			助 成 額		
	入 院	入院外	計	入 院	入院外	計
国 保	9	587	596	147,443	1,863,852	2,011,295
社 保	13	1,211	1,224	518,293	3,097,359	3,615,652
R3 計	22	1,798	1,820	665,736	4,961,211	5,626,947
	(食事療養対象)		16	(うち食事療養分)		26,555
R2 計	13	1,845	1,858	487,039	5,147,526	5,634,565
	(食事療養対象)		9	(うち食事療養分)		26,110
比較 R3-R2	9	△ 47	△ 38	178,697	△ 186,315	△ 7,618
	(食事療養対象)		7	(うち食事療養分)		445

事業名	③未熟児養育医療費助成事業

I 事業の趣旨（目的）

医師が入院が必要と認めた未熟児（出生時体重が2,000グラム以下又は2,000グラム以上でも生活力が特に薄弱である乳児）が、指定養育医療機関に入院した場合に、医療費の給付を行い、児童の福祉の増進を図ります。

II 実施内容及び実績

（単位：件、円）

区 分	件 数	保護者自己負担額	助 成 額
R3	13	690,370	4,777,357
R2	6	302,170	1,999,374
比較 R3-R2	7	388,200	2,777,983

項 目	54. 児童福祉総務 (3款2項1目)	担 当	給付支援担当 児童福祉担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 円 県支出金 円 地方債 円 その他 円 一般財源 円
	3,028,566,000	2,916,071,361	1,667,169,964 481,046,322 56,054,354 711,800,721

事業名	①児童扶養手当支給事業

I 事業の趣旨（目的）

ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図ります。

II 実施内容及び実績

18歳に達した年度末までの児童を養育しているひとり親家庭の母、父又は養育者及び20歳未満の障がい児を養育している父、母又は養育者の方に支給。

支給状況 (単位：人、円)

年度	項目	受給資格者数	支給額
R3		306	142,376,750
R2		333	146,374,580
比較 R3-R2		△ 27	△ 3,997,830

※児童扶養手当制度

支給金額 (令和3年4月分～令和4年3月分) (単位：円)

区 分	子ども1人の場合 (月額)	子ども2人目の加算額 (月額)	子ども3人目以降の加算額 1人につき(月額)
全部支給	43,160	10,190	6,110
一部支給	43,150～10,180	10,180～5,100	6,100～3,060

事業名	②認可保育所運営事業

I 事業の趣旨（目的）

認可保育所及び新制度幼稚園等への補助金等支援を実施し、保育及び幼児教育環境の充実に努めます。

II 実施内容及び実績

1 認可保育所運営費

No	区 分	施設名	月平均利用者数	年間委託料	備 考
1	認定こども園	上桜木果樹園の森こども園	131	116,058,850	
2		明石台若木の森こども園	126	106,002,460	
3		とみや杜の橋こども園	116	109,640,780	
4		アルシュ富谷こども園	156	137,822,250	
5	認可保育所	富ヶ丘栗の花保育園	51	73,010,290	
6		ぶらむ保育園富谷	39	66,089,750	
7		富谷ひよこ園	23	55,390,810	
8		明石台くまちゃん保育園	23	58,567,930	
9	小規模保育室	大清水ぞうさん保育園	16	35,397,770	
10		富谷ひよこの里	16	36,379,110	
11		ひよこのおうち	17	36,717,090	
12		キッズフィールド大清水園	17	36,222,460	
	広域入所委託児分		12	13,118,620	
	R3計		743	880,418,170	
	R2計		742	878,133,130	
	比較 R3-R2		1	2,285,040	

(参考) 待機児童数 (単位：人)

区 分	4月	10月
R3	0	7
R2	0	22
比較 R3-R2	0	△ 15

※待機児童数については、公立保育所、認可保育園などを含む市の保育施設全体に係る待機児童数

2 1号認定者に係る施設型給付費 ※令和3年度より教育総務課から子育て支援課へ事務移管

(1) 施設型給付費

(単位：人、円)

No.	区分	施設名	月平均利用人数	年間扶助費	備考
1	認定こども園	上桜木果樹園の森こども園	32	50,081,630	
2		明石台若樹の森こども園	27	56,548,760	
3		とみや社の橋こども園	19	24,879,320	
4		アルシュ富谷こども園	12	27,495,700	
	広域入所		2	8,516,948	
	R3計		92	167,522,358	
	R2計		65	121,834,270	
	比較 R3-R2		27	45,688,088	

(2) 公立幼稚園副食費免除 (単位：人、円)

区分	対象者数	免除額
R3	37	271,350
R2	23	238,950
比較 R3-R2	14	32,400

3 保育料

現年度分(延長・一時保育料は含まず) (単位：円)

区分	保育料額定額	収入済額	収入未済額
R3	56,260,240	56,260,240	0
R2	70,204,620	70,011,780	192,840
比較 R3-R2	△ 13,944,380	△ 13,751,540	△ 192,840

滞繰分(延長・一時保育料は含まず) (単位：円)

区分	保育料額定額	収入済額	収入未済額
R3	8,802,060	1,101,660	7,700,400
R2	9,912,220	678,500	9,233,720
比較 R3-R2	△ 1,110,160	423,160	△ 1,533,320

※令和3年度に収入未済額のうち7,598,000円を不納欠損

4 延長保育運営費等補助 (10園)

(単位：人、円)

区分	年間延べ利用児童数	補助額
R3	17,186	9,172,000
R2	16,392	9,257,000
比較 R3-R2	794	△ 85,000

5 一時預かり事業費補助【一般型】 (2園)

(単位：人、円)

区分	年間延べ利用児童数	補助額
R3	255	5,352,000
R2	527	5,604,000
比較 R3-R2	△ 272	△ 252,000

6 一時預かり事業費補助【幼稚園型】 (5園)

(単位：人、円)

区分	年間延べ利用児童数	補助額
R3	13,283	8,874,000
R2	6,673	3,692,000
比較 R3-R2	6,610	5,182,000

※令和3年度より教育総務課から子育て支援課へ事務移管

7 障害児保育事業費補助 (5園)

(単位：人、円)

区分	対象児童数	補助額
R3	8	4,080,000
R2	7	2,019,000
比較 R3-R2	1	2,061,000

8 地域子育て支援拠点事業補助 (4園)

(単位：箇所、円)

区分	施設数	補助額
R3	4	37,849,149
R2	3	28,937,000
比較 R3-R2	1	8,912,149

※令和元年度から補助開始

9 新型コロナウイルス感染症対策推進事業費補助

(単位：箇所、円)

区分	施設数	補助額
R3	9	3,740,000
R2	9	2,721,000
比較 R3-R2	0	1,019,000

10 保育士等処遇改善臨時特例事業補助

(単位：箇所、円)

区分	施設数	補助額
R3	14	4,953,100
R2		
比較 R3-R2	皆増	皆増

※令和3年度から補助開始

事業名 ③認可外保育所運営費補助事業

I 事業の趣旨(目的)

保育料の一部助成等支援を実施し、保育環境の充実を図ります。

II 実施内容及び実績

1 認可外保育施設へ通園する児童保護者への保育料助成及び預かり保育利用給付費

(単位：人、円)

区分	認可外保育園保育料補助金		施設等利用給付費		預かり保育利用給付費		計	
	延べ児童数	補助額	延べ児童数	補助額	延べ児童数	補助額	延べ児童数	補助額
R3	68	614,000	69	2,179,140	315	1,541,500	452	4,334,640
R2	122	1,005,000	144	3,531,740	259	1,255,800	525	5,792,540
比較 R3-R2	△ 54	△ 391,000	△ 75	△ 1,352,600	56	285,700	△ 73	△ 1,457,900

※預かり保育利用給付費については、令和3年度より教育総務課から子育て支援課へ事務移管

事業名	④家庭的保育事業

I 事業の趣旨（目的）

低年齢児の保育受け入れ枠の確保を図るため、保護者の労働、疾病等により日々保育に欠ける児童を、保育士等の資格を有する者が居宅において保育を実施します。

II 実施内容及び実績

1 事業費及び保育児童数

（単位：円、人）

No.	区分	施設名（所在地）	月平均利用者数	年間委託料	備 考
1	家庭的保育	らびっと保育室（あけの平）	4	9,634,920	H23.4月開始
2		保育室ハック（日吉台）	3	13,816,540	H23.4月開始
		R3計	7	23,451,460	2施設
		R2計	11	35,841,080	3施設
		比較 R3-R2	△ 4	△ 12,389,620	

※らびっと保育室は、令和2年度をもって閉所

事業名	⑤地域子育て支援事業【とみや子育てサロン】

I 事業の趣旨（目的）

子育て家庭の育児不安解消のための子育て相談及び子育て親子の交流の場の提供等を実施し、保護者の育児に対する負担緩和並びに児童の健全な育成を図ります。

II 実施内容及び実績

1 利用状況

（単位：日、人）

区分	開館日数	新規登録者数	延利用者数	一時預り登録数	一時預り利用者数
R3	199	152	3,275	37	46
R2	202	81	2,227	18	26
比較 R3-R2	△ 3	71	1,048	19	20

※平成23年6月開所以降の延利用者数：56,667人（令和4年3月末現在）。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い令和3年4月休館（休館日数、21日）した。利用再開後は、密にならないよう利用人数を制限し、午前の部、午後の部に分けて入替制とした。

一時預かりについては、令和2年4月の利用を中止し、5月から再開した。

富谷中央公民館プレイルームに移転準備に伴い、12月24日～28日（3日間）休館。

令和4年1月から、場所を富谷中央公民館の2階に移し、子育てサロンの名称についても、令和3年第4回議会定例会において条例の一部改正を行い、「西成田コミュニティセンター子育てサロン」から「とみや子育てサロン」に改めた。

2 事業内容

事業名	実施回数	事業内容
あそびのひろば	11回	季節の行事の制作活動、ごっこ遊び等
あかちゃんひろば	11回	親子ふれあい遊び、ベビーマッサージ、ベビー&ママヨガ、ベビーピクス、ベビースキンケア、わらべうた、おもちゃ作り等
子育て講座	12回	親子ピクス、1歳児のわらべうた、人形劇等親子で楽しむ活動、親のリフレッシュのための活動等
おはなしなあに	11回	絵本、紙芝居、ペープサート、パネルシアター等
わくわくタイム	22回	歌や音楽に合わせてのふれあい遊び、体操等
地域交流会	1回	地域の方との歌あそびコンサート

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和3年4月は事業を中止、5月から感染対策を行い事業を実施した。

※地域交流会は、飲食を中止とし、子育て世代親子と地域の方が一緒に楽しめる歌遊びコンサートを開催した。

事業名	⑥虐待防止連絡協議会児童部会

I 事業の趣旨（目的）

富谷市児童等虐待防止連絡協議会は、要保護児童・要支援児童及びその保護者、又は特定妊婦への適切な支援を図り、児童虐待の予防及び早期発見並びに再発防止に向けた地域での取組の推進を図ります。

II 実施内容及び実績

富谷市児童等虐待防止連絡協議会の実施

(1) 虐待相談状況

①相談件数 (単位：件、人)		
区 分	相談件数	うち要保護児童
R3	283	42
R2	211	76
比較 R3-R2	72	△ 34

※相談件数は虐待(疑い含む)のほか、養育環境の問題によって実務者会議の対象としていた件数を含む。

②虐待種別 (単位：人)					
区 分	身体的虐待	心理的虐待	*ネグレクト	性的虐待	*養育環境等
R3	83	110	41	1	48
R2	35	89	43	1	43
比較 R3-R2	48	21	△ 2	0	5

※ネグレクト：子どもに対する不適切な保護や養育。育児放棄。

※養育環境等：子どもや養育者の疾患や障がい等により、子育て環境に問題がある家庭等。

保育所や学校に所属しているケースについては、各所属機関において注意深く見守りしていただいた。また、教育委員会や警察、児童相談所等と情報共有等を行い対応した。困難事例は必要時個別ケース検討会議を実施し、支援方針の検討を行った。

(2) 代表者会議及び研修会

実施月日	出席者数	内 容
R3. 6. 30	50	令和2年度事業内容及び令和2年度児童虐待児童虐待相談状況報告と令和3年度事業計画の審議を行った。 研修 「児童虐待の現状と対応について」 講師 宮城県中央児童相談所 所長 中川 恵子 氏

(3) 要保護児童実務者会議

実施月日	案件数	出席者数	内 容
R3. 7. 13	34	33	各関係機関が参集し要保護児童の現状の確認、今後の支援方針等について検討した。
R3. 10. 26	21	34	
R4. 2. 8	19	20	

※第3回目は新型コロナウイルスの感染拡大により、規模縮小しオンラインにより開催した。

(4) 未就学要支援児童・特定妊婦実務者会議

実施月日	案件数	出席者数	内 容
R3. 9. 21	16	4	未就学要支援児童及び特定妊婦の現状の確認、今後の支援方針等について検討した。
R4. 2. 8	26	4	

※第2回目は新型コロナウイルスの感染拡大により、規模縮小しオンラインにより開催した。

(5) 実務者研修会

令和4年2月1日開催予定としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催延期とした。

事業名	⑦病児・病後児保育室運営事業

I 事業の趣旨（目的）

病児又は病気の回復期にあるために、集団保育等が困難な児童又は保育施設において保育時間内に体調が不良となった児童で、保護者の勤務の都合等により家庭での保育が困難な児童を、診療所等において一時的に預かり、保育を実施することにより、保護者の子育てと就労等の両立支援及び児童の健全な育成を図ります。

II 実施内容及び実績

【医療機関】 (単位：人、日、円)

区 分	年間延利用数	年間利用日数	委託料
R3	61	95	17,461,200
R2	31	45	12,048,400
比較 R3-R2	30	50	5,412,800

【保育施設】 (単位：人、日、円)

区 分	年間延利用数	年間利用日数	委託料
R3	378	309	13,416,000
R2			
比較 R3-R2	皆増	皆増	皆増

【医療機関】タウンクリニックえん、こゝろ小児科、宮城県済生会こどもクリニック

【保育施設】上桜木果樹園の森こども園、明石台若樹の森こども園、とみや社の森こども園

事業名	⑧ファミリー・サポート支援事業

I 事業の趣旨（目的）

ファミリー・サポート支援事業は、安心して子育てができる地域社会を構築するため、市民相互の支援活動を組織化し、地域全体での子育て支援を推進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 とみや子育てファミリー・サポート・センター事業

社会福祉法人富谷市社会福祉協議会へ業務委託し、「とみや子育てファミリー・サポート・センター」においてアドバイザーを配置し、利用会員と協力会員のコーディネート、入会説明会や協力会員登録に必要な講習会、広報紙の発行を行った。

【会員数】 (単位：人)			
区 分	R3	R2	比較 R3-R2
協力会員	69	64	5
利用会員	231	220	11
両方会員	10	9	1
合 計	310	293	17

【支援件数】 (単位：件)			
区 分	R3	R2	比較 R3-R2
預かり	144	102	42
送迎	143	162	△ 19
合 計	287	264	23

※送迎と預かりの両方を含んだ支援はそれぞれに1件ずつカウント。

2 とみや育児ヘルプサービス事業

社会福祉法人富谷市社会福祉協議会へ業務委託し、育児ヘルパーの派遣を行った。

【事業対象】

①産後ヘルプ事業：産後1か月以内で、日中、親族等からの育児や家事支援が受けられず、家事や育児が困難な家庭。

②養育支援事業：育児負担が大きく、育児ストレスや産後うつ病等により、子育てに対し不安や孤立感を抱える家庭、又は虐待のリスクを抱える家庭。

区 分	申請者数			利用人数			利用延回数			利用時間		
	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
産後ヘルプ事業	21	27	△ 6	24	18	6	107	99	8	204	188	16
養育支援事業	1	0	1	1	0	1	6	0	6	12	0	12
計	22	27	△ 5	25	18	7	113	99	14	216	188	28

(単位：人、回、時間)

事業名	⑨母子父子福祉貸付事業

I 事業の趣旨（目的）

保護を要する母子家庭及び父子家庭に対して必要な生活資金を貸し付け、生計が営めるよう援助し、母子家庭及び父子家庭の福祉の増進を図ります。

II 実施内容及び実績

(単位：人、円)			
区 分	R3	R2	比較 R3-R2
貸付人数	1	1	0
貸付額	30,000	60,000	△ 30,000

事業名	⑩子ども・子育て支援事業

I 事業の趣旨（目的）

富谷市の子育て支援に子育て当事者の意見を反映させるため、子ども・子育て会議を設置し、子育て支援施策について審議を行います。

II 実施内容及び実績

1 子ども・子育て会議

実施月日	内 容
R4.2.24 書面開催	富谷市第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等についての協議及び子どもにやさしいまちづくりの推進についての報告を行った。

2 子どもにやさしいまちづくり事業

実施月日	会議等	内 容
R3.10.27	第1回推進庁内連携会議	ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち(CFC)構成要素10項目及びチェックリスト」【富谷市版】の公表について 他
R3.12.20	第2回推進庁内連携会議	ユニセフ「日本型子どもにやさしいまち(CFC)構成要素10項目及びチェックリスト」【富谷市版】の令和2年度全体評価について 他
R3.12.28	令和2年度全体評価公表	ホームページに令和2年度富谷全体評価を公表
R4.3.14	第3回推進庁内連携会議	富谷市子どもにやさしいまち事業 令和2年度評価～子ども向け版～について 他

令和3年12月17日（公財）日本ユニセフ協会CFCI委員会と「日本型子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）実践自治体承認に関する覚書」（令和3年12月17日から令和6年12月16日まで）を締結した。

事業名	⑪放課後児童クラブ運営事業

I 事業の趣旨（目的）

放課後児童クラブ運営事業については、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供することにより、児童の健全な育成を図ります。

II 実施内容及び実績

1 放課後児童クラブ登録人数（令和4年3月現在）

（単位：人）

児童クラブ名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	R2実績	比較 R3-R2
富谷小学校	43	45	24	18	10	0	140	123	17
富ヶ丘小学校	33	37	17	18	3	0	108	96	12
東向陽台小学校	45	39	28	20	11	0	143	140	3
あけの平小学校	29	23	20	17	10	5	104	124	△ 20
日吉台小学校	41	39	29	10	5	1	125	132	△ 7
成田小学校	18	36	19	20	20	0	113	115	△ 2
成田東小学校	27	23	13	12	10	1	86	96	△ 10
明石台小学校	29	17	22	20	6	5	99	100	△ 1
計	265	259	172	135	75	12	918	926	△ 8

2 委託法人への委託料

（単位：円）

委託法人名	R3	R2	比較 R3-R2	備 考
NPO法人虹の架け橋	53,358,000	57,260,413	△ 3,902,413	富谷、明石台
NPO法人仙宮YMCAファミリーセンター	51,386,000	60,561,425	△ 9,175,425	富ヶ丘、日吉台
NPO法人せんだい社の子ども劇場	45,750,000	40,082,030	5,667,970	成田、成田東
株式会社 アンフィニ	53,880,000			皆増
計	204,374,000	157,903,868	△ 7,409,868	東向陽台、あけの平

令和3～5年度は上記の4事業者に業務委託した。

3 保護者負担金（現年分）

（単位：円）

区 分	利用料調定額	収入済額	還付未済額	収入未済額
R3	25,200,250	25,159,250	1,500	42,500
R2	22,052,500	21,985,750	0	66,750
比較 R3-R2	3,147,750	3,173,500	1,500	△ 24,250

保護者負担金（滞繰分）

（単位：円）

区 分	利用料調定額	収入済額	還付未済額	収入未済額
R3	455,750	172,250	0	283,500
R2	549,750	160,750	0	389,000
比較 R3-R2	△ 94,000	11,500	0	△ 105,500

事業名	⑫家庭相談事業（福祉事務所所管）

I 事業の趣旨（目的）

家庭における適正な児童養護に関する相談支援を行い、家庭児童福祉の向上を図ります。

II 実施内容及び実績

相談状況		(単位：件)		
項	目	R3	R2	比較 R3-R2
性格・生活習慣等		4	6	△ 2
学校生活等	不登校	4	3	1
	その他	0	2	△ 2
非行		5	2	3
家族関係	虐待	235	168	67
	その他	103	67	36
環境福祉		0	0	0
心身障害		3	0	3
その他		10	12	△ 2
計		364	260	104

※子ども家庭総合支援拠点設置に向けて家庭児童相談員2人から4人に増員し相談対応を行った。

事業名	⑬第3子以降小学校入学祝金支給事業

I 事業の趣旨（目的）

第3子以降の子が小学校に入学するに際し、監護する保護者等に対し、小学校入学祝金を支給することにより、少子化対策の推進及び子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

II 実施内容及び実績

第3子以降の子が小学校に入学する年の5月1日に富谷市内に住所を有する保護者等に対し、小学校入学祝金として、入学児童1人当たり3万円を支給。

支給状況		(単位：件、円)
区分	件数	支給額
R3	109	3,270,000
R2	108	3,240,000
比較 R3-R2	1	30,000

事業名	⑭子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 (国からの給付金)

I 事業の趣旨（目的）

児童手当（本則給付）受給世帯等に臨時特別給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援します。

II 実施内容及び実績

- 令和3年9月分の児童手当（本則給付）支給対象となる児童
- 令和3年9月30日時点で高校生相当の児童のうち児童手当（本則給付）の支給対象となる金額と同等未満の児童
- 令和4年3月31日までに生まれた児童手当（本則給付）の支給対象児童（新生児）

上記対象児童1人に対し10万円支給。

支給状況		(単位：人、円)
区分	人数	支給額
一般支給対象者	8,261	826,100,000
公務員支給対象者	1,395	139,500,000
計	9,656	965,600,000

- ・一般支給対象者については申請不要。
- ・公務員支給対象者については、所属庁からの児童手当受給証明入り申請書を市町村へ提出。

事業名	⑮子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 (独自支援分)

I 事業の趣旨（目的）

児童手当（特例給付）受給世帯等に臨時特別給付金を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯を支援します。

II 実施内容及び実績

- 令和3年9月分の児童手当（特例給付）支給対象となる児童
- 令和3年9月30日時点で高校生相当の児童のうち児童手当（特例給付）の支給対象となる金額と同等の児童
- 令和4年3月31日までに生まれた児童手当（特例給付）の支給対象児童（新生児）

上記対象児童1人に対し、市独自支援として10万円支給。

支給状況		(単位：人、円)
区分	人数	支給額
一般支給対象者	1,097	109,700,000
公務員支給対象者	47	4,700,000
計	1,144	114,400,000

- ・一般支給対象者については申請不要。
- ・公務員支給対象者については、所属庁からの児童手当受給証明入り申請書を市町村へ提出。

事業名	⑯低所得子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し失業や収入減少の中で、家計への経常収支に損害を受けた低所得のひとり親世帯等を見舞う観点から、特別給付金を支給します。

II 実施内容及び実績

ひとり親世帯分として、令和3年4月分の児童扶養手当受給者、遺族年金等受給者、新型コロナウイルス感染症の影響による家計急変者に対し、児童1人当たり5万円の給付金を支給。

また、ひとり親世帯以外分として、18歳以下（障がい児の場合20歳以下）を養育し、令和3年度住民税が非課税または非課税相当の方に対し、児童1人当たり5万円を支給した。

支給状況		(単位：人、円)
区分	人数	支給額
ひとり親世帯分	458	22,900,000
ひとり親世帯以外分	330	16,500,000
計	788	39,400,000

項 目	55. 児童措置 (3款2項2目)		担 当	給付支援担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	962,500,000	925,330,000	661,727,332	143,261,999			120,340,669

事業名	児童手当支給事業

I 事業の趣旨（目的）

家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを図ります。

II 実施内容及び実績

1 対象

中学校修了前の児童（15歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童）を養育し、富谷市内に住所を有する方に支給。

2 支給状況

(1) 児童手当

(単位：人、円)

年度	項目	被用者（0～3歳未満）		被用者（3歳～中学校修了前）		非被用者	
		延児童数	支給額	延児童数	支給額	延児童数	支給額
R3		9,390	140,850,000	62,507	658,190,000	7,272	80,045,000
R2		10,291	154,365,000	64,049	673,850,000	7,725	85,005,000
比較 R3-R2		△ 901	△ 13,515,000	△ 1,542	△ 15,660,000	△ 453	△ 4,960,000

(2) 特例給付

(単位：人、円)

年度	項目	延児童数	支給額
R3		9,249	46,245,000
R2		9,268	46,340,000
比較 R3-R2		△ 19	△ 95,000

※特例給付は所得制限該当者

(3) 合 計

(単位：人、円)

年度	項目	延児童数	支給額
R3		88,418	925,330,000
R2		91,333	959,560,000
比較 R3-R2		△ 2,915	△ 34,230,000

※児童手当制度

支給額

- ・ 3歳未満の児童1人につき 月額15,000円
- ・ 3歳以上小学校修了前の児童1人につき 月額10,000円（第3子以降の児童は、月額15,000円）
- ・ 中学生の児童1人につき 月額10,000円
- ・ 特例給付（所得制限該当者）児童1人につき（一律） 月額5,000円

項 目	5 6. 児童福祉施設 (3 款 2 項 3 目)	担 当	児童福祉担当 母子保健担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	円 625,997,000	円 584,190,113	円 260,215,000 円 257,000 円 846,214 円 322,871,899

事業名	①認可保育所設置事業

I 事業の趣旨（目的）

待機児童ゼロ達成に向け、民間による認可保育所設置のための建設費等の補助金を交付し施設整備を促進します。

II 実施内容及び実績

整備状況

事業名	内 容	整備費 (単位：円)
認可保育所設置事業	ぶらむ保育園富谷建設補助	201,730,000
認定こども園設置事業	(仮称) 明石台幼稚園建設補助	376,382,000
認定こども園整備事業	若樹の森こども園自動ドア整備補助	874,000

事業名	②子育て支援センター運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

「妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う」ための施設として『とみや子育て支援センター・とみここ』を運営します。
いつでも気軽に相談できる場として利用していただけるよう、適正な施設の管理運営を図ります。

II 実施内容及び実績

1 施設利用状況

	母	子	その他	計 (単位：人)
R3	3,247	3,100	425	6,772
R2	3,171	2,944	379	6,494
比較 R3-R2	76	156	46	278

※ 各事業について人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を徹底し事業を実施した。

2 主な運営費

	電気料	ガス使用料	水道料	電話使用料 (単位：円)
R3	1,004,852	573,405	53,020	450,152
R2	667,448	497,674	51,678	390,098
比較 R3-R2	337,404	75,731	1,342	60,054

項 目	57. 保育所 (3款2項4目)		担 当	児童福祉担当		
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他
	円	円	円	円	円	円
	451,948,000 (内R2繰越分 6,944,000円)	355,739,834 (内R2繰越分 6,630,426円)				39,955,450
						315,784,384

事業名	①保育所運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

適正な市立保育所の運営のため、研修を実施し、保育に必要な技術を学び一層の保育士の資質向上、また、施設の点検・整備・補修等により適正な維持管理を図ります。

II 実施内容及び実績

1 保育実施状況

（単位：人）

保育所名	定 員	年齢別保育児童数（月平均）						計
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
富谷保育所	70	2	8	12	13	12	13	60
富ヶ丘保育所	70	3	10	11	13	13	13	63
東向陽台保育所	60	2	5	11	13	11	13	55
成田保育所	120	4	15	17	19	18	18	91
R3		11	38	51	58	54	57	269
R2		12	43	54	48	57	57	271
比較 R3-R2		△ 1	△ 5	△ 3	10	△ 3	0	△ 2

※ 定員については、面積定員である。

2 障害児保育状況（単位：人）

保育所名	障害児保育登録数
富 谷	1
富ヶ丘	5
東向陽台	2
成 田	4
R3	12
R2	12
比較 R3-R2	0

3 児童への図書貸出状況（単位：冊、人）

保育所名	延貸出冊数	延利用人数
富 谷	657	464
富ヶ丘	235	235
東向陽台	1,234	2,474
成 田	80	55
R3	2,206	3,228
R2	1,693	1,053
比較 R3-R2	513	2,175

4 令和3年度の主な工事

・ 富谷保育所電気温水器更新工事	831,600円
・ 富谷保育所メッシュフェンス工事	4,335,100円
・ 富谷保育所自動火災報知設備工事	770,000円
・ 富谷保育所雨水排水工事	374,000円
・ 富谷保育所テラスバイオクッション工事	236,500円
・ 富谷保育所・富ヶ丘保育所排煙口修繕工事	239,470円
・ 富ヶ丘保育所・成田保育所非常灯不点修繕工事	170,500円
・ 東向陽台保育所シロアリ駆除床畳工事	231,000円
・ 成田保育所遊戯室FF暖房機交換工事	270,556円

6 保育所(園)職員研修の状況

富谷市認可保育所(園)・認定こども園職員合同研修会

(単位:人)

実施月日	内 容	会 場	参加者数
10月26日	防災教育講演会「3.11を学びに変わる」 講師 一般社団法人 スマートサプライビジョン 理事兼特別講師 佐藤敏郎 氏	富谷市役所 302・303・304会議室	64

富谷市保育連絡協議会・給食部会研修会

(単位:人)

実施月日	内 容	会 場	参加者数
4月1日 5月～1月	衛生管理 新メニュー考案	各保育所	18 19

富谷市保育連絡協議会保育士部会研修会

(単位:人)

実施月日	内 容	会 場	参加者数
11月24日	「幼児のリズム遊び」① 副園長 佐々木順子 氏	ほなみの社こども園	4
12月 8日	「絵本の読み聞かせ」 絵本専門士 太宰明子 氏	成田保育所	14
12月10日	「発達検査での保育の配慮」 臨床心理士 早川典子 氏	富ヶ丘保育所	13
12月15日	「幼児のリズム遊び」② 副園長 佐々木順子 氏	ほなみの社こども園	5
12月17日	「発達心理とベビーマッサージ」 小野佐智恵 氏	富谷保育所	12

救命講習会

(単位:人)

実施月日	内 容	会 場	参加者数
6月28日 7月 6日	心肺蘇生法講習会	富谷消防署	8 6

スポーツ指導者派遣研修会

(単位:人)

実施月日	内 容	会 場	参加者数
5月27日 6月10日 7月 8日 10月 8日 1月14日	幼児の運動発達を促す指導 「自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする 児童を育てるには」	富谷保育所	122
5月28日 6月18日 9月16日	センダイエクストレイン代表 作業療法士・大学講師 石沢憲哉 氏	富ヶ丘保育所	57
6月17日 7月29日 12月 9日 1月13日 1月21日		東向陽台保育所	94
6月11日 7月 9日 9月17日 12月17日		成田保育所	121

事業名 ②特別保育サービス事業

I 事業の趣旨(目的)

保護者の就労形態の多様化等に伴う一時的な保育及び保護者の傷病等による緊急時の保育を必要とする児童の福祉向上を図るとともに、就労時間の増加等に伴い、延長保育を実施することにより児童の健全な保育に寄与します。

II 実施内容及び実績

1 一時保育の状況

(単位:人)

保育所名	一時保育登録数			一時保育延人数		
	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
富ヶ丘	0	2	△ 2	0	2	△ 2
成 田	0	10	△ 10	0	263	△ 263
計	0	12	△ 12	0	265	△ 265

2 延長保育(有料)の状況

(単位:人)

保育所名	延長保育登録数		
	R3	R2	比較 R3-R2
富 谷	25	26	△ 1
富ヶ丘	11	11	0
東向陽台	11	11	0
成 田	17	16	1
計	64	64	0

※延長保育時間/18:00～19:00(月～金)

項 目	58. 母子福祉 (3款2項6目)	担 当	児童福祉担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	8,637,000	5,224,885	円 円 円 円 円 448,487

事業名	ひとり親家庭等自立支援事業 (福祉事務所所管)

I 事業の趣旨 (目的)

ひとり親家庭等に対し、給付金支給や費用負担をすることで、生活の安定と福祉の増進を図ります。

II 実施内容及び実績

1 母子家庭等自立支援給付金事業

自立支援教育訓練給付金は、ひとり親家庭の父又は母の主体的な能力開発の取組みを支援するもので、対象教育訓練を受講し修了した場合に給付金を支給するもの。

高等職業訓練促進等給付金は、ひとり親家庭の父又は母が資格取得のため、1年以上養成機関で修業する場合に、修業期間中の生活の負担軽減のために支給するもの。また、養成機関でのカリキュラム修了時には、1回に限り修了支援給付金を支給。

(単位: 件, 円)

項 目	件 数			給 付 額		
	R3	R2	比 較 R3-R2	R3	R2	比 較 R3-R2
自立支援教育訓練給付金	0	0	0	0	0	0
高等職業訓練促進等給付金	3	4	△ 1	3,410,000	4,130,000	△ 720,000

※高等職業訓練促進等給付金には修了支援給付金1人(50,000円)を含む。

2 母子生活支援施設及び助産施設

母子生活支援施設は、18歳未満の子どもを養育している母子家庭を入所させ、子どもの健全育成と母親の生活の自立を目指して支援する施設。

助産施設は、保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所させて助産を受けさせることを目的とする施設。

(単位: 件, 円)

項 目	件 数			給 付 額		
	R3	R2	比 較 R3-R2	R3	R2	比 較 R3-R2
母子生活支援施設	2	3	△ 1	0	0	0
助産施設	0	0	0	0	0	0

※母子生活支援施設については、令和2年度、3年度ともに県営の施設への入所であったため、入所費は発生しない。

項 目	59. 母子保健 (4款1項5目)		担 当	母子保健担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	209,672,000	175,804,898	11,159,000	3,038,000		48,300	161,559,598
事業名	①妊産婦支援事業						

I 事業の趣旨（目的）

健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えられるよう支援し、妊婦を機に母体や家族の健康に関心を持てるよう、望ましい食事や生活に関する情報を提供します。
産婦の健康維持と産後うつや虐待の予防を図ります。

II 実施内容及び実績

1 母子健康手帳交付

(単位：人、回)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
妊娠届出数	266	325	△ 59
年間回数	51	51	0

2 プレママ・プレパパ学級

(単位：人)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
参加者 妊婦	58	102	△ 44
延人数 父	20	33	△ 13

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、12回開催予定のところ9回開催となった。

3 妊婦一般健康診査

(単位：回)

年度		R3	R2	比較 R3-R2
項目				
助成回数		14	14	0
受診総回数		3,439	3,581	△ 142
再掲	委託 県内医療機関	3,296	3,504	△ 208
	県内助産院	20	0	20
	県外医療機関	7	5	2
	県外償還払い	116	72	44

4 産婦健康診査

(単位：回、人)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
助成回数	2	2	0
受診総数	551	46	505
2週間	248	31	217
1か月	303	15	288

※令和3年2月から実施。

5 産後ケア

(単位：件)

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
利用総数	46	12	34
相談型	27	5	22
デイサービス型	19	7	12

※令和2年10月から実施。

事業名	②子育て支援事業

I 事業の趣旨（目的）

乳児家庭全戸訪問や教室等を通し、保護者の育児不安の解消に努めます。
母子の交流を図り、子育てに前向きに取り組めるよう支援します。

II 実施内容及び実績

1 乳児家庭全戸訪問状況

（単位：人、件、％）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数		324	298	26
訪問数		322	291	31
訪問率		99.4	97.7	1.7

2 教室・相談

(1) 乳幼児教室の状況

（単位：回、人）

項目	年度	R3		R2		比較 R3-R2	
		開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
2か月の赤ちゃんサロン		10	71	10	97	0	△ 26
離乳ごっくん（5、6か月児）		12	135	10	102	2	33
乳もぐもぐ（8～10か月児）		6	88	5	80	1	8
食ばくばく（11～13か月児）		6	39	5	35	1	4

※赤ちゃんサロンは、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、12回開催予定のところ10回開催となった。

(2) 訪問指導・電話相談の状況

（単位：人）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
延訪問指導数		980	867	113
延電話相談数		2,095	2,215	△ 120

(3) 育児相談事業（富谷すくすく相談）

（単位：人）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数		12	12	0
相談者数（延）		191	178	13
心理相談者数		14	18	△ 4

3 育児支援

(1) 育児グループ支援事業

（単位：箇所）

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
子育てグループ数		9	9	0
代表者会参加団体数		4	4	0

(2) 子育て講座

（単位：人）

実施月日	実施内容	参加者数
R3. 5.31	遊び歌でジャンプ	27
R3. 6.25	子どもの歯を守ろう！	14
R3. 9.17	アルバムカフェで写真を・・・	11
R3. 11.19	親子の愛着と子どものこころの発達	25
R3. 12.8	子どもの運動発達を促す遊び	20
	総参加者数	97

(3) 怒鳴らない子育て講習

(単位：人)

実施月日	実施内容	参加者数
R3. 10. 1	STEP1:分かり合えるコミュニケーション STEP2:教えたことが身に付くために	14
R3. 10. 15	STEP3:自己肯定感につながるほめ方 STEP4:前もって教えて練習する方法Ⅰ	15
R3. 11. 2	STEP5:前もって教えて練習する方法Ⅱ STEP6:親子で落ち着くために	13
総参加者数		42

(4) 開放「あそびのひろば」

(単位：回、人)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数		17	18	△ 1
参加者数	乳幼児	365	539	△ 174
	親・祖父母・ボランティア	334	512	△ 178
総参加者数		699	1,051	△ 352

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業を中止した期間があった。

事業再開後は人数を制限するなど、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を徹底し事業を実施した。

(5) 現代の子育て孫育て講座

(単位：人)

実施月日	事業内容	参加者数
R3. 11. 5	現代の子育て事情や親が抱えている問題に対し、親、祖父母や地域の子育てサポーターが理解を深め、安心できる育児環境づくりを図る。	18

(6) ウェルカムパーティー

(単位：人)

実施月日	事業内容	参加者数
R3. 10. 12	転入して1年未満の親子を対象に、親子ふれあい遊びやゲームを通して仲間づくりを図る。	31

4 食育講座（クッキング講座）

(単位：回、人)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数		1	2	△ 1
参加人数		9	16	△ 7

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、3回開催予定のところ1回開催となった。

事業名

③乳幼児健診事業

I 事業の趣旨（目的）

新生児の定期的な健診を通し、子どもの成長発達を確認するとともに、保護者の育児不安の解消に努めます。

II 実施内容及び実績

1 健診

(1) 乳児一般健康診査（医療機関委託）

(単位：人)

項目	年度	R3	R2	比較 R3-R2
受診者総数		621	590	31
2か月児		315	287	28
8～9か月児		306	303	3

(2) 乳幼児健診の受診状況

(単位：人、%)

項目	R3			R2			比較（受診率） R3-R2
	受診者数	対象者数	受診率	受診者数	対象者数	受診率	
乳児（3～4か月児）健診	328	333	98.5	289	283	102.1	△ 3.6
1歳6か月児健診	350	353	99.2	439	432	101.6	△ 2.4
2歳6か月児歯科健診	346	398	86.9	343	377	91.0	△ 4.1
3歳児健診	490	491	99.8	472	475	99.4	0.4

※受診者数には、転入者及び前年度対象者で未受診者数を含む。

事業名	④経観児ケア事業

I 事業の趣旨（目的）

発達に課題がある児とその保護者を対象に、児の特徴を共有し、児に合わせた関わり方ができるよう相談や勉強会を通して支援します。

II 実施内容及び実績

1 療育支援研修

（単位：回、人）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数	5	8	△ 3
延参加者数	21	78	△ 57

2 育児カウンセリング事業

（単位：人）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
相談者数（実人員）	11	9	2
相談者数（延人員）	20	15	5

3 発達相談

(1) 発達相談事業

（単位：人）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
相談者数（実人員）	87	79	8
相談者数（延人員）	121	105	16

(2) 親と子の教室

（単位：回、組、人）

項目 \ 年度	R3	R2	比較 R3-R2
開催回数	16	16	0
対象者組（幼児・親）	25	23	2
延参加者数	255	203	52

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、19回開催予定のところ16回開催となった。

事業名	⑤感染症予防事業

I 事業の趣旨（目的）

各予防接種の公費助成と適切な予防接種を受けるための指導・接種勧奨を行い、感染症の蔓延を予防します。

II 実施内容及び実績

1 予防接種状況

（単位：人）

予防接種名	対象年齢	R3	R2	比較
		接種延人数	接種延人数	R3-R2
B C G	生後3か月～12か月未満(集団接種)	321	232	89
	“ (個別接種)	12	107	△ 95
麻疹風しん(1期)	第1期:生後12か月～24か月未満	330	362	△ 32
麻疹風しん(2期)	第2期:5歳以上7歳未満	511	525	△ 14
二種混合	小学6年生	569	542	27
日本脳炎	生後3か月～90か月未満	1,580	2,517	△ 937
	9歳～13歳未満			
ヒブ	生後2か月～5歳未満	1,334	1,290	44
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	1,327	1,255	72
子宮頸がん予防ワクチン	小学6年生～高校1年生相当の女子	170	22	148
四種混合	生後3か月～90か月未満	1,358	1,317	41
水痘(1回目)	生後12か月～36か月未満	332	385	△ 53
水痘(2回目)		327	391	△ 64
B型肝炎(1回目)	生後2か月～12か月未満	322	295	27
B型肝炎(2回目)		332	289	43
B型肝炎(3回目)		331	320	11
ロタリックス(1回目)	生後2か月～6か月未満	124	42	82
ロタリックス(2回目)		126	31	95
ロタテック(1回目)	生後2か月～8か月未満	199	111	88
ロタテック(2回目)		207	90	117
ロタテック(3回目)		218	65	153
合計		10,030	10,188	△ 158

※ロタウイルスワクチンについては令和2年10月から定期予防接種に追加された。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、定期予防接種期間内に受けられなかった方を対象に、令和3年11月1日から令和4年3月31日までの期間において、特例的に接種費用の助成を行った。

事業名	⑥特定不妊治療事業

I 事業の趣旨（目的）

不妊治療を受ける夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図るため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。

II 実施内容及び実績

1 特定不妊治療費助成状況（令和元年度より実施）

（単位：人、件、円）

項目	年度	R3	R2	比較
				R3-R2
実人員		29	23	6
助成件数		43	27	16
助成額		3,307,397	2,750,000	557,397

項 目	60. 公民館 (10款5項5目)	担 当	児童福祉担当				
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 4-1 子育て支援						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	3,308,000	3,303,380					3,303,380

事業名	子育てサロン移転整備事業

I 事業の趣旨（目的）

子育てサロンを富谷中央公民館2階に移転し、子育て家庭の育児不安解消のための子育て相談及び子育て親子の交流の場の提供等を実施することにより、更なる保護者の育児に対する負担緩和並びに児童の健全な育成を図ります。

・子育てサロン移転改修工事	2,079,000円
・看板設置工事	198,000円
・庁用器具費購入（ベンチ、滑り台等）	95,380円

項 目	6 1. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (11款3項1目)		担 当		児童福祉担当 母子保健担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 6,727,000	円 2,992,960	円	円	円	円	円 2,992,960

事業名	①令和2年度地震災害復旧事業

I 事業の趣旨（目的）

令和3年福島県沖地震（令和3年2月13日発生）による被害に対し、復旧を行うもの。

II 実施内容及び実績

内 容		(単位：円)
		事業費
富谷保育所地震災害復旧工事費		99,000
日吉台小学校児童クラブ地震被害箇所修繕工事		327,800
とみや子育て支援センター・地震被害修繕工事		286,000
成田保育所FF暖房機交換工事		675,180
成田保育所犬走等修繕工事		434,500
合 計		1,822,480

事業名	②その他公共施設・公用施設災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

令和4年福島県沖地震（令和4年3月16日発生）による被害に対し、復旧を行うもの。

II 実施内容及び実績

内 容		(単位：円)
		事業費
成田保育所災害復旧工事（緊急）		749,430
富ヶ丘保育所災害復旧工事（緊急）		8,500
富ヶ丘葉の花保育園天井換気扇修繕工事（緊急）		36,300
富谷保育所災害復旧工事（緊急）		275,000
合 計		1,069,230

内 容		(単位：円)
		事業費
富谷保育所災害復旧備品購入（緊急） （給食室消火器・特注オープン用器台）		101,250

【再掲】

富谷市福祉事務所所掌事務に関する執行状況

(単位: 円)

No.	項目	事業名	決算額	左の財源				担当課	過年度精算
				国庫支出金	県支出金	その他	一般財源		
1	35	老人ホーム入所措置事業	4,766,744	0	0	131,039	4,635,705	長寿福祉課	—
2	38	自立支援医療給付事業	27,019,404	12,696,000	6,348,000	0	7,975,404	地域福祉課	(更生医療) 国庫786,735 県 393,367
3	38	補装具交付修理事業	12,802,608	6,266,500	3,133,250	0	3,402,858	地域福祉課	国庫134,604 県 67,402
4	38	障害者自立支援給付事業	460,799,622	231,840,685	115,920,342	0	113,038,595	地域福祉課	(通がいのサービス・ 療養介護) 国庫△3,567,636 県 △1,783,818
5	38	特別障害者手当等支給事業	9,095,590	6,821,692	0	0	2,273,898	地域福祉課	同額精算
6	41	障害児育成医療費助成事業	231,819	132,000	66,000	0	33,819	地域福祉課	国庫△16,332 県 △8,166
7	43	障害児通所支援事業	242,671,608	119,081,142	59,540,571	0	64,049,895	地域福祉課	国庫1,298,296 県 649,647
8	44	生活保護総務事務	1,005,495	0	0	0	1,005,495	地域福祉課	—
9	44	生活困窮者自立支援促進事業	45,881,289	24,696,358	0	0	21,184,931	地域福祉課	国庫△3,462,372
10	44	生活保護適正実施推進事業	7,723,291	3,910,952	51,800	0	3,760,539	地域福祉課	国庫△56,400
11	44	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	6,560,000	6,560,000	0	0	0	地域福祉課	国庫△5,710,000
12	45	生活保護扶助事業	171,137,653	114,772,410	0	6,704,465	49,660,778	地域福祉課	国庫△4,554,383
13	54	家庭相談事業	12,678,549	0	5,337,000	0	7,341,549	子育て支援課	国庫△474,000
14	58	ひとり親家庭等自立支援事業	5,224,885	4,398,599	377,799	0	448,487	子育て支援課	国庫△2,106,599 県 △377,799
合 計			1,007,598,557	531,176,338	180,774,762	6,835,504	278,811,953		

※ 過年度精算△は、返還予定額。

※ No. 11 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業に係る国庫支出金の実収入額は、12,270,000円。

経済産業部 産業観光課

項 目	62. 労働		担 当		商工労政担当		
	(5款1項1目)						
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！		1-1 商工業・雇用				
			1-2 起業支援				
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	50,144,000	48,792,356	3,960,000			6,118,484	38,713,972

事業名	①労働雇用対策事業

I 事業の趣旨（目的）

高齢者の職業生活の充実、生きがいきりや健康維持等に資するため、富谷市シルバー人材センターの運営や活動等の支援に努めるとともに、就労支援による安定収入の確保を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 各種団体への補助金

(1)公益社団法人富谷市シルバー人材センター

(単位：千円)

R3	R2	R1
14,330	14,330	15,080

2 各種団体への負担金

(1)宮城県シルバー人材センター連合会	30 千円
(2)全国シルバー人材センター事業協会	50 千円
(3)全国労働保険事務組合連合会 宮城支部	40 千円

3 関係機関との連携

- (1)ハローワーク求人情報（週1回）の提供（本庁・出張所窓口及び市ホームページ）
(2)みやぎシゴトサポーターとの情報交換・情報共有

事業名	②富谷市まちづくり産業交流プラザ運営維持管理事業、サテライトオフィス定着促進事業

I 事業の趣旨（目的）

ヒト・モノ・コトが交流する地方創生・まちづくり拠点として、富谷市まちづくり産業交流プラザ（TOMI+）を運営し、起業家の育成支援や新産業の創出とともに、しんまち地区の賑わいづくりに努めます。

II 実施内容及び実績

1 富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業

(1)富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業（委託費）

24,344 千円

(単位：千円)

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業 (委託料：運営業務)	起業塾や各種セミナー運営	16,311	棚たため
富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業 (委託料：受付管理)	施設管理・受付業務	4,375	シルバー人材センター
富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業 (委託料：清掃業務)	日常清掃業務	723	シルバー人材センター
富谷市まちづくり産業交流プラザ運営事業 (委託料：維持管理)	機械警備や施設の保守点検業務	2,935	太平ビルサービス

(2) 富谷市まちづくり産業交流プラザ来館者数

来館者数：11,773人

【内訳】

(単位：人)

	R3	R2	R1	比較 R3-R2
① 産業交流プラザ受付名簿入数	2,640	3,867	2,416	△ 1,227
② 富谷塾及び各種イベント参加人数	1,174	0	1,493	1,174
③ くろかわ商工会	1,021	1,021	622	0
④ シルバー人材センター	5,856	5,908	4,889	△ 52
⑤ 富谷宿街道まつり	0	0	20,368	0
⑥ 民俗ギャラリー	1,082	832	2,280	250
合 計	11,773	11,628	32,068	145

※ 令和3年度の富谷塾は、市役所を会場に開催した。(参加者延べ174人)

(3) 市の支援による起業・創業数等

(単位：件、人)

	R3	R2	R1	合計
① TOMI+を拠点とした起業創業の実現	17	12	7	36
② IT企業等誘致数	3	8	5	16
③ 新規雇用者数	0	1	11	12

(4) 富谷塾

① 塾生数

(単位：人)

	R3	R2	R1	延べ人数
・ 塾生数	215	270	154	639
男	85	105	65	255
女	130	165	89	384

② 主な実施内容

ア 定例富谷塾 全7回 延べ174人参加

(講師)

・ ため実胸 清水義弘氏

・ 宮城大学 准教授 佐々木秀之氏

イ ベンチャー創出プログラム 16人参加

・ 開塾式 7月25日

・ 成果発表会 12月5日

ウ Startup Weekend富谷 (オンライン) 47人参加

エ ハンズオン支援 (個別相談及びグループ活動支援 など) 随時対応

(5) サテライトオフィス誘致活動

マッチングイベント 2回 参加

日程	イベント名
令和4年3月4日	総務省主催マッチングセミナー (オンライン)
令和4年3月10日	ビジネスマッチ東北2022春 (夢メッセみやぎ)

(6) おためしイノベーションTOMIYAによる実証事業 (R3～R4)

実証事業	担当課
「参加型合意形成プラットフォーム」により広くアイデアを集め解決方法を探る実証	市民協働課
幼児教育無償化に係る保護者、関係施設及び行政の3者間における申請手続きの負担軽減を目指し、業務アプリ開発ソフトを活用した業務プロセスを構築し、効率的なサービスの提供について実証	教育総務課
「とみばす」の入金申請のシステム操作を簡易化し、出張所での申請も可能とする利用者の利便性向上について実証	総務課 長寿福祉課
アートを活用した情報発信及び集客により、大亀山森林公園の利用者を増加させ、維持管理コストの軽減と収益化について実証	都市計画課

(7) 新型コロナウイルス感染防止対策

・ サーマルカメラ及び飛沫防止パネル設置

736千円

2 サテライトオフィス定着促進事業

(1) サテライトオフィス企業定着促進事業（委託費）

5,280 千円

（単位：千円）

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
「富谷市まちづくり産業交流プラザ」サテライトオフィス企業定着促進業務(委託料)	サテライトオフィス企業への地元雇用を見据えた人材育成等	5,280	様ためま

(2) 主な実施内容

- ア サテライトオフィス企業への地元雇用を見据えた人材育成
 - ・ ITスキル向上コースの開発
 - ・ サテライトオフィス開設検討セミナー 5回
- イ おためし移住補助事業
- ウ 情報発信ツールの充実
 - ・ TOMI+ホームページリニューアル及び富谷塾専用サイトの構築
- エ サテライトオフィス定着支援
 - ・ 地域再生計画作成プロジェクトチーム設置

項 目	63. 商工総務・商工振興 (7款1項1～3目)	担 当	商工労政担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 2-2 商業・観光 2-3 観光・地域振興		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 727,508,000 (内R2繰越分 3,757,000円)	円 694,370,552 (内R2繰越分 750,000円)	国庫支出金 円 10,996,158 県支出金 円 285,797,000 地方債 円 その他 円 53,306,156 一般財源 円 344,271,238

事業名	①商工総務事務、観光物産振興対策事業

I 事業の趣旨（目的）

地場産品の販路拡大を図るとともに、6次化を見据えた地場産業の活性化を推進する。また、しんまち地区の街並みや有形・無形の文化財などの歴史・文化資源を活用した市内の観光PRを実施し、本市の魅力を広く発信しながら関係人口の拡大による地域活性化を推進するもの。

II 実施内容及び実績

1 観光振興事業

- (1) 仙台・宮城観光キャンペーンへの参画（負担金） 520 千円
- (2) 宮城黒川地域地場産業振興への参画（負担金） 66 千円
- (3) 公式キャラクター「ブルベリッ娘&ブルピヨ」PRグッズ作成 74 千円
(シール1,000枚)

2 地場産品の振興等

- (1) 「Native of MIYAKURO～Nine marché～」への参加
- (2) 新聞、月刊誌、タウン誌へのブルーベリー等関連情報の掲載
- (3) テレビ、ラジオによるブルーベリー等関連情報の放送提供

事業名	②商工団体育成事業、店舗取得・改修促進事業

I 事業の趣旨（目的）

商工業の振興と地域産業の活性化を図るため、その中核を担うくろかわ商工会との連携により経営者や起業家への支援を行うとともに、新たな事業展開や販路の拡大など、地域経済の活性化に繋がる事業の推進に努めるもの。

II 実施内容及び実績

1 商工関係団体育成事業

(1) 商工業振興補助金

(単位：千円)

年 度	R3	R2	R1
くろかわ商工会	5,894	5,894	7,794
・運営費	5,494	5,494	5,494
・イベント費	400	400	2,300

2 店舗取得・改修促進事業

- (1) 店舗取得・改修促進事業補助金 3件 1,800千円

事業名	③中小企業制度融資事業

I 事業の趣旨（目的）

中小企業者の経営の合理化と健全なる発展を図るため制度融資等を行い、経営の安定化・事業拡充・産業振興・創業支援の推進に努めるもの。

II 実施内容及び実績

1 制度融資事業

(1)貸付件数・貸付額

（単位：件、千円）

年 度	R3		R2		R1	
区 分	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額	貸付件数	貸付金額
中小企業振興資金	28	187,500	12	67,400	32	237,790

(2)保証料補給金・利子補給金

（単位：千円）

年 度	R3		R2		R1	
保証料補給金		4,973		2,780		9,032
利子補給金		2,341		3,617		5,007

(3)融資斡旋に係る原資の預託

・預託先 取扱金融機関（七十七銀行、仙台銀行）

・預託金額

（単位：千円）

年 度	R3		R2		R1	
中小企業振興資金		46,350		46,650		43,700

(4)創業支援資金融資利子補給金

（単位：千円）

年 度	R3		R2		R1	
利子補給金		519		385		167

(5)小規模事業者経営改善資金融資利子補給金

（単位：千円）

年 度	R3		R2		R1	
利子補給金		18		2		

事業名	④企業誘致事業

I 事業の趣旨（目的）

企業立地を促進し、地域産業の振興及び新たな雇用の創出、雇用機会の拡大を図るため、企業誘致の推進に努めるもの。また、新たなビジネス創出や事業拡充等を推進するため、企業同士のネットワークを構築することを目的に情報交換の場の創出を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 企業立地促進事業

(1)企業立地促進奨励金

①日本ファインセラミックス株式会社

4,190千円

（内訳）企業立地促進奨励金

3,690千円

雇用促進奨励金

500千円

2 宮城県企業立地セミナー参加

(1)宮城県企業立地セミナー in Tokyo

中止

(2)宮城県企業立地セミナー in Nagoya

中止

3 富谷でつながるビジネス交流会

中止

4 富谷市企業向けメールマガジンの配信（新規）

(1)内 容

市内各企業や関係企業に対し、市の情報を発信すると共に、市内企業の紹介や参加企業から発信したい情報を募集し、企業同士のネットワーク構築を図るもの。

(2)登録数

82社 110人

事業名	⑤スイーツのまち推進事業、 スイーツフェア事業、とみやスイーツ活性化事業

I 事業の趣旨（目的）

「スイーツのまち＝とみや」というシティブランドを確立するため、6次化の推進及び関係人口の拡大を図るとともに、とみやスイーツフェア事業により、富谷産の一次産品の知名度や価値を高めることで、特産品としての魅力拡大を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 スイーツのまち推進事業

新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

2 とみやスイーツフェア事業

1,258 千円

(1) 目的

市内スイーツ及びパン専門店において市の特産品（ブルーベリー・シャインマスカット・イチジク・ハチミツ）を用いたとみやスイーツを販売するフェアを開催し、富谷産の一次産品の知名度や価値の向上をねらう。

(2) 実施内容

①とみやブルーベリースイーツフェア

- ・開始式（7月1日 富谷宿観光交流ステーション「とみやど」にて開催）
- ・フェア開催（7月3日～18日 市内参加協力店 12店）

②秋のとみやスイーツフェア

- ・開始式 中止（宮城県まん延防止等重点措置適用期間のため）
- ・フェア開催（9月25日～10月10日 市内参加協力店 12店）

3 とみやスイーツ活性化事業

110 千円

(1) 目的

スイーツ基金を基にスイーツのまちとしてのシティブランド確立に向けた地域産業振興の推進を通じて、将来を担う子どもたちの健全な育成を図る。

(2) 実施内容

実施内容	団体名	内容
とみやはちみつプロジェクト 出前授業	富谷小学校	養蜂見学や蜜蜂の生態等の環境教育
ブルーベリースイーツ商品開発体験	富ヶ丘小学校	ブルーベリーを使ったメニュー開発
デコスイーツ教室	富ヶ丘公民館	紙粘土を用いたスイーツ製作に併せ、スイーツ詰め合わせの配布とPR
とみここ・ウェルカムパーティー	とみや子育て支援センター	転入者へスイーツ詰め合わせの配布とPR
ジェラート製造体験会	市内スイーツ店	食品製造の体験

4 とみやスイーツ基金（積立金）

3,617 千円

事業名	⑥街道まつり運営事業、新年祝賀会事業

I 事業の趣旨（目的）

令和2年度に宿場町「富谷宿」が開宿400年を迎えたことから、しんまち地区活性化プロジェクト開宿400年記念として、富谷宿「街道まつり」を開催するもの。また、年頭にあたって市民のご多幸と恒久的な発展を祈念した祝賀会を実施するもの。

II 実施内容及び実績

1 街道まつり運営事業

実施予定日	団体名	委員数	補助金交付額	来場者数
令和3年10月10日	富谷宿「街道まつり」実行委員会	24人	0千円	-

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を延期

2 新年祝賀会事業

実施予定日	会場	参加者数	比較 R3-R2
令和4年1月5日	富谷スポーツセンター	-	-

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い開催を中止

事業名	⑦富谷宿観光交流ステーション運営事業

I 事業の趣旨（目的）

かつての宿場町の面影が残るしんまち地区において、旧醤油屋跡地をリノベーションした「富谷宿観光交流ステーション（とみやど）」を令和3年5月15日にオープンした。新たな観光の拠点として、本市の魅力発信と交流人口の拡大を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 富谷宿観光交流ステーション運営事業

(1) 富谷市観光交流拠点推進事業業務委託

14,333,660円

① 富谷宿観光交流ステーションへの誘客

ア イベント企画運営

・セタウィーク	7月31日～8月8日
・オープン記念セレモニー	10月10日
・TOWIYADO MUSIC WEEK	11月1日～11月15日
・冬のART FESTIVAL（とみやどイルミネーション）	12月4日～1月10日
・とみやどで昔あそびをしてみよう！	1月15日
・とみやど発祥ぶくぶくDay	3月19日～3月21日
・とみやどいちご祭り	3月26日～3月27日

イ 富谷宿観光交流ステーションプロモーション

- ・テレビ・CMによる情報発信
- ・ラジオによる情報発信
- ・SNS（Instagram・Facebook）による情報発信
- ・ショートムービーの制作

② 地方創生に向けた地域振興組織の設立

- ・設立日：令和4年2月17日
- ・法人名：株式会社1038
- ・出資比率：株式会社VISIT東北 約70%、個人 約15%、富谷市 約15%
- ・事業内容：物産振興、とみやどを中心とした観光資源の発掘・商品化など

③ テストマーケティング

- ・地域産品のテストマーケティング：ブルーベリー商品やいちごなどをとみやどで販売
- ・旅行商材のテストマーケティング：視察の受入れやしんまち巡り酒蔵ツアーなど
- ・ECサイトの構築

(2) 来場者数 155,891人

(単位：人)

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	15,523	23,684	22,068	16,050	12,817	18,473	14,513	7,801	6,844	8,064	10,054

※10月16日に来場者年間目標の10万人を達成。

(3) 指定管理者の指定

- 公募により令和4～5年度の2年間、富谷宿観光交流ステーションの指定管理者を指定。
- ・株式会社1038

(4) 新型コロナウイルス感染防止対策

- ・サーマルカメラ及び飛沫防止パネル設置 2,444 千円

事業名	⑥経済支援対策事業

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市内の事業者においては、かつてない苦境に追い込まれていることから、国や県で実施する支援策を動かしつつ、事業を継続できるよう独自の経済支援を実施し、経営の安定化と地域経済の活性化を図るもの。

II 実施内容及び実績

（単位：円）

No.	事業名・内容	事業費	備考
1	事業継続支援事業 令和3年1～6月のうち、任意のひと月の売上高が、前年又は前々年同期と比較して20%以上減少している事業者に対し、一律20万円を支給。	83,800,000	419件
2	テイクアウト等利用促進事業 市内登録店舗でテイクアウトまたはデリバリーを利用する際に使えるクーポン券1,000円を市内全世帯（1世帯あたり1枚）に発行。	8,466,500	7,999枚
3	地域振興商品券交付事業 市内登録店舗で利用できる商品券3,000円分（1冊500円券6綴り）を令和3年7月1日（基準日）において富谷市の住民基本台帳に記録されている全市民を対象に交付。併せて、次の商品券交付事業を実施。 ①ひとり親世帯地域商品券交付事業 ②生活困窮者支援地域商品券交付事業	170,645,050	310,610枚
4	新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金支給事業 県の要請に応じて対象施設の営業時間短縮等の要請に全面的に協力した事業者に対して、協力金を交付。 要請期間及び支給額 ①第5期（延長分含む）：4月5日～5月11日 1,360,000円 ②第10期：8月20日～8月26日 175,000円～1,400,000円 ③第11期：8月27日～9月12日 680,000円～3,400,000円 ④第12期：9月13日～9月30日 450,000円～1,350,000円	252,130,387	329件 （内訳） ①第5期 66件 ②第10期 87件 ③第11期 90件 ④第12期 86件
5	新規店舗開業支援事業 令和3年1～6月のうち、新規に来客を伴う店舗等を開業した事業者に対し、一律20万円を支給。	2,900,000	14件
6	宮城県認証店舗支援事業 県が実施する「選ぶ！選ばれる！みやぎ飲食店コロナ対策認証制度」によって認証を受けた市内飲食店に対して、1店舗あたり5万円を支給。	1,400,000	28件
7	時短要請等関連事業者支援事業 宮城県時短要請等関連事業者支援金【8,9月分】の交付決定を受けた事業者に対して、上乗せ補助として一律10万円を支給。	3,600,000	36件
計		522,841,937	

項 目	64. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (11款3項1目)		担 当		商工労政担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	198,000	198,000					198,000

事業名	令和2年度地震災害復旧事業

I 事業の趣旨（目的）

令和3年2月13日に発生した福島県沖地震及び令和3年3月20日に発生した宮城県沖地震により、まちづくり産業交流プラザに被害が生じたため、必要な修繕を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 施設の修繕

(1) まちづくり産業交流プラザ地震被害修繕工事（外壁一部塗装）

198 千円

經濟產業部 農林振興課

項 目	65. 企画 (2款1項6目)		担 当		農林振興課		
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 3-2行財政経営						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	6,266,000	5,757,521					5,757,521

事業名	移住支援事業

I 事業の趣旨（目的）

地域おこし協力隊・農業クリエイターを活用し、地域農業の活性化・地域振興を図りながら、移住・定住の促進を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 地域おこし協力隊・農業クリエイターに関する事業

地域農業の活性化や地域振興などの活動支援とともに、地域おこし協力隊・農業クリエイターの受入企業及び農業クリエイターの募集・採用業務を行った。

(1) 地域おこし協力隊・農業クリエイター支援業務委託

- ・業務委託（任用）期間 令和3年8月1日から令和4年3月31日
- ・事業費（協力隊員2人） 5,757,521円

①地域おこし協力隊・農業クリエイター受入企業

1 株式会社 EIGHT CROWNS （所在地：富谷市富谷新町）	： 農業クリエイター1人
2 特定非営利活動法人 SCR （所在地：富谷市成田）	： 農業クリエイター1人

②事業内容

農産物生産、商品開発、販売促進など、農業等及び地域の振興に関する総合的な業務

③事業結果

受入企業3社を募集し、2社から応募があり面接審査を行い受入企業を決定し、農業クリエイターの募集には、1社に1人ずつの応募があり、面接審査を行い採用し、令和3年8月1日から地域おこし協力隊・農業クリエイターとして委嘱を行った。

項 目	66. 農業委員会 (6款1項1目)	担 当	農業委員会
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 2-1 農業		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	7,920,000	7,278,660	2,074,000 305,100 4,899,560

事業名	農業委員会運営事務

I 事業の趣旨（目的）

・優良農地の確保と有効利用に向けた利用状況調査を行い、認定農業者等の担い手への農地利用の集積・集約化を図るとともに、遊休農地の発生防止や解消、新規参入の促進による農地等の利用の効率化を図り、農地等の利用の最適化に努めていく。

・農業者の老後生活の安定・福祉の向上と農業者の確保に資するため、農業者年金制度の普及推進活動に努めるとともに、農業者年金受給権者や待機者の適正受給等が行えるよう、相談・指導等を行なう。

II 実施内容及び実績

I 事業決算概要

1 会議の開催状況

農業委員会総会 11回

2 所掌事務処理

(単位：件、筆、㎡)

区 分	R3		R2		R1		処理面積(R3)		処理面積 計(R2)
	件数	筆数	件数	筆数	件数	筆数	田	畑	
農地法 第3条	所有権移転	5	7	11	14		2,338	788	3,126
	賃貸借権設定	4	28	8	6		25,329	0	25,329
	使用貸借権設定	6	13	0	2		13,444	0	13,444
	計	15	48	19	22		41,111	788	41,899
農地法 第4条	許可	1	1	1	2		420	0	420
	届出	0	0	1	1		0	0	0
	計	1	1	2	3		420	0	420
農地法 第5条	所有権移転(許可)	3	3	1	5		585	0	585
	賃貸借権設定	7	8	6	6		7,093	1,762	8,855
	使用貸借権設定	0	0	0	3		0	0	0
	所有権移転(届出)	0	0	1	2		0	0	0
	賃貸借権設定	0	0	0	0		0	0	0
	使用貸借権設定	0	0	0	0		0	0	0
	計	10	11	8	16		7,678	1,762	9,440
農地法 第18条	賃貸借権解除	2	7	8	3		14,594	4,108	18,702

3 農家戸数 (単位：戸)

R3	R2	R1
423	426	428

4 農業者年金事務処理状況

(1) 農業者年金加入者状況 (単位：人)

区 分	R3	R2	R1
被保険者	3	5	5

(2) 農業者年金受給状況 (単位：人)

区 分	R3	R2	R1
①経営移譲年金受給者	28	31	34
②農業者老齢年金受給者	25	23	23
③特例老齢年金受給者	6	6	6
④併給(経営移譲・老齢年金)	10	13	14
⑤その他(60歳以上の受給待機者)	5	6	6
合 計	74	79	83

項 目	67. 農業振興 (6款1項3目)		担 当	農林担当		
総合計画	第1編 暮らしを自給できるまち！ 2-1 農業					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
	円 35,535,000 (内R2繰越分 1,969,000円)	円 30,485,665 (内R2繰越分 1,969,000円)	国庫支出金 円 0	県支出金 円 3,112,545	地方債 円	その他 円 161,000

事業名	①農業振興事務

I 事業の趣旨（目的）

富谷市農政協力員とともに地域の農業振興を図るとともに、農家の経営負担の軽減を目指す。

II 実施内容及び実績

農業振興に関する補助事業

(単位：千円)

No	補助対象事業名	交付先	金 額
1	農業近代化資金利子補給金	新みやぎ農業協同組合	17
2	黒川農作物病害虫防除推進協議会	新みやぎ農業協同組合	705
3	環境保全米対策事業	新みやぎ農業協同組合	2,196
4	環境保全型農業直接支払交付金事業	J A新みやぎあさひな水稲部会 (有) 大野グリーンファーマーズ	2,072 79
5	環境保全型農業直接支払推進事業	J A新みやぎあさひな水稲部会	90
6	感染症対策農畜産業支援資金利子補給補助金	新みやぎ農業協同組合	67
合 計			5,226

事業名	②農作物有害鳥獣駆除事業

I 事業の趣旨（目的）

農作物の鳥獣被害による被害軽減を図るとともに突発的な有害鳥獣の出没による被害拡大を防ぎ、地域による被害被害対策の支援を行い、地域での被害対策啓蒙を図る。

II 実施内容及び実績

1 農作物有害鳥獣駆除における補助事業

(単位：千円)

No	補助対象事業名	交付先	金 額
1	農作物有害鳥獣対策事業	富谷市農作物有害鳥獣対策協議会	11,164
2	鳥獣保護対策事業	富谷市瑞友会	50
3	イノシシ被害対策物理柵設置事業	行政区（6地区）	1,980
4	イノシシ被害対策物理柵維持管理事業	行政区（6地区）	980
5	鳥獣被害防止電気柵等設置事業	市内農家27人	943
6	良質米推進対策事業（野鳥駆除事業）	新みやぎ農業協同組合	187
合 計			15,304

2 イノシシ捕獲頭数

(単位：頭)

R3	R2	R1
71	79	77

3 ICT捕獲機器保有数及び捕獲頭数

※ 機器数（捕獲数）

(単位：基、頭)

年度	囲いわな	カメラ	くくり置センサー	計（捕獲）
R3	1 (10)	6 (1)	20 (12)	27 (23)
R2	1 (6)	3 (3)	10 (4)	14 (13)

4 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金（整備事業）

※ 物理柵（ワイヤーメッシュ）設置事業

(単位：km)

地 区 名	三ノ関	今泉	大亀	明石	石積	西成田	合計
R3	3.0	4.0	2.0	4.2	2.0	4.6	19.8
R2				7.2	14.0	3.0	24.2
R1				4.3	7.0		11.3

事業名	③レクリエーション農園支援事業

I 事業の趣旨（目的）

休耕田の有効活用としてレクリエーション農園を開園する農業者への助成及び市内外の都市住民に農園利用の機会を登るとともに貸し農園を利用いただけるよう啓発及び支援を行う。

II 実施内容及び実績

農園利用方式（単年度契約更新型）によるレクリエーション農園を実施。

（単位：箇所、区画、人）

区 分	農園数	総区画数	供給区画数	利用者数
R3	25	546	387	183
R2	27	567	392	188
R1	27	564	441	209

事業名	④農業用廃プラスチック適正処理事業

I 事業の趣旨（目的）

黒川地域農業用プラスチック適正処理推進協議会に参画し、農業用廃プラスチック等の回収及び適正処理を実施。

II 実施内容及び実績

農業用廃プラスチックにおける補助事業

（単位：千円）

補助対象事業名	交付先	金 額
黒川地域農業用プラスチック適正処理推進協議会	新みやぎ農業協同組合	18

事業名	⑤ブルーベリー産地拡大事業

I 事業の趣旨（目的）

ブルーベリーの栽培面積の拡大を図るため、新品種の導入を含めた苗木の新規植栽への支援を推進するため、ブルーベリー成木育成事業を行い、新植用苗木を市の土壌に定植しやすい苗木に育成するとともに補植への資材の支援等を行う。PR及び消費拡大に繋がるようブルーベリースイーツフェア等に食材として供給する。

II 実施内容及び実績

（単位：千円、人）

名 称	R3	R2	R1
ブルーベリー専任アドバイザー事業費	28	15	22
マイスター・ブルーベリー成木育成事業費	123	145	5
ブルーベリーサポーターズ事業費	70	63	51
ブルーベリーサポーターズ事業（参加人数）	15	14	14
ブルーベリー産地拡大事業補助金	400	358	119

市内ブルーベリー栽培面積（単位：㎡）

R3	R2	R1
57,315	56,672	54,672

事業名	⑥認定農業者支援事業

I 事業の趣旨（目的）

認定農業者の経営軽減及び新規就農者の農業参入を推進を図り、農業の担い手、後継者等となる認定農業者の増を目指す。関係機関と連携を図りながら、担い手が行う農業経営の収益性を高めながら、地域の中心となる農業者としての役割を担う取り組みへの支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 認定農業者支援における補助事業

（単位：千円）

補助対象事業名	交付先	金額
認定農業者支援事業	認定農業者（17人）	1,117
農業次世代人材投資事業	認定新規就農者（1人）	1,500
合 計		2,617

2 農業経営基盤強化促進委員会

1回開催

3 認定農業者数 新規認定者0人 再認定2人

認定農業者目標 26人（令和3年度末 17人）

（単位：名）

認定農業者認定年度	認定者数
R3	2
R2	4
R1	2

4 農地利用集積特別事業 [農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）]

農用地利用集積状況

（単位：件、㎡、%）

区分	賃貸借期間	件数	田	畑	総面積	対前年比
利用権設定(R3)	3年	25	39,576	0	68,514	△ 75.8
	5年・6年	14	20,827	8,111		
	10年・20年	0	0	0		
	計	39	60,403	8,111		
利用権設定(R2)	3年	1	24,992	0	283,120	△ 5.7
	5年・6年	14	143,979	851		
	10年・20年	21	113,298	0		
	計	36	282,269	851		
利用権設定(R1)	3年	1	5,952	0	300,215	67.2
	5年・6年	21	136,876	0		
	10年・20年	15	157,387	0		
	計	37	300,215	0		

（単位：ha、%）

利用権設定による市内農地 集積面積及び集積率	年度	R3	R2	R1
	集積面積	195	194	192
	集積率	30.0	29.4	26.7

事業名	⑦特産品定着推進事業

I 事業の趣旨（目的）

新たな特産品を目指して「いちじく、ぶどう（シャインマスカット）、梨（ほろたん梨）、ラズベリー」の生産者及び栽培面積の拡大を図るための支援を行う。スイーツの食材として供給する。

II 実施内容及び実績

1 新特産果樹定着推進事業

（単位：千円、本）

区 分	R3	R2	R1
新特産果樹定着推進事業補助金（H29創設）	13	-	40
内訳	いちじく	-	50
	シャインマスカット	6	-

2 富谷茶復活プロジェクト事業

（単位：千円、本）

区 分	R3	R2
富谷茶復活プロジェクト業務委託（苗木育成業務等）	3,156	2,514
茶苗木本数	2,000	2,000

事業名	⑧とみや地産地消推進事業

I 事業の趣旨（目的）

産直・直売体制の確立を目指した取り組み及び販路拡大等による売上増に向けた支援を行う。地場農産物のイベント等での販売や学校給食への供給等、地産地消の推進を行う。

II 実施内容及び実績

1 とみや地産地消推進支援における補助事業

（単位：千円）

補助対象事業名	交付先	金額
産直・直売等定着推進事業	新みやぎ農業協同組合	130

2 とみや地産地消推進事業

事業費

506千円

事業名	月日等	事業内容等
農産物直売（おんないん会） ＊とみや地産地消推進事業に参加している有志の方（21人）が農作物や加工品の直売を行っている団体	通年	インショップによる産直・直売事業 ①ホームセンタームサシ仙台泉店 （食品館イトー店内の産直野菜コーナー） ②ビッグハウス富谷店 （店内の産直野菜コーナー） ③デイリーポート新鮮館・富谷店 （店内の産直野菜コーナ）
土づくり事業		とみや地産地消推進事業加入者66人の内、地産地消推進事業に参加・活動者25人に対して、有機質土壌改良材「郷の有機」を提供。

※「とみや地産地消事業」（昭和62年～）（旧名称：富谷250園芸促進事業）

本市の立地条件をいかした生産から販売を一体とした都市近郊型農業の振興を目的とした市内農家の参加者による取り組み。

事業名	⑨とみやはちみつプロジェクト事業

I 事業の趣旨（目的）

新たな特産品（はちみつ）の創出及び養蜂事業の推進と養蜂家育成を図るための支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 とみやはちみつプロジェクト事業

（単位：千円、kg）

区分	R3	R2	R1
とみやはちみつプロジェクト事業補助金	600	600	600
蜜蜂巣箱設置数	13箱（越冬：9箱、購入4箱）	8（越冬：4、購入4）	8（越冬：1、購入7）
採蜜量	263	191	240

2 養蜂家育成事業

（単位：千円）

区分	R3	R2	R1
養蜂家育成事業補助金額（平成30年度創設）	-	100	100
養蜂家育成事業補助金（申請者）	-	1	1
蜜蜂巣箱設置数	-	4	20

事業名	⑩農地集積・集約化事業

I 事業の趣旨（目的）

農地中間管理事業により農地の借り受けによる面積拡大や農地の利用権設定による貸借により農作業の継続的な取り組みへの支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 農地集積・集約化対策における補助事業

（単位：千円）

補助対象事業名	交付先	金額
農業集積・集約対策事業補助金	貸付者（0人）	0

2 農用地利用集積状況（農地中間管理事業）

（単位：件、㎡、％）

区分	賃貸借期間	件数	田	畑	総面積	対前年比
利用権設定(R3)	-	-	-	-	-	△100.0
利用権設定(R2)	5年	3	34,107	0	34,107	23.8
利用権設定(R1)	10年	2	27,546	0	27,546	266.1

事業名	⑪とみやブルーベリーふるさと便事業

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、帰省自粛等により不自由な生活等を送られている県外に住む学生に「ふるさと富谷」を感じていただけるよう特産品であるブルーベリー商品を贈り支援を行う。

II 実施内容及び実績

令和3年度（第2弾）

（単位：件、千円）

申請数（ブルーベリーパスタ）	251
事業費	804

事業名	⑫ブルーベリー等凍霜害支援事業

I 事業の趣旨（目的）

令和3年度に発生した凍霜害により、ブルーベリー・イチジクが被害を受け、果実の出荷量が昨年より減となり収入が減少した農業を営む者に対し、支援を行う。

II 実施内容及び実績

富谷市ブルーベリー等凍霜害支援金

（単位：件、千円）

対象作物名	交付件数	支援金
ブルーベリー	11	317
いちじく	3	49

項 目	68. 畜産振興 (6款1項4目)	担 当	農林担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち! 2-1 農業		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	441,000	376,000	1,200 374,800
事業	畜産振興事業		

I 事業の趣旨（目的）

畜産農家の経営安定のため市内の家畜の伝染病発生の抑制を図るとともに繁殖牛子牛事故共助事業により、子牛の事故損害を救済し、和牛生産の振興を図る。育種価対策に取り組み、優良子牛の生産向上を目指す。子牛の販売促進を図るため肥育素牛販売促進対策についても支援していく。

II 実施内容及び実績

主要事業

- 畜産振興対策事業補助金
 - ・あさひな和牛改良組合富谷支部 80 千円
 - ・肉用牛振興対策事業 100 千円
 - ・管内肥育素牛販売促進対策助成金 103 千円

- 和牛子牛事故共助助成金 48 千円

3 畜産指導事業

(1) 牛予防接種支援事業

(単位：戸)

区 分	年度	対象畜産農家	実施畜産農家	未実施畜産農家
牛アカバネ病	R3	10	10	0
	R2	12	12	0
	R1	12	12	0

(2) 肉用繁殖牛定期検査 (5年毎実施)

(単位：戸)

区 分	年度	対象畜産農家	実施畜産農家	未実施畜産農家
ヨ一ネ病検査	R3	0	0	0
	R2	2	2	0
	R1	0	0	0

(3) 畜産農家数及び飼養の状況

(単位：戸、頭)

年度	農家数	飼養頭数	飼養頭数			
			乳用牛	肉用牛(繁殖)	肉用牛(子牛)	肥育牛
R3	10	125	34	57	34	0
R2	12	134	35	59	40	0
R1	12	134	35	59	40	0

項 目	69. 農地 (6款1項5目)	担 当	農林担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 2-1 農業		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 29,040,000 (内R2繰越分 2,915,000円)	円 23,812,862 (内R2繰越分 2,915,000円)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円 6,584,201 17,228,661

事業名	①優良農地保全事務、農業用施設維持管理事業

I 事業の建言（目的）

農道等の適正な維持管理を行い、安全性の確保と農作業の効率化を図り、地域の農業用施設の維持・修繕に資材支給を行ない、農家の負担軽減を図る。

II 実施内容及び実績

1 農業資材の助成

(1) 水路等（用排水・ため池等）資材支給

（単位：千円）

地区名	資 材 名	金 額
町上	水路崩落防止ネット、ため池侵入防止柵	29
明石	矢板、丸太杭、塩ビ管、大型排水フリューム	439
西成田	揚水ポンプ配管、水路スライドゲート、水路補修単管	424
合 計		892

(2) 農道関係資材支給

（単位：千円）

地区名	資 材 名	金 額
熊谷	道路補修材（山砂）	11
三ノ関	農道管理用（カラーコーン等）資材	5
志戸田	道路補修材（碎石、合材）	96
原	道路補修材（山砂）	33
今泉	道路補修材（碎石、コンクリート）	7
西成田	道路補修材（碎石）	64
合 計		216

2 施設修繕工事

（単位：千円）

工 事 名	内 容	金 額
富谷桜田水路復旧工事	水路復旧工 30m	1,210
原前南ため池修繕工事	ため池修繕工 10m	1,133
三ノ関ため池底樋管止水修繕工事	ため池底樋管止水工 15m	1,254
今泉松木沢取水口改修工事	取水口改修	51
西成田荒井堰揚水機場ゴム堰自動倒伏装置修繕工事	揚水ポンプ修繕	94
合 計		3,742

3 施設管理業務委託

（単位：千円）

工 事 名	内 容	金 額
仏所ため池除草業務委託	ため池法面等除草一式	33
農道不陸整正業務委託	農道延長（一ノ関） L=800m	1,540
合 計		1,573

4 補助事業関係

(1) 市町村振興総合補助金

(単位：千円)

事業名	地区名	内 容	補助金額
豊かなふる里保全整備事業	西成田	水路修繕工 L=200m	2,790

(2) 農業環境整備事業費補助金

(単位：千円)

地区名	内 容	補助金額
明石	揚水ポンプ交換	107
石積	水路修繕工 L=34m	997
二ノ関	農地整備(区画拡大整地) 4.8ha	488
西成田	ラバー堰(揚水バルブ交換)	173
三ノ関	農地整備(畦畔撤去) L=250m	100
三ノ関	揚水機場フェンス修繕	743
西成田	農地整備(暗渠パイプ設置)	346
石積	農業用堰改修	209
大龜	用水路修繕 L=9m	550
大龜	用水路修繕 L=12m	799
合 計		4,512

事業名 (2)多面的機能支払交付事業

I 事業の趣旨(目的)

多面的機能支払交付金事業により、地域共同で行う地域資源(水路・農道等)の維持管理や保全活動の取り組みへの支援を行う。

II 実施内容及び実績

(単位：a, 千円)

事業名	対象面積	補助金額
多面的機能支払交付事業補助金(二ノ関地区)	6,066	2,081
多面的機能支払交付事業補助金(大龜地区)	2,631	536
多面的機能支払交付事業補助金(今泉地区)	6,299	1,285
多面的機能支払交付事業補助金(三ノ関地区)	4,219	861
多面的機能支払交付事業補助金(志戸田地区)	6,442	1,314
多面的機能支払交付事業補助金(一ノ関地区)	3,837	776
合 計	29,494	6,853

項 目	70. 生産調整推進 (6款1項6目)	担 当	農林担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 2-1 農業		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	36,349,000	33,086,972	13,557,000 19,529,972

事業名	①生産調整推進事業

I 事業の趣旨（目的）

米の「生産の目安」を基準として、米の需要に合わせた生産を行うことで価格の安定を図る。米の生産調整のみならず、水田保全事業を実施することにより、農地の保全を図る。生産調整された水田を利活用し、食料の自給率向上を図る生産組合等への補助など、作業の効率化や収量増加に対して支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 生産調整実施状況

(単位：t, ha, %)

項目 \ 年度	R3	R2	R1	比 較 R3-R2
米の「生産の目安」	1,582	1,619	1,620	△ 37
換算面積	301	311	312	△ 10
米の作付実績数量	1,591	1,612	1,638	△ 21
換算面積	303	310	316	△ 7
減反率	46.62	44.95	44.78	1.67

※平成30年度より米の「生産目標」が廃止され、「生産の目安」という各都道府県の地域再生協議会で示す生産数量の目安の数値になった。

※地域間調整により生産の目安面積の増

2 水田農業振興事業実施状況

(単位：千円)

補助対象事業名	交付先	事業内容	補助金額
水田保全支援事業	新みやぎ農業協同組合	水田保全実施面積 188ha	4,692
経営所得安定対策 推進事業	富谷市地域水田農業推進 協議会	経営所得安定対策の推進	1,650

事業名	②農業継続支援事業

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言及びまん延防止のための措置の影響等を受け、令和3年度産米の米価下落により収入が減少した農業を営む者に対し、支援を行う。

II 実施内容及び実績

1 農業継続支援金事業

項 目	内 容
補助単価	10a当たり10,000 円
申請件数	199 件
交付金額	26,745,000 円

項 目	7 1. 林業振興 (6 款 2 項 1 目)	担 当	農林担当
総合計画	第 1 編 暮らしを自慢できるまち！ 2-1 農業		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	11,001,000	10,866,420	177,000 6,921,266 3,768,154

事業名	①林業振興事務

I 事業の趣旨（目的）

市内の森林環境の保全を図るため、森林法に基づく森林台帳の整備を行い、伐採届等の適正な事務処理を行う。森林環境譲与税による木材利用の促進や普及啓発等を行う。

II 実施内容及び実績

1 伐採届受理 (単位：件)

年 度	R3	R2	R1
伐採届受理件数	7	10	6

2 森林災害予防

事 業 名	内 容	実施
森林災害予防事業	山火事防止月間の啓発普及巡回	4月

3 森林環境譲与税 (単位：千円)

年 度	R3	R2	R1
金 額	5,582	5,576	2,624

事業名	②市有林維持管理業務

I 事業の趣旨（目的）

市有林（富谷桜田外）の適正な維持管理のため、境界刈り、下刈等の整備を行う。「1038さくらの杜」区域（「しんまち公園」から「とうみやの杜」）内の「桜」の木への施肥や薬剤防除、てんぐ栗病を除去し維持管理を行う。

II 実施内容及び実績

(単位：千円)

事 業 名	内 容	事業費
森林保育事業	市有林下刈等業務委託（境界刈、下刈、除草） （境刈実施市有林：富谷桜田地内）	1,056
	1038さくらの杜薬剤散布業務委託	396
	1038さくらの杜施肥等業務委託	484
	1038さくらの杜天狗栗病除去業務委託	149
	さくら支障枝剪定業務委託	495
	合 計	2,580

事業名	③緑づくり事業

I 事業の趣旨（目的）

野鳥の森等の散策路の除草及び森林を下刈し、維持管理を行う。
 公共施設の敷地内への緑化環境の整備及び維持管理を行う。
 地区内（行政区）での花の植栽や樹木植栽による緑化環境の整備に支援を行う。

II 実施内容及び実績

（単位：千円）

事業名	内 容	事業費
緑化対策事業	富谷市緑化推進委員会補助金	500
森林環境整備事業	野鳥の森散策路等除草業務委託	52
	野鳥の森・里沙門堂下刈業務委託	153
合 計		705

事業名	④松くい虫被害木伐倒駆除事業

I 事業の趣旨（目的）

市有林等の松くい虫被害木の伐倒駆除を行い、松くい虫被害木の拡大防止を行う。

II 実施内容及び実績

（単位：本、千円）

事業名	年度	場 所	本 数	事業費
森林病虫害防除事業 （松くい虫被害木伐倒駆除 業務委託）	R3	富谷桜田・一ノ関隣合山地内	12	484
	R2	富谷桜田・一ノ関隣合山地内	16	451
	R1	富谷桜田地内	15	495

項 目	72. 農業用施設災害復旧費 (11款1項1目)		担 当		農林担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	342,000	341,000					341,000

事業名	農業用施設災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

令和4年福島県沖地震（令和4年3月16日発生）による被害に対し、復旧を行うもの。

II 実施内容及び実績

令和3年度 工事請負

（単位：件、千円）

工 種	件 数	金 額
令和3年度 3月16日発生福島県沖地震農道災害復旧工事（緊急）	1	341

建設部 都市整備課

項 目	73. 防犯対策 (2款1項9目)	担 当	維持管理担当
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-2 防犯・交通安全・消費生活		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	41,002,000	35,659,100	35,659,100

事業名	①防犯灯維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

市民から提供される情報や管理者の点検結果等を基に、防犯灯の維持修繕を行い、市民の安全安心なまちづくりを推進する。

II 実施内容及び実績

1 防犯灯維持管理事業

・ 防犯灯の修繕

年度	修繕灯数(灯)	事業費(千円)	摘要
R3	7	294	
R2	1	19	
比較 R3-R2	6	275	

2 防犯灯・道路照明灯の年間電気料(12か月分)

年度	電気料(千円)	摘要
R3	34,507	
R2	44,616	
比較 R3-R2	△ 10,109	

事業名	②防犯灯整備事業

I 事業の趣旨（目的）

市内の生活道路において、防犯上必要な箇所に防犯灯を新設し、市民の安全安心なまちづくりを推進する。

II 実施内容及び実績

1 防犯灯整備事業

・ 防犯灯新設

内容(設置者別)	灯数	事業費(千円)	摘要
市単独分(志戸田地区ほか8地区)	16 灯	858千円	
寄贈分(東北電力わたりヶ崎)〈鷹乃杜地区〉	10 灯	-	
計	26 灯	858千円	

・ 防犯灯地区別内訳

No.	行政区	灯数	R3新設	No.	行政区	灯数	R3新設	No.	行政区	灯数	R3新設
1	熊谷	17		21	鷹乃杜	211	10	41	白吉台三丁目	54	
2	町上	66		22	上桜木	95		42	杜乃橋一丁目	52	
3	町中	12		23	太子堂	85		43	杜乃橋二丁目	89	
4	町下	67		24	ひより台一丁目	120	1	44	成田第一	170	
5	穀田	2		25	ひより台二丁目	74	2	45	成田第二	131	
6	原	28		26	あけの平一丁目	65		46	成田第三	126	
7	一ノ関	24		27	あけの平二丁目	55					
8	二ノ関	33		28	あけの平三丁目	93	2				
9	三ノ関	40		29	とちの木	116					
10	志戸田	35	1	30	大清水一丁目	81			計	3,394	26
11	大童	18		31	大清水二丁目	44					
12	今泉	35	1	32	明石台第一	119					
13	大亀	40		33	明石台第二	48					
14	石積	34	1	34	明石台第三	80					
15	明石	55		35	明石台第五	103					
16	西成田	50		36	明石台第六	58					
17	東向陽台第一	160		37	明石台第七	57					
18	東向陽台三丁目	99		38	明石台第九	50					
19	富ヶ丘南部	116	5	39	白吉台一丁目	92					
20	富ヶ丘北部	102		40	白吉台二丁目	98	2				

年度	管理灯数(灯)
R3	3,394
R2	3,368
R3-R2	26

項 目	7 4. 土木総務 (8 款 1 項 1 目)	担 当	土木行政担当
総合計画	第 1 編 暮らしを自慢できるまち！ 3-2 道路		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	111,105,000	107,748,259	107,748,259

事業名	土木総務事務

I 事業の趣旨（目的）

土木行政全般にわたる申請・許認可等の窓口業務を適切に処理し、申請者の利便性と市民の満足度の向上に努める。

II 実施内容及び実績

1 令和 3 年度 各種申請等受付件数

(単位：件)

件名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
道路占用許可	26	10	31	15	13	16	15	16	15	14	12	17	200
道路境界立会	7	3	3	5	3	2	9	5	6	2	5	2	52
準用河川境界立会	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
公共物境界立会	3	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7
道路工事施行承認	1	2	1	7	1	1	2	2	2	1	3	1	24
特殊車両通行許可	5	5	5	9	26	2	14	8	5	2	3	4	88

2 各種申請等受付件数の推移

(単位：件、%)

件名	年度	R3	R2	比較 R3-R2	
				増減	対前年度伸び率
道路占用許可		200	147	53	36.1%
道路境界立会		52	45	7	15.6%
準用河川境界立会		3	0	3	皆増
公共物境界立会		7	7	0	0.0%
道路工事施行承認		24	12	12	100.0%
特殊車両通行許可		88	114	△ 26	△ 22.8%

項 目	7 5. 道路橋梁総務 (8 款 2 項 1 目)	担 当	土木行政担当
総合計画	第 1 編 暮らしを自慢できるまち！ 3-2 道路		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	6,700,000	5,857,390	5,857,390

事業名	道路台帳等整備事業

I 事業の趣旨（目的）

形状変更があった市道や開発行為等によって帰属を受けた道路について、道路台帳を整備・補修正し、適切な管理を行う。

II 実施内容及び実績

1 委託業務

5,797千円

(単位：千円)

業務名	内 容	事業費	摘要
道路台帳等補修正業務	部分補修 L=1.43km 他	4,400	
市道土地境界確定業務	志戸田地区 境界標設置 N=35点	1,320	
その他	1件	77	

2 その他

印刷製本

60千円

3 事業費実績比較

(単位：千円)

R3	R2	比較 R3-R2
5,857	3,611	2,246

項 目	7 6 . 道路維持	担 当	維持管理担当				
	(8 款 2 項 2 目)						
総合計画	第 1 編 暮らしを自慢できるまち！ 3－2 道路						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 793,072,000 (内、R2繰越分 200,000,000円)	円 738,515,288 (内、R2繰越分 200,000,000円)	円 100,000,000	円	円 147,300,000	円 300	円 491,214,988

事業名	市道維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

側溝の有蓋化や劣化した舗装などの補修・修繕、市道敷の除草、街路樹の剪定、また、冬期間は、除雪や凍結防止剤の散布等を実施することにより、歩行者や通行車両にとって安全な道路環境を確保する。

II 実施内容及び実績

1 側溝整備工事（有蓋化事業） 176,791千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事業費	摘 要
太子堂地区側溝整備工事	側溝整備 L=355m 【整備路線延長 L=237m】	16,385	
富ヶ丘地区側溝整備工事	南部地区 側溝整備 L=1,054m 【整備路線延長 L=517m】	50,358	
	北部地区 側溝整備 L=925m 【整備路線延長 L=650m】	47,799	
鷹乃杜地区側溝整備工事	側溝整備 L=963m 【整備路線延長 L=477m】	46,034	付帯工事2件含む
とちの木地区側溝整備工事	側溝整備 L=147m 【整備路線延長 L=138m】	7,939	
市道太子堂線側溝整備工事	側溝整備 L=129m 【整備路線延長 L=98m】	8,276	

2 側溝整備工事（市道維持管理事業） 23,110千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事業費	摘 要
市道町北裏線側溝整備工事	側溝整備 L=92m 【整備路線延長 L=68m】	7,648	
市道源内明坂線側溝整備工事	側溝整備 L=52m 【整備路線延長 L=52m】	2,523	
市道明石石積線側溝改修工事	暗渠管設置 (CSB) L=7m	2,208	
市道宮沢根白石線L型側溝修繕工事	側溝修繕 L=131m 除根29か所	8,357	
市道石積線雨水排水施設改修工事	側溝改修 L=30m 集水溝設置 N=1基	2,374	

3 舗装工事 276,205千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事業費	摘 要
富ヶ丘地区市道舗装修繕工事（第1～2号）	舗装工 A=1,263㎡ L=246m	9,868	
市道舗装補修工事（第1～3号）	舗装工 A=5,705㎡	47,817	
市道富ヶ丘明石線歩道インターロッキングブロック修繕工事	インターロッキングブロック撤去・設置 A=45㎡	3,208	
東向陽台地区市道舗装修繕工事	舗装打換 A=337㎡	4,003	
市道大清水4-12号線舗装補修工事	舗装打換 A=462㎡ 暗渠排水管設置 L=95m	4,820	
その他小規模舗装補修工事	10件	5,697	
市道宮沢根白石線舗装修繕工事（第1～4号）	舗装工 A=16,320㎡ L=1,656m	200,792	R2繰越・付帯工事1件含む

4 修繕工事 4,374千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事業費	摘 要
側溝・管渠修繕及び改修工事	10件	2,418	
道路維持等修繕工事	5件	1,521	
その他備品修繕	6件	435	

5 委託業務 252,007千円 (単位：千円)

業 務 名	内 容	事業費	摘 要
市道維持修繕業務（第1・2号）	舗装補修 17件 側溝修繕 26件 その他 20件	37,105	
道路敷除草作業業務（第1・2号）	A=210,900㎡ (105,200㎡+105,700㎡)	22,240	
街路樹剪定等業務（第1～8工区）	高・中・低木剪定、除草	21,066	
害虫防除業務	市内一円	567	
道路等清掃業務	路面、集水溝、側溝等	3,944	
市道あけの平12-1号排水水対策ボーリング調査業務	掘削ボーリング L=5m 地下水位観測 T=3か月	1,724	
市道除雪業務（1～4工区）	除雪機械 N=16台 融雪機械 N=5台	158,252	
雪氷予測業務	気象情報提供	198	
その他業務（支障木伐採・剪定・除草等）	33件	6,911	

6 その他 6,028千円

- ・ロードサポート制度にかかる経費 209千円
- ・原材料購入 3,131千円
- ・その他 2,688千円

7 事業費実績比較 (単位：千円)

R3	R2	比較 R3-R2
738,515	369,400	369,115

項 目	77. 交通安全施設 (8款2項3目)		担 当	建設担当 維持管理担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-2 防犯・交通安全・消費生活 2-2 省エネルギー・自然エネルギー						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	53,357,000	46,997,096	2,750,000	7,070,000	2,000,000		35,177,096

事業名	道路交通安全施設整備事業

I 事業の趣旨（目的）

交通安全施設の整備や補修・修繕を実施し、危険箇所の縮減に努め、道路の安全で快適な通行を確保する。

II 実施内容及び実績

1 整備・補修工事 22,675千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
交通安全施設整備工事（第1～4号）	区画線 L=5,250m 横断防止柵 L=78m	6,180	
市道明石台16-2号線防護柵設置工事	防護柵 L=14.5m	1,265	
市道大清水9-2号線他1路線交通安全対策工事（交安補助）	ハンプ 1か所 狭さく 2か所 他	5,854	
市道一ノ関川又山線交通安全施設整備工事	区画線 L=542m	1,254	
その他小規模工事	27件	8,122	

2 道路照明灯LED工事 14,535千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
道路照明灯LED交換工事（交付金）	交換基数 N=324基	9,299	
道路照明灯LED交換工事（市単）	交換基数 N=201基	5,236	

3 修繕工事 9,672千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
道路照明灯修繕工事	市内一円 223か所	3,474	
明石台地区道路照明灯灯具修繕工事	灯具修繕 N=48灯	4,840	
交通安全施設修繕工事	市内一円 5件	1,358	

4 委託業務 50千円 (単位：千円)

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
地下道警備業務	富谷地下道・成田地下道	50	

5 その他

・地下道警備に係る電話料 65千円

・道路照明灯地区別内訳

No.	地区名	照明基数	No.	地区名	照明基数	No.	地区名	照明基数
1	富谷	116	11	明石	24	21	大清水	98
2	穀田	38	12	西成田	2	22	明石台	356
3	一ノ関（川又山線く）	18	13	東向陽台	26	23	日吉台	40
4	二ノ関	3	14	富ヶ丘	168	24	杜乃橋	53
5	三ノ関	14	15	鷹乃杜	36	25	成田	580
6	志戸田	2	16	上桜木	106		県道占用分	29
7	大童	3	17	太子堂	26		国道占用分	17
8	今泉	3	18	ひよりき（川又山線七）	50			
9	大亀	20	19	あけの平	72 (1)			
10	石積	19	20	とちの木	12		計	1,931 (1)

※R3新設基数は、(1)に記載。

6 事業費実績比較 (単位：千円)

R3	R2	比較 R3-R2
46,997	51,357	△ 4,360

項 目	78. 道路改良 (8款2項4目)	担 当	建設担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 3-2 道路		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	414,487,000 (内、R2繰越分 190,393,000円) (内、R1繰越分 120,714,000円)	366,631,442 (内、R2繰越分 190,392,600円) (内、R1繰越分 115,081,202円)	145,790,000 円 136,300,000 円 84,541,442 円

事業名	①市道三ノ関大崎線道路改良事業

I 事業の趣旨（目的）

道路幅が狭小な区間において、仙台北部中核工業団地へのアクセス道路として朝夕の通行車両の増による渋滞の解消と冠水対策を行い、安全で円滑な交通環境を確保する。

II 実施内容及び実績

1 市道三ノ関大崎線道路改良事業 171,975千円

・交付金事業 112,810千円 (単位：千円)

事業名	内 容	事業費	摘 要
市道三ノ関大崎線道路改良工事（繰越）	施工延長 L=280m 幅員 W=8.5m	40,823	R2繰越
市道三ノ関大崎線道路改良工事（繰越）	施工延長 L=220m 幅員 W=8.5m	63,370	R1繰越
市道三ノ関大崎線道路改良工事に伴う用地購入	地権者 個人5人 法人3者	8,617	R1繰越

・市単事業 59,165千円 (単位：千円)

事業名	内 容	事業費	摘 要
分筆登記・所有権移転登記業務・収入印紙代	2件	123	
市道三ノ関大崎線道路改良事業に伴う付帯工事	埋設管移設工 境界杭設置工	2,148	
市道三ノ関大崎線道路改良工事に伴う用地購入	地権者 法人1者	7,610	
市道三ノ関大崎線道路改良工事に伴う補償費	物件補償1件 電柱移転補償2件	6,189	
分筆登記・所有権移転登記・その他業務	10件	3,036	R1繰越
市道三ノ関大崎線道路改良事業に伴う付帯工事（繰越）	仮設道路工 水道施設改修工	31,812	R1繰越
市道三ノ関大崎線道路改良工事に伴う用地購入	地権者 法人1者	5,875	R1繰越
市道三ノ関大崎線道路改良工事に伴う補償費	物件補償1件 電柱移転補償2件	2,372	R1繰越

事業名	②市道穀田三ノ関線道路改良事業

I 事業の趣旨（目的）

市役所、富谷中学校及び富谷小学校周辺の交通量の増による朝夕の通勤通学時間帯の慢性的な渋滞を解消し、歩行者の安全と円滑な交通環境を確保する。

II 実施内容及び実績

1 市道穀田三ノ関線道路改良事業 194,656千円

・交付金事業 179,500千円 (単位：千円)

事業名	内 容	事業費	摘 要
市道穀田三ノ関線道路改良工事	施工延長 L=651m 幅員 W=16m	32,000	前金払
市道穀田三ノ関線道路改良工事	施工延長 L=320m 幅員 W=16m	30,377	R2繰越
市道穀田三ノ関線道路改良工事（第2号）（繰越）	施工延長 L=150m 幅員 W=16m	65,711	R2繰越
市道穀田三ノ関線道路改良工事（第3号）（繰越）	施工延長 L=480m 幅員 W=16m	51,412	R2繰越

・市単事業 15,156千円 (単位：千円)

事業名	内 容	事業費	摘 要
市道穀田三ノ関線道路改良事業に伴う付帯工事	伐採 木くず処理 仮設道路工 等	9,466	
市道穀田三ノ関線道路改良工事に伴う補償費	電柱移転補償 2件	707	
不動産鑑定・設計等業務	2件	2,090	
市道穀田三ノ関線道路改良工事に伴う埋設物撤去工事	埋設物撤去工	2,893	R2繰越

項 目	79. 橋梁維持 (8款2項5目)		担 当	建設担当 維持管理担当		
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 3-2 道路					
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
	円 173,116,000 (内、R2繰越分 69,682,000円)	円 147,896,900 (内、R2繰越分 69,668,200円)	国庫支出金 円 77,223,000	県支出金 円	地方債 円 53,800,000	その他 円 16,873,900 一般財源 円

事業名	橋梁維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

橋梁の定期点検を行い、修繕工事を計画的に実施していくことにより、橋梁の延命化と適正な維持管理に努める。

II 実施内容及び実績

1 修繕工事 142,007千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
富谷橋長寿命化修繕工事	橋長 L=16.95m 歩道橋(L・R) L=16.97m	66,333	
富谷橋長寿命化修繕工事（市単）	親柱塗装工 A=8.6㎡	1,289	
いちょう大橋排水施設修繕工事	側溝修繕 L=28m 盛土 V=28㎡	4,293	
その他修繕工事	1件	424	
新田橋長寿命化修繕工事（繰越）	橋長 L=25.7m 歩道橋 (L・R) L=30.2m	69,668	R2繰越

2 委託業務 5,889千円 (単位：千円)

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
橋梁長寿命化修繕計画更新業務	N=18橋 計画更新	1,320	
道路橋定期点検業務	N=42橋 橋梁点検	4,569	

3 事業費実績比較 (単位：千円)

R3	R2	比較 R3-R2
147,896	52,284	95,612

項 目	80. 河川 (8款3項1目)	担 当	土木行政担当 維持管理担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4-3 自然環境・公園		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	25,926,000	23,375,100	16,500,000 6,875,100
事業名	河川維持管理事業		

I 事業の趣旨（目的）

調整池及びその付属施設の除草、準用河川の堆積土砂を撤去し、河川の良好な環境を保持する。
また、河川清掃を継続して実施している河川愛護会に対し、活動の弁償を行うことで参加者の負担軽減を図る。

II 実施内容及び実績

1 河川愛護（報償費） 1,180千円（236人×5千円） (単位：人)

	河川愛護会名	河 川 名	参加者		
			R3	R2	比較 R3-R2
1	熊谷	西川（一級河川）	17	19	△ 2
2	穀田	穀田川（準用河川）	16	19	△ 3
3	一ノ関	竹林川・宮床川（一級河川）	17	19	△ 2
4	二ノ関	竹林川・宮床川（一級河川）	21	26	△ 5
5	大童	西川・明石川（一級河川）	26	25	1
6	今泉	西川（一級河川）	37	38	△ 1
7	石積	苅又川（準用河川）	30	30	0
8	明石小野目	明石川（一級河川）	18	17	1
9	西成田	明石川（一級河川）	54	53	1
計	9団体	6河川	236	246	△ 10

2 委託業務 4,652千円 (単位：千円)

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
調整池除草作業業務	20か所 A=46,000㎡	3,443	
その他小規模業務	7件	1,209	

3 工事 17,178千円 (単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
準用河川沼田川土砂撤去工事	掘削工 L=292m	16,573	
ひより台第1号調整池雨水排水管補修工事	補修 N=3か所	605	

4 負担金 40千円 (単位：千円)

名 称	種 別	事 業 費	摘 要
負担金・会費	宮城県治水協会 他	40	

5 その他 消耗品・修繕 325千円

6 事業費実績比較 (単位：千円)

R3	R2	比較 R3-R2
23,375	15,235	8,140

項 目	8 1. 道路橋梁・河川災害復旧 (1 1 款 2 項 1 目)		担 当		建設担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	3,000,000	999,900					999,900

事業名	道路橋梁・河川災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

災害が発生した際の被災拡大を防止するため、迅速な復旧に努める。

II 実施内容及び実績

1 福島県沖地震発生に係る災害復旧費

(1) 道路災害復旧

委託料 99 千円

(単位：千円)

業 務 名	内 容	事 業 費	摘 要
道路照明灯灯具撤去作業業務	2か所	99	

工事請負費 901 千円

(単位：千円)

工 事 名	内 容	事 業 費	摘 要
道路災害復旧（市単）工事	2件	901	

建設部 都市計画課

項 目	82. 都市計画総務 (8款4項1目)	担 当	都市計画担当 建築住宅担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4-1 土地利用		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	87,044,000	75,449,724	67,000 75,382,724

事業名	都市計画事業

I 事業の趣旨（目的）

都市の健全な発展と秩序ある整備を推進し、市域の均衡ある発展と公共福祉の増進を図る。
本市が所有する建築物等の業務及び工事について、主幹課と協力して、設計及び施工監理を適切に実施する。

II 実施内容及び実績

1 都市計画決定・変更事務

事 務 名	内 容	決定・変更年月日
区域区分の変更	市街化区域編入：高屋敷西地区 A=約34.3ha	令和3年6月15日
用途地域の変更	高屋敷西地区 A=約34.3ha	令和3年6月15日
排水区域の変更	高屋敷西地区 A=約34.2ha	令和3年6月15日

2 開発行為許可

(単位：件)

事 務 名	件数
開発行為許可（戸建住宅（ひより台二丁目、富谷南裏）、保育園）	3

3 各種申請等受付件数

(単位：件)

事 務 名	受付件数
地区計画区域内における行為の届出書	102
土地地区画整理法76条許可	102

4 業務委託（委託料）

6,461千円

(単位：千円)

業務名	内 容	契約金額
市内公共施設定期調査報告業務	建築物の定期調査：17施設	2,310
富谷市都市計画総括図修正業務	都市計画総括図修正・印刷 200枚	1,870
都市計画道路富谷西成田線道路概略設計業務	道路概略設計：1.2km (0.6km×2案)	1,885
その他業務委託	2件	396

5 市有建物等の営繕事業件数（他課事業）

(単位：千円)

区分	件数	契約金額
業務委託	4	109,718
施設整備工事（修繕含む）	14	308,331

※ 他課事業につき、決算額には含まない。

項 目	83. 公園整備 (8款4項2目)	担 当	都市計画担当
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4-2 住宅・公園・上下水道 4-3 自然環境・公園		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 129,479,000 (内R2繰越分 3,564,000円)	円 123,433,563 (内R2繰越分 3,333,000円)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円 941,630 122,491,933

事業名	①大亀山森林公園維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

自然と触れ合える身近な森林及び、レクリエーションやコミュニケーションの場として、利用者の安全確保と公園の魅力向上を図る。
公園の定期的な巡回や点検を充実させ、修繕箇所の早期発見と早期対応により事故の未然防止に努める。

II 実施内容及び実績

1 業務委託（委託料）	11,716千円	(単位：千円)
業 務 名	内 容	事 業 費
除草業務	除草2回 A=73,310㎡	4,334
枯木・支障木伐採	N=26本	990
管理業務（派遣）	派遣人数 4～11月:488人、12～3月:36人	5,357
浄化槽維持管理清掃業務	合併処理槽 N=2槽、単独処理槽 N=1槽	738
その他維持管理業務	7件	297
2 施設修繕（修繕料）	10,706千円	(単位：千円)
工 事 名	内 容	事 業 費
アスレチック遊具修繕工事	アスレチック遊具修繕 N=3基	1,210
ちびっ子ゲレンデ修繕工事	人工芝撤去・設置 A=134.5㎡	7,542
バーベキュー広場四阿塗装工事	塗装工 N=2棟	781
その他修繕工事	12件	1,173

事業名	②一般公園維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

地域住民のレクリエーションやコミュニケーションの場として、利用者の安全確保と公園の魅力向上を図る。
公園の定期的な巡回や点検を充実させ、修繕箇所の早期発見と早期対応により事故の未然防止に努める。

II 実施内容及び実績

1 業務委託（委託料）	59,905千円	(単位：千円)
業 務 名	内 容	事 業 費
都市公園等除草業務	公園2回（一部3回） A=883,100㎡	33,069
緑地除草業務	緑地2回 A=121,000㎡	8,192
都市公園等樹木剪定業務	公園・緑地 N=548本 A=5,021㎡	7,476
都市公園等支障木伐採業務	公園・緑地 支障木伐採及び刈払い 27件	4,716
都市公園等害虫駆除業務	公園・緑地 害虫駆除 3件	438
しんまち公園池清掃業務	清掃1回（3月） A=400㎡	224
成田せせらぎ水路清掃業務	清掃3回（6,8,3月） L=2,100m	2,671
成田せせらぎ水路ろ過装置維持管理業務	点検12回/年	404
都市公園砂場除菌・清掃業務	54公園 除菌2回、清掃9回 A=1,351㎡	910
剪定枝・刈草搬出業務	枝等搬出処分1回 枝葉V=5 t	198
公園緑地清掃業務	落葉清掃等 7件	515
その他維持管理業務	18件	1,092

2 施設修繕（修繕料）		20,187千円	(単位：千円)
工 事 名	内 容	事 業 費	
都市公園遊具修繕工事	4公園 遊具修繕 N=5基	1,056	
都市公園遊具塗装工事	7公園 遊具塗装 N=13基	425	
都市公園施設塗装工事	9公園 施設塗装 N=19基	500	
都市公園四阿修繕工事	1公園 屋根修繕 N=1基	669	
都市公園シェルター修繕工事	2公園 屋根修繕 N=2基	845	
成田西公園テニスコート修繕工事	舗装工A=330㎡, 塗装工A=560㎡	5,522	
成田西公園テニスコート修繕工事(2号)	舗装工A=330㎡, 塗装工A=330㎡, A=610㎡	7,943	
その他公園遊具修繕工事	4件	704	
その他公園施設修繕工事	19件	2,523	

3 施設工事（工事請負費）		11,315千円（内R2繰越分3,333千円）	（単位：千円）
工 事 名	内 容		事 業 費
都市公園遊具交換工事	2公園 撤去N=8基 新設N=10基		6,849
鳳乃杜一丁目公園通路舗装工事	舗装A=30㎡		990
都市公園シェルター設置工事（繰越）	1公園 新設N=1基		3,333
その他工事	1件		143

項 目	84. 市営住宅管理 (8款5項1目)		担 当	都市計画担当			
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4-2 住宅・公園・上下水道						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	12,869,000	11,171,621	4,664,000			6,507,621	0

事業名	市営住宅維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

住宅に困窮する低額所得者に対して、健康で文化的な生活ができるよう、低廉な家賃で住宅を賃貸し、生活の安定と福祉の増進を図る。
入居者の快適な居住環境を確保するため、適切な維持管理に努める。

II 実施内容及び実績

1 入居状況（令和4年3月末現在）

（単位：戸）

団地名	管理戸数	入居戸数
西沢住宅	38	37
湯船沢住宅	26	26
清水沢住宅	16	15
宮ノ沢住宅	20	20
合 計	100	98

2 修繕料

943千円

（単位：千円）

団地名	修繕件数	修繕費用
西沢住宅	11	502
湯船沢住宅	5	107
清水沢住宅	3	184
宮ノ沢住宅	2	150

3 工事請負費

9,328千円

（単位：千円）

団地名	内容	工事費用
西沢住宅	4工区8戸屋根・外壁塗装改修工事	6,424
西沢住宅	4工区フェンス設置工事 L=104m	2,904

項 目	85. 住宅宅地震災対策 (8款5項2目)		担 当	建築住宅担当			
総合計画	第4編 市民の思いを協働でつくるまち！ 1-1 防災・救急・消防						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	3,830,000	3,829,800	1,779,000	361,200			1,689,600

事業名	住宅宅地震災対策事業

I 事業の趣旨（目的）

昭和56年5月31日以前に建築された木造戸建住宅の耐震化率の向上と危険ブロック塀の除却等の促進により、安全で安心なまちづくりを進める。

II 実施内容及び実績

1 業務委託（委託料）

997千円

（単位：千円）

事業名	件数	事業費
木造住宅耐震診断助成事業	7件	997

2 負担金補助及び交付金

2,833千円

（単位：千円）

事業名	件数	事業費
危険ブロック塀等除却事業	12件	2,833

項 目	86. 都市計画施設災害復旧、 その他公共施設・公用施設災害復旧 (11款2項2目) (11款3項1目)		担 当	都市計画担当			
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	1,000,000	590,700					590,700

事業名	都市計画施設災害復旧事業、 その他公共施設・公用施設災害復旧事業

I 事業の趣旨（目的）

災害発生時に、被害箇所周辺の安全確保と二次災害の発生を回避し、被害施設の早急な機能回復を目指して復旧事業の実施に努める。

II 実施内容及び実績

1 施設工事（工事請負費）		99千円	(単位：千円)
工 事 名	内 容	事 業 費	
成田六丁目1号緑地復旧工事	法枠修繕工 一式	99	
2 業務委託（委託料）		492千円	(単位：千円)
工 事 名	内 容	事 業 費	
3.16地盤による都市公園等施設応急復旧業務	3ヶ所	492	

教育部 教育總務課

項 目	87. 教育委員会 (10款1項1目)		担 当	教育総務担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-1 教育・青少年健全育成						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	2,484,000	2,216,028					2,216,028

事業名	教育委員会運営事務

I 事業の趣旨（目的）

創造的で人間性豊かな人材育成を図るため、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進するもの。

II 実施内容及び実績

1 教育委員会

- (1) 教育委員会開催回数 13回／年
- (2) 議事 27件全議事可決
- (3) 主な議事項目

【教育委員会及び学校等の任免並びに人事等に関する議事】

- ① 県費負担教職員の任免の内申について
- ② 教育委員会関連各種委員の委嘱について

【教育委員会に関する予算、組織、規則、規程、要綱及び基本方針等に関する議事】

- ① 富谷市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
- ② 富谷市立幼稚園園則の一部改正について
- ③ 富谷市立幼稚園預かり保育条例施行規則の一部改正について
- ④ 富谷市教育委員会共催及び後援名義取扱規程の一部改正について
- ⑤ 富谷市文化財保護条例施行規則の一部改正について
- ⑥ 富谷市総合運動公園管理規則の一部改正について
- ⑦ 富谷市立富谷中学校不登校特例校西成田教室設置規則の制定について
- ⑧ 学校教育法施行細則の一部改正について
- ⑨ 富谷市立学校県費負担教職員の服務の宜否に関する条例案に対する意見について
- ⑩ 富谷市学校給食センター運営審議会への諮問について
- ⑪ 富谷市学校給食米飯及びパン給食の回数見直しについて
- ⑫ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書について
- ⑬ 富谷市公民館管理規則の一部改正について
- ⑭ 富谷市教育委員会行政組織規則の一部改正について
- ⑮ 富谷市教育委員会処務に関する規程の一部改正について
- ⑯ 令和4年度富谷市教育基本方針及び重点施策について

【教科用図書等に関する議事】

- ① 令和4年度使用教科用図書の採択・承認について

- (4) 専決報告 28件

(5) 主な専決報告項目

- ① 富谷市奨学生の決定について
- ② 要・準要保護児童生徒及び翌年度入学予定者の認定について
- ③ 令和2年度富谷市一般会計補正予算に対する意見について
- ④ 令和3年度富谷市一般会計補正予算に対する意見について
- ⑤ 令和4年度富谷市一般会計予算に対する意見について

2 卒業記念品

(単位：校、個、円)

区 分	R3			R2			比較 R3-R2		
	校数	個数	支出額	校数	個数	支出額	校数	個数	支出額
小学校	8	748	615,454	8	681	568,567	0	67	46,887
中学校	5	729	522,838	5	687	702,801	0	42	△ 179,963
計	13	1,477	1,138,292	13	1,368	1,271,368	0	109	△ 133,076

※小学校記念品「英和辞典」 中学校記念品「卒業証書ホルダー」

項 目	88. 事務局 (10款1項2目)		担 当		教育総務担当		
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-1 教育・青少年健全育成						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	120,879,000	120,048,828				48,000	120,000,828

事業名	教育総務事務

I 事業の趣旨（目的）

教育行政の円滑な運営を目的とし、教育施策の調査等の政策業務、文書や法規等の総務事務を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 主な運営費	2,889,531円
(1) 報酬（会計年度任用職員）	1,304,380円
(2) 印刷製本費	88,000円
（教育要覧「富谷市の教育」印刷業務 100部）	
(3) 委託料	158,058円
（教職員ストレスチェック業務）	
(4) その他	1,339,093円

※ 黒川地域行政事務組合の共同処理する事務のうち、適応指導教室（黒川けやき教室）の運営に関する事務は、令和3年3月末を以て廃止された。

項 目	89. 小学校管理 (10款2項2目)		担 当	教育総務担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	182,476,000 (内R2繰越分 2,692,000円)	132,923,179 (内R2繰越分 2,191,000円)			9,700,000	3,864,505	119,358,674

事業名	市立小学校維持管理事業、市立小学校運営事業

I 事業の趣旨（目的）

小学校8校の施設修繕への迅速な対応や保守管理業務を行うことで、安定した教育環境を提供するもの。

II 実施内容及び実績

1 各小学校の学級数、児童数の状況【令和4年3月1日現在】

(単位：学級、人)

年度	項目	区分	富谷小	富丘小	東向小	あけ小	白吉小	成東小	成田小	明石小	合 計
R3	学級数		21	18	20	16	21	14	15	14	139
	児童数		502	551	605	446	588	313	359	355	3,719
R2	学級数		18	20	20	17	21	16	16	14	142
	児童数		493	575	590	497	591	336	371	366	3,819
比較 R3-R2	学級数		3	△ 2	0	△ 1	0	△ 2	△ 1	0	△ 3
	児童数		9	△ 24	15	△ 51	△ 3	△ 23	△ 12	△ 11	△ 100

2 主な運営費

75,491,145円

(1) 消耗品費	11,873,558 円
(2) 燃料費	3,868,977 円
(3) 光熱水費	50,763,508 円
(4) 使用料及び賃借料（維持管理事業）	1,546,209 円
(5) 使用料及び賃借料（運営事業）	0 円
(6) その他（備品修繕料・通信運搬費・火災等保険料・負担金）	7,438,893 円

3 学校施設の保守点検等業務委託

【手数料】

10,811,086円

(1) エレベーター保守点検	4,197,600 円
(2) FF暖房機保守点検	618,780 円
(3) 自家用電気工作物安全管理	1,103,520 円
(4) 高架水槽及び受水槽清掃点検	695,200 円
(5) 消防設備保守点検	422,400 円
(6) プールろ過機保守点検	303,600 円
(7) 地下貯蔵燃料タンク清掃点検	291,500 円
(8) 遊具保守点検	198,000 円
(9) 空調設備保守点検	756,800 円
(10) その他	2,223,686 円

【委託料】

3,360,720円

(1) 建物警備業務委託	1,446,720 円
(2) 除草業務委託	1,239,700 円
(3) 樹木剪定・伐採業務委託	674,300 円

4 主な施設の工事	31,480,900円 (内、R2繰越分 2,101,000円)
(1) 富谷小学校増築機屋根改修工事	10,780,000 円
(2) 富谷小学校3階少人数教室空調設備増設工事	1,639,000 円
(3) 東向陽台小学校受水槽廻り保温他工事	603,900 円
(4) 東向陽台小学校ブランコ境界柵設置工事	599,500 円
(5) あけの平小学校防火シャッター開閉器交換工事	2,200,000 円
(6) 日吉台小学校体育館LED照明器具更新工事	3,560,700 円
(7) 日吉台小学校揚水ポンプ交換工事	924,000 円
(8) 成田東小学校防犯カメラ更新工事	1,118,700 円
(9) 成田東小学校多目的ルーム空調設備設置工事	1,155,000 円
(10) 成田小学校空調設備室外機防雪フード設置工事	1,210,000 円
(11) その他(12件)	5,589,100 円
(12) あけの平小学校校舎北側非常階段塗装修繕工事 (R2繰越)	2,101,000 円

5 主な施設の修繕	11,779,328円	
(1) 富谷市立小学校2校(富ヶ丘小・成田小)自動火災報知機取換工事	2,475,000 円	
(2) 富谷小学校ネットフェンス修繕工事	187,000 円	
(3) 富谷小学校プールろ過装置吸い込み管修繕工事	196,630 円	
(4) 富ヶ丘小学校東側昇降口水飲み場給水管漏水修繕工事	198,000 円	
(5) 富ヶ丘小学校3階中央男子便所小便器配管漏水修繕工事	198,000 円	
(6) 東向陽台小学校体育館女子トイレ修繕工事	198,000 円	
(7) 東向陽台小学校北側門扉戸車修繕工事	171,600 円	
(8) あけの平小学校トイレ修繕工事	194,700 円	
(9) あけの平小学校プールろ過装置修繕工事	94,600 円	
(10) 日吉台小学校2階ホール電動カーテン配線修繕工事	199,980 円	
(11) 日吉台小学校体育館丸窓スタンドグラス除去工事	199,980 円	
(12) 成田東小学校2階家庭科室給湯器交換取換工事	279,400 円	
(13) 成田東小学校体育館外壁照明不良修繕工事	199,100 円	
(14) 成田小学校屋内運動場雨樋修繕工事	598,400 円	
(15) 成田小学校3階テラスサッシクレセント受け交換工事	23,320 円	
(16) 明石台小学校プールろ過装置修繕工事	83,600 円	
(17) 明石台小学校保健室空調設備修繕工事	48,400 円	
(18) その他(73件)	6,233,618 円	合計：90件

項 目	90. 中学校管理 (10款3項2目)		担 当	教育総務担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	165,615,000 (内R2繰越分 51,584,000円)	130,232,053 (内R2繰越分 41,195,000円)				897,830	129,334,223
事業名	市立中学校維持管理事業、市立中学校運営事業						

I 事業の趣旨（目的）

中学校5校の施設修繕への迅速な対応や保守管理業務を行うことで、安定した教育環境を提供するもの。

II 実施内容及び実績

1 各中学校の学級数、生徒数の状況【令和4年3月1日現在】

(単位：学級、人)

年度	項目	区分	富谷中	富二中	東向中	日吉中	成田中	合 計
R3	学級数		10	17	15	12	16	70
	生徒数		250	510	472	357	444	2,033
R2	学級数		10	17	16	11	15	69
	生徒数		255	503	493	330	462	2,043
比較 R3-R2	学級数		0	0	△ 1	1	1	1
	生徒数		△ 5	7	△ 21	27	△ 18	△ 10

2 主な運営費

60,163,514円

(1) 消耗品費	10,047,767 円
(2) 燃料費	3,576,248 円
(3) 光熱水費	30,036,735 円
(4) 使用料及び賃借料（維持管理事業）	1,914,541 円
(5) 使用料及び賃借料（運営事業）	10,114,080 円
(6) その他（備品修繕料・通信運搬費・火災保険料・負担金）	4,474,143 円

3 学校施設の保守点検等業務委託

【手数料】

6,640,601円

(1) エレベーター保守点検	2,270,400 円
(2) FF暖房機保守点検	524,120 円
(3) 自家用電気工作物保安管理	720,720 円
(4) 高架水槽及び受水槽清掃点検	468,600 円
(5) 消防設備保守点検	286,000 円
(6) プールろ過機保守点検	189,750 円
(7) 地下貯蔵燃料タンク清掃点検	192,500 円
(8) 体育施設保守点検	112,750 円
(9) 富谷中学校防錆剤注入機メンテナンス業務	259,600 円
(10) 中学校空調設備保守点検業務	436,700 円
(11) その他	1,179,461 円

【委託料】

3,356,670円

(1) 建物警備業務委託	953,040 円
(2) 除草業務委託	1,455,300 円
(3) 富谷中学校し尿浄化槽維持管理清掃業務委託	480,280 円
(4) その他	468,050 円

4 主な施設の工事	52,620,700円 (内、R2繰越分 41,195,000円)	
(1) 富谷中学校駐車場補修工事	497,200 円	
(2) 富谷中学校バスケットゴール撤去工事	195,800 円	
(3) 富谷中学校野球得点板撤去工事	143,000 円	
(4) 富谷中学校浄化槽ブロワ入替工事	1,016,400 円	
(5) 富谷第二中学校地下タンク内面被覆工事	1,914,000 円	
(6) 東向陽台中学校体育館LED照明器具更新工事	2,379,300 円	
(7) 東向陽台中学校プールろ過装置操作盤他交換工事	924,000 円	
(8) 日吉台中学校3階教室照明器具取替交換工事	825,000 円	
(9) 日吉台中学校プール漏水配管改修工事	1,199,000 円	
(10) 日吉台中学校消火補助水槽配管保温工事	176,000 円	
(11) 日吉台中学校特別支援教室パーテーション設置工事	1,298,000 円	
(12) 日吉台中学校プールろ過器交換工事	858,000 円	
(13) 富谷第二中学校ロープ式エレベーター修繕工事 (R2繰越)	2,805,000 円	
(14) 富谷第二中学校外部鉄骨階段改修工事 (R2繰越)	10,780,000 円	
(15) 富谷第二中学校体育館吊下げ式バスケットゴール更新工事 (R2繰越)	6,468,000 円	
(16) 東向陽台中学校非常階段塗装修繕工事 (R2繰越)	1,826,000 円	
(17) 日吉台中学校プール改修工事 (R2繰越)	18,766,000 円	
(18) 成田中学校ロープ式エレベーター修繕工事 (R2繰越)	550,000 円	
5 主な施設の修繕	7,450,568円	
(1) 富谷中学校体育館暗幕開閉紐引き操作修繕工事	198,000 円	
(2) 富谷中学校舞台幕掛け替え修繕工事	187,000 円	
(3) 富谷第二中学校調理室換気扇修繕工事	198,000 円	
(4) 富谷第二中学校消火栓設備配管保温工事	198,000 円	
(5) 東向陽台中学校外部階段補修工事	199,100 円	
(6) 東向陽台中学校雨漏れ修繕工事	198,000 円	
(7) 日吉台中学校PIA室暖房機修繕工事	239,800 円	
(8) 日吉台中学校プール棟シャワーレバー部分修繕工事	198,000 円	
(9) 成田中学校作動式スポット型感知器取替工事	199,100 円	
(10) 成田中学校エレベータードアモーター及び照明修繕工事	199,800 円	
(11) その他 (50件)	5,435,768 円	合計：60件

項 目	9 1. 幼稚園管理 (10款4項1目)		担 当	教育総務担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
	円	円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	306,755,000 (内R2繰越分 715,000円)	296,391,167 (内R2繰越分 715,000円)	132,371,000	67,445,500		15,720	96,558,947

事業名	①子育てのための施設等利用給付事業

I 事業の趣旨（目的）

新制度未移行の私立幼稚園等に通園する園児の保護者に対し、保育料の給付及び預かり保育利用費の給付等を実施し、保護者の経済的負担軽減及び幼稚園の就園機会の確保を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 施設等利用費給付

(1) 未移行幼稚園の保育料に係る給付

(単位：人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	市内幼稚園	児童数	399	406	411	416	423	425	
		給付費	10,193,090	10,409,900	10,562,700	10,596,090	10,655,650	10,898,080	
2	市外幼稚園	児童数	357	360	367	366	371	377	
		給付費	9,074,870	9,150,060	9,314,080	9,333,100	9,383,700	9,595,230	
合 計		児童数	756	766	778	782	794	802	
		給付費	19,267,960	19,559,960	19,876,780	19,929,190	20,039,350	20,493,310	
区 分			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1	市内幼稚園	児童数	433	436	436	437	439	438	5,099
		給付費	11,013,440	11,098,590	11,123,630	11,122,490	11,213,740	11,206,350	130,093,750
2	市外幼稚園	児童数	381	383	383	384	381	381	4,491
		給付費	9,694,850	9,732,310	9,768,300	9,789,700	9,702,890	9,705,750	114,244,840
合 計		児童数	814	819	819	821	820	819	9,590
		給付費	20,708,290	20,830,900	20,891,930	20,912,190	20,916,630	20,912,100	244,338,590

※ 市内3園、市外14園、計17園

(2) 預かり保育事業に係る給付

(単位：人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	私立幼稚園 (未移行)	児童数	182	165	179	212	204	173	
		給付費	1,008,670	916,350	1,101,120	1,076,070	898,950	1,046,200	
2	市立幼稚園	児童数	18	18	19	21	19	19	
		給付費	109,100	97,450	120,150	99,750	106,950	107,100	
合 計		児童数	200	183	198	233	223	192	
		給付費	1,117,770	1,013,800	1,221,270	1,175,820	1,005,900	1,153,300	
区 分			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1	私立幼稚園 (未移行)	児童数	181	191	206	181	171	203	2,248
		給付費	1,065,140	1,036,600	1,052,070	885,940	864,400	987,700	11,939,210
2	市立幼稚園	児童数	20	21	21	21	21	24	242
		給付費	119,600	124,200	122,750	89,250	100,300	113,950	1,310,550
合 計		児童数	201	212	227	202	192	227	2,490
		給付費	1,184,740	1,160,800	1,174,820	975,190	964,700	1,101,650	13,249,760

※ 私立幼稚園13園、市立幼稚園1園、計14園

(3) 未移行幼稚園副食費補給給付

(単位：人、円)

区 分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	市内幼稚園	児童数	49	51	51	52	51	54	
		給付費	170,532	177,716	178,228	181,364	177,172	186,148	
2	市外幼稚園	児童数	28	29	29	29	29	29	
		給付費	83,769	96,917	100,904	87,967	78,805	102,039	
合計		児童数	77	80	80	81	80	83	
		給付費	254,301	274,633	279,132	269,331	255,977	288,187	
区 分			10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
1	市内幼稚園	児童数	52	53	53	53	52	53	624
		給付費	180,900	184,084	183,828	184,084	178,448	183,156	2,165,660
2	市外幼稚園	児童数	34	34	34	34	33	33	375
		給付費	119,952	120,269	115,959	112,375	118,121	103,711	1,240,788
合計		児童数	86	87	87	87	85	86	999
		給付費	300,852	304,353	299,787	296,459	296,569	286,867	3,406,448

※ 市内3園、市外7園、計10園

事業名	②市立幼稚園運営・維持管理事業、 幼稚園預かり保育事業、私立幼稚園運営助成事業

I 事業の趣旨（目的）

富谷幼稚園の施設及び設備の適切な維持管理を行い、安全かつ快適な園生活の確保を図るもの。幼稚園預かり保育事業は、保護者の子育てと就労の両立を支援するもの。私立幼稚園運営助成事業においては、運営費の一部助成を行うことで、幼児教育の振興や保護者負担軽減を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 市立幼稚園維持管理事業

(1) 各市立幼稚園の学級数、園児数の状況(令和4年3月1日現在)

(単位：学級、人)

年度	富谷幼稚園		東向陽台幼稚園		計	
	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数
R3	3	58			3	58
R2	4	75	1	7	5	82
比較 R3-R2	△ 1	△ 17	皆減	皆減	△ 2	△ 24

(2) 主な運営費

3,324,246 円

①賞賜金	63,584 円
②旅費	184,223 円
③消耗品費	493,466 円
④燃料費	417,860 円
⑤印刷製本費	57,832 円
⑥光熱水費	1,138,117 円
⑦賄材料費	70,786 円
⑧通信運搬費	148,421 円
⑨筆耕翻訳料	10,164 円
⑩使用料及び賃借料	215,324 円
⑪備品購入費	438,058 円
⑫その他(食糧費・医薬材料費・火災等保険料・負担金)	86,411 円

(3) 手数料

363,040 円

①消防設備点検	22,000 円
②FF暖房機保守点検	42,680 円
③遊具保守点検	29,700 円
④空調設備保守点検業務	191,400 円
⑤堅樋内高圧洗浄	55,000 円
⑥その他	22,260 円

(4) 委託料	635,430 円	
①建物整備業務委託		126,588 円
②除草業務委託		283,800 円
③教室排水管内視鏡調査業務委託		110,000 円
④園舎清掃業務		115,042 円
(5) 主な施設の工事	797,500 円 (内、R2繰越分	715,000円)
①FF暖房機移設工事		82,500 円
②排水設備部分修繕工事 (R2繰越)		715,000 円
(6) 主な施設の修繕	336,600 円	
①遊戯室・うさぎ組照明器具不具合修繕		88,000 円
②児童教室排気ファン交換工事		91,300 円
③トイレ屋外水抜き栓修繕工事		139,700 円
④消防設備機器取替工事		17,600 円

2 幼稚園預かり保育事業

市立幼稚園預かり保育状況

年 度	区 分	富谷幼稚園	東向陽台幼稚園	合 計
R3	実施日数	238日		—
	延べ利用人数	3,238人		3,238人
R2	実施日数	240日	43日	—
	延べ利用人数	4,772人	12人	4,784人
比較 R3-R2	実施日数	△ 2日	皆減	—
	延べ利用人数	△ 1,534人	皆減	△ 1,546人

3 私立幼稚園教育施設運営助成金 市内3園 750,000 円

4 私立幼稚園就園奨励費補助金の過払返納状況

過払金総額	16,614,700 円
返納額	14,404,600 円
未納額	2,210,100 円

(単位：円)

返納額内訳							
R3	R2	R1	H30	H29	H28	H27	計
471,500	658,800	464,900	442,400	1,270,368	2,566,680	8,529,952	14,404,600

項 目	92、コミュニティセンター管理 (10款5項2目)		担 当		教育総務担当		
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち! 1-2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	1,952,000	1,772,517					1,772,517

事業名	不登校特例校整備事業

I 事業の趣旨（目的）

不登校生徒のための新たな学びの場として、実態に配慮した特別の教育課程を編成し、西成田コミュニティセンター内に不登校特例校富谷中学校西成田教室を整備するもの。

II 実施内容及び実績

1 運営費	1,772,517円	
(1) 通信運搬費		6,357 円
2 工事費		
(1) 改修工事		974,800 円
(2) 電話機等設置工事		690,800 円
(3) 耐火壁貫通スリーブ設置工事		16,940 円
(4) 職員室建具シリンダー交換工事		41,580 円
(5) ネットワーク整備工事		42,240 円

項 目	93. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (11款3項1目)		担 当		教育総務担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	49,982,000	3,261,538					3,261,538

事業名	①令和2年度地震災害復旧事業

I 事業の趣旨（目的）

令和3年福島県沖地震(令和3年2月13日発生)による被害に対し、小中学校の施設に被害が生じたため、必要な復旧工事を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 小・中学校の災害復旧	3,080,000 円	
(1) 小・中学校震災復旧工事		3,080,000 円
① 富谷小学校内外壁クラック等補修工事		
② 東向陽台小学校エキスパンションジョイント等修繕工事		
③ あけの平小学校エキスパンションジョイント修繕工事		
④ 成田中学校オイルサービスタンク室等補修工事		

事業名	②その他公共施設・公用施設災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

令和4年福島県沖地震(令和4年3月16日発生)による被害に対し、小中学校の施設に多大な被害が生じたため、人的警備業務及び緊急工事を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 小・中学校の災害復旧	181,538 円	
(1) 人的警備業務委託(緊急)		43,312 円
(2) 小・中学校震災復旧工事(緊急)		
① 成田小学校サッシ障子外れ復旧工事		28,600 円
② 成田中学校コンパネ養生工事		77,000 円
③ 成田中学校窓ガラス破損箇所養生工事		32,626 円

教 育 部
学校教育課
学校給食センター

項 目	94. 事務局 (10款1項2目)		担 当	学校教育担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1－1 教育・青少年健全育成 1－2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	112,809,000	102,680,426		15,056,425			87,624,001

事業名	①幼稚園・学校健康診断等事業

I 事業の趣旨（目的）

園児・児童・生徒・教職員の健康保持増進を図るとともに、幼稚園・学校における保健及び学校環境衛生の充実を図る。就学時健康診断を実施し、就学前に学校生活・日常生活に支障となるような疾病等の状況を把握することにより、就学相談、就学指導等を行い、適切な就学を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

- 1 幼稚園・学校健康診断等事業 27,800,262円
- (1) 就学時健康診断 受診児童 534人 (内科・耳鼻科・歯科・聴力・視力等検診)
- (2) 教職員健康診断 受診教職員 268人 (胸部X線検査・尿検査・診察・身体測定等)
- (3) 就学支援委員会 1回/年
- (4) 幼稚園・小学校・中学校AEDリース料（長期継続契約） 令和3年度分 975,888円

事業名	②学校総務事務、スクールカウンセラー事業、 社会科副読本作成事業、学校情報化推進事業、 学力向上パワーアップ支援事業、 スクール・サポート・スタッフ配置支援事業

※心の教室相談事業と黒川地域行政事務組合のけやき教室運営は令和2年度で事業を終了した。

I 事業の趣旨（目的）

児童生徒やそれに関わる教育関係者の心理面における専門的指導の重要性を考慮して、スクールカウンセラーを小中学校に配置し、児童生徒の心理的問題等の改善とネットワークの強化を図る。総合的学習の時間や社会科などでの地域教材となる副読本を作成し、富谷の歴史・文化・自然などに対する児童生徒の理解・体験の深化・拡充を進める。小中学校における校内イントラネット及び高速インターネットなどのICT環境を整備し、タブレット端末などを活用した授業やオンライン学習など、学校教育の情報化について一層の研究・充実に努める。確かな学力の向上のためには、教員一人ひとりの資質向上が何よりも重要であることから、教職員研修に重点を置いた様々な事業の展開と、学び合う教師集団の確立を目指す学力向上パワーアップ支援事業など、将来を見据えた様々な教育環境を整備する。

新型コロナウイルス感染症対策によるスクール・サポート・スタッフの配置を行い、教職員の支援と児童生徒の安全な学習環境を整備する。

II 実施内容及び実績

- 1 学校総務事務 14,990,078円
- (1) 学校評議員運営 【任期1年・校長推薦・委員会任命】51人委嘱（5人以内/校）
- (2) 校長会 13回/年
- (3) 教頭会 9回/年
- (4) 教育相談事業
- ① 教育相談事業（相談員は、富谷市教育委員会内に配置）

（単位：延人数）

相談	年度	R3	R2	比較 R3-R2
生 徒		11	13	△ 2
教 員		939	765	174
保 護 者 等		57	59	△ 2
合 計		1,007	837	170

2 スクールカウンセラー事業

424,364円

(1) スクールカウンセラー活用状況

(単位：件、延人数)

相談	校名・年度	富谷中			富谷第二中			東向陽台中			日吉台中			成田中		
		R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
	件数	148	122	26	99	114	△15	427	199	228	121	157	△36	32	10	22
相談者	生徒	113	109	4	54	59	△5	165	24	141	108	133	△25	9	9	0
	保護者等	34	13	21	45	55	△10	278	200	78	12	25	△13	24	1	23
	計	147	122	25	99	114	△15	443	224	219	120	158	△38	33	10	23

相談	校名・年度	富谷小			富ヶ丘小			東向陽台小			あけの平小		
		R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
	件数	157	157	0	103	101	2	117	82	35	150	171	△21
相談者	生徒	82	95	△13	78	69	9	73	63	10	78	84	△6
	保護者等	79	63	16	28	36	△8	50	25	24	75	89	△14
	計	161	158	3	106	105	1	123	89	34	153	173	△20

相談	校名・年度	日吉台小			成田東小			成田小			明石台小			合計		
		R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
	件数	98	96	2	209	145	64	293	157	136	64	80	△16	2,018	1,591	427
相談者	生徒	70	58	12	170	130	40	193	111	82	34	63	△29	1,227	1,007	220
	保護者等	30	49	△19	37	19	18	98	48	50	31	31	0	821	655	166
	計	100	107	△7	207	149	58	291	159	132	65	94	△29	2,048	1,662	386

※保護者等には、教員の相談数も含まれる。

3 社会科副読本作成事業

2,376,000円

- (1) 小学校副読本(増刷)印刷製本 320部
- (2) 中学校副読本(増刷)印刷製本 720部

4 学校情報化推進事業

315,480円

- (1) インターネット接続料

5 学力向上パワーアップ支援事業

2,333,385円

- (1) 教育フォーラム(富谷市学び合いの学習推進会議拡大研修会)の実施
「不登校等児童生徒の支援の在り方」 R4.1.6(木) 主会場 東向陽台小学校
・オンラインによるパネルディスカッションで実施
- (2) 理科教育研究会の実施
 - ① 科学フェスタ2021inTOMIYA 中止
 - ② 富谷市理科支援員派遣事業(200回)
- (3) 学び合いの学習推進会議
 - ① 第1回学び合いの学習推進会議研修会 R3.6.15(火)実施 会場 富谷市役所
 - ② 第2回学び合いの学習推進会議研修会 R3.9.13(月)実施 会場 富谷市学校給食センター
 - ③ 学び合いの学習推進会議第1回拡大研修会 R3.4.20(火)実施 日吉中を主会場にオンライン開催
 - ④ 学び合いの学習推進会議第2回拡大研修会兼第3回推進会議 R3.10.18(月)実施 会場 成田中学校
 - ⑤ 学び合いの学習推進会議第3回拡大研修会 R3.11.17(水)実施 会場 明石台小学校
 - ⑥ 第4回学び合いの学習推進会議研修会 R4.2.15(火)実施 会場 書面開催
 - ⑦ 校長会視察 中止
- (4) 中学生SNSフォーラム
新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインでの開催

6 スクール・サポート・スタッフ配置支援事業

11,723,238円

- (1) 小中学校にスクール・サポート・スタッフ13人を配置(内1人は県からの配置)し、新型コロナウイルス感染症の影響により多忙となった教職員の支援を行った。

事業名	③学校評価システム構築事業

I 事業の趣旨（目的）

教育活動を評価・改善するために、教職員による評価、保護者による評価、児童生徒による評価及び学校関係者評価委員による評価を実施し、それぞれの評価を踏まえて、学校、地域、行政の連携を深めながら、各学校がそれぞれの特色を活かした地域に開かれた魅力ある学校の実現を目指す。

II 実施内容及び実績

1 学校評価システム構築事業

260,000円

(1) 主な支出

学校関係者評価委員謝礼

52人×5,000円＝260,000円

事業名	④いじめ問題対策推進事業

I 事業の趣旨（目的）

本市の児童生徒の尊厳を保持するため、市内の学校・地域住民・家庭その他の関係機関との日常的な連携のもと、いじめ問題の克服に向けた個々のケースに応じた迅速な取組や、いじめの確実な防止等に向けた対策を総合的かつ効果的に推進する。

II 実施内容及び実績

1 いじめ問題対策推進事業

53,000円

(1) 会議の開催回数

①いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題対策調査委員会合同会議

2回（内1回は書面開催）

事業名	⑤スクールソーシャルワーカー活用事業

I 事業の趣旨（目的）

児童生徒が抱える様々な問題や生徒指導上の課題への適切な対応を目的とし、不登校やいじめなどの問題を抱える児童生徒のみならず、家庭への働きかけなどによるきめ細やかな支援を行う専門的な知識・技術を持ったスクールソーシャルワーカーを配置し、迅速な支援を行うことを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 スクールソーシャルワーカーの配置等

2,237,503円

(1) 支援対象学校：市立小・中学校

(2) 配置形態：巡回及び派遣

(3) 配置人数等：教員の資格を有する者1人、社会福祉士の資格を有する者1人、計2人

(4) 勤務形態：週1日程度、5時間勤務

2 活動内容

教育支援センターを拠点に2人を配置し、小中学校への定期的な巡回により、諸問題を解決するための支援を積極的に行った。特に、生徒指導上の課題があり、不登校や虐待等で要望のあった学校を重点的に訪問し、教育相談や助言等、解決のための以下のような多面的な支援に努めた。

- (1) 問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- (2) 関係機関等とのネットワーク構築、連携、調整
- (3) 学校内におけるチーム体制の構築、支援（ケース会議の設置）
- (4) 保護者、教職員等に対する支援や情報提供
- (5) 教職員等への研修活動

3 活動実績

(1) 支援児童生徒数、訪問活動回数等

（単位：人、回、件）

支援児童生徒数	うち継続者数	訪問活動回数	教職員・関係機関とのケース会議	関係機関との連携件数
67 (97)	37 (26)	388 (217)	17 (32)	35 (20)

（ ）内は前年度数値

事業名	⑥教育支援センター運営支援事業

I 事業の趣旨（目的）

不登校等による心のケアを必要とする児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的習慣の改善等のための相談や適応指導を行うとともに、その保護者及び学校等との円滑な相談体制の整備と適切な支援を行うことで、児童生徒の教育機会の確保と充実を進めながら、学校復帰や社会的自立を目指すことを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 富谷市教育支援センター

(1) スーパーバイザー（2人）、教育相談員（1人）、教育指導員（1人）、支援員（7人）

15,627,421円

①支援対象学校：市立小中学校

②配置形態：富谷市教育支援センターでの支援及び巡回並びに派遣での支援

(2) 主な活動状況

黒川けやき教室（令和2年度廃止）と子どもの心のケアハウスが統合した教育支援センターを新たに開設した。

- ① 市内全中学校に週3回程度支援員1人を派遣し、別室登校している生徒に対して、きめ細やかな学習支援や教育相談を行った。また、来所した児童生徒一人ひとりに寄り添った心・学習・適応指導などの多様な支援を行うとともに、保護者からの教育相談（来所・電話）なども随時実施してきた。
- ② 今年度開設した当センターの効果的な運営に向けて、校長会等で目的や機能などを含めた説明と活用に向けた周知を徹底したほか、スーパーバイザーが各学校へ直接訪問し、より具体的な活動内容や連携体制といったより実務的な説明と指導を行った。また、児童生徒や保護者に対して、学校だより等を通して広く周知した。
- ③ 担当者打合せを毎月実施し、対象児童生徒の具体的な指導方法等を協議した。スクールソーシャルワーカーや教育相談員のほか教育委員会などの関係者で、それぞれの情報を共有し、今後の支援の方向性などについて幅広く共通理解を図った。また、必要に応じて、学校と連携してケース会議等を開催し、役割分担等のきめ細やかな支援対策について検討を行った。
- ④ 学習については、自学学習を中心とし、個々の実態に応じた適切な支援を行った。プリント学習だけではなく、一人ひとりの学習の理解や意欲の度合いに応じて、ものづくりや体育的学習、校外学習（地域散策）等特別な学習内容を考え、取り組ませた。
- ⑤ 児童生徒同士の交流を重視した様々な活動を通して、相互のコミュニケーションなど社会的な自立につながる関係性の向上を図った。

(3) 活動実績

①児童・生徒、保護者の延べ支援数

（単位：延人数）

支援児童・生徒数				保護者支援数
	来所支援	学校支援	家庭訪問等支援	
599 (276)	161 (32)	436 (197)	2 (47)	142 (98)

() 内は前年度数値

②児童・生徒、保護者の支援人数

ア 支援対象児童生徒数（実数） 89人

イ 学校復帰（含む別室）児童生徒数（実数） 12人

ウ 学校訪問回数

(ア) 訪問校数 小学校 8校、中学校 5校 計 13校

(イ) 訪問延べ回数 小学校 16回 (12)、中学校 530回 (460) 計 546回 (472)

() 内は前年度数値

エ 家庭訪問

(ア) 訪問家庭数 2件、訪問延べ回数 4回

事業名	⑦外国語指導助手(ALT)活用事業

I 事業の趣旨(目的)

英語を母語とする外国人を外国語指導助手として小中学校等の外国語教育や国際理解教育で活用し、生きた外国語に触れる機会を創出することで、異文化理解など国際的視野に立つ考え方を学ばせ、グローバル社会で生きていくための力を身に付けさせる。

II 実施内容及び実績

24,539,695円

1 契約方法 直接雇用(会計年度任用職員)

2 雇用人数 5人

3 勤務状況 週32.5時間(平均6.5時間/1日)

①	ロジャー・バーカー	(ニュージーランド)	東向中・成田中(2週毎)
②	ラング・オースティン・マイケル・ノグチ	(アメリカ)	東向小・日吉台小・明石台小(毎週 曜日指定)
③	ロバート・レーニ	(アメリカ)	富谷小・富ヶ丘小・あけの平小(毎週 曜日指定)
④	アエツカ・クリスティー・ジョン	(オーストラリア)	成田東小・成田小・富谷中(隔週 曜日指定)
⑤	タニエル・フィックス	(イギリス)	富谷二中・日吉台中(2週毎)
- ※ 富谷幼稚園、市立保育所、認可保育園、認可こども園、児童クラブ等、計48回の派遣を実施

- 4 目的等
- (1) 中学校 英語教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を実施することによりネイティブな英語に触れ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、コミュニケーション能力などの基礎を養うとともに、言語や文化に対する理解を深める。
- (2) 小学校 外国語及び外国語活動等において、外国人や英語に触れることで、英語及び外国文化への興味・関心を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。さらに、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力の素地を養い、国際感覚を身に付けさせる。
- (3) 研修会 ① スキルアップ研修会(3回実施)では、研修委託先講師による子どもたちをひきつける授業の方法等についての研修を行った。
 ② 授業視察研修では、研修委託先講師が1人について1回程度(計5回)授業を参観し、ALT同士の討議や、講師の評価、指導を受けた。
 ③ 教材づくり研修会(計7回)では、授業で活用できるゲームやカード等の教材などを作成した。
 ④ 英語等支援員との研修会やALT同士の情報交換会では、課題と対策等についての話し合いや、小学校英語専科教員と共に授業のあり方について研修した。
- (4) 合同会議 英語等支援員とALTの合同情報交換会を実施
 ① 授業における市内統一事項の確認
 ② 教育効果の高かった指導実践の紹介と意見交換
 ③ 情報交換による指導力向上の研修

5 派遣回数

(1) 中学校		(単位：回)
学校名	R3	R2
富谷中	94	96
富二中	105	71
東向中	114	105
日吉中	111	73
成田中	112	77
合計	536	422

(2) 小学校		(単位：回)
学校名	R3	R2
富谷小	67	62
富丘小	68	72
東向小	68	59
あけ小	70	56
日吉小	73	35
成東小	60	59
成田小	64	62
明石台小	69	61
合計	539	466

※小中学校への派遣回数に隔たりがあるものについては、A L Tの勤務校における1回当たりの派遣時間が異なっていることによるものであり、年間授業時数にすると小中学校それぞれにおいて概ね同じ授業時数となる。

項 目	95. 教育振興 (10款1項3目)		担 当	学校教育担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1-2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	8,167,000	8,159,100					8,159,100

事業名	奨学金貸付事業

I 事業の趣旨（目的）

富谷市在住で高等学校や大学等へ就学したいにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な学生及び生徒について、無利子で奨学金を貸付し、誰一人取り残さない教育の実現につながる支援に努めた。

II 実施内容及び実績

1 奨学金貸付事業

富谷市奨学生選考委員会を令和3年4月7日に開催し、奨学生志願者6人全員を推薦、教育委員会において奨学生を決定した。

(1) 期別貸付状況

(単位：円)

期別区分	年度	R3		R2		比較 R3-R2 貸付金額
		送金時期	貸付金額	送金時期	貸付金額	
I (4月～7月分)	R3年 4月		3,580,000	R2年 4月	3,380,000	200,000
II (8月～11月分)	R3年 8月		2,280,000	R2年 8月	2,680,000	△ 400,000
III (12月～3月分)	R3年12月		2,280,000	R2年12月	2,680,000	△ 400,000
貸付総額			8,140,000		8,740,000	△ 600,000

(2) 新規・継続別貸付状況

(単位：人、円)

区分	年度	R3		R2		比較 R3-R2	
		人数	貸付金額	人数	貸付金額	人数	貸付金額
新規	大学生	3	1,680,000	0	0	3	1,680,000
	高校生	2	880,000	2	880,000	0	0
	専修学校	1	660,000	1	660,000	0	0
	計	6	3,220,000	3	1,540,000	3	1,680,000
継続	大学生	8	2,880,000	14	5,040,000	△ 6	△ 2,160,000
	高校生	7	1,680,000	9	2,160,000	△ 2	△ 480,000
	専修学校	1	360,000	0	0	1	360,000
	計	16	4,920,000	23	7,200,000	△ 7	△ 2,280,000
貸付合計額			8,140,000		8,740,000		△ 600,000

(3) 奨学金償還状況

(単位：円)

		内 訳		歳入調定額	収入済額	収入未済額
		現年度分	未納繰越分			
R3	償還金	44人		11,937,200	10,815,100	1,122,100
		34人		17,699,300	2,806,000	14,893,300
		計		29,636,500	13,621,100	16,015,400
R2	償還金	44人		11,298,400	9,402,800	1,895,600
		36人		18,239,800	2,436,100	15,803,700
		計		29,538,200	11,838,900	17,699,300
比較 R3-R2	償還金	0人		638,800	1,412,300	△ 773,500
		△ 2人		△ 540,500	369,900	△ 910,400
		計		98,300	1,782,200	△ 1,683,900

(4) 奨学金償還残高状況

- ・奨学金貸付残高 82,246,600円
- ・貸付人数 100人

項 目	9 6. 小学校教育振興 (10款2項1目)		担 当		学校教育担当		
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1－2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	21,828,000	18,440,507	639,000	126,398			17,675,109

事業名	小学校特別支援教育就学奨励費補助事業、 小学校要・準要保護児童生徒援助費補助事業

I 事業の趣旨（目的）

教育の機会均等の趣旨に則り、経済的理由によって就学困難な児童の保護者及び、特別支援学級へ就学する児童の保護者と通常学級に就学する（学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当）児童の保護者に学校用品費等を給付することにより、経済的負担を軽減することを目的とする。また、東日本大震災により被災し、経済的理由から就学困難となった児童の保護者に対して就学援助の支給を実施した。

II 実施内容及び実績

1 就学援助

(1) 特別支援教育就学奨励費

1,278,609円

(単位：人、円)

項目 年度	人数	学校用品 通学用品	校 外 活動費	新入学 用品費	修 学 旅行費	医療費	給食費	計
R3	38	214,520	25,727	127,800	28,146		882,416	1,278,609
R2	44	244,230	18,936	153,180	18,787		875,262	1,310,395
比較 R3-R2	△ 6	△ 29,710	6,791	△ 25,380	9,359		7,154	△ 31,786

(2) 要保護・準要保護児童就学援助費

17,080,782円

(単位：人、円)

項目 年度	人数	学校用品 通学用品	校 外 活動費	新入学 用品費	修 学 旅行費	医療費	給食費	計
R3	237	3,048,779	313,463	1,684,980	1,113,390	103,295	10,816,875	17,080,782
R2	229	2,606,521	217,289	1,742,480	211,518	19,930	8,292,771	13,090,509
比較 R3-R2	8	442,258	96,174	△ 57,500	901,872	83,365	2,524,104	3,990,273

①うち新入学用品費の入学前支給 支給日 R4.1.31 支給数 19人 970,140円

②237人のうち、被災児童生徒就学支援事業費の対象者数は2人、補助額は126,398円。

(3) その他の経費

①通信運搬費

80,456円

②手数料

660円

項 目	97. 小学校管理 (10款2項2目)		担 当	学校教育担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1－1 教育・青少年健全育成 1－2 教育・国際交流						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	215,065,000	201,103,427	4,548,400				196,555,027
事業名	①市立小学校運営事業						

I 事業の趣旨（目的）

確かで魅力のある学校づくりに向けて、教職員の支援体制及び教育内容等の充実を図り、円滑に学校運営を展開することができるよう、安定した教育環境の整備に努める。

II 実施内容及び実績

1 各小学校の児童数、学級数の状況【令和4年3月1日現在】

(単位：学級、人)

項目 年度	区分	富谷小	高丘小	東向小	あけ小	日吉小	成東小	成田小	明石小	計
R3	学級数	21	18	20	16	21	14	15	14	139
	児童数	502	551	605	446	588	313	359	355	3,719
R2	学級数	18	20	20	17	21	16	16	14	142
	児童数	493	575	590	497	591	336	371	366	3,819
比較 R3-R2	学級数	3	△ 2	0	△ 1	0	△ 2	△ 1	0	△ 3
	児童数	9	△ 24	15	△ 51	△ 3	△ 23	△ 12	△ 11	△ 100

2 主な運営費

73,803,473円

(1)報酬（特別支援教育支援員）	29,409,435 円
(2)報酬（英語等支援員）	9,398,169 円
(3)報酬（ことばの教室指導員）	1,179,882 円
(4)会計年度任用職員期末手当、共済費、旅費	17,925,612 円
(5)消耗品費	2,449,403 円
(6)備品購入費（一般・教材備品）	9,836,630 円
(7)その他	3,604,342 円

3 学校運営に係る業務委託

【委託料】

25,415,812円

(1)臨時学校用業務委託	25,415,812円

4 総合学習

各小学校補助金

8校

721,475円

5 ことばの教室

富谷小・成田東小開設

入級者数

56人（R4.3月）

事業名	②市立小学校コンピュータ教育事業

I 事業の趣旨（目的）

市内各小学校にICT機器、ソフトウェア、コンテンツの充実を図り、GIGAスクール構想に対応した学習環境を整える。

II 実施内容及び実績

1 主な運営費

73,046,903円

(1)消耗品費	1,931,215 円
(2)修繕料	291,400 円
(3)通信運搬費	1,149,984 円
(4)使用料及び賃借料（教育用タブレット端末、校務用PC等：R2～R6）	69,674,304 円
※教育用タブレット41,650,704円 校務用PC等28,023,600円	

事業名	③市立小学校図書推進事業

I 事業の趣旨（目的）

読書習慣の定着化に向けた読書センター機能と、教育課程の展開に寄与する学習情報センター機能を有する学校教育の中核的な役割を担う学校図書館を計画的に活用し、児童生徒の主体的かつ意欲的な学習活動や読書活動の充実に努める。

II 実施内容及び実績

1 人員配置 全小学校各1人 計8人 ・報酬、手当、共済費、旅費 計 14,062,913円

- 2 事業概要
- (1) 市主催の研修会を通して学校図書館指導員の資質の向上を図り、授業支援を強化する。
 - ① 調べる学習にかかる研修会
新型コロナウイルス感染症対策のため中止
 - (2) 夏季休業中の「調べる学習相談会」の開催や各校での相談会に学校図書館指導員を派遣し、調べる学習に関するスキルを向上させる。
 - ① 調べる学習相談会
 - ア 夏季休業中相談会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止
 - イ 各校における相談会 市内5小学校（25学級）で実施
 - (3) 調べる学習コンクールを開催し、知る喜びや学ぶ楽しさを実感させることで、学力を含めた『生きる力』の育成を図る。
 - ・コンクール名 「第10回 富谷市図書館を使った調べる学習コンクール」
 - ・開催期間 R3. 9. 1～R3. 10. 7
 - ・応募作品数 1,041作品
 - ・受賞作品数
 - 教育長賞 3作品
 - 富谷ユネスコ協会賞 3作品
 - 優秀賞 14作品
 - 優良賞 15作品
 - 奨励賞 14作品
 - ・市コンクールで優秀賞以上の作品を全県コンクールに出品。
 - 奨励賞 4作品
 - 佳作 16作品
 - (4) 授業で活用できる学校図書館として、読書センターとしての充実及び学習・情報センターとしての充実を図るため、図書館担当教員との合同連絡調整会議等を通して、各校の現状を把握しながら、学校図書館担当を中心とした各学校への支援体制を整備する。
 - ① 合同連絡協議会 R3. 5. 20実施（2回目はコロナ禍により中止）
 - ② 図書館指導員連絡調整会議 R3. 11. 29実施
 - ③ 学校巡回「新刊図書展示会」 R3. 6. 3～6. 4

3 図書等購入費 (単位：円)

学校名	R3	R2
富谷小	569,458	620,788
富丘小	669,280	726,060
東向小	699,963	719,904
あけ小	599,889	675,766
日吉小	649,792	540,757
成東小	546,933	536,002
成田小	639,285	625,089
明石小	1,487,682	1,543,595
共通	264,000	0
合計	6,126,282	5,887,961

- 4 図書関係消耗品費 683,463円
- 5 図書システム・PC等使用料賃借料、手数料 1,986,160円
- 6 その他 706,838円

事業名	④学校保健特別対策事業 ※新型コロナウイルス感染対策

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校の臨時休業に係る対応及び臨時休業からの再開等を支援し、状況に応じた学校での教育活動や家庭学習に資するもの。

II 実施内容及び実績

4,551,108円

1 消耗品費

2,571,581円

- ・感染予防のため、二酸化炭素濃度測定機やサーキュレーターを購入した。

2 備品購入費

1,979,527円

- ・感染予防及び熱中症予防のためのスポットクーラーや児童の学習保障のためのタブレット用三脚を購入した。

○支出の財源内訳

（単位：円）

	支出額	国庫補助金	臨時交付金	一般財源
消耗品費	2,571,581	2,274,000	2,274,400	2,708
備品購入費	1,979,527			

- ・国庫補助金は「学校保健特別対策事業費補助金」

- ・臨時交付金は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

項 目	98. 中学校教育振興 (10款3項1目)	担 当	学校教育担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1-2 教育・国際交流		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	20,894,000	15,295,612	362,000 204,463 円 円 14,729,149

事業名	①中学校特別支援教育就学奨励費補助事業、 中学校要・準要保護児童生徒援助費補助事業

1 事業の趣旨（目的）

教育の機会均等の趣旨に則り、経済的理由によって就学困難な生徒の保護者及び、特別支援学級へ就学する生徒の保護者と通常学級に就学する（学校教育法施行令第22条の3に規定する障がいの程度に該当）生徒の保護者に学校用品費等を給付することにより、経済的負担を軽減することを目的とする。また、東日本大震災により被災し、経済的理由から就学困難となった生徒の保護者に対して就学援助の支給を実施した。

II 実施内容及び実績

1 就学援助

(1) 特別支援教育就学奨励費

723,630円

（単位：人、円）

年度	項目	人数	学校用品 通学用品	校 外 活動費	新入学 用品費	修学旅行費	医療費	給食費	計
R3		19	216,030	4,375	0	65,991		437,234	723,630
R2		27	204,570	2,310	309,100	18,390		439,433	973,803
比較 R3-R2		△ 8	11,460	2,065	△ 309,100	47,601		△ 2,199	△ 250,173

(2) 要保護・準要保護生徒就学援助費

14,491,222円

（単位：人、円）

年度	項目	人数	学校用品 通学用品	校 外 活動費	新入学 用品費	修学旅行費	医療費	給食費	計
R3		128	2,962,568	192,352	3,690,000	1,539,122	14,730	6,092,450	14,491,222
R2		159	3,116,959	73,920	1,956,200	203,245	5,990	6,258,823	11,615,137
比較 R3-R2		△ 31	△ 154,391	118,432	1,733,800	1,335,877	8,740	△ 166,373	2,876,085

①うち新入学用品費の入学期支給 支給日 R4.1.31 支給数 56人 3,360,000円

②128人のうち、被災児童生徒就学支援事業費の対象者数は2人、補助額は204,463円。

(3) その他の経費

①通信運搬費

44,540円

②手数料

220円

事業名	②遠距離通学費補助事業

I 事業の趣旨（目的）

中学校までの通学距離が6km以上となる生徒等の保護者に対し、通学費の一部を補助することにより保護者負担の軽減を図る。

II 実施内容及び実績

1 遠距離通学費補助実績

（単位：人、円）

年度	R3	R2	比較 R3-R2
対象者数	2	0	2
補助金額	36,000	0	36,000

項 目	99. 中学校管理 (10款3項2目)	担 当	学校教育担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を跨るまち！ 1-1 教育・青少年健全育成 1-2 教育・国際交流		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円	円	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円
	126,980,000	119,438,585	2,127,930 299,000 117,011,655

事業名	①市立中学校運営事業

I 事業の趣旨（目的）

確かで魅力のある学校づくりに向けて、教職員の支援体制及び教育内容等の充実に努め、円滑に学校運営を展開することができるよう、安定した教育環境の整備に努める。

II 実施内容及び実績

1 各中学校の生徒数、学級数の状況【令和4年3月1日現在】

（単位：学級、人）

年度	項目	区分	富谷中	富二中	東向中	日吉中	成田中	計
R3	学級数		10	17	15	12	16	70
	生徒数		250	510	472	357	444	2,033
R2	学級数		10	17	16	11	15	69
	生徒数		255	503	493	330	462	2,043
比較 R3-R2	学級数		0	0	△ 1	1	1	1
	生徒数		△ 5	7	△ 21	27	△ 18	△ 10

2 主な運営費

35,301,464円

- (1) 報酬（特別支援教育支援員） 11,690,496 円
- (2) 会計年度任用職員期末手当、共済費、旅費 5,547,799 円
- (3) 消耗品費 1,106,790 円
- (4) 備品購入費（一般・教材備品） 14,238,279 円
- （備品のうち、946,000円は理科教育施設整備費を活用。補助額 464,000円）
- (5) その他 2,718,100 円

3 学校運営に係る業務委託

15,817,911円

- (1) 臨時学校用業務委託 15,817,911 円

4 総合学習

各中学校補助金

5校

480,411円

事業名	②中学生海外研修派遣事業

I 事業の趣旨（目的）

諸外国の人々との交流により、外国の歴史、文化、学術等の見識を広めるとともに、外国の人々との相互理解と信頼を深め、次世代を担うグローバル社会の中で生きる国際的感覚豊かな人材を育成する。

II 実施内容及び実績

1 主な運営費

114,000円

2 事業概要

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により渡航は中止としたが、例年交流を図っている桃園市の有得相互小中学とオンラインでの交流事業を行った。

事業名	③市立中学校コンピュータ教育事業

I 事業の趣旨（目的）

市内各中学校にICT機器、ソフトウェア、コンテンツの充実を図り、GIGAスクール構想に対応した学習環境を整える。

II 実施内容及び実績

1 主な運営費	44,095,642円
(1) 消耗品費	1,358,052 円
(2) 修繕料	216,700 円
(3) 通信運搬費	734,970 円
(4) 使用料及び賃借料（校務用PC等：H29～R3）	41,785,920 円

事業名	④市立中学校図書推進事業

I 事業の趣旨（目的）

読書習慣の定着化に向けた読書センター機能と、教育課程の展開に寄与する学習情報センター機能を有する学校教育の中核的な役割を担う学校図書館を計画的に活用し、児童生徒の主体的かつ意欲的な学習活動や読書活動の充実に努める。

II 実施内容及び実績

1 人員配置 全中学校各1人 計5人 ・報酬、手当、共済費、旅費 計 8,854,897円

2 事業概要

- (1) 市主催の研修会を通して学校図書館指導員の資質の向上を図り、授業支援を強化する。
 - ① 調べる学習にかかる研修会
新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- (2) 夏季休業中の「調べる学習相談会」の開催や各校での相談会に学校図書館指導員を派遣し、調べる学習に関するスキルを向上させる。
 - ① 調べる学習相談会
夏季休業中相談会 新型コロナウイルス感染症対策のため中止
- (3) 調べる学習コンクールを開催し、知る喜びや学ぶ楽しさを実感させることで、学力を含めた『生きる力』の育成を図る。
 - ・コンクール名 「第10回 富谷市図書館を使った調べる学習コンクール」
 - ・開催期間 R3.9.1～R3.10.7
 - ・応募作品数 820作品
 - ・受賞作品数

教育長賞	1作品
富谷ユネスコ協会賞	1作品
優秀賞	6作品
優良賞	5作品
奨励賞	13作品
 - ・市コンクールで優秀賞以上の作品を全国コンクールに出品。

優良賞	2作品
奨励賞	2作品
佳作	4作品
- (4) 授業で活用できる学校図書館として、読書センターとしての充実及び学習・情報センターとしての充実を図るため、図書館担当教員との合同連絡調整会議等を通して、各校の現状を把握しながら、学校図書館担当を中心とした各学校への支援体制を整備する。
 - ① 合同連絡協議会 R3. 5. 20 実施（2回目はコロナ禍により中止）
 - ② 図書館指導員連絡調整会議 R3.11.29 実施
 - ③ 学校巡回「新刊図書展示会」 R3. 6. 3～6. 4

3 図書等購入費

(単位：円)

学校名	R3	R2
富谷中	739,914	629,418
富二中	829,677	809,678
東向中	605,073	804,415
日吉中	739,992	719,694
成田中	709,316	802,519
共通	28,490	0
合計	3,652,462	3,765,724

4 図書用消耗品 953,915円

5 図書システム 使用料及び賃借料 1,910,476円

6 その他 66,077円

事業名 ⑤学校保健特別対策事業 ※新型コロナウイルス感染対策

I 事業の趣旨（目的）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による学校の臨時休業に係る対応及び臨時休業からの再開等を支援し、状況に応じた学校での教育活動や家庭学習に資するもの。

II 実施内容及び実績

1,684,809円

1 消耗品費 1,189,809円

・感染予防のため、二酸化炭素濃度測定機やサーキュレーターを購入した。

2 備品購入費 495,000円

・熱中症予防のため、ポータブルクーラーを購入した。

○支出の財源内訳

(単位：円)

	支出額	国庫補助金	臨時交付金	一般財源
消耗品費	1,189,809			
備品購入費	495,000	832,000	831,930	20,879

・国庫補助金は「学校保健特別対策事業費補助金」

・臨時交付金は「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

事業名 ⑥不登校特例校整備事業

I 事業の趣旨（目的）

不登校生徒のための新たな学びの場として、実態に配慮した特別の教育課程を編成し、西成田コミュニティセンター内に不登校特例校富谷中学校西成田教室を整備するもの。

II 実施内容及び実績

6,506,521円

1 消耗品費 575,211円

・富谷中学校西成田教室開設に必要な事務用消耗品や教材消耗品を購入した。

2 備品購入費 5,931,310円

・富谷中学校西成田教室開設に必要な事務用備品や理科備品などの教材用備品を購入した。

項 目	100. 給食センター管理 (10款6項3目)	担 当	学校教育課 学校給食センター
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 1-1 教育・青少年健全育成		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 585,196,000 (内R2繰越分 8,958,000円)	円 565,828,615 (内R2繰越分 8,525,000円)	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源 円 円 円 円 円 309,711,383 256,117,232

事業名	学校給食センター運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するため、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、好ましい人間関係の育成を図り、また、望ましい食習慣やマナーを身につけさせることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 学校給食センター施設概要

令和3年5月1日現在 （単位：食/日）

調理能力		区 分	供給食数	対 象 校	配送車
R3	7,000食	小 学 校	4,020	富谷小、富ヶ丘小、東向陽台小、あけの平小、日吉台小、 成田東小、成田小、明石台小、利府支援富谷校	7台
		中 学 校	2,161	富谷中、富谷第二中、東向陽台中、日吉台中、成田中	
		合 計	6,181	9小学校 / 5中学校 / 計14校	
R2		小 学 校	4,111	富谷小、富ヶ丘小、東向陽台小、あけの平小、日吉台小、 成田東小、成田小、明石台小、利府支援富谷校	
		中 学 校	2,178	富谷中、富谷第二中、東向陽台中、日吉台中、成田中	
		合 計	6,289	9小学校 / 5中学校 / 計14校	
比較 R3-R2		△ 108			

2 職員配置

令和4年3月現在 （単位：人）

区 分	所 長	事務職	栄養士	栄養士 (会計年度任用職員)	事務員 (会計年度任用職員)	調理職員等	調理員等	職員 計
R3	1	2	3	3	1	16(委)	36(委)	62
R2	1	2	4	3	1	16(委)	37(委)	64
比較 R3-R2	0	0	△ 1	0	0	0	△ 1	△ 2

(市)は市職員、(委)は委託業者職員

・令和2年4月から、調理業務と配送業務などが委託契約となる。

3 給食数

(単位：回、人、食)

区 分		給食基本回数		給食対象者	給食総数
R3	小 学 校	175		4,020 (17)	709,108 (2,714)
	中 学 校	1~2年生	170	2,161	345,866
		3年生	160	(9)	(1,362)
	給食C+ALT+補助教員		195	68	13,220
	試 食 会		19	246	246
	計			6,495 (26)	1,068,440 (4,076)
R2	小 学 校	175		4,111 (22)	653,337 (3,503)
	中 学 校	1~2年生	170	2,178	336,187
		3年生	160	(8)	(1,241)
	給食C+ALT+補助教員		185	131	12,563
	試 食 会		20	121	192
	計			6,541 (30)	1,002,279 (4,744)
比較 R3-R2				△ 46 △ 4	66,161 (△ 668)

()内、アレルギー対応食数で内数

・令和4年2月から、米飯給食を週4回とし、パン給食は火曜日で実施
※ 上記は基本回数であり、行事等によって各学校・学年で回数は変動

4 給食費

(単位：円)

区 分		1 食 当 た り 給 食 費	給 食 費	未 納 額
R3	小学校 (9 校)	275	194,322,548	31,075
	中学校 (5 校)	325	111,722,365	218,721
	給食C+A L T+補助教員	275・325	3,609,042	0
	試 食 会	275 (小) 325 (中)	68,200	0
	計		309,722,155	249,796
R2	小学校 (9 校)	275	144,850,634	56,760
	中学校 (5 校)	325	86,426,084	0
	給食C+A L T+補助教員	275・325	3,466,320	0
	試 食 会	275 (小) 325 (中)	53,750	0
	計		234,796,788	56,760
比較 R3-R2			74,925,367	193,036

5 過年度給食費

(単位：円)

区 分		調 定 額	収 入 済 額	未 納 額	収 納 率
R3	小学校分 (7 校)	1,354,422	0	1,354,422	0.0%
	中学校分 (4 校)	1,308,622	60,000	1,248,622	4.6%
	計	2,663,044	60,000	2,603,044	2.3%
	不 納 欠 損			22,000	
	未 納 繰 越 額			2,581,044	
R2	小学校分 (7 校)	1,350,172	52,500	1,297,672	3.9%
	中学校分 (4 校)	1,433,072	124,450	1,308,622	8.7%
	計	2,783,244	176,950	2,606,294	6.4%
	不 納 欠 損			0	
	未 納 繰 越 額			2,606,294	
比較 R3-R2		△ 120,200	△ 116,950	△ 25,250	(未納繰越額)

6 給食原価と構成比 (給食総数割)

(単位：円)

決 算 額		賄 材 料 費		燃 料 ・ 光 熱 水 費		人 件 費 (会計年度任用職員含む)		そ の 他 経 費	
R3	566,906,615	320,928,306		51,988,676		24,650,263		169,339,370	
	531円 100.0%	300円	56.6%	49円	9.2%	23円	4.3%	158円	29.9%
R2	536,563,541	310,751,305		46,461,171		23,298,046		156,053,019	
	535円 100.0%	310円	57.9%	46円	8.7%	23円	4.3%	155円	29.1%
比較 R3-R2	30,343,074	10,177,001		5,527,505		1,352,217		13,286,351	
	△4円 0.0%	△10円	△1.3%	3円	0.5%	0円	0.0%	3円	0.8%

※給食総数：1,068,440食 (R3)，1,002,279食 (R2)

7 栄養価

区 分		熱 量 (kcal)	蛋白質 (g)	脂 質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA レチノール 当量 (ug)	ビタミン B 1 (mg)	ビタミン B 2 (mg)	ビタミンC (mg)
R3	小 学 校	615	25.0	20.0	342	2.9	221	0.37	0.50	23.9
R2		631	24.9	20.2	346	2.8	213	0.37	0.49	21.5
比較 R3-R2		△16	0.1	△0.2	△4	0.1	8	0.00	0.01	2.4
R3	中 学 校	799	31.1	24.1	377	3.9	261	0.47	0.56	28.9
R2		815	30.9	24.4	381	3.7	252	0.46	0.57	27.4
比較 R3-R2		△ 16	0.2	△0.3	△4	0.2	9	0.01	△0.01	1.5

8 残食の状況

(単位：%)

区 分		学 期 別		平 均	主 食	主 菜	副 菜	汁 物
		前 期	後 期					
R3	小 学 校	16.3	13.3	14.3	14.1	11.3	17.9	16.1
R2		15.1	12.4	13.2	13.6	11.1	16.4	17.1
比較 R3-R2		1.2	0.9	1.1	0.5	0.2	1.5	△1.0
R3	中 学 校	13.6	12.3	12.3	16.2	6.1	14.2	15.4
R2		12.7	10.7	11.3	13.4	6.5	13.5	15.4
比較 R3-R2		0.9	1.6	1.0	2.8	△0.4	0.7	0.0

項 目	101. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (11款3項1目)		担 当		学校教育課 学校給食センター		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	26,100,000	1,078,000					1,078,000

事業名	令和2年度地震災害復旧事業

I 事業の趣旨（目的）

令和3年福島県沖地震（令和3年2月13日発生）による被害に対し、必要な復旧工事を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 富谷市学校給食センターの災害復旧	1,078,000 円	
（1） 富谷市学校給食センター 内装外修繕・補修工事		1,078,000 円
① 1階共用部壁補修等修繕工事		
② 2階共用部壁補修及び天井補修等修繕工事		
③ 調理場内壁補修塗装及び天井等修繕工事		
④ 外部倉庫クラック補修塗装等修繕工事		

教育部 生涯學習課

項 目	102. 公園 (8款4項2目)		担 当	体育振興担当			
総合計画	第1編 暮らしを自慢できるまち！ 4-2 住宅・公園・上下水道						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	69,900,000	69,897,636				44,200,000	25,697,636
事業名	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業						

I 事業の趣旨（目的）

公営墓地とパークゴルフ場の複合施設である（仮称）やすらぎパークとみやの整備に係る実施設計等業務を行い、令和5年度のオープンに向け、事業を計画的に進める。

II 実施内容及び実績

- 1 実施設計等業務委託 26,571,600円（令和2～3年度事業、契約額 53,143,200円）
- 2 実施設計に伴う測量、登記等業務 627,000円（契約額 1,254,000円）
- 3 用地購入費 42,699,036円（契約額 69,998,420円）

※（ ）内の契約額は、公営墓地（特別会計）との合計金額で表示している。

項 目	103. 社会教育総務 (10款5項1目)		担 当	生涯学習担当			
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-1 生涯学習						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円 137,937,000 (内R2繰越分 4,939,000円)	円 95,703,444 (内R2繰越分 4,939,000円)	円	円 894,000	円	円 10,156,762	円 84,652,682

事業名	①生涯学習推進事業

I 事業の趣旨（目的）

誰もが生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を存分に発揮することができる社会を推進していくもの。

II 実施内容及び実績

1 生涯学習推進体制の充実

各公民館に社会教育指導員を配置し、生涯学習事業の企画立案や、地域学校協働活動推進事業のコーディネーターとしての活動など、各地域の特色を生かした効果的な取組みが図れている。新型コロナウイルス感染症の影響により、講座開催数が減少傾向であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、生涯学習事業を展開し、市民ニーズに応えてきた。

2 生涯学習活動の推進（放課後子ども教室）

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

事業名	②芸術・文化活動団体等支援事業

I 事業の趣旨（目的）

地域社会における文化活動を推進するため、文化活動振興事業等に要する経費について、補助金を交付し、伝統文化を未来につなぐとともに、新たな芸術・文化活動を促進していく。

II 実施内容及び実績

1 文化活動振興事業費補助金

（単位：円）

補助交付団体等	交付額		比較 R3-R2	会員数等
	R3	R2		
西成田地区コミュニティ推進協議会	142,500	142,500	0	218世帯
富谷市青年団	50,000	50,000	0	8人
とみやマーチングエコーズ	2,500,000	2,500,000	0	112人
富谷市文化協会	142,500	142,500	0	95人
富谷市芸術協会	47,500	47,500	0	56人
富谷太鼓の会	300,000	300,000	0	19人
合計	3,182,500	3,182,500	0	

※富谷市PTA連合会については、新型コロナウイルス感染症の影響により辞退。

2 青少年文化活動振興事業費補助金

（単位：円）

補助交付団体等	交付額		比較 R3-R2	備考
	R3	R2		
とみやマーチングエコーズ	1,750,000	1,100,000	650,000	全国大会出場
富ヶ丘小学校	860,000	100,000	760,000	全国大会出場
成田東小学校		100,000	△ 100,000	
合計	2,610,000	1,300,000	1,310,000	

事業名	③マーチングフェスティバル運営事業

I 事業の趣旨（目的）

「香り高い芸術・文化のまち富谷」の発展に寄与し、マーチングに取り組んでいる子ども達の、音楽的情操を高める機会とするとともに、市民にマーチングの楽しさを味わってもらふ。

II 実施内容及び実績

1 とみやマーチングフェスティバル

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

※各小学校への活動支援として補助金を交付。（40,000円×8校＝320,000円）

事業名	④市民会議運営事業

I 事業の趣旨（目的）

次代を担う青少年の健全育成を図るため、関係機関との連携を深め、市全体としての青少年健全育成の意識高揚を図る。

II 実施内容及び実績

1 青少年健全育成富谷市民会議

主な事業

第21回少年の主張富谷大会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として映像審査に切り替えて実施。

市内大型店舗巡回指導

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

各地区青少年健全育成団体活動支援

団体数 6団体

2 補助金交付実績

（単位：円）

年度 項目	R3	R2	比較 R3-R2
補助金交付額	1,150,000	1,150,000	0

事業名	⑤子ども会等活動支援事業

I 事業の趣旨（目的）

子ども会の自主的な活動の育成支援と、青少年の健全な育成と福祉の増進を図る活動を推進する。

II 実施内容及び実績

1 富谷市子ども会育成連合会

（単位：円、人）

年度 項目	R3	R2	比較 R3-R2
補助金交付額	888,950	965,450	△76,500
団体数	34	52	△18
会員数	1,593	2,125	△532

事業名	⑥小さな親切運動事業

I 事業の趣旨（目的）

幼稚園児、小中学生が毎月1回及び春、秋のクリーン作戦時に空き缶回収を行い、高齢者の方や身体の不自由な方のために、その収益金で社会福祉に役立つものを購入することで、環境美化、資源保護及び社会の福祉に対する意識の向上を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 空き缶回収（ユー・アイ・クリーン作戦）

（単位：kg、円）

回収月	アルミ缶 (kg)			スチール缶 (kg)			収益金 (円)		
	R3	R2	R3-R2	R3	R2	R3-R2	R3	R2	R3-R2
春	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	20	0	20	10	0	10	1,910	0	1,910
5月	3	0	3	0	0	0	255	0	255
6月	20	0	20	0	0	0	1,700	0	1,700
7月	10	0	10	0	0	0	850	0	850
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	10	0	10	0	0	0	850	0	850
秋	0	6	△ 6	0	0	0	0	420	△ 420
10月	1	10	△ 9	0	0	0	85	700	△ 615
11月	10	0	10	0	0	0	850	0	850
12月	10	0	10	0	0	0	1,200	0	1,200
1月	0	10	△ 10	0	0	0	0	850	△ 850
2月	10	0	10	0	0	0	1,200	0	1,200
合計	94	26	68	10	0	10	8,900	1,970	6,930

2 空き缶回収運動感謝状授与並びに福祉の心贈呈式

新型コロナウイルス感染症の影響により、式典は中止。

感謝状のみ、富谷幼稚園及び市内小中学校、富谷環境へ授与した。

事業名	⑦ジュニア・インリーダー育成事業

I 事業の趣旨（目的）

子ども会の代表者が集い、集団活動を通して友情を深めるとともに、リーダーとしての資質向上に努め、子ども会活動の充実・振興を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 富谷市イン・リーダー研修会

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

事業名	⑧協働教育推進事業

I 事業の趣旨（目的）

地域・学校・家庭が相互に連携し、子どもを育てる仕組みづくりを積極的に推進して地域・家庭の教育力の向上を図り、地域全体で子どもを育てる体制を整備する。

II 実施内容及び実績

1 地域・学校・家庭をつなぐ取組（学校支援ボランティア）

（単位：回、人）

地区名	支援数			ボランティア数			生徒・児童数		
	R3	R2	R3-R2	R3	R2	R3-R2	R3	R2	R3-R2
富谷	15	0	15	74	0	74	1,217	0	1,217
富ヶ丘	2	3	△1	29	35	△6	254	520	△266
東向陽台	7	13	△6	16	42	△26	270	586	△316
あけの平	22	4	18	161	38	123	1,779	498	1,281
日吉台	8	5	3	15	11	4	950	1,023	△73
成田	39	24	15	271	99	172	1,150	936	214
合計	93	49	44	566	225	341	5,620	3,563	2,057

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、国や県等が発出する緊急事態宣言等に基づき、一定期間中止。

2 とみやティーチャーズ・スクール

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

3 地域・学校・家庭をつなぐ取組（地域支援活動）

（単位：人）

事業名	開催日	参加者
西コミ自然ふれあい学校①	令和3年7月4日	25
西コミ自然ふれあい学校②	令和3年7月24日	13
西コミ自然ふれあい学校③	令和3年7月25日	18
西コミ自然ふれあい学校④	令和3年10月16日	28
西コミ自然ふれあい学校⑤	令和3年11月6日	28
西コミ自然ふれあい学校⑥	令和3年11月7日	31

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として実施形態を変更した。

（単位：人）

事業名	開催日	参加者		
		R3	R2	R3-R2
西コミ自然ふれあい学校～冬コース～（風作り）	令和3年12月12日	27	8	19

※事業協力を受けていた「祭田あったか炭クラブ」の解散に伴い、「炭焼き体験教室」は中止。

4 富谷田植祭り

（単位：回、人）

年度	R3	R2	R1	比較 R3-R2
開催数	14	0	12	14
参加者数（延べ）	1,120	0	304	1,120

※令和3年度より、富谷小第4学年の総合的な学習の時間で取り上げ、「つなぐ取組」の一環として伝承に務めた。

事業名	⑨成人祝い事業

I 事業の趣旨（目的）

「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほめます」という成人の日の趣旨に則り、市を挙げて新成人を祝うとともに、これまでお世話になった方々に感謝し、成人としての自覚と責任を促す機会とするもの。また、富谷市の今後の発展と、新成人の成長を願う機会として開催するもの。

II 実施内容及び実績

1 成人祝い事業

- (1) 日 時 令和4年1月9日（日）
- (2) 場 所 富谷スポーツセンター
- (3) 対 象 平成13年4月2日～平成14年4月1日生まれの住民登録者及び市内出身などの希望者
- (4) 出席者 560人

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、午前・午後の分散開催で実施

午前対象地区：東向陽台・成田中学校区

午後対象地区：富谷・富谷第二・日吉台中学校区

（単位：人）

対象者			出席者			出席率
午前対象者	午後対象者	計	午前出席者	午後出席者	計	
336	330	666	285	275	560	84.1%

事業名	⑩図書館整備事業

I 事業の趣旨（目的）

すべての市民が親しみやすく使いやすく、自らが学ぶことで「いきがい」や「心の豊かさ」を得る生涯学習の拠点として、また、関係機関との連携やITを活用した地域情報の拠点として市民図書館を整備していくもの。

II 実施内容及び実績

1 富谷市民図書館整備事業

令和2年度の検討内容を基により詳細な検討を行い、機能連携や相乗効果によりスイーツステーション・児童屋内遊戯施設との複合整備における妥当性を示す「富谷市民図書館等複合施設整備基本方針」を策定した。また、児童屋内遊戯施設整備の方向性を定めた「富谷市児童屋内遊戯施設整備基本方針」策定の取りまとめを行った。

また、この基本方針において検証した民間活力導入可能性調査を基に、事業手法選定に係る調査を委託し、その報告書を基に事業手法について検討を行った。公的外部資金への対応可能性や、設計の柔軟性、類似施設の整備実績等から従来手法の優位性が高いと判断し、最も効率的・効果的な事業手法として従来手法での整備を決定した。

○富谷市民図書館等複合施設整備 基本方針（R3.6.30策定）

○富谷市民図書館等複合施設整備 事業手法（R4.3.25決定）

事業名	⑪図書館整備基金費

I 事業の趣旨（目的）

富谷市民図書館整備及び機能の充実を図るための、寄附金等調達した外部資金の管理を継続して行うことを目的とする。

II 実施内容及び実績

寄附内訳

（単位：件、円）

年 度	ふるさと納税※		クラウドファンディング		その他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R3	164	4,428,500	-	-	1	27,904	165	4,456,404
R2	132	3,531,000	-	-	3	205,677	135	3,736,677
R1	418	8,380,000	236	4,079,800	5	319,211	659	12,779,011
H30	149	3,207,000	-	-	1	28,779	150	3,235,779
計	863	19,546,500	236	4,079,800	10	581,571	1109	24,207,871

※再掲

基金実績

（単位：円）

年 度	積立金額
R3	4,457,000
R2	3,737,000
R1	12,780,000
H30	3,235,779
計	24,209,779

項 目	104. コミュニティセンター管理 (10款5項2目)	担 当	生涯学習担当				
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-1 生涯学習						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	21,732,000	16,286,455				106,539	16,179,916

事業名	①西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

地域に根ざしたコミュニティづくりを支援するとともに、地域間交流の取組みを推進する。

II 実施内容及び実績

1 施設利用状況

年度 月	R3		R2		比 較 R3-R2	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
4月	2	26	新型コロナウイルス感染症拡大 防止対策による休館		2	26
5月	14	186			14	186
6月	31	496	32	574	△ 1	△ 78
7月	34	461	21	404	13	57
8月	19	274	23	360	△ 4	△ 86
9月	19	221	30	434	△ 11	△ 213
10月	30	628	29	517	1	111
11月	30	540	40	666	△ 10	△ 126
12月	24	384	24	344	0	40
1月	9	185	14	343	△ 5	△ 158
2月	6	69	18	397	△ 12	△ 328
3月	17	326	29	526	△ 12	△ 200
合計	235	3,796	260	4,565	△ 25	△ 769

2 プール利用実績

新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

3 委託料

- (1) 西成田コミュニティセンター清掃業務委託 138,600円
- (2) 西成田コミュニティセンター機械整備業務委託 65,736円
- (3) 西成田コミュニティセンター施設整備業務委託 4,016,146円
- (4) 西成田コミュニティセンター樹木剪定業務委託 147,675円
- (5) 西成田コミュニティセンター桜・モミジバフウ剪定業務委託 184,800円

事業名	②不登校特例校整備事業

I 事業の趣旨（目的）

不登校生徒のための新たな学びの場として、実態に配慮した特別の教育課程を編成し、西成田コミュニティセンター内に不登校特例校富谷中学校西成田教室を開設するもの。

II 実施内容及び実績

1 工事費

- (1) 西成田コミュニティセンター車両搬入路等舗装工事 4,525,423円
- (2) 西成田コミュニティセンター手洗い水栓取替工事 199,100円
- (3) 西成田コミュニティセンター遊具移設工事 660,000円

2 備品購入費

- (1) 利用者体温測定用サーマルA：カメラ 199,100円

項 目	105. 大黒澤苑 (10款5項3目)	担 当	生涯学習担当				
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-1 生涯学習						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	4,828,000	3,978,254				72,050	3,906,204

事業名	大黒澤苑運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

市民の文化活動を推進するとともに、庭園を活かした施設の維持管理を目的とする。

II 実施内容及び実績

1 施設利用状況

（単位：件、人）

年度 月	R3		R2		比 較 R3-R2	
	件 数	人 数	件 数	人 数	件 数	人 数
4月	1	6	新型コロナウイルス感染症大 防止対策による休園		1	6
5月	6	45			6	45
6月	5	28	2	23	3	5
7月	4	43	3	22	1	21
8月	3	32	3	19	0	13
9月	2	8	3	17	△ 1	△ 9
10月	5	32	2	13	3	19
11月	8	55	2	16	6	39
12月	8	60	5	34	3	26
1月	6	67	5	34	1	33
2月	4	27	7	47	△ 3	△ 20
3月	11	111	6	66	5	45
合計	63	514	38	291	25	223

2 委託料

(1) 大黒澤苑整備業務委託	92,400円
(2) 大黒澤苑清掃業務委託	38,500円
(3) 大黒澤苑樹木剪定業務委託（上期）	265,100円
(4) 大黒澤苑樹木剪定業務委託（下期）	363,000円
(5) 大黒澤苑ケヤキ伐採業務	792,000円
(6) 大黒澤苑ソメイヨシノ冬期管理業務	275,000円

項 目	106. 文化財保護 (10款5項4目)	担 当	生涯学習担当				
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 3-1 芸術・文化						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	6,469,000	5,094,603		9,690		35,110	5,049,803

事業名	①文化財保護事業

I 事業の趣旨（目的）

本市の多様な文化財について、調査研究や歴史的資源の復元、周知を行う。また、開発に伴う埋蔵文化財の保護を行う。

II 実施内容及び実績

1 埋蔵文化財包蔵地調査

県教育委員会から委嘱された文化財保護地区指導員と共同で実施。

件数は1年度につき5か所。令和3年度は兵六館跡、郷田塚、郷田6遺跡、郷田遺跡、山神遺跡で実施。

2 遺跡にかかわる建物等の建築や大規模開発計画等への対応

文化財保護法を根拠に開発工事等による埋蔵文化財への影響の程度を鑑み、県教育委員会が慎重工事や工事立会、確認調査等と判断し、その判断に基づき市教育委員会で調査を実施した。

- ①電柱移設及び新設工事（三ヶ森遺跡）：工事立会
- ②個人住宅新築工事（仏所遺跡）：慎重工事
- ③事務所新築工事（荒田沢溜池前遺跡）：工事立会
- ④電柱移設及び新設工事（三ヶ森遺跡）：慎重工事
- ⑤堂ノ前宅地造成工事（南橋城跡）：確認調査
- ⑥保育園新築工事（大規模開発）：関りなし
- ⑦やすらぎパーク事業（大規模開発）：関りなし
- ⑧高岡敷西造成工事（大規模開発）：関りなし

その他、令和3年度の開発工事等による埋蔵文化財包蔵地に関わる問い合わせの総数は92件であった。

3 文化財保持団体の育成

（単位：円）

団 体 名	補助金交付額	備 考
富谷田植舘保存会	47,500	原地区
楠波永代神楽保存会	47,500	大亀地区

事業名	②民俗ギャラリー運営・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

民俗ギャラリーの活動を通して文化財による郷土愛を育み、文化財の保護や啓発・周知を行うとともに、市民が利用しやすい施設整備を行うことを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 実施内容

①企画展について

特別展「富谷とオリンピック」令和3年8月3日～10月3日開催。

特別展「明治富谷の村絵図」令和4年2月16日～4月17日開催。

②民ギャラトレーディングカードについて

第7弾「東京五輪の聖火とトーチ（1964年）」、第8弾「陸前国黒川郡大童村全図（宮城県誕生150周年記念）」を発行した。

2 民俗ギャラリー入館者数

（単位：人）

項目	年度	R3	R2	R1	H30	比較 R3-R2
入館者数		1,082	832	2,280	2,539	250
（うち市内者）		808	693	1,981	2,221	
（うち市外者）		274	139	299	318	
内 一 般		797	547	1,443	1,925	250
訳 小・中学生		285	285	837	614	0

※4月は、新型コロナウイルス感染症の影響により施設休館とした。

※入館者数以外にも学芸員によるアウトリーチ講座を開催し、延べ602人の参加者があった。

項 目	107. 公民館 (10款5項5目)	担 当	公民館担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-1 生涯学習		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	円	円	円 円 円 円 円
	214,673,000 (内R2繰越分 13,092,000円)	199,929,533 (内R2繰越分 12,020,690円)	3,534,468 196,395,065

事業名	公民館運営事業・公民館維持管理事業・公民館まつり事業 ・幼児教育事業・高齢者教育事業・女性教育事業 ・児童教育事業・教養講座事業・図書視聴覚教育事業

I 事業の趣旨（目的）

各地域の幼児から高齢者までの幅広い年齢層への生涯学習環境の整備と、ニーズに応じた学習機会の充実に努めます。

II 実施内容及び実績

1 施設利用状況

(単位：件、人)

公 民 館 名	利 用 件 数			利用延べ人数		
	R3	R2	比較 R3-R2	R3	R2	比較 R3-R2
富谷中央公民館	1,210	1,222	△ 12	19,476	18,712	764
富ヶ丘公民館	1,251	1,305	△ 54	18,538	20,376	△ 1,838
東岡陽台公民館	1,370	1,309	61	22,426	20,682	1,744
あけの平公民館	1,230	1,067	163	17,538	14,305	3,233
白吉台公民館	1,312	1,185	127	13,626	13,215	411
成田公民館	1,590	1,187	403	24,907	25,005	△ 98
計	7,963	7,275	688	116,511	112,295	4,216

2 各館の利用状況（内訳）

(1) 【富谷中央公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定 員	申込人数	回 数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級（わくわく学級 2・3歳児）	15組	0			
幼児学級（わくわく学級 1歳児）	10組	3組6人			
ホチキスで作ろう！電子オルゴールとエコクイズ	15	8	1	8	4
暮らしに役立つなるほど講座	20	23	2	46	31
ちょこっと手作り 刺し子でコースター	15	14	2	28	23
初心者向けスマートフォン体験教室	15	11	1	11	10
やさしい足もみ健康体操～足裏から健康に～	20	21	3	63	47
ラインダンスを楽しもう♪	20	15	3	45	32
楽しいキッチン！パン教室	12	21	1	21	18
「たからのまち」を訪ねて	15	15	1	15	14
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			61	299	299
うち 児童教育事業					
世代間交流事業					
サークル活動・一般利用			1,111	18,811	18,811
学習スペース			16	23	23
代官松まつり					
とみや学園（富谷中央校）	40	33	8	264	164
計			1,210	19,634	19,476

幼児学級は、開設定員を満たさなかったため実施せず。

児童教育事業、世代間交流事業、公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

(2) 【宮ヶ丘公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定員	申込人数	回数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級 (にこにこ学級 2・3歳児)	15組	10組20人	6	120	72
幼児学級 (にこにこ学級 1歳児)	10組				
夏休み手作り教室「ウキウキ！デコスイーツ教室」	20	20	1	20	19
冬休み食育教室「めざせ！牛乳博士」	20	11	1	11	9
アット＆アットおもしろさ！「賞と感動の瞬間 古典の世界パートⅡ」	25	31	4	124	103
ハンドメイド「おとなカワイイ！デコスイーツ教室」	14	8	1	8	8
ゆる～り 大人時間「着音機で楽しむレトロな音楽会」	30	27	2	54	45
健康講座「らくらくダンスでスマートエイジング！」	20	15	3	45	29
楽しくおいしく美しく！「美容セミナー「チョコレートの世界へようこそ」」	25	27	1	27	21
大人の食卓「目からウロコのカンタンクッキング」	12	13	1	13	7
郷土の歴史散歩	25	26	3	78	57
日本学講座「まるごと沖縄！らんらんツアー」	25	20	3	60	47
民謡の楽しみ「宮城の伝承切り紙～神を招き寄せ正月飾り～」	25	21	1	21	15
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			101	793	793
うち 児童教育事業					
世代間交流事業					
サークル活動・一般利用			1,094	17,003	17,003
学習スペース			21	44	44
宮ヶ丘公民館まつり					
とみや学園（宮ヶ丘校）	40	42	8	336	266
計			1,251	18,757	18,538

幼児学級（にこにこ学級2・3歳児）は、開設定員に満たないため日吉公4組、丘公6組で合同で実施した。

児童教育事業、世代間交流事業、公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

(3) 【東向陽台公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定員	申込人数	回数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級 (のびのび学級 2・3歳児)	15組	13組27人	6	162	115
幼児学級 (のびのび学級 1歳児)	10組	11組22人	5	110	76
バレエエクササイズ「バレトン」	20	26	3	78	66
おうちでできる・すぐできる・きもちいい からだ講座	20	25	3	75	60
夏休み自由学校「とみやハチミツ教室・工作教室」	20	31	2	62	46
家系図作成講座	20	20	3	60	53
ちょっとおしゃれな大人文字「ほっこりなごみま書」	20	15	3	45	33
免疫アップ！激うま！雑生活	16	15			
男の料理教室 鍋奉行参上！	20	9	2	18	16
リンパマッサージ教室	20	17	2	34	18
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			76	1,339	1,339
うち 児童教育事業（キャンドル制作）	20	20	1	20	20
子育てサロン事業			0		0
サークル活動・一般利用			1,223	20,336	20,336
学習スペース			34	80	80
東向陽台公民館まつり					
とみや学園（東向陽台校）	40	33	8	264	188
計			1,370	22,663	22,426

公民館まつり及び子育てサロンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

学習講座「免疫アップ！激うま！雑生活」は、緊急事態宣言による休館のため、中止。

(4) 【あけの平公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定員	申込人数	回数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級 (すくすく学級 2・3歳児)	15組	0組0人			
幼児学級 (すくすく学級 1歳児)	10組	3組6人			
暮らしの彩り工房「ゆらゆらガーランド」	25	19	2	34	31
マスク生活セミナー	15	8	2	16	9
知っ得！講座（単発講座）	各20	15, 18	2	33	26
心を整える専科会	15	19	2	38	35
ミニコンサート～ギターとマリンバの調べ～	30	42	1	42	34
健康エクササイズ	20	11	3	33	25
健康と笑いの時間～いつまでも、若く元気に「わっはっ」～	30	25	1	25	22
ピラティスで体デザイン	20	30	3	90	53
免疫力アップ！腸活のススメ	20	25	1	25	20
大豆の物語～味噌仕込み～・キムチ作り	30	28	2	56	44
おいしい食卓～野菜たっぷり重ね煮レシピ～	16	17			
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			90	641	641
うち 児童教育事業					
世代間交流事業					
サークル活動・一般利用			1,035	16,298	16,298
学習スペース			78	147	147
あけの平公民館まつり					
とみや学園（あけの平校）	40	26	8	208	153
計			1,230	17,686	17,538

幼児学級は、開設定員を満たさなかったため実施せず。

おいしい食卓～野菜たっぷり重ね煮レシピ～は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

児童教育事業、世代間交流事業、公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

(5) 【日吉台公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定員	申込人数	回数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級（うきうき学級 2・3歳児）					
幼児学級（うきうき学級 1歳児）	15組	9組18人	5	90	68
セルフケアストレッチ	15	15	3	45	32
物づくり工房 秋編	15	16	1	16	13
物づくり工房 冬編	15	11	1	11	9
うちの快適な環境づくり	15	10	2	20	14
機能改善エクササイズ	20	19	3	57	33
味噌づくり	15	34	2	68	27
うちごはんパワーアップ（中止）	12	5			
天平の陸奥国分寺と東大寺	15	23	1	23	10
パワフルキッズ おもしろサイエンスショー	20	12	1	12	10
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			84	977	977
うち 児童教育事業					
世代間交流事業					
サークル活動・一般利用			1,099	11,991	11,991
学習スペース			102	279	279
日吉台公民館まつり					
とみや学園（日吉台校）	40	27	8	216	163
計			1,312	13,805	13,626

幼児学級（うきうき学級 1歳児）は、開設定員に満たないため中公3組、あけ公2組、丘公1組で合同で実施した。

うちごはん、児童教育事業、世代間交流事業、公民館まつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

(6) 【成田公民館】

(単位：人、回)

学級・教室・講座名	定員	申込人数	回数	申込延べ人数	参加延べ人数
幼児学級（アイアイ学級 2・3歳児）	15組	10組20人	6	120	70
幼児学級（アイアイ学級 1歳児）	10組	10組20人	5	100	72
市民のための気楽な講演会	25	14	1	14	12
富士の明日の歴史を考える「I LOVE とみや」	20	22	3	66	47
ハーブのステキな時間	15	11	2	22	19
講座・元気体操「コロナ疲れを吹き飛ばせ！心も体もスツキリズム！」	25	25	3	75	63
開運招福！お正月松飾りレッスン「おしよれなしの編み物」	15	16	1	16	16
古典文学の世界 佐々木秀雄と共に「奥の細道」紀行第2弾	25	27	3	81	61
The 男の料理 夏・秋・冬・春レシピ	12	11	4	44	36
Let's クッキング「うちごはん楽ちんレシピ」	12	6			
幼児教育・児童教育（自由来館含む）			108	1,736	1,736
うち 児童教育事業					
本の読み聞かせ					
サークル活動・一般利用			1,414	22,463	22,463
学習スペース			32	99	99
市老運芸能大会					
成田公民館まつり					
とみや学園（成田校）	40	33	8	264	213
計			1,590	25,100	24,907

Let's クッキング「うちごはん楽ちんレシピ」、児童教育事業、本の読み聞かせ、市老運芸能大会、

公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止。

3 とみや学園開催状況

(単位：人、歳、回、%)

校名	在籍者数	平均年齢	最高齢	回数	申込延べ人数	参加延べ人数	参加率
富士中央校（富士中央公民館）	33	75.8	86	8	264	164	62.1
富ヶ丘校（富ヶ丘公民館）	42	73.6	88	8	336	266	79.2
東向陽台校（東向陽台公民館）	33	76.2	90	8	264	188	71.2
あけの平校（あけの平公民館）	26	73.4	85	8	208	153	73.6
日吉台校（日吉台公民館）	27	78.1	91	8	216	163	75.5
成田校（成田公民館）	33	72.7	84	8	264	213	80.7
計・平均	194	75.0	91	48	1,552	1,147	73.9

4 公民館まつり開催状況

公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。（令和2年度に続き、2年連続中止。）

5 行実施状況

(単位：人)

行事名	会場	実施年月日	参加人数		
			R3	R2	比較 R3-R2
シニアスポーツ大会	総合運動公園	6月15日	151		151

健康フェスティバル、市老運芸能大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

（令和2年度に続き、2年連続中止。）

6 図書室利用状況

(1) 蔵書・利用者数

(単位：冊、人)

公民館名	蔵書冊数	受入冊数	利用者数		
			R3	R2	比較 R3-R2
富谷中央公民館	12,904	417	2,316	2,054	262
富ヶ丘公民館	12,509	375	1,899	1,987	△ 88
東向陽台公民館	14,022	454	4,369	4,388	△ 19
あけの平公民館	10,723	379	2,013	1,925	88
日吉台公民館	10,057	373	2,531	2,613	△ 82
成田公民館	10,844	400	4,946	4,677	269
計	71,059	2,398	18,074	17,644	430

(2) 貸出図書冊数

(単位：冊)

公民館名	R3			R2	比較 R3-R2
	一般図書	児童図書	計		
富谷中央公民館	4,344	4,338	8,682	6,772	1,910
富ヶ丘公民館	4,670	4,778	9,448	8,728	720
東向陽台公民館	8,806	9,396	18,202	17,018	1,184
あけの平公民館	5,340	4,200	9,540	8,990	550
日吉台公民館	4,921	8,115	13,036	12,698	338
成田公民館	8,916	20,299	29,215	26,515	2,700
計	36,997	51,126	88,123	80,721	7,402

※子育てサロン移転整備事業については、260ページ項目60に掲載しています。

項 目	108. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (11款3項1目)		担 当		公民館担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	9,427,000	107,800					107,800

事業名	その他公共施設・公用施設災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

令和4年福島県沖地震（令和4年3月16日発生）による被害に対し、復旧を行うもの。

II 実施内容及び実績

1. 富ヶ丘公民館 第2会議室点検口落下による修繕工事 22,000円
2. 東向陽台公民館 調理室天井送風口廻りジブトーン張替修繕工事
第2研修室天井テンパック並び替え、ボンド止め修繕工事 85,800円

項 目	109. 保健体育総務 (10款6項1目)	担 当	体育振興担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-2 スポーツ・レクリエーション		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
			国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源
	円 31,996,000	円 27,054,695	円 円 円 円 円 169,200 26,835,495

事業名	①スポーツ団体育成・人材育成事業

I 事業の趣旨（目的）

地域社会におけるスポーツの健全な普及とその発展を図り、併せて地域住民の生活向上に寄与することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 スポーツ活動振興事業費補助金

（単位：千円）

補助交付団体等	対 象 者	R3 交付額	R2 交付額	比較 R3-R2	備 考
スポーツ協会	ス ポー ツ 協 会	716	716	0	加盟14協会
スポーツ少年団	ス ポー ツ 少 年 団	580	618	△38	登録30団体
生涯スポーツ活動振興事業費補助	派 遣 選 手	740	280	460	30大会・74人
計		2,036	1,614	422	

2 交流大会

（単位：人）

種 目	開催日	会場	対象者	R3 参加人数	R2 参加人数	比較 R3-R2
スポーツ少年団種目別交流大会	8～11月	総合運動 公園他	団員・指導者	695	543	152

※中学生スポーツ競技交流大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

3 スポーツ推進委員派遣

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため年間を通じて中止。

事業名	②スポーツ競技推進事業

I 事業の趣旨（目的）

広く市民がスポーツに親しみ、スポーツを通して体力の増進を図るとともに、明るく豊かなまちづくりに寄与することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 市主催の各種生涯スポーツ大会

（単位：人）

各種大会	種 目	開催日	会場	対象者	R3 参加人数	R2 参加人数	比較 R3-R2
	ソフトテニス大会	11/3	総合運動 公園	一般市民	44	50	△6
	市民バドミントン大会	12/12	公園	一般市民	98	46	52
	計				142	96	46

※家庭バレーボール大会、卓球レクリエーション大会、招待ママさんバレーボール大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

事業名	③学校体育施設開放事業

I 事業の趣旨（目的）

学校体育施設を、スポーツ、レクリエーションその他の社会教育活動のために開放し、地域住民のコミュニティづくりや競技力の向上に寄与することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 体育館開放実績

（単位：日、件）

学 校 名	R3		R2		比較 R3-R2	
	開放日数	件数	開放日数	件数	開放日数	件数
富谷小学校	158	154	207	186	△49	△32
富ヶ丘小学校	173	180	203	223	△30	△43
東向陽台小学校	170	227	163	250	7	△23
あけの平小学校	156	122	207	174	△51	△52
日吉台小学校	135	106	196	139	△61	△33
成田東小学校	155	184	239	262	△84	△78
成田小学校	147	130	212	246	△65	△116
明石台小学校	161	177	223	253	△62	△76
富谷中学校	169	31	191	64	△22	△33
成田中学校	155	82	204	134	△49	△52
計		1,393		1,931		△538

2 校庭開放実績

（単位：日、件）

学 校 名	R3		R2		比較 R3-R2	
	開放日数	件数	開放日数	件数	開放日数	件数
富谷小学校	81	53	81	76	0	△23
富ヶ丘小学校	175	50	236	76	△61	△26
東向陽台小学校	176	37	205	54	△29	△17
あけの平小学校	175	62	217	50	△42	12
日吉台小学校	176	6	232	43	△56	△37
成田東小学校	55	22	177	43	△122	△21
成田小学校	162	29	201	41	△39	△12
明石台小学校	169	0	233	0	△64	0
計		259		383		△124

※新型コロナウイルス感染症の影響により4月・5月・9月は利用中止。（令和2年度は4月・5月利用中止）

事業名	④スポーツ功労者表彰事業

I 事業の趣旨（目的）

富谷市のスポーツ振興に著しく寄与した方や団体及びスポーツ大会において優秀な成績を収めた方を対象に、その功績に対し表彰を行うもの。

II 実施内容及び実績

1 スポーツ功労者表彰

表 彰 区 分	R3		R2		比較 R3-R2	
	団体	個人（人）	団体	個人（人）	団体	個人（人）
スポーツ功労者表彰	8	113	7	65	1	48

※令和4年3月16日発生の地震の影響により式典は中止。

事業名	⑤東京オリンピック・パラリンピック開催記念事業

I 事業の趣旨（目的）

富谷市・大和町の共同開催により、両市町民の健康推進をはじめ、交流人口の増加による地域活性化を図ることを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 セツ森ハーフマラソン大会

（単位：円）

項 目	交付先	金額
東京オリンピック・パラリンピック開催記念事業 補助金	セツ森ハーフマラソン大会実行委員会	315,000

※実行委員会により、コースの決定、感染症対策等について協議を進めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を延期。

項 目	110. 総合運動公園 (10款6項2目)	担 当	体育振興担当
総合計画	第2編 教育と子育て環境を誇るまち！ 2-2 スポーツ・レクリエーション		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳
	円 73,397,000 (内R2繰越分 13,106,000円) (内R1繰越分 2,051,000円)	円 66,587,849 (内R2繰越分 11,466,400円) (内R1繰越分 2,050,207円)	国庫支出金 円 県支出金 円 地方債 円 その他 円 一般財源 円 4,287,951 62,299,898

事業名	①総合運動公園・維持管理事業

I 事業の趣旨（目的）

スポーツ施設の計画的な整備・改修を行い、機能の充実に努めることで、利便性と安全性の向上に努め、生涯スポーツを支える環境を整えていくことを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 施設整備主要事業

(単位：円)

事業名	期 間	決算額
富谷市富谷スポーツセンター屋根復旧工事（繰越）	3～5月	2,050,207
富谷市総合運動公園体育館舞台点検通路安全対策工事（繰越）	7～9月	709,500
富谷市総合運動公園防火シャッター改修工事（繰越）	7～10月	3,278,000
富谷市総合運動公園消防設備更新工事（繰越）	7～3月	2,310,000
富谷武道館冷温水配管結露箇所修繕工事（繰越）	8～11月	2,255,000
富谷市総合運動公園施設塗装等修繕工事（繰越）	8～11月	2,913,900
富谷市総合運動公園ログラウンド整備業務委託	1～3月	1,265,000
富谷市総合運動公園施設設備修繕工事	2～3月	953,700

2 施設別利用者数

(1) 富谷スポーツセンター

(単位：人)

開 放 日 数	個人（大人）	個人（小中高生）	団体数	R3	R2	R1	比較
R3(日) R2(日)			利用者数				R3-R2
210 197	992	1,941	474 25,261	28,224	20,755	41,191	7,469

(2) 富谷武道館

(単位：人)

施設名	開放日数 R3(日) R2(日)	個人 (大人)	個人 (小中高生)	団体数 利用者数	R3	R2	R1	比較 R3-R2
会議室	209 221			139 5,411	5,411	6,379	12,639	△968
トレーニング室	244 206	8,380	219		8,599	8,381	12,717	218
アリーナ	215 212	134	267	327 9,476	9,877	11,274	18,559	△1,397
計		8,514	486	466 14,887	23,887	26,034	43,915	△2,147

(3) その他の施設

(単位：人)

施設名	団体数	R3 利用者数	R2 利用者数	R1 利用者数	比較 R3-R2
富谷市総合運動公園グラウンド（A・B・C・D）	224	16,163	16,179	33,418	△16
富谷市総合運動公園テニスコート（A・B・C・D・E・F）	906	8,634	9,690	13,858	△1,056
富谷市総合運動公園レクリエーション広場	114	1,054	1,444	2,669	△390
スポーツ交流館（会議室）	13	166	335	672	△169
スポーツ交流館（休憩所）		5,495	7,965	19,177	△2,470
計	1,257	31,512	35,613	69,794	△4,101

(4)施設利用者数合計〔(1)+(2)+(3)〕

(単位：人)

施設名	R3	R2	R1	比較 R3-R2
富谷スポーツセンター、富谷武道館、富谷市総合運動公園グラウンド・テニスコート・レクリエーション広場・スポーツ交流館	83,623	82,402	154,900	1,221

事業名

②健康体力増進事業

I 事業の趣旨（目的）

市民誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツを親しめる機会の充実を図り、自主的スポーツ活動により、健康づくりに寄与することを目的とする。

II 実施内容及び実績

1 生涯スポーツ教室

(単位：人)

教室・講習会名	期 間	対 象 者	R3 参加人数	R2 参加人数	比較 R3-R2
トレーニング講習会	通年	高校生以上	249	263	△14
トレーニング室指導業務	通年	高校生以上	59	90	△31
各種スポーツ教室(テニス・バドミントン)	5月～3月	一般市民	316	256	60
一万人牽げい古	1月	市内武道愛好者	155	0	155

※ トレーニング講習会、トレーニング室指導業務は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月(1回)・9月(1回)・1月(1回)・2月分の開催を中止

項 目	1 1 1. その他公共施設・公用施設災害復旧費 (1 1 款3 項1 目)		担 当		生涯学習担当 体育振興担当		
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	9,032,000	785,950					785,950

事業名	その他公共施設・公用施設災害復旧費

I 事業の趣旨（目的）

令和4年福島県沖地震（令和4年3月16日発生）による被害に対し、復旧を行うもの。

II 実施内容及び実績

富谷スポーツセンターアリーナ照明災害復旧工事	572,000円
富谷市総合運動公園受水槽災害復旧工事	158,950円
西成田コミュニティセンター緊急復旧スプリンクラーヘッド突出修繕	55,000円

議会議務局 監査委員事務局

項 目	1 1 2. 議会		担 当		議事担当		
	(1 款 1 項 1 目)						
総合計画							
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左 の 財 源 内 訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	円	円	円	円	円	円	円
	174,142,000	164,911,716				45,416	164,866,300

事業名	議会活動事業

I 事業の趣旨（目的）

市民の代表である議員及び機関として、市民の福祉の向上と市の発展を図るもの。

II 実施内容及び実績

1 議会議員報酬等

(1) 議員報酬・期末手当

(2) 政務活動費（1人当たり上限月額15,000円）実支出

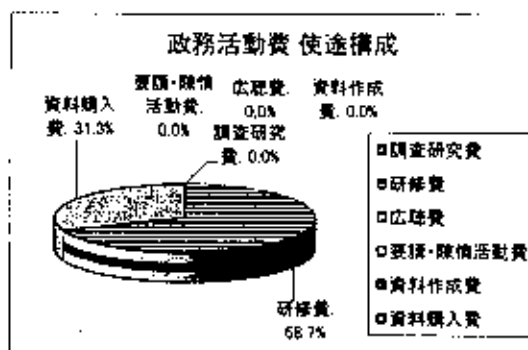
計 93,014,650 円

92,788,354 円

226,296 円

(単位：円)

会派名（人数）	申請額	支出額	戻入
公明党（2人）	360,000	0	360,000
日本共産党（2人）	360,000	58,850	301,150
新星とみや（5人）	900,000	11,906	888,094
とみや自由市民の声 （2人）	420,000	0	420,000
議員（6人）	1,020,000	155,540	864,460
計（17人）	3,060,000	226,296	2,833,704



※ 令和3年8月より「とみや自由市民の声」の会派人数は2人

※ 未申請者1人

2 定例会

区 分	会 期	一 般 質 問 人 数 件 数	提出議案	請願・陳情	意見書等	傍 聴 人
R3 第2回	6/11 ~ 6/22	16 人 29 件	11 件	0 件	0 件	31 人
R3 第3回	9/1 ~ 9/17	11 人 21 件	20 件	2 件	0 件	17 人
R3 第4回	11/30 ~ 12/10	13 人 23 件	18 件	3 件	0 件	27 人
R4 第1回	2/18 ~ 3/11	12 人 24 件	30 件	1 件	0 件	24 人
R3 実績	会期日数 62 日	52 人 97 件	79 件	6 件	0 件	99 人
R2 実績	会期日数 59 日	52 人 90 件	106 件	16 件	0 件	64 人

3 臨時会

区 分	会 期	提出議案	請願・陳情	意見書等	傍 聴 人
R3 第1回	4/23	3 件	0 件	0 件	2 人
R3 第2回	10/29	2 件	0 件	0 件	2 人
R4 第1回	1/14	1 件	0 件	0 件	1 人

4 委員会活動

(1) 常任委員会

常任委員会名	開催日	調査事項
総務 常任委員会	5/14	公共交通関連施策について
	5/24	5月14日開催の総務常任委員会について
	7/20	富谷市清掃センターの現状及び富谷市一般廃棄物処理基本計画について
	10/28	行政改革及び公共施設、財政状況について ① 行政改革におけるこれまでの取り組み状況と成果、今後の取り組みは ② 公共施設の維持、管理、更新を見据えた取り組みは ③ 今後の財政状況の見通しは
	2/1	富谷市の情報発信について
教育民生 常任委員会	8/6	総合的な教育相談窓口として機能強化した「教育支援センター」について
	10/13	児童クラブについて
	1/20	放課後等デイサービスの整備状況について
産業建設 常任委員会	5/11	土地利用関連施策について
	7/28	「とみやど」を拠点とした地域振興と観光施策について
	10/19	ブルーベリー産地拡大事業と富谷茶復活プロジェクト事業の課題と取組、推進について
	1/27	「とみやど」を指定管理で運営する地域商社の内容について

(2) 特別委員会

特別委員会名	開催日	調査事項
議会広報調査 特別委員会 (20回)	4/6・7・14	とみや議会だより第19号の編集調査について
	7/1・5 12・13・16	とみや議会だより第20号の編集調査について
	9/29・30 10/1・8・15	とみや議会だより第21号の編集調査について
	12/23・24 1/11・17	とみや議会だより第22号の編集調査について
	3/23・24・25	とみや議会だより第23号の編集調査について
議会活性化 調査特別委員会 (9回)	4/23	富谷市議会災害行動指針・マニュアルについて 長期欠席議員の対応について タブレット導入について 議員間討議について 早稲田大学マニフェスト研究所による「議会改革度調査」について
	6/11	タブレット導入について 常任委員会の所管事務調査報告について
	9/14	調査報告書について
	10/29	議会報告会について
	11/30	議会報告会について

議会活性化 調査小委員会 (3回)	12/10	議会報告会小委員会における協議結果について
	2/10	議会報告会小委員会における協議結果について
	3/4	議長の立候補制について 議員間討議について
	3/11	議長の立候補制について 議員間討議について
	4/16	富谷市議会災害行動指針・マニュアルの検証について 長期欠席議員の対応について タブレット導入について 議員間討議について
	6/15	早稲田大学マニフェスト研究所による「議会改革度調査」について 常任委員会の所管事務調査報告について
	12/7	議会報告会について 常任委員会所管事務調査報告書について 今後の調査の進め方について
	1/14	前回実施予定内容の確認について 今年度の議会報告会について
	7/15	富谷市民図書館等複合施設整備に係る基本方針（報告書）について
	8/5	富谷市民図書館等複合施設整備に係る基本方針（報告書）について
富谷市民図書館等 に関する調査特別 委員会 (5回)	9/14	富谷市民図書館等複合施設整備について
	10/13	富谷市民図書館等複合施設整備について
	10/22	富谷市民図書館等複合施設整備について
	9/10	総務常任委員会所管に属する決算
	9/13	教育民生常任委員会所管に属する決算
決算審査 特別委員会 (3回)	9/14	産業建設常任委員会所管に属する決算 各種特別会計及び水道事業の決算
予算審査 特別委員会 (3回)	当初	総務常任委員会所管に属する予算
	3/7	教育民生常任委員会所管に属する予算
	3/9	産業建設常任委員会所管に属する予算 各種特別会計及び水道事業の予算

(3) 議会運営委員会

	開催日	調査事項
議会運営委員会 (14回)	4/16	令和3年第1回富谷市議会臨時会の議会運営について
	6/4	令和3年第2回富谷市議会定例会の議会運営について
	6/17	令和3年第2回富谷市議会定例会の議会運営について
	8/25	令和3年第3回富谷市議会定例会の議会運営について
	9/14	令和3年第3回富谷市議会定例会の議会運営について
	9/17	令和3年第3回富谷市議会定例会の議会運営について
	10/22	令和3年第2回富谷市議会臨時会の議会運営について
	11/22	令和3年第4回富谷市議会定例会の議会運営について
	11/30	令和3年第4回富谷市議会定例会の議会運営について
	12/7	令和3年第4回富谷市議会定例会の議会運営について
	1/7	令和4年第1回富谷市議会臨時会の議会運営について
	2/10	令和4年第1回富谷市議会定例会の議会運営について
	2/18	令和4年第1回富谷市議会定例会の議会運営について
	3/9	令和4年第1回富谷市議会定例会の議会運営について

5 議員全員協議会

	開催日	調査事項
議員全員協議会 (全13回)	4/16	(1) 令和3年第1回富谷市議会臨時会提出予定議案について (2) その他 ① 人事案件の表決に関する確認事項 ② 正副議長の任期について
	4/23	(1) 令和3年度のクールビズの開始時期について (2) オンライン研修会参加経費について
	6/4	(1) 令和3年第2回富谷市議会定例会提出予定議案について (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件 ① 富谷市学校施設長寿命化計画について ② 土地の取得について (3) その他 ① 富谷市議会会議規則の一部改正について ② 富谷市議会先例集の一部改正について ③ 富谷市議会申合せ事項について ④ 政務活動費について(オンライン研修会参加経費)
	6/17	(1) 令和3年第2回富谷市議会定例会追加提出予定議案について (1) 令和3年第3回富谷市議会定例会提出予定議案について (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件 ① 第一次富谷市地方創生総合戦略取組状況について ② 不登校特例校 富谷中学校 西成田教室の開設について ③ 地域振興組織設立について
	8/25	(3) その他 ① コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実に求める意見書(案)について ② 富谷市議会申合せ事項について ③ 人事及び諮問案件の表決の確認について ④ 決算審査特別委員会正副委員長の互選について
	9/14	(1) 令和3年第3回富谷市議会定例会追加提出予定議案について
	9/17	(1) 各常任委員会委員の選任について (2) 各常任委員会正副委員長の報告について (3) 議会広報調査特別委員会委員選任について (4) 議会広報調査特別委員会正副委員長の報告について (5) 議会運営委員会委員の選任について (6) 議会運営委員会正副委員長の報告について (7) 仙台市・富谷市広域行政協議会委員の選任について (8) 富谷市都市計画審議会委員の変更について (9) 議席の変更について
	10/22	(1) 令和3年第2回富谷市議会臨時会提出予定議案について (2) その他 ① 黒川地方市町村議会議員研修会について
	11/22	(1) 令和3年第4回富谷市議会定例会提出予定議案について (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件 ① 市道穀田三ノ関線道路改良事業の進捗状況について ② 市道三ノ関大崎線道路改良事業の進捗状況について
	12/7	(1) 令和3年第4回富谷市議会定例会追加提出予定議案について
	1/7	(1) 令和4年第1回富谷市議会臨時会提出予定議案について

2/10	(1) 令和4年第1回富谷市議会定例会提出予定議案について (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件 ① 富谷市2050年ゼロカーボン戦略について (3) その他 ① 予算審査特別委員会の正副委員長について ② 人権擁護委員の表決方法について ③ 消費税インボイス制度に係る仕入税額控除の特例措置を求める意見書について ④ 「子どもにやさしいまちづくり」に対する市議会としての対応について ⑤ 議員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応について
3/4	(1) 令和4年第1回富谷市議会定例会追加提出予定議案について (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件 ① 富谷市総合計画・第6次実施計画 ② 富谷市第6次財政計画 ③ 令和3年度行政改革の取組状況について ④ 令和3年度富谷市官民連携による新たな都市交通システムの整備手法検討調査の概要について (3) その他 ① 「子どもにやさしいまちづくり」に対する市議会としての対応について

6 とみや議会だより（第19号～第22号）

R3	発行日	発行部数	ページ数	R2	発行日	発行部数	ページ数
第19号	5/1	19,808	28	第15号	5/1	19,590	28
第20号	8/1	19,864	20	第16号	8/1	19,650	16
第21号	11/1	19,918	24	第17号	11/1	19,710	28
第22号	2/1	19,969	18	第18号	2/1	19,740	24
印刷経費			1,594,331 円	印刷経費			1,703,478 円

7 行政視察の受入状況

受入自治体等名	視察日	視察調査事項
大和町議会 (議会活性化調査特別委員会 議会ICT検討部会)	5/24	議会インターネット配信について
松島町議会 (教育民生常任委員会)	7/14	教育環境におけるICT活用について
岩手県議会 (環境福祉委員会)	7/21	低炭素水素サプライチェーンの実証について
宮城県議会 (再生可能エネルギー・ 脱炭素調査特別委員会)	7/26	再生可能エネルギーの地産地消の推進について

項 目	113. 監査委員 (2款6項1目)		担 当		監査担当	
総合計画						
予算の 執行状況	予 算 額	決 算 額	左の財源内訳			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	円	円	円	円	円	円
	2,564,000	2,523,162				2,523,162

事業名	監査事業

I 事業の趣旨（目的）

本市の行財政運営について、健全性及び透明性の確保に寄与し、また、事務の管理及び執行等について、法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資するもの。

II 実施内容及び実績

- 1 監査委員 2人（推薦1人、随選1人）
報酬 1,800,000円

2 監査等実施状況

実施月	例月 出納 検査	決算審査	定期監査	財 政 健全化 審 査	財政援助 団 体 等 監 査	随時 監査	住民監査 請求監査	各種会議 ・研修等	合計 日数
4月	3日					2日			5日
5月	3日					2日		1日	6日
6月	3日	12日						1日	16日
7月	2日	13日		1日				1日	17日
8月	2日	14日							16日
9月	2日					2日		2日	6日
10月	2日					2日		1日	5日
11月	2日		7日					1日	10日
12月	2日		6日						8日
1月	2日		5日					1日	8日
2月	2日		3日		2日			1日	8日
3月	2日				1日			2日	5日
R3実施 合計日数	27日	39日	21日	1日	3日	8日	0日	11日	110日
R2実施 合計日数	47日	29日	14日	1日	5日	0日	0日	6日	102日



この冊子は 165 部作成し、
一部当たりの印刷単価は 2,013 円です。